

東芝デジタル複合機

TopAccessガイド

●このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。 ●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

©2011 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved 本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。 この取扱説明書は、Webベースの管理ユーティリティであるTopAccessから行うデバイスのリモートセットアップやリ モート管理を説明しています。

これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただ くために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

TopAccessにログインする権限により、TopAccess上での操作が制限される項目があります。 また、お使いの機種によっては、表示されない項目や機能があります。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

▲ 警告 「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う可能性があること」を示しています。

▲注意 「誤った取り扱いをすると人が傷害^{*2}を負う可能性、または物的損害^{*3}のみが発生する可能性があること」を示しています。

注 意 操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補足 操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

- 関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。
- *1 重傷とは、失明やけが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するもの を指します。
- *2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
- *3 物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本書の対象機種について

本書の対象機種は、本文中で以下のように表記しています。

対象機種	本文中の表記
e-STUDIO5540C/6540C/6550C	e-STUDIO6550C Series
e-STUDIO2540C/3540C/4540C	e-STUDIO4540C Series

□ 本文中の画面について

本書に掲載している画面は、e-STUDIO4540C Seriesを例にしています。e-STUDIO4540C Series、e-STUDIO6550C Seriesの画面は、各部名称や機能は共通です。

画面はオプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

□ 本文中の初期値について

- 本書に記載している初期値は、標準的な使用環境の値です。導入時の環境に合わせて、初期値を変更している場合が あります。なお、機種の違いにより初期値が異なるものは記載していません。
- 選択項目の初期値は、下線で表記しています。

□ 商標について

- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows 7の正式名称は、Microsoft Windows 7 Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationの米 国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、SafariおよびTrueTypeは、米国Apple Inc.の米国およびその 他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、ReaderおよびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標 です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書および本ソフトウェアに掲載または表示されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登 録商標である場合があります。

□ セキュリティに関するご利用上のご注意

- 不正に設定値を変更されるなどの操作を防ぐため、本製品をご使用いただく前に、本製品に設定されている工場出荷時の初期管理者パスワードを必ず変更していただきますようお願い致します。また本製品で設定されているパスワードは定期的に変更していただきますようお願い致します。
- セキュリティの観点から TopAccess の設定変更を行っているコンピュータから離席される場合は、必ず [ログアウト] してください。

はじめに	1
------	---

第1章 概要

TopAccessの機能	8
TopAccessの条件	9
TopAccessを起動する	10
• アドレスを入力して起動する	.10
ネットワークマップのアイコンから起動する (Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008)	.12
TopAccessの画面説明	22
アクセスポリシーモード	. 23

第2章 【装置】タブ

[装置]	項目説明一覧	3
表示ア	'コンの説明24	3

第3章 【ジョブ】 タブ_____

【ジョブ】タブの概要説明	30
[印刷ジョブ]項目説明一覧	
[ファクス/インターネットファクスジョブ]項目説明一覧	32
[スキャンジョブ] 項目説明一覧	
【ジョブ】設定/操作方法	
ジョブを表示する	
ジョブを削除する	35
プライベート印刷ジョブとホールド印刷ジョブを削除する	35
印刷ジョブを実行する	36
印刷再開条件を確認する	36

第4章 [ログ]タブ

[ログ] タブの概要説明	
[ログのエクスポート]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	44
[ログ設定]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	45
[ログ] 設定/操作方法	
	46
ログをエクスポートする	47

第5章 【登録】タブ

[登録] タブの概要説明	50
[テンプレート] 項目説明一覧	
[アドレス帳] 項目説明一覧	77
[Fコード/ファクス受信転送(振分け)]項目説明一覧	
【登録】設定/操作方法	
【登録】設定/操作方法 テンプレートを管理する	88
【登録】設定/操作方法 テンプレートを管理する アドレス帳を管理する	88

第6章 [カウンタ]タブ

[カウンタ] タブの概要説明	106
[カウンタ] 項目説明一覧	
[カウンタ] 設定/操作方法	
カウンタを表示する	
部門管理を設定する	

第7章 [ユーザ管理] タブ

[ユーザ管理] タブの概要説明	
[ユーザアカウント] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	
[グループ管理]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	
[ロール管理]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	
[部門管理]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	
[エクスポート/インポート]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	

第8章 [管理者] タブ

[セットアップ] 項目説明一覧	
一般設定	
ネットワーク設定	
コピー設定	
ファクス設定	
共有フォルダに保管設定	
Eメール設定	
インターネットファクス設定	
プリンタ/ファイリングボックス設定	
プリンタ設定	
プリントサービス設定	
ICCプロファイルの設定	
プリントデータコンバータ設定	
内蔵ブラウザ設定	
Off Device Customization Architecture設定	
パージョン	
[セットアップ] 設定/操作方法	217
一般設定をセットアップする	
ネットワーク設定をセットアップする	
SNMP V3を設定する	
コピー設定をセットアップする	
ファクス設定をセットアップする	
共有フォルダに保管設定をセットアップする	
Eメール設定をセットアップする	
インターネットファクス設定をセットアップする	
プリンタ/ファイリングボックス設定をセットアップする	
プリンタ設定をセットアップする	
プリントサービス設定をセットアップする	
ICCプロファイル設定をセットアップする	
プリントデータコンバータ設定をセットアップする	
内蔵ブラウザ機能を設定する	
Off Device Customization Architecture設定をセットアップするプする	
バージョン情報を表示する	
[セキュリティ]項目説明一覧	

認証	
証明書管理	
パスワードボリシー	
[セキュリティ]設定/操作方法	
IPsec用証明書をインストールする	
デバイス証明書をインストールする	
クライアント証明書の作成/エクスポート	
CA証明書をインストールする	
【保守】項月説明一覧	
 ソフトウェアのアップロード	
ソフトウェアの削除	
クローンファイル作成	
クローンファイルのインストール	
インポート	
エクスポート	
ファイル削除	
LDAPサービス	
レポート通知	
言語設定	
システムアップデート	
再起動	
[保守] 設定/操作方法	
保守機能について	
クライアントソフトウェアをアップロードする	
クライアントソフトウェアを削除する	
共有フォルダからデータを削除する	
LDAPサービスを登録する	
レポート通知を設定する	
インポートまたはエクスポートする	
再起動する	
[登録]([管理者] タブ) 項目説明一覧	
共有テンプレート	
共有メニュー	
ファクス受信転送およびインターネットファクス受信転送	
拡張フィールド定義	
XMLフォーマットファイル	
[登録]([管理者] タブ) 設定/操作方法	
ファクス受信転送およびインターネットファクス受信転送を登録する	

第9章 【アカウント】 タブ

【アカウント】タブの概要説明	350
[アカウント]項目説明一覧	350

第10章 目的別設定方法

メタスキャンの設定	356
メタスキャンの操作の流れ	
メタスキャンオプションの確認	
XMLフォーマットファイルの編集	
XMLフォーマットファイルの登録	
拡張フィールド定義の登録	

メタスキャン用のテンプレート登録	
メタスキャン	
メタスキャンのログ確認	

第11章 付録

クライアントコンピュータに証明書をインストールする	370

5]



このセクションでは、TopAccess機能の概要について説明します。

TopAccessの機能	8
TopAccessの条件	9
TopAccessを起動する	10
アドレスを入力して起動する	10
ネットワークマップのアイコンから起動する (Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008)	12
TopAccessの画面説明	22
アクセスポリシーモード	23

1

TopAccessの機能

TopAccessは、Webブラウザを利用して、本機の装置情報やジョブのステータスなどの確認、装置設定やメンテナンス が行える管理ユーティリティです。 TopAccessは、「ユーザモード」と「アクセスポリシーモード」の2種類のモードがあります。

ユーザモード

TopAccessのユーザモードから以下の操作を行うことができます。

- 本機の一般情報を表示する(ステータス、カセットやオプション機器の構成、給紙情報など)
- 印刷ジョブ、転送ファクスジョブ、スキャンジョブを表示する(転送ファクスジョブの表示は、オプションのFAXユ ニット装着時のみ有効)
- 印刷ログ、発信/受信ジャーナル、スキャンログを表示する(発信/受信ジャーナルは、オプションのFAXユニット 装着時のみ有効)
- プライベートテンプレートを作成する、変更する
- アドレス帳に連絡先やグループを追加する
- Fコード対応メールボックスを作成する(オプションのFAXユニット装着時のみ有効)
- カウンタログを表示する
- クライアントソフトウェアをダウンロードする

□ P.10 「TopAccessを起動する」

アクセスポリシーモード

TopAccessにログインするユーザアカウントに応じて、操作を行う権限や表示される項目などが異なります。 操作や表示については、ユーザアカウントが割り当てられている、ロール管理や部門管理などにより詳細が異なります。 P.23 「アクセスポリシーモード」

TopAccessの条件

TopAccessを操作するには、お使いの機器がネットワークに接続され、TCP/IPが正しく設定されている必要があります。

TCP/IP設定を完了すると、Webブラウザを利用してTopAccessにアクセスすることができます。

サポートブラウザ

Windows

- Internet Explorer 6.0以上 (IPv6環境で使用時はInternet Explorer 7.0以上)
- Firefox 3.5以上

Macintosh

• Safari 4.0以上

UNIX

• Firefox 3.5以上



- TopAccessでは、コンピュータに情報を保存するのにCookieを使用するので、TopAccessを正しく動作させるためにはお使いのブラウザでCookieを使用できるように設定されている必要があります。
- TopAccessが正しく動作しないときには、Cookieを削除して試してみてください。
- TopAccessからファインリングボックスWebユーティリティを利用する場合は、Webブラウザのポップアップブロック機能を解除する必要があります。

TopAccessを起動する

TopAccessは、WebブラウザのURLにアドレスを入力することにより起動できます。Windows Vista/Windows 7/ Windows Server 2008においては、LLTD (Link Layer Topology Discovery)機能で[ネットワークマップ]から ネットワークの接続状態を確認し、表示された本機のアイコンから起動することができます。 P.10「アドレスを入力して起動する」 P.12「ネットワークマップのアイコンから起動する (Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008)」

■ アドレスを入力して起動する

1 Webブラウザを起動し、URLに以下のアドレスを入力します。

http://<IPアドレス>または、http://<デバイス名>

アドレス(D) 🙆 http://10.10.70.120/

例:

お使いの機器のIPアドレス (IPv4) が「10.10.70.120」のとき http://10.10.70.120 お使いの機器のIPアドレス (IPv6) が「3ffe:1:1:10:280:91ff:fe4c:4f54」のとき 3ffe-1-1-10-280-91ff-fe4c-4f54.ipv6-literal.net または http://[3ffe:1:1:10:280:91ff:fe4c:4f54] お使いの機器のデバイス名が「mfp_04998820」のとき http://mfp-04998820

注意

HTTPネットワークサービスでSSLが有効に設定されている場合は、TopAccessのアドレスを入力すると警告 メッセージが表示されることがあります。その場合は、[このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。]を クリックして操作を続けてください。

🏉 証明書エラー: ナビゲーションはブロックされました。 - Windows Internet Explorer	- • ×
	ب ۾
この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。	*
 この Web サイトで提示されたセキュリティ証明書は、別の Web サイトのアドレス用に発行された す。	きもので
セキュリティ証明書の問題によって、詐欺や、お使いのコンピュータからサーバーに送信される情報 み取る意図が示唆されている場合があります。	最を盗
このページを閉じて、この Web サイトの閲覧を続行しないことを推奨します。	
🔮 ここをクリックしてこの Web ページを閉じる。	
😵 このサイトの閲覧を続行する (推奨されません)。	
 詳細情報 	
	-
🔮 インターネット 保護モード: 無効	🔍 100% 🔻 💡

2 TopAccessのWebページが表示されます。

opAcces.	S									ファイリン	<u>・グボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録		カウンタ						
装置							:				
			装置情報]		
			状態			待機中	2]		
			名称			MFP07	0X8510]		
			設置場所								
			MFPモデル			TOSHIE	BA e-STUDIOX	XXXC			
			シリアル番号			CLEOO	OXXX				
	-		MACPFUZ			00:XX:9	91:6C:29:7E				
			×12×10サイ	Z		2048 N	NB		4		
			~-5x+0+1		4 P. 444	1024 N	ND.		-		
			ローカル共有ノス	オルタとファ 毎日	イリノクホックスのそ	9重 26201	MB		-		
			ファックスメモリモ	6重		978 ME	3		-		
オポシュント			/座18元 ●「「一」						-		
7/7/1	1.		电応留や			- 0			-		
パッチフェット	tal.		2012 J			-			-		
7072			<u>a.</u>			•]		
			田純サイブ						1		
トナー			カセット	紙サイズ	タイプ	容量	状的	E	-		
イエロー(Y)	100%		1段目力セット	A4	普通紙	540	OK		4		
マゼンタ(M)	100%		2段目力セット	A3	普通紙	540	小		1		
シアン(C)	100%		3段目力セット	A4R	普通紙	540	OK		1		
ブラック(K)	100%		4段目力セット	B5	普通紙	540	少		1		
									1		

補足

TopAccessDocMon リンクを使用してTopAccess にアクセスすることもできます。TopAccessDocMon から TopAccessにアクセスする方法は、**TopAccessDocMon Help**を参照してください。

■ ネットワークマップのアイコンから起動する (Windows Vista/Windows 7/ Windows Server 2008)

Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008のLLTD (Link Layer Topology Discovery) 機能で、[ネット ワークマップ] からネットワークの接続状態を確認し、表示された本機のアイコンをクリックして起動します。

□ P.13 「識別されていないネットワークの場合(Windows Vista)」
 □ P.16 「識別されていないネットワークの場合(Windows 7)」
 □ P.19 「ネットワークマップのアイコンから起動」

補足

アイコンの右クリックメニューより [インストール] を選択することにより、Web Service に必要なドライバのイン ストールを開始することができます。Web Service に必要なドライバのインストールについては、**インストールガイ** ドを参照してください。

注 意



[コントロールパネル] 画面が表示されます。 **2 [ネットワークとインターネット] をクリックします。**

▼ **4**9 検索 ○○○□ . コントロールパネル > P ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) ツール(I) ヘルプ(且) ユーザー アカウント のユーザー アカウントの追加または剤 酸 除 システムとメンテナンス Windows の開始 バックアップの作成 デスクトップのカスタマイズ セキュリティ デスクトップの背景の変更 配色の変更 更新プログラムの確認 セキュリティ状態の確認 Windows ファイアウォールによる
 プログラムの許可 画面の解像度の調整 時計、言語、および地域 ネットワークとインターネット インターネットへの接続 ネットワークの状態とタスクの キーボードまたは入力方法の変更 コンピュータの簡単操作 ファイルの共有の設定 設定の提案の表示 視覚ディスプレイの最適化 ハードウェアとサウンド CD または他のメディアの自動再生 その他のオプション 1 プリンタ マウス プログラム プログラムのアンインストール スタートアップ プログラムの変更

[ネットワークとインターネット] 画面を表示します。

1



[ネットワークと共有センター] 画面が表示されます。

4 [識別されていないネットワーク(パブリックネットワーク)]の [カスタマイズ] をクリッ クします。



[ネットワークの場所の設定] 画面が表示されます。

5 [場所の種類] から [プライベート] をオンにし、[次へ] をクリックします。



- [ユーザアカウント制御] ダイアログが表示されます。
- ユーザアカウント制御が無効になっている場合は、「ネットワークの場所の設定-ネットワーク設定が正しく設定されました」画面が表示されます。手順7に進みます。

6 [ユーザアカウント制御] ダイアログの [続行] をクリックします。

[ネットワークの場所の設定-ネットワーク設定が正しく設定されました]画面が表示されます。

7 【閉じる】をクリックします。

۱ سخ 🛓 🌍	ワークの場所の設定		
ネットワー	- ク設定が正しく設定す	されました	
2	ネットワーク名: 場所の種類:	識別されていないネットワーク プライベート 他のコンピュータやデバイスを参照でき、 お使いのコンピュータも探索可能になりま す。	
ネットワー ます ネットワー	-クと共有センターでき -ク上のコンビュータと	×ットワークと共有の設定を表示または変更し ・デバイスを表示します	
			閉じる(<u>C)</u>
			7



[コントロールパネル] 画面が表示されます。

2 [ネットワークとインターネット] をクリックします。



[ネットワークとインターネット] 画面を表示します。



[ネットワークと共有センター] 画面が表示されます。

4 [ホームグループと共有に関するオプションを選択する]をクリックします。



[ホームグループ] 画面が表示されます。



	٩
Windows 7 を実行している他のホーム コンピューターとの共有	
 ホームグループを作成するかホームグループに参加するには、コンピューターのネットワ ークの場所がホームに設定されている必要があります。 ネットワークの場所の詳細 	
ホームグループを利用すると、WindOs 7 を実行している他のコンピューターとファイルやプリンターを 共有できます。デバイスにメディア コンテンツをストリーム配信することもできます。ホームグループはパ スワードによって保護され、ユーザーはそのグループで共有するものをいつでも選択できます。	
ホームグループの詳細を表示	
共有の詳細設定の変更	
ホームグループのトラブルシューディング ツールの開始	
ホームグループの作成 OK	

[ネットワークの場所の設定] 画面が表示されます。

6	
	ネットワーク ネットワークの場所を選択します
	このコンピューターはネットワークに接続されています。ネットワークの場所に基づいて、正しいネー ットワーク浴走が自動的に適用されます。
	ホーム ネットワーク マンプレン ネットワーク上のすべてのコンピューターが目宅にあり、全機が認識されている場合、 そのネットワークは信頼されているホーム ネットワークです。
	社内ネットワーク上の ネットワーク上の そのネットワーク」でのコンビューターが警惕にあり、全機が認識されている場合、 そのネットワークは、頼されている社内ネットワークです。
	パブリックネットワーク ネットワーク上のすべてのコンピューターを認識しているわけではない場合 (コーヒー ショップや空港にいる場合や、モバイル ブロードバンド遠信をしている場合など)、そ のネットワークはパブリック ネットワークであり、信頼されていません。
	今後接続するネットワークをすべてパブリックネットワークとして扱い、このメッセージを二度と 表示しない
	違択についての説明を表示します

[ネットワークの場所の設定]の確認画面が表示されます。

7 [閉じる] をクリックします。







[ネットワークとインターネット] 画面を表示します。



[ネットワークと共有センター] 画面が表示されます。

0

4 [ネットワークと共有センター] 画面から [フルマップを表示] / [フルマップの表示] をク リックします。

タスク	ネットワークと共有センター		
コンピュータとデバイスの表 示			フル マップを表示
ネットワークに接続		💵 🛶	_ 🕥 V3
接続またはネットワークのセ ットアップ	MEDIA-PC (このコンピュー	識別されていないネットワ (素別)	インターネット
ネットワーク接続の管理	(23-32-	~1	
診断と修復	🌉 識別されていないネット	ワーク (パブリック ネットワーク)	カスタマイス
	アクセス	ローカルのみ	
- All	接続	ローカル エリア接続	状態の表示
	23 共有と探索		
	ネットワーク探索	◎ 有効	
296 - V -7-	ファイル共有	◎ 有効	()
	パブリック フォルダ共有	◎ 無効	
		-	(v
1	プリンタ共有	◎ 無効	
関連項目	プリンタ共有 パスワード保護共有	◎ 無効 ◎ 有効	

[ネットワークマップ] 画面にネットワーク上に接続されたデバイスのマップが表示されます。





補足

- アイコンにポインタを近づけると装置の名称および、IPアドレス、MACアドレスが表示されます。
- 本機のアイコンは、装置の状態に合わせて、フィニッシャ付きのアイコンと、本体のみのアイコンが表示 されます。

6 TopAccessのWebページが表示されます。

TopAcces:	S								<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	್∋ <u>ಸ</u>	ログ	登録		カウンタ				
装置							夏新		
		[装置情報					1	
			状態			待機中		1	
			名称			MFP070X85	10	1	
			設置場所]	
			MFPモデル			TOSHIBA e	STUDIOXXXXC]	
			シリアル番号			CLE000XXX]	
	-		MACアドレス			00:XX:91:60	29:7E		
				メインメモリサイズ					
	~			ページメモリサイズ					
			ローカル共有フォ	ォルダとファイ	(リングボックスの容量	26201 MB		-	
			ファックスメモリ	谷重 (11)		978 MB		-	
			連絡先						
イフンヨノ	121	_	電話番方			U		-	
ノイニッシャ	78.0		>>12->					-	
ハンナユニット	は第	_ [警告			•			
ファウス	2017日								
k+ -			用紙サイズ						
	100%	_	カセット	紙サイズ	タイプ	容量			
7±1 (1)	100%	_	1段目力セット	A4	普通紙	540	OK		
3777(C)	100%		2段目力セット	A3	普通紙	540	少		
ゴラック(化)	100%		3段目力セット	A4R	普通紙	540	OK		
222200	10070		4段目力セット	B5	普通紙	540	少		

萬

1

TopAccessの画面説明



	項目名	機能説明
1	機能タブ	各タプは機能ごとにまとめられています。タブをクリックすると、該当する機能のメイン ページが表示されます。
2	メニューバー	選択した機能タブの各メニューページへアクセスします。
3	サブメニューバー	選択した機能タブやメニューの各サブメニューページへアクセスします。
4	ソフトウェアのインストール	このリンクをクリックすると、クライアントソフトウェアをインストールするページが表示されます。このページからクライアントソフトウェアをダウンロードすることができます。
5	トップ	このリンクをクリックすると、表示しているページの先頭へ戻ります。
6	ヘルプ	このリンクをクリックすると、オンラインヘルプが起動します。

アクセスポリシーモード

TopAccessにログインするユーザアカウントに応じて、操作を行う権限や表示される項目などが異なるアクセスポリ シーモードがあります。 アクセスポリシーモードでは、ユーザアカウントが割り当てられているロールや部門などにより、操作や表示の詳細が異 なります。

旗 烟

1

1 TopAccessを起動します。

🚇 P.10 「TopAccessを起動する」

2 [ログイン] をクリックします。

TopAccess	5				ファイリングボックス
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	1 1 1

ログインページが表示されます。

3 ログインするユーザ名とパスワードを入力し、[ログイン]をクリックします。

TopAccess	
	TopAccessのユーザ名とバスワードを入力してロヴィンしてください。

- TopAccessのアクセスポリシーに従ったユーザ名とパスワードを入力してください。
- セットアップページが表示されます。

補足

最初にログインする場合は、ユーザ名に "admin"、パスワードに "123456" を入力してください。

4 メニューとサブメニューをクリックし、目的のページを表示します。

TopAccess					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置 ジョブ	コグ 登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ <u>セキュリティ</u>	保主 登録	_			
ヤットアッフ	- V	1			
→般 ネットワーク コピー 共有フォルダに保管 日	メール インターネットファクス ブリンタワ	<u>ァイリングボックス</u> :	<u> プリンタ プリントサービス</u>	<u> ICCプロファイル ゴ</u>	<u>リントデータコンバータ EW</u>
保存 キャンセル					3 2
<					Þ
一般設定					
获 武化 获置情報					
名称	MFP070X8510				
MFPモデル	TOSHIBA e-STUDIOXXXXC				
シリアル番号	CLE000XXX				
MACアドレス	00:XX:91:6C:29:7E				
ローカル共有フォルダとファイリングボックスの容量	26201 MB				
ファックスメモリ容量	978 MB				
データクローニング機能	有効 👻				
USBダイレクト印刷	有効 👻				
設置場所					
連絡先					
サービス電話番号	0				
管理者メッセージ					
205 AM 20					
AND INCLUS AL					

補足

ページ右上の [ログアウト] リンクをクリックすると、ログアウトすることができます。



[装置] タブ

このセクションでは、	TopAccessユーザモードの [装置] タブについて言	兑明します。
[装置] 項目説	明一覧	
表示アイコンの	り説明	

[装置] 項目説明一覧

ユーザ用の[装置]タブが表示され、装置の状態を示すビットマップイメージが表示されます。[更新]をクリックする と、ページ上の情報が更新され、表示されます。

このタブページには、装置に関する以下の情報が表示されます。



	項目名	機能説明
1	装置情報	以下の情報が表示されます。
		• 状態 :本機の状態を表示します。
		• 名称 :本機の名称を表示します。
		• 設置場所:本機の設置場所を表示します。
		• MFPモデル:本機のモデル名を表示します。
		• シリアル番号 :本機のシリアル番号を表示します。
		• MACアドレス:本機のMACアドレスを表示します。
		• メインメモリサイズ (対象機種のみ) :メインメモリサイズを表示します。
		• ページメモリサイズ (対象機種のみ):ページメモリサイズを表示します。
		• ローカル共有フォルダとファイリングボックスの容量 :本機のローカルフォルダとファ
		イリングボックスの空き容量の合計を表示します。
		• ファクスメモリ容量 :本機のファクス送受信用メモリの空き容量を表示します。
		• 連絡先:本機を管理する担当者の氏名を表示します。
		• 電話番号:本機を管理する担当者の電話番号を表示します。
		• メッセージ:管理者メッセージを表示します。
		• 警告:警告メッセージを表示します。
2	オプション	以下の情報が表示されます。
		• フィニッシャ :フィニッシャの装着状態を表示します。
		 パンチュニット:ホールパンチュニットの装着状態を表示します。
		• ファクス: FAXユニットの装着状態を表示します。
		• 機能拡張オフション (対象機種のみ) :機能拡張オブションの装着状態を表示します。
3	用紙サイズ	以下の情報が表示されます。
		• カセット :装着されているカセットを一覧表示します。
		• 紙サイズ:各カセットにセットされている用紙のサイズを表示します。
		• タイプ :各カセットにセットされている用紙の種類を表示します。
		• 容量:各力セットにセットできる最大の用紙枚数を表示します。
		• 状態:各力セットの用紙の有無を表示します。
	注 音	
	用紙カセットの用紙サイズの設	定は、TopAccessから行うことはできません。本機操作パネルより行ってください。設定方法
	については、 コピーガイド を参り	照してください。
4	トナー	各トナーの残量が表示されます。

補足

お使いの機種によっては、表示されない機能があります。

表示アイコンの説明

TopAccessの[装置] タブの本機機体イラスト表示部には、装置にエラーが発生したときやメンテナンスが必要なときに、その内容を示すアイコンが表示されます。以下にアイコンの意味と対処方法を説明します。

×	プリンタエラー 1	推奨トナーカートリッジ以外を使用したため、印刷を中止したときに表示されます。エラーの解除方法については、 トラブルシューティングガイド の「トナーカートリッジの交換」を参照して ください。
	プリンタエラー 2	 以下の場合に表示されます。 排紙トレイから用紙を取り除く必要がある場合。 フィニッシャのトレイから用紙を取り除く必要がある場合。 フィニッシャでつまったステイブル針を取り除く必要がある場合。エラーの解除方法については、トラブルシューティングガイドの「フィニッシャのステイプラの針づまりの解除」を参照してください。 サドルステッチユニットでつまったステイプル針を取り除く必要がある場合。エラーの解除方法については、トラブルシューティングガイドの「サドルステッチユニットのステイプラの針づまり解除」を参照してください。 ホールパンチユニットからホールパンチ層を取り除く必要がある場合。エラーの解除方法については、トラブルシューティングガイドの「パンチ層ケースの清掃」を参照してください。 推奨トナーカートリッジを使用していない場合の警告。エラーの解除方法については、トラブルシューティングガイドの「トナーカートリッジの交換」を参照してください。 用紙サイズ混在の印刷にサドルステッチを行おうとした場合 大容量給紙装置から用紙を指紙できない場合の警告
Y	カバーオープン	前面カバーや自動両面印刷ユニットカバーなどを閉じる必要がある場合に表示されます。
F	カセットオープン	カセットを閉じる必要がある場合に表示されます。
Į,	トナー切れ	トナーがなくなった場合に表示されます。エラーの解除方法については、 トラブルシューティン グガイドの「トナーカートリッジの交換」を参照してください。
	廃トナーボックス交換	廃トナーボックスの交換が必要な場合に表示されます。エラーの解除方法については、 トラブル シューティングガイドの「廃トナーボックスの交換」を参照してください。
ļ	用紙切れ	カセットの用紙がなくなった場合に表示されます。エラーの解除方法については、 コピーガイド を参照してください。
84	用紙づまり	本機機体イラストの、紙づまりが発生したと考えられる場所に表示されます。エラーの解除方法 については、 トラブルシューティングガイド の「紙づまりの解除」を参照してください。
G	ステイプル切れ	フィニッシャにステイブル針を補充する必要がある場合に表示されます。エラーの解除方法につ いては、 トラブルシューティングガイド の「ステイプラの針の補充」を参照してください。
P	サービスコール	このアイコンが表示された場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店にご連絡ください。

3

[ジョブ] タブ

ユーザは、TopAccessを使用してユーザ自身の印刷ジョブやファクス/インターネットファクスジョブ、スキャンジョ ブを表示したり、削除することができます。

. 30
30
32
33
. 34
34
35
35
36
36
-

[ジョブ] タブの概要説明

印刷ジョブやファクス/インターネットファクスジョブ、スキャンジョブを表示したり、削除することができます。また 印刷ジョブの場合は、印刷を直ちに実行することもできます。

□ P.30 「[印刷ジョブ] 項目説明一覧」
 □ P.32 「[ファクス/インターネットファクスジョブ] 項目説明一覧」
 □ P.33 「[スキャンジョブ] 項目説明一覧」

【[印刷ジョブ] 項目説明一覧

印刷ジョブページには、以下の情報が印刷ジョブごとに表示されます。



アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザアカウントでログインしている場合は、以下の画面が表示 されます。



	項目名	機能説明
1	[削除] ボタン	TopAccessにログインしているユーザの印刷ジョブを選択した場合は、印刷ジョブを削除 します。
2	[リリース] ボタン	選択した印刷ジョブが印刷キューに待機中であれば、印刷を実行します。
3	[印刷再開条件]ボタン	ジョブスキップ機能を有効にしているときにスキップした印刷ジョブを選択した場合、印刷再開条件の画面を表示します。 □ P.31 [[印刷再開条件] 画面] □ P.144 「ジョプスキップ設定」
4	[プライベート印刷ジョブー括削 除] ボタン	アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザアカウントでログインして いる場合に表示されます。 一覧に表示されているすべてのプライベート印刷ジョブを削除します。
5	[ホールド印刷ジョブー括削除] ボ タン	アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザアカウントでログインして いる場合に表示されます。 一覧に表示されているすべてのホールド印刷ジョブを削除します。
6	文書名	印刷ジョブの文書名を表示します。
7	日時	クライアントコンピュータから印刷ジョブを送信した日時を表示します。
8	タイプ	印刷ジョブのタイプを表示します。

	項目名	機能説明
9	状態	印刷ジョブの状態を表示します。
10	用紙サイズ	印刷ジョブに設定された用紙サイズを表示します。
11	ページ数	印刷ジョブの総ページ数を表示します。
12	部数	印刷ジョブの印刷部数を表示します。
13	ユーザ名	印刷ジョブを所有するユーザアカウント名を表示します。
14	ドメイン名	印刷ジョブを所有するユーザアカウントのドメイン名を表示します。

補足

- 印刷を完了したジョブは [ログ] タブに表示されます。
- 該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序でジョブ一覧を並べ替えることができます。

□[印刷再開条件] 画面

印刷再開の条件を表示します。



	項目名	機能説明
1	[閉じる]ボタン	[印刷再開条件]画面を閉じます。
2	中断要因	印刷が中断した要因を表示します。
3	印刷再開条件	印刷を再開するための方法を表示します。
4	用紙サイズ	印刷を中断したジョブに設定されている用紙サイズを表示します。
5	用紙タイプ	印刷を中断したジョブに設定されている用紙タイプを表示します。
6	カセット	印刷を中断したジョブに設定されている給紙方法を表示します。

■ 【ファクス/インターネットファクスジョブ】 項目説明一覧

ファクス/インターネットファクスジョブページには、以下の情報がファクス/インターネットファクスジョブごとに表示されます。



	項目名	機能説明
1	[削除] ボタン	選択したファクスジョブを削除します。
2	受付番号	通信の受付番号を表示します。
3	宛先(名前)	ファクスの宛先の名称を表示します。
4	宛先(電話番号/Eメール)	宛先の電話番号またはEメールアドレスを表示します。
5	日時	ファクス/インターネットファクスジョブを操作した日時を表示します。
6	ページ数	ファクス/インターネットファクスジョブの総ページ数を表示します。
7	時刻指定	ファクス/インターネットファクスジョブの送信予約時間を表示します。
8	状態	ファクス/インターネットファクスジョブの状態を表示します。
9	ユーザ名	ファクス/インターネットファクスジョブを所有するユーザアカウント名を表示します。
10	ドメイン名	ファクス/インターネットファクスジョブを所有するユーザアカウントのドメイン名を表 示します。

補足

- 送信を完了したジョブは [ログ] タブに表示されます。
- 該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序でジョブ一覧を並べ替えることができます。

■ [スキャンジョブ] 項目説明一覧

スキャンジョブページには、以下の情報がスキャンジョブごとに表示されます。



	項目名	機能説明
1	[削除] ボタン	選択したスキャンジョブを削除します。
2	宛先(名前)	Eメール送信されるスキャン文書の宛先(名前)を表示します。
3	宛先(Eメール)	Eメール送信されるスキャン文書の宛先(Eメールアドレス)を表示します。
4	ファイル名	共有フォルダかUSBに保管またはファイリングボックスに保管のスキャン文書の場合は、 ファイル名を表示します。
5	エージェント	スキャンジョプのエージェントを表示します。
6	日時	スキャンジョブが本機の操作パネルから送信された日時を表示します。
7	ページ数	スキャンジョブの総ページ数を表示します。
8	状態	スキャンジョブの状態を表示します。
9	ユーザ名	スキャンジョブを所有するユーザアカウント名を表示します。
10	ドメイン名	スキャンジョブを所有するユーザアカウントのドメイン名を表示します。

補足

- スキャンを完了したジョブは [ログ] タブに表示されます。
- 該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序でジョブ一覧を並べ替えることができます。

[ジョブ] 設定/操作方法

- □ P.34 「ジョブを表示する」
- □ P.35 「ジョブを削除する」
- □ P.35 「プライベート印刷ジョブとホールド印刷ジョブを削除する」
- □ P.36 「印刷ジョブを実行する」
- □ P.36 「印刷再開条件を確認する」

■ ジョブを表示する

1 [ジョブ] タブをクリックし、[印刷]、[ファクス/インターネットファクス]、[スキャン] のいずれかのメニューをクリックします。

ジョブページが表示されます。

2 ジョブ一覧にジョブが表示されていない場合は、ページの右上にある [更新] をクリックします。



各ジョブの表示項目の詳細は、以下を参照してください。
□ P.30 「[印刷ジョブ] 項目説明一覧」
□ P.32 「[ファクス/インターネットファクスジョブ] 項目説明一覧」
□ P.33 「[スキャンジョブ] 項目説明一覧」

補足

完了したジョブは[ログ]タブに表示されます。
■ ジョブを削除する

1 [ジョブ] タブをクリックし、[印刷]、[ファクス/インターネットファクス]、[スキャン] のいずれかのメニューをクリックします。

ジョブページが表示されます。

2 削除したいジョブの横のチェックボックスをチェックします。

pAccess								<u>ファイリングボ・</u> ログ
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ				
印刷	ファクス/インターネット	<u>ファクス</u>	<u>スキャン</u>					
印刷ジョブ					0	,		
削除「リリース」	印刷再開条件				<u>æ</u>	<u>1</u>		
<u>削除</u> リリース ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	印刷再開条件		扰酸	用紙サイズ	更 ページ数	部粒	コーザ名	
削除 リリース	印刷再開条件 ▼日時 2011/01/19 14:36:25	<u>タイプ</u> 印刷	状態 スキップ	用紙サイズ A4	更 ページ数 13	·新 部数 1	<u>ユーザ名</u> p5002ttd	
削除 リリース ▼ 文書名 ▼ ample.pdf	印刷再開条件 2011/01/19 14:36:25 2011/01/19 13:49.02	<u>タイプ</u> En刷 En刷	状態 スキップ 通常印刷	用紙サイズ A4 A4	更 ページ数 13 3	新 部数 1 1	<u>ユーザ名</u> p5002ttd	-
削除、リリース マ 文書名 マ ample.pdf ample.pdf ample.pdf	印刷再開条件 2011/01/1914.36.25 2011/01/1913.48.02 2011/01/1913.48.04	<u>タイプ</u> ED時 ED時 ED時	状態 スキップ 通常印刷 通常印刷	用紙サイズ A4 A4 A4	 マージ数 13 3 5 	部数 1 1 1	<u>ユーザ名</u> p5002ttd p5002ttd p5002ttd	

3 [削除] をクリックします。

選択したジョブが削除されます。

注 意

削除を確認するには、ページ右上にある[更新]をクリックしてください。

■ プライベート印刷ジョブとホールド印刷ジョブを削除する

アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザアカウントでログインしている場合、プライベート印刷 ジョブとホールド印刷ジョブを削除できます。

▲ 【ジョブ】タブをクリックし、【印刷】 メニューをクリックします。

印刷ジョブページが表示されます。

2 [プライベート印刷ジョブー括削除] ボタンまたは [ホールド印刷ジョブー括削除] ボタン をクリックします。

プライベート印刷ジョブまたはホールド印刷ジョブが削除されます。

Top	Access									<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
	送 S	ョブ	П <i>У</i>	登録	カウン	2	ユーザ管理	管理者		
1	12	ァクス/インターネットファ	2ス	<u>スキャン</u>						
ED)	剥ジョブ						♀ 更新			
间即	余」 リリース 「印刷再	開条件 プラ	イベート印刷ジョブ一括前		ホールド印	制ジョブ 一括剤				
~	<u>文書名</u>	▼ <u>日時</u>	<u>2-17</u>	状態	用紙サイズ	ページ数	部数	<u>ユーザ名</u>	<u>EXT28</u>	
	Sample.pdf	2011/01/19 14:36:25	印刷	スキップ	A4	13	1	p5002ttd		
	Sample.pdf	2011/01/19 13:49:02	印刷	通常印刷	A4	8	1	p5002ttd		
	Sample.pdf	2011/01/19 13:48:04	印刷	通常印刷	A4	5	1	p5002ttd		
	Sample.pdf	2011/01/19 13:47:00	印刷	通常印刷	A4	20	1	p5002ttd		
<u></u>	<-ジの先題へ									

注 意

すべてのプライベート印刷ジョブ、ホールド印刷ジョブを削除するには時間がかかる場合があります。

■印刷ジョブを実行する

印刷キューに待機中の印刷ジョブの印刷を実行します。

注意

プライベート印刷ジョブとホールド印刷ジョブはTopAccessから印刷を実行できません。

- **1** [ジョブ] タブをクリックし、[印刷] メニューをクリックします。 印刷ジョブページが表示されます。
- 2 印刷を実行したい印刷ジョブの横のチェックボックスをチェックします。

PNO	ccess											<u>ファイリング</u>
装置	:	ジョブ		ログ		登録	カウン:	Ż				
印刷	1	<u>ファクス/-</u>	レターネットファ	<u>דלק</u>	1	スキャン						
印刷シ	ジョブ								¢.			
削除	リリース	印刷再開条件							32.891			
削除	リリース	印刷再開条件							<u>32.41</u>			
削除 1 文言	リリース :書名	印刷再開条件 日刷再開条件		212		状態	用紙サイズ	ページ数	部数	<u>ユーザ名</u>	134 <u>08</u>	
削除 文 an	リリース 書名 ample.pdf	印刷再開条件 1日時 2011/01	19 14:36:25	<u>タイプ</u> 予約印刷		状態 スケジュール	用紙サイズ A4	ページ数 13	<u>部数</u> 1	<u>ユーザ名</u> p5002ttd	EXT28	
	リリース 書名 imple.pdf	印刷再開条件 1000000000000000000000000000000000000	M9 14:36:25 M9 13:49:02	タイブ 予約印刷 印刷		状態 スケジュール 通常印刷	用紙サイズ A4 A4	ページ数 13 8	E部数 1 1	<u>ユーザ名</u> p5002ttd p5002ttd	<u>EXC28</u>	
削除 v 文i v an n an	リリース 書名 imple.pdf imple.pdf imple.pdf	印刷再開条件 2011/01. 2011/01. 2011/01.	19 14:36:25 19 13:49:02 19 13:48:04	タイプ 予約印刷 印刷 印刷		状態 スケジュール 通常印刷 通常印刷	用紙サイズ A4 A4 A4	ページ数 13 5	部数 1 1 1	<u>ユーザ名</u> p5002ttd p5002ttd p5002ttd		-

3 [リリース] をクリックします。

印刷ジョブの印刷を直ちに実行します。

■ 印刷再開条件を確認する

ジョブスキップ機能を有効にしているときにスキップした印刷ジョブを印刷するための条件を確認できます。

補足

ジョブスキップ機能については、以下を参照してください。 □□ P.144 「ジョブスキップ設定」

┩ [ジョブ] タブをクリックし、[印刷] メニューをクリックします。

印刷ジョブページが表示されます。

2 ジョブの状態にスキップと表示されている印刷ジョブの横のチェックボックスをチェックします。

^{装置} 印刷 I 印刷ジョブ	ジョブ ファクス/インターネットフォ	ログ 222 I	登録 <u>スキャン</u>	カウン:	3				
^{印刷} 印刷ジョブ	ファクス/インターネットファ	-2Z I	スキャン						
印刷ジョブ									
						<u>0</u>			
▲ 文書名	▼且時	212	状態	用紙サイズ	ページ数	部数	<u>ユーザ名</u>	15×124	1
ample.pdf	2011/01/19 14:36:25	印刷	スキップ	A4	13	1	p5002ttd]
Die.pdf	2011/01/19 13:49:02	印刷	通常印刷	A4	8	1	p5002ttd		1
ample.pdf	2011/01/19 13:48:04	印刷	通常印刷	A4	5	1	p5002ttd		1
ample.pdf	2011/01/19 13:47:00	印刷	通常印刷	A4	20	1	p5002ttd		1

3 [印刷再開条件] をクリックします。

印刷再開のための条件を表示します。

4

[ログ] タブ

ユーザは、TopAccessを使用して印刷ログや送受信ジャーナル、スキャンログを表示することができます。

【ログ】タブの概要説明	
[ログ閲覧] 項目説明一覧	
[ログのエクスポート]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	44
[ログ設定]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	45
[ログ] 設定/操作方法	
ログを表示する	46
ログをエクスポートする	47

[ログ] タブの概要説明

ジョブの履歴を確認することができます。

補足

各ログは新しい順に最大100件まで表示されます。1000件までのログは、ログをエクスポートすることで確認できま す。また、1000件を超えたログについては、古いものから削除されます。

□ P.38 [[ログ閲覧] 項目説明一覧」

- □ P.44 [[ログのエクスポート] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」
- □ P.45 [[ログ設定] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」

■ [ログ閲覧] 項目説明一覧

- □ P.38 「印刷ログ」
- □ P.39 「送信管理記録」
- □ P.40 「受信管理記録」
- □ P.41 「スキャンログ」
- □ P.43 「メッセージログ <アクセスポリシーモード>」

🗌 印刷ログ

印刷ログページには、以下の情報が印刷ログごとに表示されます。

DDVCCe	255													<u>771</u>	リングボ・ ログ:	<u>ック:</u> アウ
装置	ジョブ	口グ		登録		力さ	レダ	יב	ーザ管理	£		管理者	ć			
ログ閲覧	<u>ログのエクスボート</u>	<u>口グ設定</u>														
印刷ログ	r						ß									
印刷ログ 🦉	信管理記録 受信管理記録	スキャンログ メッセーシ	ねグ													
<u>文書名</u>			T	時	2	12	用紙サ	イズペー	ジ数	部数	<u>結果</u>	1-	<u>ザ名</u>	EX	<u>() 8</u>	
<u>文書名</u>			2011	<u>時</u> 01/17 11:03:55	夕 ゴ	(<u>1</u>	用紙サ A4	イズ ペー 1	·ジ数	部数 1	<u>結果</u> 0	<u> </u>	· <u>ザ名</u>	EX	<u>()名</u>	
<u>文書名</u>			2011 2011	時 01/17 11:03:55 01/17 11:03:42	夕 ゴ ゴ	12 	用紙サ A4 A3	イズ ペー 1 1	·ジ数	部数 1 1	<u>結果</u> 0 0	<u></u>	<u>ザ名</u>	EX	<u>()名</u>	
<u>文書名</u> 佐 佐 木、運輸:	2011/01/14		2011 2011 2011	時 01/17 11:03:55 01/17 11:03:42 01/17 11:03:12	<u>タ</u> ゴ ゴ 通	イブ 	用紙サ A4 A3 A4	イズ ペー 1 1 2	·ジ数	部数 1 1 1	結 <u>果</u> 0 0	 p500	<u>ザ名</u> #ttd	E¥	()名	
<u>文書名</u> 佐 17b.pdf	2011/01/14		2011 2011 2011 2011	時 01/17 11:03:55 01/17 11:03:42 01/17 11:03:12 01/17 10:20:31	タ ゴゴ 通 通	イブ - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	用紙サ A4 A3 A4 A4 A4	イズ ペー 1 1 2 1	·ジ数	部数 1 1 1 1	結果 0 0 0	2 p500 zd07	· <u>ザ名</u> #ttd	EX.	<u>()名</u>	
<u>文書名</u> 佐本、運輸: 11(17b.pdf AS 4178 ソフ	2011/01/14 トウェア購入計画提案決定書×	ls	2011 2011 2011 2011 2011 2011	時 11/17 11:03:55 11/17 11:03:42 11/17 11:03:12 11/17 10:20:31 11/17 10:20:19	タ ゴ ゴ 通 通	イブ - 近印刷 近印刷	用紙サ A4 A3 A4 A4 A4 A4	イズ ペー 1 1 2 1 1	·ジ数	部数 1 1 1 1 1	結果 000000000000000000000000000000000000	2 p500 zd0'	ザ名 ttd i7te		<u>()名</u> 	
<u>文書名</u> 佐本、週報: 11(17b.pdf AS -417B ソフ 講演書_1	2011/01/14 2011/01/14 小ウェア購入計画提案決定書 x 10117_FM_Al_Actro_PSEL.xis	lş	2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011	時 11/17 11:03:55 11/17 11:03:42 11/17 11:03:12 11/17 10:20:31 11/17 10:20:19 11/17 10:18:10	タ ゴゴ通 通 通	イブ 一 近印刷 近印刷 近印刷 近印刷	用紙サ A4 A3 A4 A4 A4 A4 A4	イズ ペー 1 2 1 1 1 1	·ジ数	部数	結果 000000000000000000000000000000000000	2 p500 zd0' zd0' zd0'	ザ名 ttd 7te 7te		<u>()名</u>	
文書名 佐 17b.pdf AS 417Bソフ 購 請求書_1 請求書_1	2011/01/14 ドウェア購入計画提案決定書× 10117_FM_AL_Acro_PSEL.xls 10117_Al.xls	ls	2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011	時 11/17 11:03:55 11/17 11:03:42 11/17 11:03:12 11/17 11:03:12 11/17 10:20:31 11/17 10:20:19 11/17 10:18:10 11/17 10:18:06	タ ゴ ゴ 通 通 通 通 通	イブ 「 「 「 印刷 「 印 一 の の の 日 の の の の の の の の の の の の の	用紙サ A4 A3 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4	イズ ペー 1 2 1 1 1 1 1 1	·ジ数	部数	結果	2 p500 zd0' zd0' zd0' zd0' zd0'	ザ名 ttd i7te i7te i7te			
文書名 佐 木、運輸: 11(17b.pdf AS 417Bソフ 購 請求書_1 経 使用间書	2011/01/14 トウェア購入計画提案決定書× 10117_FM_AL_Acro_PSEL.xls 10117_Al.xls :110117_FM_AL_Acro_PSEL.xls	ls	2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011	時 11/17 11:03:55 11/17 11:03:42 11/17 11:03:12 11/17 10:20:19 11/17 10:18:10 11/17 10:18:06 11/17 10:17:47	タ ゴ ゴ 通 通 通 通 通 通	 「二」 「印刷」 「印刷」 「印刷」 「印刷」 「印刷」 「印刷」 「印刷」 「印刷」 「印刷」 	用紙サ A4 A3 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4	イズ ペー 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- ジ数	部数 1 1 1 1 1 1 1 1	結果	2 p500 zd0' zd0' zd0' zd0' zd0'	ザ名 tttd i7te i7te i7te i7te		<u>(</u>)名 	
文書名 佐 木、週報: AS 4178 ソン 篇 請求書_1 語 請求書_1 経 使用间書 AV 5_TLP_sul	2011/01/14 トウェア購入計画提案決定書× 10117_FM_AL_Acro_PSEL.xls 10117_FM_AL_Acro_PSEL.xls 10117_FM_AL_Acro_PSEL.xls Secription_7.pdf	ls	2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011	時 11.47 11:03:55 11.47 11:03:42 11.47 11:03:12 11.47 10:20:13 11.47 10:20:13 11.47 10:20:13 11.47 10:18:06 11.47 10:18:06 11.47 10:16:26	2.コゴ通通通通通通	 「二」 「印刷」 	用紙サ A4 A3 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4	イズ ペー 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	- ジ教	部数	結里 000000000000000000000000000000000000	2 p500 zd0' zd0' zd0' zd0' zd0' zd0'	ザ名 ttd i7te i7te i7te i7te i7te	EX	<u>()名</u> 	
<u>文書名</u> 佐 木、週報: 11(17b.pdf AS 4/17Bソフ 購請求書_1 経 使用间書 AV 5_TLP_sul AS 4/17Bソフ	2011/01/14 トウェア購入計画提案決定書:× 10117_FM_AL_Acro_PSEL.xis 10117_FM_AL_Acro_PSEL.xis is10117_FM_AL_Acro_PSEL.xis iscription_7.pdf トウェア購入計画提案決定書:×	IS IS	2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011 2011	時 D1A7 11:03:55 D1A7 11:03:42 D1A7 11:02:031 D1A7 10:20:19 D1A7 10:20:19 D1A7 10:18:10 D1A7 10:18:06 D1A7 10:16:26 D1A7 10:15:56	2 ゴゴ通通通通通通通	イブ - - - - - - - - - - - - -	用紙サ A4 A3 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4 A4	イズ ペー 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	·ジ数	部数	結里	2 p500 zd0' zd0' zd0' zd0' zd0' zd0' zd0' zd0' zd0'	<u>ザ名</u> ttd i7te i7te i7te i7te i7te i7te			

	項目名	機能説明
1	文書名	印刷ジョブの文書名を表示します。
2	日時	クライアントコンピュータから印刷ジョブを送信した日時を表示します。
3	タイプ	印刷ジョブのタイプを表示します。
4	用紙サイズ	印刷ジョブに使用する用紙サイズを表示します。
5	ページ数	印刷ジョブの総ページ数を表示します。
6	部数	印刷ジョブの印刷部数を表示します。
7	結果	印刷ログの結果を表示します。
8	ユーザ名	印刷ジョブを所有していたユーザアカウント名を表示します。
9	ドメイン名	印刷ジョブを所有していたユーザアカウントのドメイン名を表示します。

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序でログ一覧を並べ替えることができます。

□ 送信管理記録

送信管理記録ページには、以下の情報が送信ジャーナルごとに表示されます。



	項目名	機能説明
1	番号	ログの通番を表示します。
2	受付番号	通信の受付番号を表示します。
3	日時	ファクス/インターネットファクスを操作した時間を表示します。
4	通信時間	送信に要した時間を表示します。1時間以上の場合は、「59:59」と表示します。
5	ページ数	送信ジョブの総ページ数を表示します。
6	宛先(名前)	送信ジョブの宛先の名称を表示します。
7	宛先(電話番号/Eメール)	送信ジョブの宛先ファクス番号またはEメールアドレスを表示します。
8	部門	部門管理機能が有効な場合、部門番号を表示します。
9	モード	送信モード*を表示します。
10	結果	送信結果を表示します。
11	回線	使用回線を表示します。
12	ユーザ名	送信ジョブを所有していたユーザアカウント名を表示します。
13	ドメイン名	送信ジョブを所有していたユーザアカウントのドメイン名を表示します。

* 送信モードは、2桁のアルファベットと3桁の数字、最大4桁の補足記号によって表示されます。 例:EC 603

2桁アルファベット 通信モード	3桁目 伝送速度(bps)	2桁目 解像度(pels/mm)	1桁目 符号化方式	最大4桁 補足記号
EC:ECM通信	0:2400	0:8x3.85	0 : MH	P:ポーリング通信
G3:G3通信	1:4800	1:8x7.7	1 : MR	SB:Fコード通信
ML:メール通信	2:7200	2:8x15.4	2:MMR	SR/R:Fコード中継同報通信
	3:9600	4:16x15.4	3 : JBIG	SF/F:Fコード転送通信
	4:12000	8:300dpi		ML:インターネットファクス通信
	5:14400	B : 600dpi		I:N/W-Fax通信
	6 : V.34	D:150dpi		○:オフランプゲートウェイ通信

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で送信ジャーナル一覧を並べ替えることがで きます。

□ 受信管理記録

受信管理記録ページには、以下の情報が受信ジャーナルごとに表示されます。



	項目名	機能説明
1	番号	ログの通番を表示します。
2	受付番号	通信の受付番号を表示します。
3	日時	受信を開始した日時を表示します。
4	通信時間	受信に要した時間を表示します。1時間以上の場合は、「59:59」と表示されます。
5	ページ数	受信ジョブの総ページ数を表示します。
6	送信者名	受信ジョブの送信者の名称を表示します。
7	相手先(電話番号/Eメール)	受信ジョブの送信者のファクス番号またはEメールアドレスを表示します。
8	部門	部門管理が有効な場合、部門番号を表示します。
9	モード	受信モード*を表示します。
10	結果	受信結果を表示します。
11	回線	使用回線を表示します。
12	ユーザ名	受信ジョブを所有していたユーザアカウント名を表示します。
13	ドメイン名	受信ジョブを所有していたユーザアカウントのドメイン名を表示します。

* 受信モードは、2桁のアルファベットと3桁の数字、最大4桁の補足記号によって表示されます。 例:EC 603

2桁アルファベット	3桁目	2桁目	1桁目	最大4桁
通信モード	伝送速度(bps)	解像度(pels/mm)	符号化方式	補足記号
EC:ECM通信 G3:G3通信 ML:メール通信	0:2400 1:4800 2:7200 3:9600 4:12000 5:14400 6:V/34	0 : 8x3.85 1 : 8x7.7 2 : 8x15.4 4 : 16x15.4 8 : 300dpi B : 600dpi D : 150dpi	0 : MH 1 : MR 2 : MMR 3 : JBIG	 P:ポーリング通信 SB:Fコード通信 SR/R:Fコード中継同報通信 SF/F:Fコード転送通信 ML:インターネットファクス通信 I:N/W-Fax通信 O:オンランプゲートウェイ通信

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で受信ジャーナル一覧を並べ替えることがで きます。

🗌 スキャンログ

スキャンログページには、以下の情報がスキャンログごとに表示されます。

								<u>4975</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
ログ閲覧	<u>ログのエクスポート</u>	口グ設定						
スキャンロ	コグ			○ 更新				
 印刷ログ 送(言管理記録 受信管理記録	スキャンログ メッセージ	ログ					
<u>印刷ログ 送(</u>	<u>:管理記録 受信管理記録 </u>	スキャンログ <u>メッセージ</u> [<u>97</u>					
<u>印刷ログ 送(</u> 宛先(名前)	<u>言管理記録</u> 受信管理記録 <u>宛先(Eメール)</u>	スキャンログ <u>メッセージ</u> ファイル名		▼日時 べ	ージ数 モード <u>結果</u>		2	<u>-ザ名 ドメイ</u>
印刷ログ 送(<u>宛先(名前)</u>	<u>言管理記録</u> 受信管理記録 宛先(Eメール)	スキャンログ メッセージ ファイル名 DOC 0115-001.pdf	ログ エージェント 共有: オルダに保管	▼日時 ペ ⁻ 2011)1/15 16:11:39 47	ージ数 モード 結果 ST4 3C = 小	- ローラの共有フォルダに画角	<u>ユ</u> 象が格納されました	-ザ名 ドメイ
印刷ログ 送(宛先(名前)	言管理記録 受信管理記録 宛先(Eメール)	スキャンログ <u>ファイル名</u> DOC DOC 0115-001.pdf 0115-002.pdf	<u>コグ</u> エージェント 共有: 共有: オルダに保管 オルダに保管	▼日時 ペ 2011 J1/15 18:11:39 47 2011 J1/15 18:04:51 62	ージ数 モード 結果 - ST4 3C 日 小 ST4 3C 日 小	- ローラの共有フォルダに画作 ローラの共有フォルダに画作	<u>ユ</u> 象が格納されました 象が格納されました	-ザ2 EX1
印刷ログ 送(宛先(名前)	<u> 吉管理記録</u> <u> 宛先(Eメール)</u> 	スキャンログ メッセージス ファイル名 DOC 0115-001.pdf 015-002.pdf DOC 0115-001.pdf	<u>コグ</u> エージェント 共有: 共有: 共有: オルダに保管 オルダに保管	▼日時 べ 2011 31/15 16:11:39 47 2011 31/15 16:04:51 62 31/15 15:23:54 44	ージ数 モード 結果 ST4 3C = 小 ST4 3C = 小 ST4 3C = 小 ST4 3C = 小	・ローラの共有フォルダに画作 ・ローラの共有フォルダに画作 ・ローラの共有フォルダに画作	<u>ユ</u> 象が格納されました 象が格納されました 象が格納されました	-ザ名 ドメイ
印刷ロジ 送(宛先(名前)	<u> 言管理記録</u> 受信管理記録 宛先(Eメール) 	スキャンログ メッセージ ファイル・名 DOC 0115-001.pdf 00C 0115-002.pdf 00C 0115-001.pdf	エージェント 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 メルダに保管 オルダに保管	マロン・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マン	ージ数 モード 結果 ST4 3C 三 小 ST4 3C 三 小 ST4 3C 三 小 ST4 3C 三 小 ST4 3C 三 小	ローラの共有フォルダに画作 ローラの共有フォルダに画作 ローラの共有フォルダに画作 ローラの共有フォルダに画作	2: 象が格納されました 象が格納されました 象が格納されました 象が格納されました	
印刷 <u>口</u> グ 送 宛先(名前) 	(管理記録) 受信管理記録) 祝先(ミメール) 日本(ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロー・ロ	スキャンログ メッセージス ファイル ス DOC 0115-001.pdf DOC 0115-001.pdf DOC 0115-001.pdf DOC 0115.pdf DOC 0115.pdf	ログ エージェント 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管	●日時 ペ 2011 31/15 16:11:39 47 2011 31/15 16:04:51 62 2011 31/15 15:23:54 44 2011 31/15 13:354:24 2011 31/15 13:354:21 2011 31/15 13:54:21	- ジ数 モード 結果 ST4 3C 三 小 ST4 3C 三 小	ローラの共有フォルダに画面 ローラの共有フォルダに画作 ローラの共有フォルダに画作 ローラの共有フォルダに画師 ローラの共有フォルダに画作	2: 象が格納されました 象が格納されました 象が格納されました 象が格納されました 象が格納されました 象が格納されました	<u>-ザ名 ドメイ</u>
		スキャンログ メッセージス DOC 0115-001.pdf DOC 0115-001.pdf DOC 0115-001.pdf DOC 0115.pdf DOC 0115.pdf DOC 0114-001.pdf	エージェント 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 共有: オルダに保管 大有: オルダに保管 大有: オルダに保管 大有: オルダに保管 大有: オルダに保管	▼目時 ペ 2011 31/15 16:11:39 47 2011 31/15 16:04:51 62 2011 31/15 15:23:54 44 2011 31/15 14:14:05 4 2011 31/15 14:34:25 2011 2011 31/15 14:34:25 2011 2011 31/15 14:04:03 2011	- ジ数 モード 結果 - ジ数 モード 結果 	ローラの共有フォルダに画的 ローラの共有フォルダに画的 ローラの共有フォルダに画的 ローラの共有フォルダに画的 ローラの共有フォルダに画の ローラの共有フォルダに画の	ユ: 象が格納されました 教が格納されました 教が格納されました 教が格納されました 教が格納されました 教が格納されました 教が格納されました	<u>- </u>
印刷ログ 送(宛先(名前) 	会管理記録 受信管理記録 宛先(Eメニル)	スキャンログ メッセージス DOC 0115-001.pdf DOC 0115-002.pdf DOC 0115-002.pdf DOC 0115.pdf DOC 0115.pdf DOC 0115.pdf DOC 0114.pdf DOC 0114.pdf	エージント 共有1 れのに保管 共有1 小のに保管 共有1 小のに保管 共有1 ・ハのに保管 共有1 ・ハのに保管 共有1 ・ハのに保管 共有1 ・ハのに保管 共有1 ・ハのに保管 共有1 ・ハのに保管	▼日時 ペ 2011 3/1/5 16:11:39 47 2011 3/1/5 16:04:39 201 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 15:22:54 44 2011 3/1/5 14:44:05 32 2011 3/1/6 14:64:41 15	- ジ数 モード 結果 - ジ数 モード 結果 - ST4 20 日 小 - ST4 20 日 小	ローラの共有フォルダに画施 ローラの共有フォルダに画施 ローラの共有フォルダに画施 ローラの共有フォルダに画施 ローラの共有フォルダに画施 ローラの共有フォルダに画施 ローラの共有フォルダに画施	ユ 武が格納されました ・・・ 数が格納されました ・・ 数が格納されました ・・ 数が格納されました ・・ 数が格納されました ・・ 数が格納されました ・・ 数が格納されました ・・ プ がが移納されました ・・ プ がが移納されました ・・ がが移納されました ・・	- <u><u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u> - <u>-</u> </u></u>

	項目名	機能説明
1	宛先(名前)	Eメール送信されたスキャン文書の宛先(名前)を表示します。
2	宛先(Eメール)	Eメール送信されたスキャン文書の宛先(Eメールアドレス)を表示します。
3	ファイル名	共有フォルダまたはファイリングボックスに保存されたファイル名が表示されます。 アクセスポリシーにより、表示されない場合があります。
4	エージェント	スキャンジョブのエージェントを表示します。
5	日時	スキャンジョブが本機の操作パネルから送信された日時を表示します。
6	ページ数	スキャンジョブの総ページ数を表示します。
7	モード	送信モードを6文字のコード*で表示します。
8	結果	スキャンジョブの詳細ステータスを表示します。
9	ユーザ名	スキャンジョブを所有していたユーザアカウント名を表示します。
10	ドメイン名	スキャンジョブを所有していたユーザアカウントのドメイン名を表示します。

* 各コードは以下のフォーマットで表示されます。

コードフォーマット:<u>AA B C D E</u>

<u>AA</u> :ジ	ョブタイプを表します。
СА	コピーと共有フォルダに保管
	コピーしなからファイリンクホックスに保管する
СТ	コピーしながらファイリングボックスに保管する(印刷なし)
FS	転送箱通信
FF	ファクス受信転送
FE	インターネットファクス受信転送
ST	スキャンしながら共有フォルダかUSBに保管する
	スキャンしながらファイリングボックスに保管する
	スキャンしながらEメール送信する
FA	ファクスと共有フォルダに保管
PA	印刷とファイリングボックスに保管
PT	印刷しながらファイリングボックスに保管
IA	N/W-Faxと共有フォルダに保管
BE	ファイリングポックスからのEメール送信
RS	リモートスキャン
MS	メタスキャン
EN	メールのレポート通知
<u>B</u> :通信	タイプを表します。

0	ファイリングボックス
1	Eメール (SMTP)
2	FTP
3	SMB
4	ローカルフォルダに保管
5	NetWare IPX/SPX
6	USB
7	NetWare TCP/IP
8	FTPS
9	リモートスキャンまたはWeb Serviceスキャン
<u>C</u> :解像	渡を表します。
0	100 dpi
1	150 dpi
2	200 dpi
3	300 dpi
4	400 dpi
5	600 dpi
А	8x3.85 (line/mm) (203x98)
В	8x7.7 (line/mm) (203x196)
С	8x15.4 (line/mm) (203x391)
D	16x15.4 (line/mm) (400x391)
<u>D</u> :ファ	イル形式を表します。
0	ファイリングボックス
1	TIFF(マルチ)
2	TIFF(シングル)
3	PDF(マルチ)または暗号化PDF(マルチ)
4	JPEG
5	PDF(シングル)または暗号化PDF(シングル)
6	高圧縮PDF(マルチ)
7	高圧縮PDF(シングル)
8	XPS(マルチ)
9	XPS(シングル)
Α	DIB
<u>E</u> :カラ	
В	Black
G	Gray Scale
С	Color
Μ	Mix

注意

WIA (Windows Image Acquisition) ドライバを使用してBMP/JPEG/TIFF/PNGファイル形式でスキャンした場合、ス キャンログ上のファイル形式はDIBになります。

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序でログ一覧を並べ替えることができます。

□ メッセージログ <アクセスポリシーモード>

メッセージログページには、お使いの機種で発生したエラーメッセージが表示されます。

補足

アクセスポリシーモードで、管理権限または表示権限が設定されているユーザアカウントでログインしている場合の み表示されます。

-								ログアウ
装置	ジョブ		ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
ログ閲覧	ログのエクスポー	<u>-</u> Ł 1	口分設定					
メッセージロ	グ				E m			
<u>印刷ログ 送信管理</u>	<u> 記録 受信管理</u>	<u>己録 スキャ</u>]	<u>ンログ</u> メッセージ	ログ				
印刷ログ 送信管理	<u> 記録 受信管理</u>	<u>2録 スキャ)</u>	<u>ンログ</u> メッセージ	ログ				
<u>印刷ログ 送信管理</u>	122録 受信管理: エラーレベリ	2録 <u>スキャ</u>) と <u>メッセー</u>	<u>ンログ</u> メッセージ ジ	ログ	<u>結果</u>	<u>ユーザ名</u>	<u>EX728</u>	1
印刷口グ 送信管理 ▼日時 2011 11/17 13:16:04	<u>エラーレベル</u> 情報	2録 スキャ) レ メッセー 1段E 内	ンログ メッセージ ジ セットが開いています	ロダ - カセットを閉じてください	<u>結果</u> 。 D(1	<u>ユーザ名</u> 	<u> ビメイン名</u>	
<u>印刷ログ</u> 送信管3. 2011 1/17 13:16:04 1/17 13:01:24	<u>エラーレベリ</u> 情報 情報	2録 スキャ メッセー 1段E デバース	シログ メッセージ ジ セットが開いています ()設定を変更しました	ロ グ † - カセットを閉じてください	<u>結果</u> ◦ <u></u> 71 2	<u>ユーザ名</u>		-
日期ログ 送信管3 2011 11/17 13:16:04 2011 11/17 13:16:04 2011 11/17 13:01:24 2011 11/17 12:57:48	<u>エラーレベリ</u> 情報 情報 情報	2録 スキャ レ メッセン 14段E 加 デバース デバース	シログ メッセージ ジ セットが開いています (設定を変更しました (設定を変更しました)	ログ † - カセットを閉じてください	→ D4 71 2 71 2	<u>ユーザ名</u> 		-
印刷ログ 送信管3 マ日時 2011 月/17 13:16:04 2011 月/17 13:16:04 2011 月/17 13:01:24 2011 月/17 12:57:45	<u>エラーレベル</u> 情報 情報 情報 情報 情報	2. メッセン 14段E か デバ、スス デバ、スス デバ、スス デバ、スス デバ、スス アパ、スス アパ アパ、スス アパ アパ アパ、スス アパ	ンログ メッセージ ジ セットが開いています 設定を変更しました 設定を変更しました	ログ † - カセットを閉じてください -	6 日本 7712 7712 7712	<u>ユーザ名</u> 		-
日間ログ 送信管3 マ日時 2011 ガガ7 13:16:04 2011 ガガ7 13:01:24 2011 ガガ7 12:57:45 2011 ガガ7 12:57:45	<u>エラーレベル</u> 情報 情報 情報 情報 情報 情報	2000 スキャン 2000 スキャン 11段E 57 デバススス デバススス デバススス	ンログ メッセージ ジ セットが開いています 設定を変更しました 設定を変更しました 設定を変更しました	ログ ナ - カセットを開じてください -	は で が で は し で 1 2 7 7 2 7 7 2 7 7 2 7 7 2 7 7 2 7 7 2 7 7 2 7 7 2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	<u>ユーザ名</u> 		
日刷ログ 送信管3 2011 用/7 13:16:04 2011 用/7 13:16:04 2011 用/7 12:57:48 2011 用/7 12:57:48 2011 用/7 12:57:41 2011 用/7 12:57:38	<u>エラーレベル</u> 情報 情報 情報 情報 情報 情報 情報	2000 スキャン 2000 スキャン 11段E 575 スス デババスス デババスス デババスス デババスス デババスス	ンログ メッセージ) ジ セットが開いています 設定を変更しました 設定を変更しました 設定を変更しました 設定を変更しました 設定を変更しました	ログ 「- カセットを開いてください 		<u>2</u> -ザ名 		
日期ログ 送信管3 マ日時 2011	<u> またが</u> 安信管理 ま エラーレベル 「情報	2株 スキャン 2株 メッセン 1級E 加 デパ、スス ・	ンログ メッセージ ジ セットが開いています 設定を変更しました 設定を変更しました 設定を変更しました 設定を変更しました 設定を変更しました	ログ - カセットを開いてください 		<u>2-ザ名</u> 		
日朝ログ 送信管部 マロ時 Z011 14/7 13.16.04 2011 14/7 13.07.24 2011 14/7 12.57.45 2011 14/7 12.57.45 2011 14/7 12.57.43 2011 14/7 12.57.38 2011 14/5 12.57.38 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.48 2011 14/7 12.57.58 2011 14/7 12.57.58 2011 14/7 12.57.58 2011 14/7 12.57.58 2011 14/7 12.57.58 2011 14/7 12.57.58 2	記録 受信管理書 エラーレージー 情報程	2株 スキャン 2株 メッセン 14段E デバ・スススス ・	シログ メッセージ) シン セッドが開いています 認定を変更しました 認定を変更しました 認定を変更しました 認定を変更しました 認定を変更しました 認定を変更しました 認定を変更しました	ログ - カセットを開いてください - - - - - - - - - - - - -	はまました はまました は、 は、	ユーザ名 -		

	項目名	機能説明
1	日時	エラーが発生した日時を表示します。
2	エラーレベル	エラーのレベルを表示します。
3	メッセージ	メッセージがある場合に表示します。
4	結果	エラーコードを表示します。
5	ユーザ名	メッセージに関係するユーザアカウント名を表示します。
6	ドメイン名	メッセージに関係するユーザアカウントのドメイン名を表示します。

■ [ログのエクスポート] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

ログを消去、またはファイルとしてエクスポートできます。

補足

- アクセスポリシーモードで、管理権限または表示権限が設定されているユーザアカウントでログインしている場合のみ表示されます。
- エクスポートデータのファイル形式はCSV形式またはXML形式となります。初期値は [CSV] に設定されています。

	ΤορΛα	55					<u>ファイリングボックス</u> ログアウ
	装置	∛ ∃ ಶ	口グ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
	口グ閲覧	ログのエクスポート	ログ設定				
	ログのエク	フスポート				良新	
	— 印刷ログ					-	
	ファイル名 ファイルサイズ 作成日時		ファイルを作成していません				
	エクスポートデー	タのファイル形式	🖲 CSV 🔘 XML				
					ログクリア 新規	作成	
- i	送信管理記録		A shall be an in the s				
	ファイル名 ファイルサイズ 作成日時		ファイルを作成していません				
	エクスポートデー	-タのファイル形式	◉ CSV © XML		ログクリア 新規・	作成	
	一 受信管理記錄		de telle lie and terres				
	ファイル名 ファイルサイズ 作成日時		ファイルを作成していません				
	エクスポートデー	-タのファイル形式	🖲 CSV 🔘 XML		「ログクリマ」「新相	Neptt	
	24.008					17743	
	スキャンロン ファイル名 ファイルサイズ 作成日時		ファイルを作成していません				
	エクスポートデー	-タのファイル形式	◉ CSV © XML		「ログクリア」「新規・	作成	
	メッセージログ						
	ファイル名 ファイルサイズ 作成日時		ファイルを作成していません				
	エクスポートデー	-タのファイル形式	◉ CSV [©] XML		「ログクリア」「新規・	作成	

	項目名	機能説明
1	印刷ログ	印刷ログを消去またはファイルとしてエクスポート(ダウンロード)できます。
		ログクリア :ログを消去します。
		新規作成 :エクスポートデータのファイル形式に従ってファイルを作成します。
		作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。
2	送信管理記録	送信管理記録を消去またはファイルとしてエクスポート(ダウンロード)できます。
		ログクリア :ログを消去します。
		新規作成 :エクスポートデータのファイル形式に従ってファイルを作成します。
		作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。
3	受信管理記録	 受信管理記録を消去またはファイルとしてエクスポート(ダウンロード)できます。
		ログクリア :ログを消去します。
		新規作成 :エクスポートデータのファイル形式に従ってファイルを作成します。
		作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。
4	スキャンログ	スキャンログを消去またはファイルとしてエクスポート(ダウンロード)できます。
		ログクリア :ログを消去します。
		新規作成 :エクスポートデータのファイル形式に従ってファイルを作成します。
		作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。
5	メッセージログ	メッセージログを消去またはファイルとしてエクスポート(ダウンロード)できます。
		ログクリア :ログを消去します。
		新規作成 :エクスポートデータのファイル形式に従ってファイルを作成します。
		作成したファイルをクリックすることで表示またはダウンロードできます。

■ 【ログ設定】項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

□ P.45 「ログ認証」□ P.45 「ログサイズ」

補足

アクセスポリシーモードで、管理権限または表示権限が設定されているユーザアカウントでログインしている場合の み表示されます。

🗌 ログ認証

ログ認証を使用するか設定します。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	ログ認証の設定内容を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	設定を中止します。
3	ログ認証使用	ログ認証の使用を設定します。 ログ認証を有効にすると、ユーザのログ表示をアクセスポリシーに従って制限します。 • 有効:ログ認証を有効にします。アクセスポリシーに従って表示が制限されます。 • 無効:ログ認証を無効にします。すべてのユーザのログが表示されます。

🗌 ログサイズ

ログに記録されているサイズを表示します。

ログサイズ			
	5 %		
送信管理記録 受信管理記録	0% 0%		
	0 % 2 %		

	項目名	機能説明
1	印刷ログ	印刷ジョブのログサイズを表示します。
2	送信管理記録	送信ジャーナルのログサイズを表示します。
3	受信管理記録	受信ジャーナルのログサイズを表示します。
4	スキャンログ	スキャンジョブのログサイズを表示します。
5	メッセージログ	メッセージログのログサイズを表示します。

[ログ] 設定/操作方法

□ P.46 「ログを表示する」□ P.47 「ログをエクスポートする」

■ ログを表示する

補足

本機で実行したジョブのログを表示することができます。各ログは新しい順に最大100件まで表示されます。100件を 超えると古いものから削除されます。

- **1** [ログ] タブをクリックし、[ログ閲覧] メニューをクリックします。
- **2** [印刷ログ]、[送信管理記録]、[受信管理記録]、[スキャンログ]、[メッセージログ] のい ずれかをクリックします。

ログページが表示されます。

3 ページ右上にある [更新] をクリックし、ログ情報を更新します。

TopAccess	;									<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウン	\$	ユーザ管理	里		管理者	
ログ閲覧	ログのエクスポート	口グ設定								
印刷ログ 印刷ログ 送信管	理記錄 受信管理記錄	<u>スキャンログ</u> メッセージ	<u>97</u>							
<u>文書名</u>			<u>▼日時</u>	<u>21</u> 2	用紙サイズ	ページ数	部数	<u>結果</u>	ユーザ名	EXTURE
			2011/01/17 11:03:55	שציי	A4	1	1	ок		
			2011/01/17 11:03:42	コピー	A3	1	1	ок		
佐々木、運報:2011.	/01/14		2011/01/17 11:03:12	通常印刷	A4	2	1	ок	p5002ttd	
110117b.pdf			2011/01/17 10:20:31	通常印刷	A4	1	1	OK	zd0167te	
AS2-4178 ソフトウェ	ア購入計画提案決定書.×!	s	2011/01/17 10:20:19	通常印刷	A4	1	1	ок	zd0167te	
購買請求書_110117	7_FM_AI_Acro_PSEL.xls		2011/01/17 10:18:10	通常印刷	A4	1	1	ок	zd0167te	

補足

該当する表見出しをクリックすると、ページが更新され、指定した順序で一覧を並べ替えることができます。

■ ログをエクスポートする

ログをエクスポートするには、アクセスポリシーモードでログインする必要があります。 エクスポートできるログについては、以下を参照してください。 □ P.44 「[ログのエクスポート] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」

1 アクセスポリシーモードでログインします。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

2 [ログ] タブをクリックし、[ログのエクスポート] メニューをクリックします。

pAccess					<u>ファイリングボッ ログァ</u>
装置 ジョブ	^Ц	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
ログ閲覧 ログのエクスポート					
ログのエクスポート	v ¹ 2			会 新	
的刷口芍				_	
ファイル名 ファイルサイズ 作成日時	ファイルを作成していません				
エクスポートデータのファイル形式	CSV O XML				
			ログクリア 新規作	乍成	
送信管理記録					
ファイル名 ファイルサイズ 作成日時	ファイルを作成していません				
エクスポートデータのファイル形式	◉ CSV ◯ XML		ログクリア 新規住	乍成	
受信管理記錄					
ファイル名 ファイルサイズ 作成日時	ファイルを作成していません				
エクスポートデータのファイル形式	I CSV 💿 XML		ログクリア 新規作	乍成	
スキャンログ					
ファイル名 ファイルサイズ 作成日時	ファイルを作成していません				
エクスポートデータのファイル形式	◉ CSV ⊚ XML		ログクリア 新規住	乍成	
メッセージログ					
ファイル名 ファイルサイズ 作成日時	ファイルを作成していません				
エクスボートデータのファイル形式	◉ CSV ◎ XML		「ログクリア」「新規住	乍成	

- **3** エクスポートするログのファイル形式(CSV/XML)を選択します。
- **4** エクスポートするログの [新規作成] ボタンをクリックしてファイルを作成します。
- 5 ファイルをクリックして、表示されるメッセージに従ってエクスポートします。

5

[登録] タブ

このセクションでは、テンプレートやアドレス帳、中継箱の登録方法について説明します。

【登録】 タフの概要説明	
[テンプレート]項目説明一覧	
[アドレス帳]項目説明一覧	77
[Fコード/ファクス受信転送(振分け)]項目説明一覧	83
[登録] 設定/操作方法	
【登録】設定/操作方法	
[登録] 設定/操作方法 テンプレートを管理する アドレス帳を管理する	

[登録] タブの概要説明

テンプレート、アドレス帳、Fコード/ファクス受信転送の登録ができます。

□ P.50 「[テンプレート] 項目説明一覧」
 □ P.77 「[アドレス帳] 項目説明一覧」
 □ P.83 「[Fコード/ファクス受信転送(振分け)] 項目説明一覧」

■ [テンプレート] 項目説明一覧

- □ P.50 [[テンプレートグループ] 画面]
- □ P.53 [[グループ情報] 画面」
- □ P.54 [[プライベートテンプレート] 画面」
- □ P.55 「[グループパスワードの変更] 画面」
- □ P.56 [[テンプレート情報] 画面]
- □ P.57 「プライベートテンプレートの詳細設定」

□ [テンプレートグループ] 画面

テンプレートの登録状況を確認できます。

テンプレートは、お使いの機器の操作パネルから操作できるコピー、ファクス/インターネットファクス、スキャンなどのエージェント設定を保存することができます。ユーザは、操作パネルからコピー、ファクス/インターネットファクス、スキャンを行うときにそのテンプレートを選択して簡単に操作することができるようになります。

テンプレートはグループごとに管理され、1つのグループには、最大60個のテンプレートを保存することができます。 グループは、1つの共有テンプレートグループと最大200個のプライベートテンプレートグループで構成されます。

グループの種類	グループの説明	最大 グループ数	登録 テンプレート数
共有テンプレート グループ	共有テンプレートグループは、アクセスポリシーモードで、管理権限 が設定されているユーザがテンプレートの作成や保守などの管理を 行います。 登録されたテンプレートは、すべてのユーザが利用できます。	1	60
プライベート テンプレート グループ	プライベートテンプレートグループは、ユーザがテンプレートの作成 を行います。ユーザがグループや登録するテンプレートにパスワード を設定することができるため、使用を制限することができます。なお、 パスワードが設定されていないグループやテンプレートは、すべての ユーザが利用できます。	200	60

共有テンプレートグループ

	ess				<u>ファイリングボッ</u> ログ
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレー	ト <u>アドレス帳</u>				
テンプレ テンプレー	ィー トグループ トグループまたはテン	ノブレートボタンを作成,	/編集するには下の)デンプレートグルー?	ブを選択して下さい。
共有テンプ 番号 共有	パレートグループ 名称 日テンプレートグル	ユーザ名 レニブ			
全てのグル・	-ブ 定義済みグループ				
·7+·7-1					
001 011 0	01 001 041 061 061 0	71 001 001 101 111 1	21 121 141 161 161	171 101 101	
	21 031 041 051 061 0		21 131 141 151 161	171 101 191	
番号	名称	ユーザ名			
001	Useful Templates				
002	🔒 test	teset			
003		未定義			
004	未定義	未定義			
004	<u>未定義</u> 未定義	<u>未定義</u> 未定義			
004 005 006	未定義 未定義 未定義				
004 005 006 007	未定義 未定義 未定義 未定義	未定義 未定義 未定義 未定義			
004 005 006 007 008	土定義 土定義 土定義 土定義 土定義 土定義 土定義 土定義	志定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義			
004 005 006 007 008 009	未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義	志定嘉 志定嘉 志定嘉 志定嘉 志定嘉 太定嘉 太定嘉			
004 005 006 007 008 009 010	未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義	志定義 志定義 志定義 志定義 志定義 志定義 未定義 未定義			
004 005 006 007 008 009 010 二のペーペブの	未定義	法定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの	未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義	上定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義			
004 005 006 007 008 009 010 - のページの	未定舊 未定舊 未定舊 未定舊 未定舊 未定舊 未定舊 未定舊	未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの	未定蓋	上定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 未定義 上定義 上定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの 番号 011	未定嘉 未定嘉 未定嘉 未定高	未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの 番号 011 012	未定嘉 未定嘉 未定嘉 未定嘉 未定嘉 未定高	未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの 番号 011 011 012 013	未正高	未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの 番号 011 012 013 014	未定嘉	未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの 番号 011 012 013 014 015	未正高	未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの 番号 011 012 013 014 015 016		未定義			
004 005 006 007 008 009 010 このページの 値 11 012 013 014 015 015 016 017	未定意	未定義			
004 005 006 007 009 010 このページの 番号 011 012 013 014 015 018 018	未正高 未正高	未定義			
004 005 006 007 009 010 このページの 番号 011 012 013 014 015 015 017 018 019 019	未定高	未定義 未定義			

	項目名	機能説明
1	番号	共有テンプレートの場合は、番号は"共有"と表示されます。
2	名称	共有テンプレートの場合は、名称は"共有テンプレートグルーブ"と表示されます。 クリックすると登録されているテンプレートを確認することができます。 □ P.95 「共有テンプレートを表示する」
3	ユーザ名	-

補足

共有テンプレートグループのテンプレートは、アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザが作成 し管理します。共有テンプレートグループの登録については、以下の説明を参照してください。 □ P.334 「共有テンプレートを登録する」

プライベートテンプレートグループ



	項目名	機能説明
1	番号	グループ番号が表示されます。
2	名称	グループ名称が表示されます。 すでに登録済みの名称をクリックすると、登録されているテンプレートを確認・編集する ことができます。 □ P.88 「プライベートテンプレートグループを登録・編集する」 [未定義] をクリックすると、テンプレートを登録することができます。 □ P.53 「[グループ情報] 画面」
3	ユーザ名	グループの所有者名が表示されます。 すでに登録済みのユーザ名をクリックすると、登録されているテンプレートを確認・編集 することができます。 □ P.88 「プライベートテンプレートグループを登録・編集する」 [未定義] をクリックすると、テンプレートを登録することができます。 □ P.53 「[グループ情報] 画面」

補足

- 「全てのグループ」/「定義済みグループ」をクリックすることで、プライベートテンプレートグループの表示方法 を変更することができます。
- プライベートテンプレートグループの登録方法、テンプレートの作成方法については、以下の説明を参照してください。
 P.88 「プライベートテンプレートグループを登録・編集する」
 - □ P.91 「テンプレートを登録・編集する」

□ [グループ情報] 画面

新しいプライベートテンプレートグループを登録することができます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力した内容でプライベートテンプレートグループを作成します。 [プライベートテンプレート] 画面が表示され、登録するテンプレートを編集することがで きます。 □ P.54 「[プライベートテンプレート] 画面」
2	[キャンセル] ボタン	設定を中止します。
3	番号	プライベートグループの番号が表示されます。
4	名称	プライベートグループのグループ名を入力します。
5	ユーザ名	プライベートグループの所有者名を入力します。
6	レポート通知	各テンプレートでレポート通知を有効に設定した場合に、初期設定の通知先として表示されるEメールアドレスを入力します。レポート通知を行うかどうかは、テンプレートごとに設定することができます。
7	パスワード	プライベートグループにパスワードを設定する場合にパスワードを入力します。半角の数 字、#、*を含め、20文字まで入力できます。
8	パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。

□ 【プライベートテンプレート】 画面

登録するテンプレートを編集することができます。



グループ情報

	項目名	機能説明
1	[編集] ボタン	プライベートテンプレートグループ情報を編集します。 □ P.53 「[グループ情報] 画面」
2	[パスワード変更] ボタン	プライベートテンプレートグループのパスワードを変更します。 □ P.55 「[グループパスワードの変更] 画面」
3	[リセット] ボタン	プライベートテンプレートグループの登録をリセットします。
4	番号	プライベートグループの番号を表示します。
5	名称	プライベートグループのグループ名を表示します。
6	ユーザ名	プライベートグループの所有者名を表示します。

テンプレートリスト

テンプレートリストを表示します。「パネル表示」/「リスト表示」をクリックすることで、表示方法を変更することができます。

パネル表示



	項目名	機能説明
1	画像	テンプレートのアイコンを表示します。 未定義アイコンをクリックすると、新しいテンプレートを登録することができます。 □ P.53 [[グループ情報] 画面]
2	名称1/名称2	パネル設定で登録した名称を表示します。 🚇 P.57 「パネル設定(プライベートテンプレート)」

リスト表示

CHIPPEN VALGOR		
ジャンプ 1-6 7-12 13-18 19-24 25-3	30 31-36 37-42 43-48 49-54 55-60	
2122 TO THE TOTO TO AT ACT		
テンプレート 1-6		
2 P	コーザ名	T
1 Dcard Copy	未定量	
1 Dcard Copy 2 2in1 S-S ACS		
2 2int S-S ACS 3 ACS ADS Mixed Org		
	上近 玉正蔵 王定義 王定義 未定義	ローレー ローレー ローレー ローレー 大有フォルグに開

	項目名	機能説明	
1	名称	パネル設定で登録した名称を表示します。 □ P.57 「パネル設定(プライベートテンプレート)」 [未定義]をクリックすると、新しいテンプレートを登録することができます。 □ P.53 「[グループ情報]画面」	
2	ユーザ名	パネル設定で登録したユーザ名を表示します。 [未定義]をクリックすると、新しいテンプレートを登録することができます。 □ P.53 「[グループ情報]画面」	
3	エージェント	テンプレートに登録されているエージェントを表示します。 [未定義]をクリックすると、新しいテンプレートを登録することができます。 □ P.53 「[グループ情報]画面」	

□ [グループパスワードの変更] 画面

プライベートテンプレートグループのパスワードを変更できます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	変更したパスワードを保存します。
2	[キャンセル] ボタン	パスワード変更を中止します。
3	旧パスワード	現在使用しているパスワードを入力します。
4	新しいパスワード	新しいパスワードを入力します。
5	パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。

□ [テンプレート情報] 画面

登録するテンプレートを設定します。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	テンプレートの内容を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3	[エージェント設定] ポタン	選択されているエージェントを設定します。 新規にエージェントを設定する場合は、テンプレートの詳細を設定できます。 □ P.57 「プライベートテンプレートの詳細設定」
4	⊐ピ–	原稿のコピーを実行するテンプレートを作成します。原稿をほかの宛先に送信するのと同時にコピーを印刷したいときに、このエージェントを選択します。[共有フォルダに保管] または [ファイリングボックスに保管] エージェントのどちらかと組み合わせてセットアッ プすることができます。
5	ファクス/インターネットファク ス	ファクスやインターネットファクス送信用のテンプレートを作成します。[共有フォルダに 保管] エージェントと組み合わせてセットアップすることができます。
6	スキャン	スキャン用のテンプレートを作成します。[Eメール]、[共有フォルダに保管]、[ファイリ ングボックスに保管] または [USBメディアを使用] のいずれかを選択する必要がありま す。最大2つのエージェントを組み合わせることができます。
7	メタスキャン	メタスキャンオプションをインストールしている場合に有効になります。 メタスキャンオプションのテンプレートを作成します。 詳細については、メタスキャンオプション対応のアプリケーションのベンダーから提供さ れるドキュメントを参照してください。
8	Eメール	Eメールに添付して送付します。
9	共有フォルダに保管	共有フォルダに保存します。
10	ファイリングボックスに保管	ファイリングボックスに保存します。
11	 USBメディアを使用	

□ プライベートテンプレートの詳細設定

テンプレートに登録する詳細を設定できます。 □ P.57「パネル設定(プライベートテンプレート)」 □ P.58「宛先設定(プライベートテンプレート)」 □ P.64「インターネットファクス設定(プライベートテンプレート)」 □ P.64「ファクス設定(プライベートテンプレート)」 □ P.66「Eメール設定(プライベートテンプレート)」 □ P.68「共有フォルダに保管設定(プライベートテンプレート)」 □ P.71「ボックス設定(プライベートテンプレート)」 □ P.72「USB保存設定(プライベートテンプレート)」 □ P.74「スキャン設定(プライベートテンプレート)」 □ P.76「拡張フィールド設定」 □ P.76「拡張フィールド属性」 □ P.76「パスワード設定」

パネル設定(プライベートテンプレート)

パネル設定のページでは、タッチパネル画面にテンプレートアイコンをどのように表示するかを設定します。また、テン プレートの通知機能を設定することができます。

— 画像	
- 名称1	共有FOLDER
- 名称2	に保管
ユーザ名	
自動実行	無効 ▼
	 エラーメッセージを送信する ジョブ売了メッセージを送信する
レポート通知	
	 黒効 ▼ エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する

	項目名	機能説明
1	画像	タッチパネル画面に表示されるアイコンが表示されます。選択したエージェントによって、 アイコンは自動的に指定されます。
2	名称1	タッチパネル画面のアイコンの隣に表示されるテキストを入力します。半角11文字、全角 5文字まで入力できます。
3	名称2	タッチパネル画面のアイコンの隣に表示されるテキストを入力します。半角11文字、全角 5文字まで入力できます。
4	ユーザ名	テンプレートの所有者名を入力します。半角30文字、全角15文字まで入力できます。
5	自動実行	自動スタート機能の有効/無効を選択します。[有効]を選択した場合、タッチパネル上の テンプレートメニューからテンプレートボタンを押すと、[スタート] ボタンや [スキャン] を押さなくても操作が自動的に開始されます。
	注音	

Eメール認証(Eメール送信のユーザ認証設定)とユーザ認証(ユーザ管理設定)のユーザ名またはパスワードが異なる場合、 およびEメール認証のみを実施している場合は、自動実行のテンプレート呼び出し時にも、Eメール認証のユーザ名とパスワー ドの入力が必要です。

6	レポート通知:エラーメッセージを 送信する	エラー発生時に指定したEメールアドレスに通知メッセージを送信します。
7	レポート通知:ジョブ完了メッセー ジを送信する	ジョプ完了時に指定したEメールアドレスに通知メッセージを送信します。

	項目名	機能説明
8	レポート通知:Eメールアドレス	通知メッセージを送信するEメールアドレスを指定します。プライベートグループに設定されたEメールアドレスに送信するか、または送信するEメールアドレスを設定することができます。
	注意	
	レポート通知を設定した場合は、	TopAccessアクセスポリシーモードの [セットアップ] メニューにある [Eメール設定] サ
	ブメニューで、Eメール送信の話	定を必ず行ってください。設定方法については、以下のセクションを参照してください。

宛先設定(プライベートテンプレート)

□ P.232 「Eメール設定をセットアップする」

宛先リストのページでは、ファクスやインターネットファクス、Eメール送信文書を送信する宛先を指定します。 Eメール送信エージェントの宛先を指定するときは、Eメールアドレスのみを使用することができます。 ファクス/インターネットファクスエージェントの宛先を指定するときは、ファクス番号およびEメールアドレスの両方 を使用することができます。

ファクス/インターネットファクスエージェントの場合

宛先設定	
宛先	

Eメール送信エージェントの場合

TO:宛先設定	
TO:宛先	
CC:宛先設定	
CC:宛先	
BCC:宛先設定	
BCC:宛先	
·	

注意

宛先にファクス番号を指定するには、オプションのFAXユニットが本機に装着されている必要があります。

宛先を指定するには、相手先のEメールアドレスやファクス番号を手動で入力したり、アドレス帳から個人やグループを 選択します。また、LDAPサービスを使って検索することもできます。

□ P.59 「宛先を手動で入力する」

- □ P.60 「宛先をアドレス帳から選択する」
- □ P.61 「グループをアドレス帳から選択する」
- □ P.62 「LDAPサーバーを使って宛先を検索する」
- □ P.63 「宛先リストから宛先を削除する」

宛先を手動で入力する

宛先を手動で入力し、宛先リストに追加します。

- 「宛先設定」(ファクス/インターネットファクスエージェントの場合)または [TO: 宛先設定] / [CC: 宛先設定] / [BCC: 宛先設定] (Eメール送信エージェントの場合)をクリックし、宛先リストページを開きます。
- 2 [新規] をクリックします。

 (保存) キャンセル (新規) アドレス模 アドレスグループ一覧 (検索) (別除) ✓ 1 ▼宛先名 <u>宛先</u> 	宛先リスト	
✓ <u>现先名</u> <u>宛先</u>	保存 キャンセル 新規	アドレス帳 アドレスグループ一覧 (検索) 削除
	▼宛先名 √	宛先

宛先情報ページが表示されます。

3 [宛先] ボックスに宛先のEメールアドレスかファクス番号を入力します。

宛先情報	>
0K) キャンセル リセット	
*必須入力 宛先 User001@example.com ⊾	_
Z	

注意

オプションのFAXユニットを装着している場合にのみ、ファクス番号を宛先に指定できます。

▲ [OK] をクリックします。

入力した宛先が宛先リストページに追加されます。

5 複数の宛先を指定する場合は、手順2~4を繰り返します。

補足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □□ P.63 「宛先リストから宛先を削除する」

6 [保存] をクリックします。

宛先リスト		
保存 キャンセル 新規	アドレス帳 アドレスグループ一覧 検索 削除	
· 1 395光名	宛先	
	user01@ifax.com	

宛先設定が保存されます。

宛先をアドレス帳から選択する

本機のアドレス帳から宛先を選択します。

- **1** [宛先設定]をクリックし、宛先リストページを開きます。
- 2 [アドレス帳] をクリックします。

宛先リスト				^
保存 キャンセル	新規 アドレス帳	アドレスグループ一覧	検索 削除	
✓ ▼宛先名	宛先 🗸			

アドレス帳のページが表示されます。

3 Eメール送信またはインターネットファクス送信の宛先を選択する場合は、選択したい宛先の[Eメール] チェックボックスをオンにします。ファクス送信の宛先を選択する場合は、目的の宛先の[ファクス] チェックボックスをオンにします。

7	アドレス帳				
:	グループ 全てのクループ ▼ 通加 キャンセル				
		7-1			
Ľ	= íL	ろう	▼ <u>宛先名</u>	<u> </u>	自局番号
	v	V	FirstName10 LastName10	User10@example.com	901-2345-6789
1	V		FirstName09 LastName09	User09@example.com	890-1234-5678
Ī	v		FirstName08 LastName08	User08@example.com	789-0123-4567
Ī			FirstName07 LastName07	User07@example.com	678-9012-3456
			FirstName06 LastName06	User06@example.com	567-8901-2345
			FirstName05 LastName05	User05@example.com	456-7890-1234
			FirstName04 LastName04	User04@example.com	345-6789-0123
			FirstName03 LastName03	User03@example.com	234-5678-9012
			FirstName02 LastName02	User02@example.com	123-4567-8901
			FirstName01 LastName01	User01@example.com	012-3456-7890
-	0)~~	-70)		-	

注意

- Eメール送信用のテンプレートを作成している場合は、Eメールアドレスの一覧のみ表示されます。
- オプションのFAXユニットを装着している場合にのみ、ファクス番号を宛先に指定できます。

補足

特定のグループの宛先のみを表示する場合は、[グループ] ボックスから目的のグループを選択します。

▲ [追加] をクリックします。

選択した宛先が宛先リストページに追加されます。

補足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □□ P.63 「宛先リストから宛先を削除する」

5 [保存] をクリックします。

宛先リスト		^
保存 キャンセル 新規	アドレス帳 アドレスグループ一覧 検索 削除	
☑ √ 宛先名	<u>宛先</u>	

宛先設定が保存されます。

グループをアドレス帳から選択する

本機のアドレス帳からグループを選択します。

- 1 [宛先設定]をクリックし、宛先リストページを開きます。
- 2 [アドレスグループ一覧] をクリックします。



- アドレスグループ一覧のページが開きます。
- 3 目的の宛先が所属するグループのチェックボックスをオンにします。

アドレスグループ一覧				
(追加) キャンセンル				
az	- 42 11 - 2015 feb			
21-7	▼ <u>2ループ名称</u> GroupName05			
	GroupName04			
	GroupName03			
	GroupName02			
	GroupName01			
	の先頭へ			

4 [追加] をクリックします。

選択したグループのすべての宛先が、宛先リストページに追加されます。

補足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □ P.63 「宛先リストから宛先を削除する」

|--|

宛先リスト		
保存 キャンセル 新規	アドレス帳 アドレスグループー覧 検索 削除	
▶ 10元光名	宛先	1

宛先設定が保存されます。

LDAPサーバーを使って宛先を検索する

登録したLDAPサーバーを使って宛先を検索します。本機のアドレス帳から宛先を検索することもできます。

注意

検索に使用するLDAPサーバーは、アクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザによって登録されている必要があります。

□ P.306 「LDAPサービスを登録する」

- **1** [宛先設定] をクリックし、宛先リストページを開きます。
- 2 [検索] をクリックします。

宛先リスト			
保存 キャンセル	新規 アドレス帳 アドレスグループ一覧	検索削除	
✓ <u>√宛先名</u>	宛先	- V3	

連絡先検索のページが表示されます。

3 [LDAPサーバー名] ボックスで検索するディレクトリサービス名を選択し、検索したい項目 欄に検索文字を入力します。

宛先検索			
検索」キャンセル			
名前及びEメールアドレス、電話番号で検索できます。			
LDAPサーバーネ	LDAP server01 🔻		
*名	FirstName01		
妓生			
Eメールアドレス			
電話番号			
会社名			
部署名			

補足

- [LDAP サーバー名] ボックスから本機モデル名を選択すると、本機のアドレス帳を検索することができます。
- 各項目に入力した文字列を含む宛先が検索されます。
- 空欄にした項目は無視され、入力した項目だけを用いて検索します。ただし、最低1つのボックスには情報 を入力する必要があります。

▲ [検索] をクリックします。

LDAPサーバーを使った宛先の検索を開始します。検索を終了すると、検索結果が検索結果リストページに表示されます。

5 Eメール送信またはインターネットファクス送信の宛先を選択する場合は、選択したい宛先の[Eメール] チェックボックスをオンにします。ファクス送信の宛先を選択する場合は、 目的の宛先の[ファクス] チェックボックスをオンにします。

検索結果リスト		
道加 キャンセル		
트 <u>김, 곳</u> 록, ▼ 名称	<u> Eメールアドレス</u>	自局番号
FirstName01 LastName01	User01@example.com	012-3456-7890

注 意

- オプションのFAXユニットを装着している場合にのみ、ファクス番号を宛先に指定できます。
- [company (会社名)] [department (部門名)] の値はアクセスポリシーモードで、管理権限が設定されて いるユーザの設定に依存します。

6 [追加] をクリックします。

選択した宛先が宛先リストページに追加されます。

補足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □□ P.63 「宛先リストから宛先を削除する」

7 [保存] をクリックします。

宛先リスト	
保存 キャンセル 新規 アドレス帳 アドレスグルーブー覧 検索 削除	
☑ 〒元先名 宛先	

宛先設定が保存されます。

宛先リストから宛先を削除する

1 [宛先設定]をクリックし、宛先リストページを開きます。

2 宛先リストから削除したい宛先のチェックボックスをオンにし、[削除]をクリックします。

存しキャンセルし「新規	& アドレス帳 アドレスグループ一覧 横索 前除	
	宛先 くない 2	
rstName10 LastName10	User10@example.com	
rstName09 LastName09	User09@example.com	
rstName08 LastName08	User08@example.com	

選択された宛先が宛先リストから削除されます。

インターネットファクス設定(プライベートテンプレート)

インターネットファクス設定のページでは、送信されるインターネットファクスのプロパティを設定します。



	項目名	機能説明
1	件名	インターネットファクスに適用する件名を設定します。デフォルト設定の[(マシン名称) からのスキャン[(テンプレート名称)](日付)(時間)]を選択するか、目的の件名をボッ クスに入力します。手動で入力した場合の件名は、[(件名)(日付)(時間)]となります。
2	送信者アドレス	送信者のEメールアドレスとして適用するEメールアドレスを入力します。テンプレートを 使って本機が送信した文書に対して相手先が返信する場合は、ここで設定するEメールアド レスに返信されます。半角英数字140文字まで入力できます。
3	送信者名	インターネットファクス送信に適用する送信者の名前を入力します。全角半角に関係なく 64文字まで入力できます。
4	本文	インターネットファクスに適用する本文を入力します。全角半角に関係なく、スペースを 含み1000文字まで入力できます。
5	ファイル形式	スキャンイメージのファイル形式を選択します。[TIFF-S](TIFF-FX(Profile S))のみ選 択することができます。
6	分割ページサイズ	メッセージの分割サイズを選択します。初期値は[分割無]に設定されています。

ファクス設定(プライベートテンプレート)

ファクス設定に関するエージェント設定のページでは、ファクス/インターネットファクスエージェントを使ってファク スをどのように送信するか設定します。

保友 上ゎ゙ァヤァ _	zork
	- 21
プレビュー	OFF -
解像度	普通 ▼
原稿モード	文字 ▼
濃度調整	◎ 自動 ■ ◎ ◎ ◎ ◎ 〔 ◎ 〕 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ■
送信方法	メモリ送信 ▼
ECM	ON -
回線指定	回線1 -
海外指定	OFF -
SUB/SEP	
SID/PV/D	
ポーリング	•
パスワード	
電話番号(セキュリティ)	
日時指定送信	
優先送信	OFE V

	項目名	機能説明
1	プレビュー	ファクスを送信する前にプレビュー表示するか選択します。
		 ON: プレビューを表示します。
		・ <u>OFF</u> :プレビューを表示しません。

	項目名	機能説明
2	解像度	ファクスを送信する際に適用する標準の解像度を選択します。
		• 精細:標準の解像度に精細モードを適用します。このモードは、細かい文字や細かな線
		画を含む原稿を送信する場合に適しています。 声味如:「「「」」「「」」「「」」」」」」」」」
		「高精細・標準の解像度に高精細モートを適用します。このモートは、特に細かい文字や 精密な線画を含む原稿を送信する場合に適しています。
3	原稿モード	ファクスを送信する際に適用する標準の画質を選択します。
		• 文字:標準の画質モードに文字モードを適用します。このモードは、テキスト原稿を送
		信する場合に適しています。 • 文字/写直・煙淮の両督モードに文字/写直モードを適用します。このモードは、テキ
		スト、写真両方で構成された原稿を送信する場合に適しています。
		• 写真 :標準の画質モードに写真モードを適用します。このモードは、写真原稿を送信す
4	進中田政	る場合に適しています。
4	辰受祠坐	ファクスを送信9 る际に適用9 る標準の濃度を選択します。 原稿によって理想的な濃度を適用する [自動] を選択するか、手動で11段階の濃度を調整
		します。
5	送信方法	送信モードを選択します。
		• <u>メモリと信</u> . このモートでは、原稿をいうたんメモリに休存し、自動的に送信を開始します。原稿をすみやかに返却したいときや、同じ原稿を複数の相手先に送信するときに
		便利な機能です。
		ダイレクト送信:このモードでは、相手先にダイヤルし、原稿を1枚すつ送信します。 洋信している相手先を確認したいときに便利な機能です。
		ため、送信できる相手先は1件です。
	補足	
	「ダイレクト送信]はファクス/	「インターネットファクスのテンプレート(共有フォルダに保管しない)を作成した場合に選
	択することができます。	
-	ファクス/インターネットファ	クスと[共有フォルダに保管]を組み合わせた場合は、非表示となり選択できません。
6	ECM	文書が電話回線のノイズや歪みなどにより影響を受けた部分があるときに、自動的に再送 するECM(Error Correction Mode:自動誤り訂正モード)を有効にするかを選択します。
7	回線指定	使用回線を指定するかを選択します。 • 白動 ・使用回線を指定しません (回線が設置されている場合にのみ方効)
		• 回線1:このファクスエージェントに回線1を使用します。
		• 回線2:このファクスエージェントに回線2を使用します(回線が設置されている場合
		にのみ有効)。
8	海外指定	文書を海外指定モードで送信するかを選択します。この機能は、長距離通信を行う場合な どに、文書を通常より遅い速度で送信し、回線の影響を受けにくくします。
9	SUB/SEP	SUB番号またはSEP番号を指定したい場合に番号を入力します。
10	SID/PWD	SUB番号またはSEP番号を指定した場合に、パスワードが必要な場合は、パスワードを入 力します。
11	ポーリング	このエージェントにポーリング通信を設定するかを選択します。
		稿をメモリに保存することができます。
		• 受信:反転ポーリングを行います。この機能を使用すると、原稿を送信したときに、そ
		のまま回線を切らずに相手先にセットされているボーリング原稿を受信することができます。
	计 音_	
	[送信」はファクス/インターネ ができます。	ットノァクスのテンフレート(共有フォルタに保管しない)を作成した場合に選択すること
	ファクス/インターネットファ	クスと[共有フォルダに保管]を組み合わせた場合は、非表示となり選択できません。
12	パスワード	ポーリングを有効にした場合に、必要に応じてポーリング文書を保存あるいは受信するた めの4桁のセキュリティコードを入力します。
13	電話番号(セキュリティ)	[ポーリング] ボックスで [送信] を選択した場合は、保存した文書をポーリングできる電
		詰番号を人力します。 「ポーリング]ボックスで「受信]を選択した場合は、相毛櫟から文書をポーリングするた-
		しな、シンシン、なシンハビに交回」を送いてた物目は、旧子協力の文章をか、ランクするための電話番号を入力します。

[登録] タブの概要説明 65

	項目名	機能説明
14	日時指定送信	このエージェントに時刻指定通信を許可する場合は、原稿を送信する日時を入力します。日 付を「0」に設定すると、日時指定送信は無効になります。
15	優先送信	ほかのジョブよりも優先して送信を実行するかを選択します。

Eメール設定(プライベートテンプレート)

Eメール設定に関するエージェント設定のページでは、送信されるEメール送信文書のプロパティを設定します。



	項目名	機能説明
1	件名	Eメール文書に適用する件名を設定します。デフォルト設定の[(マシン名称)からのスキャン [(テンプレート名称)](日付)(時間)]を選択するか、目的の件名をボックスに入力します。手動で入力した場合の件名は、[(件名)(日付)(時間)]となります
	補足	
	[メタスキャン] を選択している 変数については、以下を参照し □□ P.357 「XMLフォーマットフ	場合、件名に変数を使用することができます。 てください。 ァイルの変数」
2	送信者アドレス	送信者のEメールアドレスとして適用するEメールアドレスを入力します。テンプレートを 使って本機が送信した文書に対して相手先が返信する場合は、ここで設定するEメールアド レスに返信されます。半角英数字140文字まで入力できます。
3	送信者名	Eメール文書に適用する送信者の名前を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力で きます。
4	本文	Eメール文書に初期設定として適用する本文を入力します。全角半角に関係なく、スペース を含み1000文字まで入力できます。

	項目名	機能説明
5	ファイル形式	スキャンイメージのファイル形式を選択します。
		• <u>TIFF(マルチ)</u> :スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。
		• IFF(シンクル)、スキャンイメーンを、「ヘーン」ファイルのTFFファイルとして保存
		• PDF(マルチ) :スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。
		• PDF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存し
		ます。
		• 高圧縮PDF(マルチ):スキャンイメージを複数ページの高圧縮PDFファイルとして保存
		します。画質よりファイルサイズの縮小を優先したい場合に適しています。 ・ 宮田線PDE(シングルン・ スキャンイメージを、1ページ1ファイルの宮田線PDEファイル
		として保存します。 画質よりファイルサイズの縮小を優先したい場合に適しています。
		 XPS(マルチ):スキャンイメージを複数ページのXPSファイルとして保存します。
		• XPS(シングル) :スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存し
		• JPEG、スキャンイメージを、JPEGファイルとして保存します。
	補足	
	・ 強制暗号化機能が有効に設定	Eされている場合、選択できるファイル形式はPDF(マルチ)とPDF(シングル)のみとなり
	ます。強制暗号化機能につい	ヽては、 設定管理ガイド を参照してください。
	• XPSファイルで保存したデ-	- タは、お使いのコンピュータがWindows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 SP1、また
	はWindows XP SP2/Window	/s Server 2003 SP1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することが
	できます。	
6		ファイル形式(PDF(マルナ)またはPDF(シングル)を選択したとき、PDFを暗号化します。 暗号化 ・PDFを暗号化する場合にオンにします。
		ユーザパスワード:暗号化PDFを開くためのパスワードを入力します
		マスタパスワード:PDFの暗号化設定を変更するためのパスワードを入力します。
		暗号化レベル:暗号化レベルを選択します。
		 40-bit RC4 · ACrobat 5.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。 128-bit PC4 · Acrobat 5.0, PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。
		 128-bit AES: Acrobat 7.0 PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。 128-bit AES: Acrobat 7.0 PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。
		権限:暗号化PDFの権限を設定する項目をオンにします。
		• 印刷を許可する:作成される暗号化PDFファイルの印刷を許可します。
		• 文書の変更を許可する :作成される暗号化PDFファイルの文書の変更を許可します。
		• 内容のコビーと抽出を許可する:作成される暗号化PDFファイルのコピーと抽出を許可
		します。 • アクヤシビリティを有効にする:アクセシビリティを有効にします。
	補足	
	• 強制暗号化機能が有効に設定	Eされている場合、[暗号化]チェックボックスをオフにすることはできません。強制暗号化
	機能については、設定管理が	ゴイド を参照してください。
	 ・ 上場出何時の状態では、ユー ・ ・ ・	- サバスリートとマスタバスリートは設定されていません。 20 立字まで】 カできます
		32 文子よてハカできょす。 パスワードは、同じパスワードを設定することはできません。
	注意	
	各パスワードはユーザが変更す	ることを許可されている場合のみ入力できます。マスタパスワードの変更が許可されていな
	い場合は、暗号化レベルおよび	権限の設定を変更することはできません。暗号化の詳細設定については 設定管理ガイド を参
	照してくたさい。ユーサハスワーファイルタ	- トわよびメスダハスソートの政止については、イツトソーク官理者に雑認してくたさい。
ľ	ノ	10別設定として使用されるノアキル名を入力しまり。テノオルト設定の[DOCYYMMDD] を選択するか、目的のファイル名をボックスに入力します。
		ファイル名に日付と時刻を付加したい場合は、[ファイル名に日時を付加する] チェック
		ボックスをオンにします。
	補足	
	「メカフセレン」た曜日レアいス	、提今 「ファイルタ」の「ファイルタにロ吽を什物ナス」を溜やナスレ メタニ タのフー
	「ハラヘイャン」を選択している イル名にも適用されます。	ッ物ロ、 [ノアヿル右] ッノ [ノアヿル右に口时を凹加りる] を进抓りると、メダナーダのノア
8	か 割送信サイズ	メッセージの分割サイズを選択します。初期値は[分割無]に設定されています。
	l	

共有フォルダに保管設定 (プライベートテンプレート)

共有フォルダに保管設定のページでは、スキャンファイルの保存方法および保存先を設定します。



	項目名	機能説明
1	ファイル形式	スキャンファイルの保存形式を選択します。
		• <u>TIFF(マルチ)</u> :スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。
		• TIFF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存
		します。
		 PDF(マルチ):スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。
		• PDF(シングル) :スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存し
		ます。
		• 高圧縮PDF(マルチ) :スキャンイメージを複数ページの高圧縮PDFファイルとして保存
		します。画質よりファイルサイズの縮小を優先したい場合に適しています。
		• 高圧縮PDF(シングル) :スキャンイメージを、1ページ1ファイルの高圧縮PDFファイル
		として保存します。画質よりファイルサイズの縮小を優先したい場合に適しています。
		 XPS(マルチ):スキャンイメージを複数ページのXPSファイルとして保存します。
		• XPS(シングル) :スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存し
		ます。
		• JPEG:スキャンイメージを、JPEGファイルとして保存します。
	補足	
	 ・ 強制暗号化機能が有効に設定 	Fされている場合、選択できるファイル形式はPDF(マルチ)とPDF(シングル)のみとなり
	ます。強制暗号化機能につい	いては、設定管理ガイドを参照してください。
	 XPSファイルで保存したデー 	- タは、お使いのコンピュータがWindows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 SP1、また
	はWindows XP SP2/Window	/s Server 2003 SP1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することが
	できます。	

	項目名	機能説明
2	暗号化	ファイル形式でPDF(マルチ)またはPDF(シングル)を選択したとき、PDFを暗号化します。
		暗号化: PDFを暗号化する場合にオンにします。
		ユーザパスワード:暗号化PDFを開くためのパスワードを入力します
		マスタバスワード:PDFの暗号化設定を変更するためのバスワードを人力します。
		頃与15レインル ・暗ち15レインルを選択します。
		40-bit RC4 · ACIODAL S.U, FDF VI.Iに互換性ののる唱号化してルを設定します。
		・ <u>120-DILAES</u> ・ACTODAL 7.0, FDL V1.0に互換性のめる咱ら化レベルを設定します。 佐阳 ・啐=ルPDEの佐阳を設定する頂日をナンにします
		催成・暗ら化FDFの催眠を設定する項目をオンにします。 • 印刷を許可する ・作成される暗号化PDFファイルの印刷を許可します。
		• 文書の変更を許可する 、作成される暗号化PDFファイルの文書の変更を許可します。
		・ 内容のコピーと抽出を許可する: 作成される暗号化PDFファイルのコピーと抽出を許可
		 アクセシビリティを有効にする:アクセシビリティを有効にします。
	 補 足 ・ 強制暗号化機能が有効に設定されている場合、[暗号化] チェックボックスをオフにすることはできません。強制暗号 機能については、設定管理ガイドを参照してください。 ・ 工場出荷時の状態では、ユーザパスワードとマスタパスワードは設定されていません。 ・ 半角の英数字で、1文字以上32文字まで入力できます。 ・ ユーザパスワードとマスタパスワードは、同じパスワードを設定することはできません。 注 意 各パスワードはユーザが変更することを許可されている場合のみ入力できます。マスタパスワードの変更が許可されていい、い場合は、暗号化レベルおよび権限の設定を変更することはできません。暗号化の詳細設定については設定管理ガイドを 	
2		- Fねよびマスダハスノートの設定については、イットソーツ官珪有に難認してください。
3	タヒ元/ ロー ハルフォルタを使用	へキャノファイルを平成の共有フォルタ(IFILE_STARE」フォルタ)に保存します。
	補足	
	[メタスキャン] を選択している	場合、宛先は1つしか指定できません。

[登録] タブ

	項目名	機能説明
4	宛先/リモート1	スキャンファイルをネットワークフォルダに保存する場合にオンにします。アクセスポリ シーモードで、管理権限が設定されているユーザが、[セットアップ]メニューの[共有
		フォルダに保管」サブメニューで、リモート1をどのようにセットアッフしたかによって設 定方法は異なります。 「次のネットワークフォルダに保存する」を選択した場合は、「アドミン設定を使用」のみ
		選択可能です。その場合、保存に使用するプロトコルおよび保存先のネットワークパスが 表示されます。
		[ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める]を選択した場合は、[ユーザ設定を使用]を選択し、以下の項目を入力してファイルを保存する宛先を設定します。
		フロトコル スキャンファイルをネットワークフォルダに転送するときに使用するプロトコルを選択し ます。
		• SMB:SMBプロトコルを使用してスキャンファイルをネットワークフォルダに転送します。
		 FTP:スキャンファイルをFTPサーバーに転送します。 <u>FTPS</u>:スキャンファイルをFTP over SSLでFTPサーバーに転送します。
		 NetWare IPX/SPX:スキャンファイルをIPX/SPXプロトコルを介してNetWareサー バーに転送します。 NetWare TCP/IP:スキャンファイルをTCP/IPプロトコルを介してNetWareサーバー
		・Netware ICF/IF: スキャンクディルをTCF/IFクロドゴルを打してNetware 9 - パー に転送します。 サーバー名称
		プロトコルでFTPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するFTPサーバー名または IPアドレスを入力します。たとえば、スキャンファイルをFTPサーバーの「ftp://
		192.168.1.1/user/scanned」というFTPフォルダに転送する場合は、このボックスに 「192.168.1.1」と入力します。 プロトコルでNotWare JPX/SPX を選択した場合は、スキャンファイルを転送する
		NetWareサーバー名または、Tree/Context (NDSが使用可能な環境の場合)を入力します。 プロトコルでNetWare TCP/IPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するNetWare サーバーのIPアドレスを入力します。
		半角英数字と記号で64文字まで入力できます。 コマンドポート
		プロトコルでFTPを選択した場合に、コマンド実行に使用するポート番号を入力します。通常は、初期状態で入力された「-」のままにします。「-」にした場合は、ネットワークの設定ページの[FTPクライアント]で設定したポート番号(初期値)が適用されます。初期設定のポート番号とは別のポート番号を指定したい場合のみこの値を変更します。数字と「-」(ハイフン)を使用して、0から65535までの値を入力できます。初期値は「-」に設定
		されています。 ネットワークパス
		フロトコルにSMBを選択した場合は、ネットワークフォルダへのネットワークパスを人力 します。たとえば、SMBサーバー名が「Client01」というコンピュータの「users ¥ scanned」というフォルダを指定する場合は、「¥ ¥ Client01 ¥ users ¥ scanned」と入力 します。
		プロトコルにFTPを選択した場合は、指定したFTPサーバーのディレクトリを入力します。 たとえば、FTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というフォルダを指定す
		る場合は、「user/scanned」と人力します。 プロトコルにNetWare IPX/SPXまたはNetWare TCP/IPを選択した場合は、指定した NetWareサーバーのディレクトリを入力します。たとえば、NetWareサーバーの「sys¥ scan」というフォルダを指定する場合は、「¥sys¥scan」と入力します。
		半角英数字と記号で128文字まで人力できます。 ログインユーザ名
		必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするためのログインユーザ名を入力します。プロトコルにFTPを選択した場合、このボックスを空欄にすると、匿名でのログインと判断されます。半角英数字と記号で32文字まで入力できます。
		パスワード 必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするた めのパスワードを入力します。半角英数字と記号、スペースを含み32文字まで入力できま
		9。ヘハースI 乂子のみも可能で9。 パスワードの確認 確認のためにパスワードを再入力します。
	補 足	
	[メタスキャン] を選択している	場合、宛先は1つしか指定できません。
	項目名	機能説明
---	--------------------	---
5	宛先/リモート2	スキャンファイルをネットワークフォルダに保存する場合にオンにします。アクセスポリ シーモードで、管理権限が設定されているユーザが [セットアップ] メニューの [共有フォ ルダに保管] サブメニューで、リモート2をどのようにセットアップしたかによって設定方 法は異なります。 リモート2がアクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザにより指定され たネットワークフォルダを使用するように設定されている場合は、[アドミン設定を使用] のみ選択可能です。その場合、保存に使用するプロトコルおよび保存先のネットワークパ スが表示されます。 ネットワークフォルダを自由に指定することが許可されている場合は、[ユーザ設定を使 用] を選択し、ファイルを保存する宛先を設定します。設定する項目はリモート1と同様で す。
	補足	
	[メタスキャン] を選択している	場合、宛先は1つしか指定できません。
6	ファイル名	スキャンファイルの名前の付け方を選択します。デフォルト設定の [DocYYMMDD] を選 択するか、目的のファイル名を入力します。 ファイル名に日付と時刻を付加したい場合は、[ファイル名に日時を付加する] チェック ポックスをオンにします。
	補足 [メタスキャン]を選択している	場合、[ファイル名]の[ファイル名に日時を付加する]を選択すると、メタデータのファ
	イル名にも適用されます。	

ボックス設定(プライベートテンプレート)

ボックス設定のページでは、ファイリングボックスにスキャンイメージをどのように保存するかを設定します。



	項目名	機能説明
1	宛先	スキャンイメージを保存するファイリングボックスを指定します。 ボックス番号:スキャンイメージを保存するボックス番号を選択します。 パスワード:指定したボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力 します。 パスワードの確認:確認のためにパスワードを再入力します。
2	フォルダ名	スキャンイメージをファイリングボックス内のフォルダに保存したい場合は、保存する フォルダ名を入力します。あらかじめフォルダがない場合は、入力したフォルダ名で自動 的に作成され、保存されます。64文字まで入力できます。
3	文書名	スキャンファイルの名前の付け方を選択します。デフォルト設定の [DocYYMMDD] を選 択するか、目的の文書名を入力します。

USB保存設定(プライベートテンプレート)

USB保存設定のページでは、USBメディアに保存する方法を設定します。



	項目名	機能説明
1	ファイル形式	 スキャンファイルの保存形式を選択します。 <u>TIFF(マルチ)</u>:スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。 TIFF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。 PDF(マルチ):スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。 PDF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。 高圧縮PDF(マルチ):スキャンイメージを複数ページの高圧縮PDFファイルとして保存します。 高圧縮PDF(シングル):スキャンイメージを複数ページの高圧縮PDFファイルとして保存します。 高圧縮PDF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルの高圧縮PDFファイルとして保存します。 第に編PDF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルの高圧縮PDFファイルとして保存します。 XPS(マルチ):スキャンイメージを複数ページのXPSファイルとして保存します。 XPS(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存します。 メPFG:スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存します。
	 補足 強制暗号化機能が有効に設定 ます。強制暗号化機能につい XPSファイルで保存したデー はWindows XP SP2/Window できます 	Eされている場合、選択できるファイル形式はPDF(マルチ)とPDF(シングル)のみとなり ^い ては、 設定管理ガイド を参照してください。 - タは、お使いのコンピュータがWindows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 SP1、また vs Server 2003 SP1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することが

	項目名	機能説明
2	暗号化	 ファイル形式でPDF(マルチ)またはPDF(シングル)を選択したとき、PDFを暗号化します。 暗号化: PDFを暗号化する場合にオンにします。 ユーザパスワード: 暗号化PDFを開くためのパスワードを入力します マスタパスワード: PDFの暗号化設定を変更するためのパスワードを入力します。 暗号化レベル: 暗号化レベルを選択します。 40-bit RC4: Acrobat 3.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。 128-bit RC4: Acrobat 5.0, PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。 128-bit AES: Acrobat 7.0, PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。 128-bit AES: Acrobat 7.0, PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。 印刷を許可する: 作成される暗号化PDFファイルの印刷を許可します。 文書の変更を許可する: 作成される暗号化PDFファイルの文書の変更を許可します。 アクセシビリティを有効にします。
	 補 足 ・ 強制暗号化機能が有効に設定 機能については、設定管理力 ・ 工場出荷時の状態では、ユー ・ 半角の英数字で、1文字以上 ・ ユーザパスワードとマスタク 注 意 各パスワードはユーザが変更す い場合は、時号化レベルち上び 	をされている場合、[暗号化] チェックボックスをオフにすることはできません。強制暗号化 ガイドを参照してください。 - ザパスワードとマスタパスワードは設定されていません。 32文字まで入力できます。 ペスワードは、同じパスワードを設定することはできません。 ることを許可されている場合のみ入力できます。マスタパスワードの変更が許可されていな 焼風の設定を変更することはできません 暗号化の詳細設定については設定 等理ガイド を参
3	照してください。ユーザパスワ ファイル名	ードおよびマスタパスワードの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。 初期設定として使用されるファイル名を入力します。デフォルト設定の[DocYYMMDD] を選択するか、目的のファイル名をボックスに入力します。 ファイル名に日付と時刻を付加したい場合は、[ファイル名に日時を付加する] チェック ボックスをオンにします。
	補 足 [メタスキャン] を選択している イル名にも適用されます。	- ペンシン・ビスシャビンスション

||[登録] タブ

スキャン設定(プライベートテンプレート)

スキャン設定ページでは、スキャンエージェントを選択した場合に、どのように原稿をスキャンするかを設定します。

SCI IS BOAL	
保存 キャンセル	
ブレビュー	OFF -
両面スキャン	片面 👻
画像回転	
カラーモード	ブラック 👻
解像度	600dpi 👻
Jpeg圧縮率	標準 ▼
原稿モード	文字 ▼
濃度調整	
原稿サイズ	自動 -
下地調整	
コントラスト	$\bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc [\odot] \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc$
シャープネス	$\bigcirc \bigcirc $
彩度	$\odot \odot \odot [\odot] \odot \odot \odot$
	لىلەر (R)
RGB調整	グリーン(G)
	ブルー(B) 📕 💿 💿 🔍 🚺 💿 💿 🗖
白紙ページ除去	OFF -
原稿外消去	

	項目名	機能説明	
1	プレビュー	原稿のスキャン後、スキャンイメージを操作パネル上に表示するかを選択します。	
		• <u>OFF</u> :スキャンイメージを表示しません。	
		• ON:スキャンイメージを表示します。	
2	両面スキャン	原稿の片面をスキャンするか、両面をスキャンするかを選択します。	
		• <u>片面</u> :原稿の片面をスキャンします。	
		• 両面左右開き :両面左右開きでスキャンします。	
		• 両面上下開き:両面上下開きでスキャンします。	
3	画像回転	スキャンイメージをどのように回転させるかを選択します。	
4	カラーモード	スキャンのカラーモードを選択します。	
		• <u>ブラック</u> :モノクロでスキャンします。	
		 グレースケール:グレースケールでスキャンします。 	
		• フルカラー :フルカラーでスキャンします。	
		• オートカラー :オートカラーでスキャンします。	
	注意		
	• [カラーモード]の設定は、	共有フォルダに保管設定の[ファイル形式]およびEメール設定の[ファイル形式]で[高	
	圧縮PDF(マルチ)]または	[高圧縮PDF(シングル)]を選択した場合は、設定できません。	
	 [オートカラー]を選択した ク]を選択した場合は、[JF 	場合、[ファイル形式]で[JPEG]と[TIFF(マルチ)]は選択できません。また、[ブラッ 'EG]を選択できません。	
5	解像度	スキャンの解像度を選択します。	
	注意		
	[解像度] の設定は、共有フォル	ダに保管設定の[ファイル形式]およびEメール設定の[ファイル形式]で[高圧縮PDF(マ	
	ルチ)]または[高圧縮PDF(シ	シングル)]を選択した場合は、設定できません。	
6	Jpeg圧縮率	スキャンデータの圧縮率を選択します。	
	注意		
	 カラーモードで [ブラック] 	を選択した場合は設定できません。	
	 [Jpeg圧縮率]の設定は、共 縮PDF(マルチ)]または[「有フォルダに保管設定の[ファイル形式]およびEメール設定の[ファイル形式]で[高圧 高圧縮PDF(シングル)]を選択した場合は、設定できません。	
L			

	項目名	機能説明
7	原稿モード	 原稿の種類を選択します。 文字:原稿モードに文字モードを使用します。 文字/写真:原稿モードに文字/写真モードを使用します。カラーモードで[ブラック]を選択している場合のみ設定できます。 写真:原稿モードに写真モードを使用します。 印刷写真:原稿モードに印刷写真モードを使用します。カラーモードで[フルカラー] または[オートカラー]を選択している場合のみ設定できます。
	<u>注</u> 思 カラーモードで[グレースケー <i>』</i>	ル]を選択した場合は設定できません。
8	濃度調整	スキャンの濃度を選択します。 [自動]を選択すると、原稿に応じた理想的なコントラストを自動的に適用します。手動で 濃度を調節する場合は、11段階に調節することができます。選択値を右側に設定するほど、 画像全体の濃度が濃くなります。
	注 意 カラーモードで [グレースケー] の場合は、手動で設定してくだ	レ][フルカラー]または[オートカラー]を選択した場合は、[自動]は設定できません。そ さい。
9	原稿サイズ	原稿サイズを選択します。 [自動]を選択すると、原稿サイズを自動的に検出します。[原稿サイズ混在]を選択する と、サイズの異なる用紙が混在する原稿をスキャンすることができます。また、目的の原 稿サイズを選択することもできます。
10	下地調整	スキャンの背景色の濃度を選択します。背景色の濃度は9段階に調節することができます。 選択値を右側に設定するほど、背景色の濃度が濃くなります。
11	コントラスト	スキャンのコントラストを選択します。コントラストは9段階に調節することができます。 選択値を右側に設定するほど、コントラストが強くなります。
	注 意 カラーモードで [ブラック] ま;	たは[グレースケール]を選択した場合は設定できません。
12	シャープネス	スキャンのシャープネスを選択します。シャープネスの強度は9段階に調節することができ ます。選択値を右側に設定するほど、画質がシャープになります。
13	彩度	スキャンの彩度を選択します。彩度は7段階に調節することができます。選択値を右側に設 定するほど、画質が鮮やかになります。
	注 意 カラーモードで [ブラック] ま;	たは[グレースケール]を選択した場合は設定できません。
14	RGB調整	スキャンのRGB濃度を選択します。濃度は色ごとに9段階に調節することができます。選択値を右側に設定するほど、設定した色の濃度が濃くなります。
	注 忌 カラーモードで [ブラック] ま;	たは[グレースケール]を選択した場合は設定できません。
15	白紙ページ除去	原稿に白紙ページが含まれていた場合、スキャン結果から白紙ページを自動的に省くかを 選択します。 • <u>OFF</u> :白紙ページを含めます。 • ON:白紙ページを省きます。
16	原稿外消去	原稿ガラス上に原稿をセットし、原稿カバーを開けた状態でスキャンした場合、原稿以外 の部分を消去するかを選択します。消去された部分は白色になります。 原稿以外の部分を消去する場合は、消去する部分を判定するための基準を、7段階に調節す ることができます。基準を右側に設定するほど、消去する部分を増やすことができます。な お、初期設定では[OFF]が選択されています。

補足

お使いの機種によっては、表示されない機能があります。

拡張フィールド設定

メタスキャンの拡張フィールドを設定します。 [管理者]-[登録]-[拡張フィールド定義]で登録したフィールドを選択します。

[保存] [キャンパフ]		
 拡張フィールド定義	#号 001:test001 ▼	
*DisplayName2		1
*DisplayName2		
DisplayName3		
*DisplayName4		
*DisplayName5	•••••	
		a:

	項目名	機能説明
1	拡張フィールド定義番号	登録済みの拡張フィールド定義を選択します。

拡張フィールド属性

選択された登録済み拡張フィールド定義で設定されている[拡張フィールド属性]が表示されます。 ここで設定した値が、メタスキャン実行時に操作パネルに表示される[拡張フィールド属性]のデフォルト値になります。 [拡張フィールド属性]の名称の前に、アスタリスク(*)が表示されている項目は、必ず入力する必要があります。

パスワード設定

パスワード設定ページでは、プライベートテンプレートのパスワードを設定します。



	項目名	機能説明
1	パスワード	設定するパスワードを入力します。
2	パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。

■ [アドレス帳] 項目説明一覧

- □ P.77 [[アドレス帳] 画面」
- □ P.78 [[宛先情報] 画面]
- □ P.79 [[ファクス設定] 画面」
- 🕮 P.80 「[宛先検索] 画面」
- □ P.81 [[検索結果リスト] 画面]
- □ P.81 [[グループ情報] 画面」

□ [アドレス帳] 画面

Eメール送信、インターネットファクス送信やファクス送信を実行する際に指定する、連絡先リストを管理できます。

補足

- 「アドレス帳」/「グループ」をクリックすることで、アドレス帳一覧と複数の連絡先を割り当てたグループ一覧を 切り替えて表示することができます。
- アドレス帳の管理は、本機の操作パネルから行うこともできます。操作パネルからアドレス帳を管理する方法については、設定管理ガイドを参照してください。

アドレス帳



	項目名	機能説明
1	[新規追加] ボタン	アドレス帳に新しい連絡先を追加します。 □ P.78 「[宛先情報]画面」
2	[検索]ボタン	アドレス帳から連絡先を検索します。 □ P.80 「[宛先検索] 画面」
3	グループ	アドレス帳一覧に表示するグループを選択します。 ・ <u>全てのグループ</u> :すべてのグループを表示します。 ・ 登録されたグループ:登録されたグループだけを表示します。
4	ID	連絡先の登録ID番号を表示します。 □ P.78 [[宛先情報] 画面」
5	名称	連絡先に登録されている名称を表示します。 □ P.78 「[宛先情報]画面」
6	Eメールアドレス	連絡先に登録されているEメールアドレスを表示します。 □ P.78 [[宛先情報] 画面」
7	電話番号	連絡先に登録されている電話番号を表示します。 □ P.78 「[宛先情報]画面」

ダブ



	項目名	機能説明
1	[新規] ボタン	新しいグループを追加します。 □ P.81 「[グループ情報] 画面」
2	ID	グループの登録ID番号を表示します。 □ P.81 「[グループ情報] 画面」
3	グループ名称	グループに登録されている名称を表示します。 □ P.81 「[グループ情報] 画面」
4	アドレス帳	グループに登録されているアドレス帳の件数を表示します。

🗌 [宛先情報] 画面

<u> 病 先情</u> アドレフ 「保存」キャンセル」 リセ	
*どちらかりま必須 **どちらかりま必須 *#と	LastNamoT1
** * ~Z	Eircthana01
 フリガナ	
** Eメールアドレス	User01@example.com
**電話番号	012-3456-7890
 電話番号2	012-3456-7891
	CompanyNameD1

	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力した情報を登録します。
2	[キャンセル] ボタン	連絡先の追加や編集を中止します。
3	[リセット] ボタン	各ボックスに入力した情報を消去します。
4	[削除] ボタン	表示している連絡先を削除します。
5	[ファクス設定] ボタン	ファクス用の連絡先を登録します。 踊 P.79 「[ファクス設定]画面」
6	姓	連絡先の姓を入力します。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。使用できない文 字を入力した場合「!」で置き換えられます。
7	名	連絡先の名を入力します。全角半角に関係なく32文字まで入力できます。使用できない文 字を入力した場合「!」で置き換えられます。
8	フリガナ	フリガナを入力します。全角半角に関係なくカタカナで64文字まで入力できます。
9	Eメールアドレス	連絡先のEメールアドレスを入力します。半角英数字で192文字まで入力できます。
10	電話番号	連絡先のファクス番号を入力します。半角数字で128文字まで入力できます。

	項目名	機能説明
11	電話番号2	連絡先の第2ファクス番号を入力します。半角数字で128文字まで入力できます。
12	会社名	連絡先の会社名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。使用できな い文字を入力した場合「!」で置き換えられます。
13	部署名	連絡先の部門名を入力します。全角半角に関係なく64文字まで入力できます。使用できな い文字を入力した場合「!」で置き換えられます。
14	備考	連絡先のコメントを入力します。全角半角に関係なく256文字まで入力できます。使用でき ない文字を入力した場合「!」で置き換えられます。

注意

- 連絡先を登録するには、[姓] または [名] および、[Eメールアドレス] または [電話番号] のどちらか一方を必ず入力する必要があります。
- [電話番号] および [電話番号2] には、特別な場合以外は、「-」を含めずに入力してください。(「-」を入れると ポーズが入り3秒間ダイヤルの間隔が空きます。)
- 原稿をファクス送信するには、オプションの FAX ユニットが必要です。このユニットを装着していない場合は、 ファクス番号を設定してもファクス送信を実行することはできません。

ファクス設定 <u>アドレス帳</u> ▶ <u>宛先情報</u> ▶ 1 -保存 リセット 2 -3 · SUB 4 SID SEP 5 PWD 6 7 ECM • 回線指定 8 海外指定 9 • 送信方法 10

	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力した情報を登録します。
2	[リセット] ボタン	連絡先に設定したファクス設定をデフォルト状態に戻します。
3	SUB	連絡先のファクスのメールボックスへ原稿を送信する場合は、メールボックス番号を入力 します。数字と「#」、「*」を使用して20文字まで入力できます。
4	SID	連絡先ファクスのメールボックスへファクスを入力するためのパスワードを入力します。 数字と「#」、「*」を使用して20文字まで入力できます。
5	SEP	連絡先ファクスのメールボックスから文書を取り込む場合は、メールボックス番号を入力 します。数字と「#」、「*」を使用して20文字まで入力できます。
6	PWD	連絡先ファクスのメールボックスから文書を取り込むためのパスワードを入力します。数 字と「#」、「*」を使用して20文字まで入力できます。
7	ECM	ECM (Error Correction Mode:自動誤り訂正方式)を有効にするか、無効にするかを選択します。[ON]を選択した場合、電話回線のノイズや歪みに影響を受けエラーとなった 原稿部分を自動的に再送信するので、画像の乱れのない通信を可能にします。
8	回線指定	使用回線を指定するかを選択します。空欄を選択すると、自動的に使用回線を選択します。 ただし、[回線2] はオプションの回線増設ユニットがインストールされている場合にのみ、 適用されます。
9	海外指定	文書を海外指定モードで送信するかを選択します。[ON]を選択した場合、通常より遅い スピードで文書を送信し、回線の影響を受けにくくします。
10	送信方法	文書を [メモリ送信] モードで送信するか、または [ダイレクト送信] モードで送信する かを選択します。

□ [ファクス設定] 画面

□ [宛先検索] 画面

LDAPサーバーで連絡先を検索し、その連絡先を本機のアドレス帳に追加します。

補足

LDAP検索を利用するには、ディレクトリサービスがアクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザ によってセットアップされている必要があります。LDAP検索を操作する前に、ディレクトリサービスがセットアッ プされているかをご確認ください。

	宛先検索
	名前及びモメールアドレス、電話番号で検索できます。
. —	ー LDAPサーバー名 LDAP server01 ▼
ı —	— · 名
; —	— 姓
; —	ー Eメールアドレス
·	
. —	

	項目名	機能説明
1	[検索]ボタン	入力した内容で連絡先を検索します。 □ P.81 「[検索結果リスト]画面」
2	[キャンセル] ボタン	宛先検索を中止します。
3	LDAPサーバー名	検索に使用するLDAPサーバーを選択します。
4	名	検索条件を入力します。
5	姓	
6	Eメールアドレス	
7	電話番号	
8	会社名	
9	部署名	

補足

- [LDAPサーバー名] ボックスから本機モデル名を選択すると、本機のアドレス帳を検索することができます。
- 各項目に入力した文字列を含む連絡先が、TopAccessによって検索されます。
- 空欄にした項目は無視され、入力した項目だけを用いて検索します。ただし、少なくとも1つのボックスには文字 や文字列を入力する必要があります。

□ 【検索結果リスト】 画面

検索結果リストから選択して、アドレス帳に追加します。



	項目名	機能説明
1	[追加] ボタン	検索結果リストで選択されている連絡先をアドレス帳に追加します。
2	[キャンセル] ボタン	検索結果リスト表示を中止します。
3	チェックボックス	アドレス帳に登録する連絡先をチェックします。
4	名称	検索結果を表示します。
5	Eメールアドレス	
6	電話番号	

□ [グループ情報] 画面

複数の連絡先を割り当てたグループを作成します。

グループ機能を使用すれば、Eメール送信やインターネットファクス送信、ファクス送信を複数の連絡先へ実行する際に、 それらの連絡先を個別に選択する手間を省くことができます。

1 — 2 — 3 — 4 — 5 —	グループ情報 <u>アドレス帳</u> ► OK キャンセル リセット 削除
6 —	
0	10 🔲 LastN me10 FirstName10 User10(example.com 901- 345-6789
o —	9 LastN me09 FirstName09 User09(example.com 890- 234-5678
9 —	Image: Constraint of the state of
10—	r Lasuvaneur usuvaneur userur example.com 678-1 h2-3456
11—	осизаниетосо г позанитосо состоощескитрис.com
	5 📄 📄 LastName05 FirstName05 User05@example.com 456-7890-1234
	4 📄 📄 LastName04 FirstName04 User04@example.com 345-6789-0123
	3 📄 LastName03 FirstName03 User03@example.com 234-5678-9012
	2 🔲 🖾 LastName02 FirstName02 User02@example.com 123-4567-8901
	1 🔲 🖾 LastName01 FirstName01 User01@example.com 012-3456-7890
	このページの先頭へ

	百日夕	検告に言と日
	現日石	152 H L 572 H L
1	[OK] ボタン	選択した連絡先をグループとして登録します。
2	[キャンセル] ボタン	グループ登録を中止します。
3	[リセット] ボタン	内容をリセットします。
4	[削除] ボタン	表示しているグループを削除します。
5	グループ名称	グループ名称を入力します。全角半角に関係なく20文字まで入力できます。
6	ID	連絡先の登録ID番号を表示します。
7	EX-ル	連絡先にEメールの情報が設定されている場合、Eメールアドレスをグループ登録するとき に選択します。
8	ファクス	連絡先に電話番号の情報が設定されている場合に、ファクス番号をグループ登録するとき に選択します。

	項目名	機能説明
9	名称	連絡先に登録されている名称が表示されます。
10	Eメールアドレス	連絡先に登録されているEメールアドレスが表示されます。
11	電話番号	連絡先に登録されている電話番号が表示されます。

■ [Fコード/ファクス受信転送(振分け)] 項目説明一覧

Fコード通信とは、Fコード通信機能に対応したファクス機器どうしで通信する機能であり、メールボックスを使用して 原稿の登録や取り出しを行うことができます。

Fコード通信に使用するメールボックスには親展/掲示板/転送の3種類があり、これらは事前に設定しておく必要があり ます。また、機密性を確保するため、すべてのメールボックスに対してパスワードを設定することができます。

注意

メールボックスを管理するには、オプションのFAXユニットが本機に装着されている必要があります。

補足

メールボックスの管理は、本機の操作パネルから行うことができます。

- □ P.83 [[Fコード/ファクス受信転送(振分け)] 画面」
- □ P.84 「[Fコード設定] 画面」
- □ P.85 「Fコード設定(メールボックス)」
- □ P.86 「宛先設定(メールボックス)」
- □ P.86 「インターネットファクス設定(メールボックス)」
- □ P.86 「中継孫局送信(メールボックス)」
- □ P.87 「共有フォルダに保管設定(メールボックス)」
- □ P.87 「Eメール設定(メールボックス)」
- □ P.87 「ボックス設定 (メールボックス)」

□ [Fコード/ファクス受信転送(振分け)] 画面

Fコード通信に使用するメールボックスを管理できます。



	項目名	機能説明
1	[新規] ボタン	Fコード用のメールボックスを新規作成します。 □ P.84 「[Fコード設定] 画面」
2	ボックス番号	登録されているボックス番号を表示します。
3	ユーザ名	登録されているボックスのユーザ名を表示します。
4	エージェント	ボックスに割り当てられているエージェントを表示します。
5	コメント	登録されているコメントを表示します。

□ [Fコード設定] 画面

ボックスを設定できます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	設定したボックスを登録します。
2	[キャンセル] ボタン	ボックスの設定を中止します。
3	[エージェント設定] ボタン	転送メールボックスに適用するエージェントを設定します。
4	親展	 親展のメールボックスを作成します。 親展メールボックスは、1回のみ取り出し可能なファクス原稿を保管する場合に使用します。メールボックスから原稿を取り出すと、メモリに保存されている原稿を消去します。同じボックス番号で登録をすると、前の原稿に追加して保存します。 □ P.85 「Fコード設定(メールボックス)」
5	揭示板	掲示板のメールボックスを作成します。 掲示板メールボックスは、繰り返し取り出し可能なファクス原稿を保管する場合に使用し ます。メールボックスから原稿を取り出しても、メモリに保存されている原稿は消えませ ん。同じボックス番号で登録をすると、新しい原稿に書き換えられます。 P.85 「Fコード設定(メールボックス)」
6	転送	中継同報のメールボックスを作成します。選択した場合は、「インターネットファクス/ファクス(中継)][共有フォルダに保管][Eメール送信][ファイリングボックスに保管] から中継同報に使用するエージェントを選択します。 転送メールボックスは、ファクス原稿を指定した宛先に自動的に転送したい場合に使用します。
7	インターネットファクス/ファク ス(中継)	インターネットファクスまたはファクスへの中継同報メールボックスを作成します。この エージェントは、共有フォルダに保管エージェントまたはファイリングボックスに保管 エージェントと組み合わせてセットアップすることができます。 □ P.85 「Fコード設定(メールボックス)」 □ P.86 「宛先設定(メールボックス)」 □ P.86 「インターネットファクス設定(メールボックス)」 □ P.86 「中継孫局送信(メールボックス)」
8	共有フォルダに保管	共有フォルダ転送メールボックスを作成します。このエージェントは、インターネットファ クス/ファクス(中継)エージェント、Eメール送信エージェント、ファイリングボックス に保管エージェントのどれかと組み合わせてセットアップすることができます。 ロ P.85 「Fコード設定(メールボックス)」 ロ P.87 「共有フォルダに保管設定(メールボックス)」
9	EX-JU	 Eメール転送メールボックスを作成します。このエージェントは、共有フォルダに保管エージェントまたはファイリングボックスに保管エージェントと組み合わせてセットアップすることができます。 □ P.85 「Fコード設定(メールボックス)」 □ P.87 「Eメール設定(メールボックス)」
10	ファイリングボックスに保管	ファイリングボックス転送メールボックスを作成します。このエージェントは、インター ネットファクス/ファクス(中継)エージェント、共有フォルダに保管エージェント、ま たはEメール送信エージェントと組み合わせてセットアップすることができます。 P.85 「Fコード設定(メールボックス)」 P.87 「ボックス設定(メールボックス)」

□ Fコード設定(メールボックス)

Fコード設定ページでは、ボックス番号、パスワード、所有者、コメントや通知設定など、全般的な情報をセットアップ することができます。

注意

- 親展ボックスまたは掲示板ボックスを作成する場合は、[レポート通知]および[原稿印刷]は表示されません。
- 相手先の登録と自局の設定が一致しないと F コード通信はできません。ボックス番号を入力する前に、相手先の ボックス番号、自局番号がどのように登録されているかを通信管理記録で確認してください。

	1
* 永須入力	
- ボックス番号	001
パスワード	•••••
ユーザ名	UserName001
	□エラーメッセージを送信する
レポート通知	□ジョブ完了メッセージを送信する
	Eメールアドレス
- 原稿印刷	常時印刷 →

	項目名	機能説明
1	ボックス番号	メールボックスのボックス番号を入力します。半角の数字、#、*を含め、20文字まで入力
		できます。
		また、転送メールボックスを作成している場合は、相手先のファクス番号を入力して、受
		信ファクス転送(送信者情報)機能を設定することもできます。相手先のファクス番号(相
		手先が自局番号として登録した番号)を指定した場合、指定したファクス番号から受信し
		たファクス原稿は、メールボックスに設定された転送先へ転送されます。
	注意	
	• 受信ファクス転送(送信者	青報)機能は、転送メールボックスにのみ設定することができます。エージェントの選択で
	[親展]または[掲示板]を	選択した場合は、ファクス番号を指定することはできません。
	• 指定したファクス番号からオ	ボックス番号(またはサブアドレス)が指定されたファクス原稿を受信した場合は、受信ファ
	クス転送(送信者情報)機能 を処理します。	を利用せずに指定されたボックス番号(またはサブアドレス)の設定に従って受信ファクス
2	パスワード	メールボックスをパスワードで保護する場合は、パスワードを入力します。半角の数字、#、
		*を含め、20文字まで入力できます。
3	ユーザ名	メールボックスの所有者を入力します。半角/全角にかかわらず30文字まで入力できます。
4	コメント	コメントを入力します。半角/全角にかかわらず30文字まで入力できます。
5	レポート通知	レポート通知の方法を設定します。
		エラーメッセージを送信する :エラーが発生した場合に、指定したEメールアドレスに通知
		メッセージを送信します。
		ジョブ完了メッセージを送信する:ジョブの完了時に、指定したEメールアドレスに通知
		メッセージを送信します。
		Eメールアドレス :通知メッセージが送信されるEメールアドレスを入力します。半角英数
		字192文字まで入力できます。
	注意	
	レポート通知を設定した場合は	TopAccessアクセスポリシーモードの「セットアップ」メニューにある「Fメール設定」サ
	ブッニューズ ロッニル半行の割	
	□ P.232 「Eメール設定をセッ	k定を必り15CCたとい。設定力広については、以下のセククヨンを参照してください。 トアップする」
6	原稿印刷	このメールボックスに送信される文書を本機で印刷するか選択します。
		• 常時印刷:送信された文書を常に印刷します。
		• エラー時のみ印刷 :指定したすべての転送がエラーになったときに原稿を印刷します。

□ 宛先設定(メールボックス)

連絡先リストのページでは、ファクスやインターネットファクス中継転送およびEメール転送する宛先を指定します。 Eメール転送エージェントの宛先を指定するときは、Eメールアドレスのみを使用することができます。 ファクス/インターネットファクス(中継)エージェントの宛先を指定するときは、ファクス番号およびEメールアドレ スの両方を使用することができます。

宛先を指定するには、相手先のEメールアドレスやファクス番号を手動で入力したり、アドレス帳から個人やグループを 選択します。また、LDAPサービスを使って検索することもできます。

注意

ファクス/インターネットファクス(中継)エージェントの宛先を設定する場合は、手動による宛先の設定および LDAPサービスを使用した宛先の設定はできません。

操作方法は、以下の手順と同じです。 □ P.58 「宛先設定(プライベートテンプレート)」

□ インターネットファクス設定(メールボックス)

インターネットファクス設定のページでは、送信されるインターネットファクスのプロパティを設定します。 操作方法は、以下の手順と同じです。 □ P.64 「インターネットファクス設定(プライベートテンプレート)」

□ 中継孫局送信(メールボックス)

中継孫局結果表を送信する宛先を設定します。

1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
;	E メー ル	ファクス	ID	<u>▼名称</u>	<u> </u>	<u>自局番号</u>		
	0	0	0001	FirstName01 LastName01	User01@example.com	012-3456-7890		
	0	۲	0002	FirstName02 LastName02	User02@example.com	123-4567-8901		
	0	۲	0003	FirstName03 LastName03	User03@example.com	234-5678-9012		
	\bigcirc	۲	0004	FirstName04 LastName04	User04@example.com	345-6789-0123		
	\bigcirc	۲	0005	FirstName05 LastName05	User05@example.com	456-7890-1234		
	\bigcirc	۲	0006	FirstName06 LastName06	User06@example.com	567-8901-2345		
	\bigcirc	۲	0007	FirstName07 LastName07	User07@example.com	678-9012-3456		
	\bigcirc	۲	0008	FirstName08 LastName08	User08@example.com	789-0123-4567		
	0	۲	0009	FirstName09 LastName09	User09@example.com	890-1234-5678		
	0	0	0010	FirstNone101.estNone10	User10@example.com	901-2345-6789		

	項目名	機能説明
1	[追加]ボタン	中継孫局結果表を送信する設定を追加します。
2	[キャンセル] ボタン	設定を中止します。
3	[リセット] ボタン	設定内容をリセットします。
4	入力ボックス	送信先のEメールアドレスまたはファクス番号を入力します。
5	宛先一覧	登録されている宛先を一覧表で表示します。送信するEメールアドレスまたはファクス番号 を選択します。

注意

中継孫局結果表の宛先には、複数の宛先を指定することはできません。

□ 共有フォルダに保管設定(メールボックス)

共有フォルダに保管設定ページでは、受信したファクスの保存方法および保存先を設定します。 操作方法は、プライベートテンプレートの登録と同じです。ただし、ファイル名は発信元-NNN(NNNはシーケンシャ ル番号)固定になります。 操作方法は、以下の手順と同じです。 □ P.68 「共有フォルダに保管設定(プライベートテンプレート)」

注意

ただし、メールボックスの共有フォルダに保管設定ページでは、保存先にUSBメディアを指定することはできません。

Eメール設定(メールボックス)

Eメール設定のエージェント設定ページでは、Eメール転送文書の本文をセットアップします。 操作方法は、プライベートテンプレートの登録と同じです。ただし、ファイル名は発信元-NNN(NNNはシーケンシャ ル番号)固定になります。 操作方法は、以下の手順と同じです。 P.66 「Eメール設定(プライベートテンプレート)」

□ ボックス設定(メールボックス)

ドキュメントボックス設定のページでは、受信したファクスをファイリングボックスにどのように保存するかを設定します。

操作方法は、以下の手順と同じです。 □ P.71 「ボックス設定(プライベートテンプレート)」 など

[登録] 設定/操作方法

□ P.88 「テンプレートを管理する」
 □ P.96 「アドレス帳を管理する」
 □ P.102 「メールボックスを管理する」

■ テンプレートを管理する

□□ P.88 「プライベートテンプレートグループを登録・編集する」 □□ P.91 「テンプレートを登録・編集する」

□ P.95 「共有テンプレートを表示する」

□ プライベートテンプレートグループを登録・編集する

テンプレートを作成する前にテンプレートを管理するプライベートグループを定義する必要があります。プライベートグ ループを部門やユーザごと、または用途別などに作成して、テンプレートを分類することができます。 また、プライベートグループにはパスワードを設定し登録したテンプレートを保護することもできます。

補足

- 最大200個のプライベートグループを作成することができます。プライベートグループを作成するには、グループ 名や所有者、Eメール通知設定を定義します。
- 必要とするテンプレートがアクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザやほかのユーザによってすでに作成されている可能性があります。テンプレートやグループを新たに作成する場合は、すでに登録されているテンプレートを確認し、どのテンプレートが利用できるかをご確認ください。
- **1** [登録] タブをクリックし、[テンプレート] メニューをクリックします。 _{テンプレートグループ}ページが表示されます。
- **2** 新規プライベートグループを作成する場合は、[未定義] グループリンクをクリックします。 グループ情報を編集したい場合は、定義済みのグループ名リンクをクリックします。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> ログイン	
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ			
テンプレート	<u>アドレス帳 Fコー</u>	-ド/ファクス受信転送(注	<u>馬分(ナ)</u>				
テンプレー テンプレートグ/ 共有テンプレー	ト グループ ルーブまたはテンプ トグループ	, ートボタンを作成,	/編集するには下の:	テンプレートグルー	-ブを選択して下さい。		
番号 共有	名称 共有テンプレートグルーコ	ユーザ名 2					
全てのグループ ジャンプ <u>001 011 021 03</u>	全てのグループ 定義済みグループ ジャンプ 001 011 021 031 041 051 061 071 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191						
番号 001 002 003 004	名称 Templete 未定義 未定義	ユーザ名 志定義 志定義					

- 未定義のグループを選択した場合は、グループ情報の登録ページが表示されます。手順5に進みます。
- パスワードが設定されていない定義済みのグループを選択した場合は、選択したグループのプライベートテンプレート一覧ページが表示されます。手順4に進みます。
- パスワードが設定されている定義済みのグループを選択した場合は、[グループパスワードの入力] ページが 表示されます。次の手順に進みます。

補足

- 初期表示では、200個のプライベートグループのすべてが表示されます。[定義済みグループ] リンクをク リックすると、定義済みのプライベートグループのみを表示させることができます。
- 作成または編集するプライベートグループの番号が事前に分かっている場合は、[ジャンプ] リンクで目的の番号をクリックします。

3 [グループパスワードの入力] ページが表示された場合は、選択したプライベートグループのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

TopAccess	5				<u>ファイリングボックス</u> ログイン		
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ			
テンプレート	<u>アドレス帳</u>						
グループパ	スワードの入力)					
グループ情報							
番号 名称		ユーザ名					
001 🍰 Templ	lete001	UserName	001				
17 70 Z •••	•••						
	121						

▲ [編集]、[パスワード変更]、[リセット]のいずれかをクリックします。

Τορλα					<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	<u>アドレス帳 Eas</u>	- ド/ファクス受信転送(振	<u>分け)</u>		
プライベート	テンプレート	テンプレートグループ 🕨			
グループ情報 編集 パスワ・ 番号	-ド変更 リセット 名称	 			
	iser006	user006			

[リセット]を選択した場合は、必要のないプライベートグループをリセットし、未定義のプライベートグループ に戻すことができます。手順7に進みます。

注意

プライベートグループをリセットすると、登録されているテンプレートもすべて削除されます。

5 必要に応じて、以下の項目を入力します。

TopAcces	S				ファイリングボッ	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>
					<u></u>	<u> ブイン</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ		
テンプレート	 アドレス帳 Fコ+	・ド/ファクス受信転送(振	 分け)			
グループ情	報					
后山、司桂和						
● 一 一 一 月 報 番号 名称	7	ユーザ名	1			
006 🔒 user	006	user006				
1本仔 +ヤノゼ	210					
番号 [0	06					
*名称	user006					
ユーザ名	user006					
レポート通知	このEメールアドレスは、テン	ブレートの受取人として使	用されます。	N		
	EX-N7FDX UserUblg	yexample.com		45		

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.53 [[グループ情報] 画面」

グループ情報ページが表示されます。

TopAccess					<u>ファイリングボックス</u> ロ <u>クイン</u>
装置	ジョ ブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	<u>アドレス帳 Fa</u>	ード/ファクス受信転送(振分)	<u>t)</u>		
グループパス	スワードの変更	Ē			
グループ情報 番号 名称		ユーザ名			
006 🔒 user00	6	user006			
【保存】 キャンセル	,	· · ·			
	·				
旧パスワード 🛛 🔹					
新しいパスワード					
バスワードの確認					
	12				

6 【保存】をクリックし、変更を適用します。

7 [OK] をクリックします。

手順4で[編集]を選択した場合はこの手順は不要です。

□ テンプレートを登録・編集する

各プライベートグループには最大60個のテンプレートを作成することができます。プライベートテンプレート登録では、 本機の操作パネルに表示されるテンプレート名やエージェント設定を指定することができます。また、プライベートテン プレートごとにパスワードを設定し保護することができます。

補足

各テンプレートには、以下のエージェントを組み合わせて設定することができます。

- コピーエージェントは、[共有フォルダに保管] または [ファイリングボックスに保管] と組み合わせることができます。
- ファクス/インターネットファクスエージェントは、[共有フォルダに保管]と組み合わせることができます。
- スキャンエージェントは、[共有フォルダに保管]、[Eメール送信]、[ファイリングボックスに保管]のうち、最高2つのエージェントを組み合わせることができます。
- **1** [登録] タブをクリックし、[テンプレート] メニューをクリックします。 _{テンプレートグループ}ページが表示されます。
- **2** プライベートテンプレートを登録または編集したい定義済みのグループ名リンクをクリックします。

TopAcces	5						<u>ファイリングボックス</u>
							ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録		カウンタ		
テンプレート	<u>アドレス帳 Fコー</u>	ド/ファクス受信転送(掛	<u>読分け)</u>				
テンプレー	トグループ						
デンブレートグ	ループまたはテンプ	ノートボタンを作成。	/編集するには「	トのデン	ブレートグルー	がな選択して下さい。	
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		Ample A a le la				
共有テンプレー	トグループ						
番号	名称	ユーザ名					
	共有テンプレートグルーコ	<u> </u>					
	Landarda a su s						
全てのクループ	正義済みクループ						
ジャンプ							
001 011 021 0	<u>31 041 051 061 071</u> .	<u>081 091 101 111 1</u>	21 131 141 151	<u>161 171 1</u>	<u>81 191</u>		
番号	名称	ユーザ名					
001	Lisoful Tomolotoo						
002	Templete						
003	末定義						
004	不正義						

- パスワードが設定されていない定義済みのグループを選択した場合は、選択したグループのプライベートテン プレート一覧ページが表示されます。手順4に進みます。
- パスワードが設定されている定義済みのグループを選択した場合は、[グループパスワードの入力]ページが 表示されます。次の手順に進みます。

補足

- 初期表示では、200個のプライベートグループのすべてが表示されます。[定義済みグループ] リンクをク リックすると、定義済みのプライベートグループのみを表示させることができます。
- 定義または編集するプライベートグループ番号が事前に分かっている場合は、[ジャンプ] リンクをクリックします。

[愛鋭]

など

3 [グループパスワードの入力] ページが表示された場合は、選択したプライベートグループのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

TopAccess	5				<u>ファイリングボックス</u> ログイン			
装置	೮∍ರ	ログ	登録	カウンタ				
テンプレート	アドレス帳							
グループパ	スワードの入力)						
グループ情報								
番号 名称		ユーザ名						
001 🔒 Tempi	ete001	UserName	001					
0KL ++>>t=>>t=>								

プライベートテンプレート一覧ページが表示されます。

4 新しいテンプレートを作成する場合は、テンプレートリストから [未定義] アイコンをク リックします。既存のテンプレートを編集するときは定義済みアイコンをクリックします。

TopAccess	5				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	<u>アドレス帳 Fa</u> r	-ド/ファクス受信転送(<u>振分け)</u>		
プライベー	トテンプレート	<u>テンプレートグループ</u>	•		
グルーブ情報 編集 パスワ 番号 003	ード変更 名称 template03	ユーザ名 user03			
パネル表示 <u>リフ</u> テンブレートの画像 ジャンプ <u>1-6</u> 7-12 <u>13-18</u>	<u>スト表示</u> をクリックすることで編集を <u>19-24</u> <u>25-30</u> <u>31-36</u> <u>37</u>	行えます -42 <u>43-48 49-54 55</u>	-60		
	▲ 二ピー 未定義 未定薬 未定薬 未定薬 未定薬 未定薬	2	+ 定 未定 未定 未定 未定 未定 未定 未定 未定 未定	- 第 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	

- テンプレートリストがリスト表示で表示されている場合は、[未定義] テンプレート名をクリックし、新規テンプレートを登録します。既存のテンプレートを編集する場合は、定義済みのテンプレート名をクリックします。
- 未定義のテンプレートアイコンをクリックした場合は、エージェントの選択ページが表示されます。この場合は、手順7に進みます。
- パスワードが設定されていない定義済みテンプレートアイコンをクリックした場合は、テンプレート情報ページが表示されます。この場合は、手順6に進みます。
- パスワードが設定されている定義済みテンプレートアイコンをクリックした場合は、[テンプレートパスワードの入力]ページが表示されます。この場合は、次の手順に進みます。

補足

- [パネル表示] または [リスト表示] のどちらかをクリックすると、テンプレートリストの表示を切り替え ることができます。
- 定義または編集するプライベートテンプレートが事前に分かっている場合は、[ジャンプ] リンクをクリックします。

5 [テンプレートパスワードの入力] ページが表示された場合は、選択したプライベートテン プレートのパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

TopΛ	cci	255				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	1	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
		-ト <u>アドレス帳</u>				
Input Group	t T	emplate Password	1			
No.		Name	Use	er Name		
009		Templete009				
Templ	ate	Information				
No.		Name	Use	er Name		
001	۵	Сору				
Passwa	Canc 2	ei 				

[登録] タブ

- テンプレート情報ページが表示されます。
- 6 [テンプレート情報] ページの [編集]、[パスワード変更]、[テンプレートリセット] のいずれかをクリックします。

TopAccess	;				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	アドレス帳				
テンプレー	ト 情報 <u>テンプレ</u>	<u>−トグループ ▶ プライベー</u>	-トテンプレート▶		
グループ情報					
番号 名称		ユーザ名	1		
009 🔒 Templ	ete009				
テンプレート 情報	R				
番号 名称		ユーザ名	1		
001 🔒 Copy					
	ード変更 テンプ				
パネル	Copy				
レポート通知					
自動実行無	颊				
ユージェノト コ	E-				
ATY					

[テンプレートリセット]を選択した場合は、不要なプライベートテンプレートをリセットし、未定義のテンプ レートに戻します。手順10に進みます。

7 必要に応じて、以下の項目を入力します。

• 手順6で[編集]を選択した場合は、エージェントを選択し[エージェント設定]をクリックします。

TopAccess	;				<u>ファイリングボックス</u> ロ <u>グイン</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	<u>アドレス帳 Eコー</u>	ド/ファクス受信転送(振分け	Σ		
テンプレー	~情報 <u>デンプレ-</u>	<u>・トグループ</u> ▶ <u>プライベートテ</u>	<u>) 270-⊦</u> ⊳		
保存 キャンセ	16-				
エージェント設 コピー ファクスノインタ スキャン メタスキャン	[₽] 		 三方 二方 この 	ール 育フォルダに(保管 イリングボックス)に保管 Bメディアを使用	Ž 2

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.56 [[テンプレート情報] 画面」 • 手順6で [パスワード変更]を選択した場合は、以下の項目を入力し、手順9に進みます。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ		
テンプレート	I <u>アドレス帳</u>					
テンプレート	-パスワードの変	更				
番号 名称		ユーザ名				
009 🔒 Templ	ete009					
テンブレート 情報						
番号 名称		ユーザ名				
001 🔒 Copy						
【保存】 キャンセ	IL _					
旧パスワード 新しいパスワート	•••••					
バスワードの確認						

このページでは、以下の設定を行うことができます:

□ P.55 [[グループパスワードの変更] 画面」

8 ページに表示されている各ボタンをクリックし、テンプレートプロパティを編集します。

[パネル設定]	テンプレートのアイコン設定を指定します。 □ P.57 「パネル設定(プライベートテンプレート)」
[宛先設定]	送信する宛先を指定します。ファクス/インターネットファクスエージェントまたはE メール送信エージェントを作成するときに設定します。 □ P.58 「宛先設定(プライベートテンプレート)」
[インターネットファクス設定]	インターネットファクスをどのように送信するかを設定します。ファクス/インター ネットファクスエージェントを作成するときに設定します。 □ P.64 「インターネットファクス設定(プライベートテンプレート)」
[ファクス設定]	ファクスとして文書をどのように送信するかを設定します。ファクス/インターネット ファクスエージェントを作成するときに設定します。 □ P.64 「ファクス設定(プライベートテンプレート)」
[Eメール設定]	Eメールメッセージとして文書をどのように送信するかを設定します。Eメール送信エー ジェントを作成するときに設定します。 □ P.66 「Eメール設定(プライベートテンプレート)」
[共有フォルダに保管設定]	本機の共有フォルダ、USBメディアまたはネットワークフォルダに文書をどのように保存するかを設定します。共有フォルダに保管エージェントを作成するときに設定します。 P.68 「共有フォルダに保管設定(プライベートテンプレート)」
[ボックス設定]	ファイリングボックスに文書をどのように保存するかを設定します。ファイリングボッ クスに保管エージェントを作成するときに設定します。 □ P.71 「ボックス設定(プライベートテンプレート)」
[USBメディアを使用]	USBメディアに文書をどのように保存するか設定します。 P.72 「USB保存設定(プライベートテンプレート)」
[スキャン設定]	文書をどのようにスキャンするかを設定します。共有フォルダに保管エージェント、E メール送信エージェントおよびファイリングボックスに保管エージェントを作成すると きに有効です。 □ P.74 「スキャン設定(プライベートテンプレート)」
[拡張フィールド設定]	拡張フィールド定義情報と拡張フィールド設定を設定します。 □ P.76 「拡張フィールド設定」
[パスワード設定]	プライベートテンプレートにパスワードを設定します。 P.76 「パスワード設定」

9 [保存] をクリックします。

10 [OK] をクリックします。

手順6で[編集]を選択した場合はこの手順は不要です。

□ 共有テンプレートを表示する

ユーザは、共有グループのテンプレートリストを表示させ、どのテンプレートが使用できるかを確認することができます。

共有グループのテンプレートを表示する

1 [登録] タブをクリックし、[テンプレート] メニューをクリックします。 テンプレートグループページが表示されます。

2 [共有テンプレートグループ] リンクをクリックします。

ΤορΛα	255		<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ 登録 カウンタ	
テンプレート	<u>アドレス帳</u> <u>Fコード</u>	- /ファクス受信転送(振分け)	
テンプレ テンブレート 共有テンプ	ートグループ - グルーブまたはテンプレ・ - レートグルーブ	ートボタンを作成/編集するには下のテンブレートグループを選択して下さい.	
共有	共有テンプレートグループ		
全てのグルー	ブ 定義済みグループ		
ジャンプ <u>001</u> 011021	1 <u>031 041 051 061 071 08</u>	31 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191	
番号	名称	ユーザ名	
001	Useful Templates		
002	Templete		
003	template03	user03	
004	未定義	未定義	
005	未定義	未定義	
006	未定義	未定義	

3 共有グループのテンプレートリストが表示されます。

ΤορΛαα	255					<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	ŝ	2録	カウンタ	
	<u>アドレス帳</u> <u>Eコ</u> ー	-ド/ファクス受信転送(振	<u>分け)</u>			
共有テン	/プレート <u>テンポレートか</u>	<u> ジループ </u> ト				
グループ情	報					
番号	名称	ユーザ名				
共有	共有テンプレートグループ					
パネル表示 共有テンプレー ジャンプ <u>1-6 7</u> テンプレー	<u>リスト表示</u> -トを編集するために管理者とし 12 13-18 19-24 25-30 31- - 1-6	にログインして下さい 36 <u>37-42</u> <u>43-48 49-54</u>	<u>55-60</u>			
¹ -Ը쁼	共有FOLDER IC保管	2	-C 📳	共有FOLDE IC保管	ER	
a 📥	Eメール送信		,r 🗈	ファイリング		
° ⊾@	Eメール	4	ե 🗍	ボックスに保	管	
. 📥	共有FOLDER			共有FOLDE	ER	
° 두	に保管	0	₩	USB		
ニのページのタ						

補足

- [パネル表示] または [リスト表示] のどちらかをクリックすると、テンプレートリストの表示を切り替え ることができます。
- 確認する共有テンプレート番号が事前に分かっている場合は、目的の番号の[ジャンプ]リンクをクリックします。

■ アドレス帳を管理する

□ P.96「アドレス帳の連絡先を管理する」 □ P.100「アドレス帳のグループを管理する」

□ アドレス帳の連絡先を管理する

アドレス帳の連絡先を管理するには、以下の2つの方法があります。

- 手動で連絡先を追加・編集・削除する
 □ P.96 「手動で連絡先を追加・編集・削除する」
- LDAPサーバーを使って連絡先を検索し、追加する
 □ P.99 「LDAPサーバーを使って新規連絡先を追加する」

手動で連絡先を追加・編集・削除する

連絡先に関する情報を手動で入力し、その連絡先を追加、編集することができます。また、連絡先をアドレス帳から削除 することもできます。

- **1** [登録] タブをクリックし、[アドレス帳] メニューをクリックします。 アドレス帳ページが表示されます。
- **2** [新規追加] をクリックし、新規連絡先を追加します。または、連絡先一覧で編集・削除したい連絡先に対応するリンクをクリックします。

/0(Access	5									<u>ファイリングボ</u> 旦
装	置	j 19≣	ブ		y .	登録		カウンタ			
ΞZ	ブレート	アドレス帳	I Es	ュード/ファクス愛	信転送(振分)	<u>t)</u>					
アド	レス帳										
アトレ.	現追加(検										
グルー	ープ 全ての	 グループ ▼									
グル-	ー ブ 全ての 名称	ブ ▼		Eメールフ			電話番	·号		1	
グル・ ブル・ 10	ーブ 全ての 名称 LastName10	ヴループ ▼ FirstName10		Eメール; <u>User10@</u>	^{7ドレス} xxample.com		電話番 <u>901-23</u>	·号 15-6789		1	
グル・ ▼ID 10 9	ープ 全ての 名称 LastName10 LastName09	ヴループ ▼ FirstName10 FirstName09		Eメール <u>User10@</u> <u>User09@</u>	アドレス axample.com		電話番 <u>901-23</u> 890-12	·号 1 <u>5-6789</u> 34-5678			
グル・ ▼ID 10 9 8	ープ 全ての 名称 LastName10 LastName09 LastName08	ブループ ▼ FirstName10 FirstName09 FirstName08		Eメール User10@ User09@ User08@	アドレス example.com example.com example.com		電話番 <u>901-23</u> 890-12 789-01	号 <u>45-6789</u> <u>34-5678</u> 23-4567			
グル・ ▼ID 10 9 8 7	ーナ 全ての 名称 LastName10 LastName09 LastName08 LastName07	ブルーブ ・ FirstName10 FirstName09 FirstName08 FirstName08		Eメール) User10の User09の User09の User07の	2150 Z example.com example.com example.com example.com		電話番 901-23- 890-12: 789-01; 678-90;	·号 15-6789 34-5678 33-4567 12-3456			
グル・ ▼ID 10 9 8 7 6	ーナ 全ての 名称 LastName10 LastName09 LastName08 LastName07 LastName06	グループ ・ FirstName10 FirstName09 FirstName08 FirstName07 FirstName06		Eメール User1000 User0300 User0300 User0300 User0300 User0300	2FUZ example.com example.com example.com example.com		電話番 901-23 990-12 789-01 578-90 5678-90	·号 15-6789 94-5678 33-4567 12-3456 11-2345			
グル・ ブル・ 10 9 8 7 5	ーナ 全ての 名称 LastName10 LastName09 LastName08 LastName06 LastName05	グループ ・ FirstName10 FirstName09 FirstName08 FirstName06 FirstName06 FirstName05		EX-J/- User102 User032 User032 User032 User032 User052	2KUZ example.com example.com example.com example.com example.com		電話番 901-23 890-12 789-01 678-90 567-89 456-78	·号 15-6789 14-5678 13-4567 12-3456 11-2345 10-1234			
グル・ ブル・ 10 9 8 7 5 4	ーナ 全ての 名称 LastName10 LastName09 LastName08 LastName06 LastName05 LastName04	ヴループ ・ FirstName10 FirstName09 FirstName08 FirstName06 FirstName05 FirstName04		EX-1/- User10@ User03@ User03@ User03@ User05@ User04@	2 FU Z example.com example.com example.com example.com example.com example.com		電話番 901-23 890-12 789-01 678-90 567-89 456-78 345-67	号 15-6789 34-5678 33-4567 12-3456 11-2345 30-11234 39-0123			
グル・ 10 9 8 7 6 5 4 3	ープ 全ての 名称 LastName10 LastName09 LastName08 LastName06 LastName05 LastName04 LastName04 LastName04 LastName03	FirstName10 FirstName09 FirstName08 FirstName07 FirstName05 FirstName04 FirstName04 FirstName03		Ext-JJ User1020 User0320 User0320 User0320 User0320 User0420 User0320	ZFU Z example.com example.com example.com example.com example.com example.com example.com		電話番 901-23 890-12 789-01 678-90 567-89 456-78 345-671 345-671 234-567	- 5 15-6789 14-5678 12-3456 11-2345 11-2345 10-1234 19-0123 78-9012			
グル・ 10 9 8 7 6 5 4 3 2	ーナ 全ての 名称 LastName09 LastName08 LastName06 LastName05 LastName03 LastName03 LastName03 LastName03 LastName04	FirstName10 FirstName09 FirstName09 FirstName06 FirstName05 FirstName05 FirstName03 FirstName03 FirstName03 FirstName03		E X-1), User10@ User03@ User03@ User05@ User05@ User05@ User03@ User03@	2 FL Z example.com example.com example.com example.com example.com example.com example.com example.com		電話報 901-23 990-12 789-013 678-90 567-89 458-78 9455-78 345-57 345-57 234-56 1234-56	5-6789 45-678 12-3456 12-3456 11-234 90-1123 99-0112 37-8901			

宛先情報ページが表示されます。

3 宛先情報に関する以下の項目を入力します。[削除] をクリックするとアドレス帳から連絡 先が削除されます。

pricess	1				<u>ファイリングボック</u> ログイ
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	アドレス帳 日	ード/ファクス受信転送(振)	<u>/t//</u>		
宛先情報	<u>アドレス帳</u> ▶				
保存 ファクス設定	ル リセット 削除				
*どちらかは必須 **どちらかは必須					
* 页生	U	ser01			
*名	U	ser01			
20132					
** Eメールアドレス	U	serO1@example.com			
** Eメールアドレス ***電話番号	05	ser01@example.com 50007237			
** Eメールアドレス **電話番号 電話番号2		ser01@example.com 50007237			
** Eメールアドレス **電話番号 電話番号2 会社名		ser01@example.com 60007237			
** EX-ルアドレス **電話番号 電話番号2 会社名 部署名		ser01@example.com 60007237 ept01			
** Eメールアドレス **電話番号 電話番号2 会社名 部署名 備考		ser01@example.com 60007237 ept01			

[登録] タブ

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.78 「[宛先情報] 画面」

4 ファクスの連絡先を登録しているときは、[ファクス設定]をクリックします。そのほかの 場合は、手順6へ進みます。

ファクス設定ページが表示されます。

5 宛先のファクス装置本体の性能に合わせ、以下の項目を入力し、[保存]をクリックします。

TopAccess						<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ		
テンプレート	7ドレス帳 <u>E</u> ユ	ード/ファクス受信転送(振う	<u>(tk</u>			
ファクス設定	<u>アドレス帳</u> ► 刻	2先情報 ▶				
SUB						
SID						
SEP						
PVVD						
ECM		•				
回線指定		•				
海外指定		•				
送信方法		•			151	

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.79 「[ファクス設定] 画面」 6 宛先情報ページで [保存] をクリックし、新規連絡先を追加します。

TopAccess	;				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	アドレス帳 Eコ	ード/ファクス受信転送(振分	<u>(tr</u>		
宛先情報	<u>アドレス帳</u> ▶				
保存(キャンセ)	ル「リセット」削除				
*どちらかは必須 **どちらかは必須					
* <u>\$</u> ±	U	ser01			
*名	U	ser01			
フリガナ					
** Eメールアドレス	Us	serO1@example.com			
**電話番号	05	50007237			
電話番号2					
会社名					
部署名	De	ept01			
備考					

LDAPサーバーを使って新規連絡先を追加する

LDAPサーバーで連絡先を検索し、その連絡先を本機のアドレス帳に追加することができます。LDAP検索を利用するには、ディレクトリサービスがアクセスポリシーモードで、管理権限が設定されているユーザによってセットアップされている必要があります。LDAP検索を操作する前に、ディレクトリサービスがセットアップされているかをご確認ください。

LDAPサーバーから新規連絡先を追加する

- ▲ 【登録】タブをクリックし、【アドレス帳】メニューをクリックします。
 - アドレス帳ページが表示されます。

2 [検索] をクリックします。

/מכ	Access	;				<u>ファイリングボック</u> ログ・
装	置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプ	ガレート コ	アドレス帳 Eコ	-ド/ファクス受信転送(振分	<u>117)</u>		
アド	レス帳					
	- AE 1 47.0					
アトレ	ス1% <u>フル</u> ニ	-2				
新規	見追加 検知	索				
		×				
グルー	-ヺ 全ての					
		•				
<u>▼⊡</u>	<u>名称</u>		<u> Eメールアドレス</u>	重	<u>話番号</u>	
<u>10</u>	LastName10	FirstName10	User10@example.com	90	1-2345-6789	
9	LastName09	FirstName09	User09@example.com	89	0-1234-5678	
8	LastName08	FirstName08	User08@example.com	78	9-0123-4567	
Ζ	LastName07	FirstName07	User07@example.com	67	8-9012-3456	
<u>6</u>	LastName06	FirstName06	User06@example.com	56	7-8901-2345	
5	LastName05	FirstName05	User05@example.com	45	6-7890-1234	
4	LastName04	FirstName04	User04@example.com	34	5-6789-0123	
3	LastName03	FirstName03	User03@example.com	23	4-5678-9012	
2	LastName02	FirstName02	User02@example.com	12	3-4567-8901	
1	LastName01	FirstName01	User01@example.com	01	2-3456-7890	
コのべ	ージの先頭へ					

3 [LDAPサーバー名] ボックスで検索するディレクトリサービス名を選択し、検索したい項目 欄に検索文字を入力します。

宛先検索					
検索「キャンセル」					
名前及びEメールアドレス、電話番号で検索できます。					
LDAPサーバーネ	LDAP server001 👻				
名					
姓					
Eメールアドレス					
電話番号					
会社名					
部署名		<u>}</u>			

補足

- [LDAP サーバー名] ボックスから本機モデル名を選択すると、本機のアドレス帳を検索することができます。
- 各項目に入力した文字列を含む連絡先が、TopAccessによって検索されます。
- 空欄にした項目は無視され、入力した項目だけを用いて検索します。ただし、少なくとも1つのボックスに は文字や文字列を入力する必要があります。

▲ [検索] をクリックします。

TopAccessがLDAPサーバーで連絡先の検索を開始します。検索を終了すると、検索結果が検索アドレス一覧ページに表示されます。

宛先検索ページが表示されます。

5 アドレス帳に追加したい連絡先に対応するチェックボックスをオンにします。

追加 キャンセル			
 ✓ ✓	Eメールアドレス	電話番号	
FirstName01 LastName01	User01@example.com	012-3456-7890	

一覧に表示されたすべてのユーザを選択する場合は、 🗾 ボタンをクリックします。

注 意

[company (会社名)] [department (部門名)] の値はアクセスポリシーモードで、管理権限が設定されている ユーザの設定に依存します。

6 [追加] をクリックします。

選択した連絡先がアドレス帳に追加されます。

□ アドレス帳のグループを管理する

複数の連絡先を割り当てたグループを作成することができます。このグループ機能を使用すれば、Eメール送信やイン ターネットファクス送信、ファクス送信を複数の連絡先へ実行する際に、それらの連絡先を個別に選択する手間を省くこ とができます。また、既存のグループを削除することもできます。

- **1** [登録] タブをクリックし、[アドレス帳] メニューをクリックします。 アドレス帳ページが表示されます。
- **2** [グループ] サブメニューをクリックします。 _{グループー覧が表示されます。}
- **3** [新規] をクリックし、新規グループを追加します。または、グループ一覧で編集・削除したいグループのリンクをクリックします。

TopAccess	;				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
デンプレート	アドレス帳 <u>Fコ</u>	ード/ファクス受信転送(振	<u>分け)</u>		
アドレス帳					
<u>アドレス帳</u> グルー	Ĵ				
新規					
<u>▼⊡ グループを</u>	荪	-	アドレス 場		
5 GroupName	05	7	7		
4 GroupName	04	6	5		
3 GroupName	03	5	5		
2 Groupivame	02 01	1	0		
このペーンの元頭へ	3				

グループ情報ページが表示されます。

4 [グループ名称] 欄に、グループ名を入力します。[削除] をクリックすると、選択したグ ループが削除されます。

op/	٨	ess	5					ファイリン	<u> グボックス</u> ログイン
¥.	镭		ジョブ	ログ	登録	カウンタ			
テン	ブレー	21	アドレス帳 Eコ	ード/ファクス受信転送(振分け	<u>t)</u>				
グリ	ν-·	プ情	報 アドレス帳▶						
	+ 40	1211							
UK	τ Υ.	2010	0.6.01. HJM						
地名须	አታ								
*グル	/ープ名	称	GroupName01	N					
				1					
ID	Eメール	ファクス	▼ <u>名称</u>		line –	電話番号			
10			LastName10 FirstName10	User10@example.com	9	901-2345-6789			
9	V		LastName09 FirstName09	User09@example.com	8	390-1234-5678			
8	V		LastName08 FirstName08	User08@example.com	7	789-0123-4567			
7	V		LastName07 FirstName07	User07@example.com	e	678-9012-3456			
6	V		LastName06 FirstName06	User06@example.com	6	567-8901-2345			
5			LastName05 FirstName05	User05@example.com	4	456-7890-1234			
4			LastName04 FirstName04	User04@example.com	3	345-6789-0123			
3			LastName03 FirstName03	User03@example.com	2	234-5678-9012			

補足

- [グループ名称] 欄に入力した情報を消去する場合は、[リセット] をクリックします。
- グループの追加や編集を中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。
- 5 グループに追加したいユーザの [Eメール] チェックボックスおよび [ファクス] チェック ボックスをオンにします。

注意

原稿をファクス送信するには、オプションのFAXユニットが必要です。このユニットを装着していない場合は、 ファクス番号を設定してもファクス送信を実行することはできません。

6 [OK] をクリックします。

グループが作成されます。

5

■ メールボックスを管理する

注意

メールボックスを管理するには、オプションのFAXユニットが本機に装着されている必要があります。

補足

メールボックスの管理は、本機の操作パネルから行うことができます。操作パネルからメールボックスを管理する方法については、GD-1250J/GD-1260J/GD-1270J FAXユニット 取扱説明書を参照してください。

本機は、Fコード通信をサポートしており、メールボックス局によってあらかじめ開設されたメールボックスを使用して 原稿の登録、取り出しを行います。

🗌 メールボックスをセットアップする

Fコード通信を使用するには、メールボックス局をセットアップする必要があります。最大300個のメールボックスをセットアップすることができます。

設定したメールボックスは削除することもできます。

注意

削除するメールボックスに文書が存在する場合は、この操作は、そのメールボックスから文書を取り込む、印刷する または削除するまで実行することはできません。

1 [登録] タブを選択し、[Fコード/ファクス受信転送(振分け)] メニューをクリックしま す。

Fコード/ファクス受信転送(振分け)ページが表示されます。

2 [新規] をクリックし、新規メールボックスをセットアップします。または、メールボック ス一覧で編集・削除したいボックス番号リンクをクリックします。

装置 <u>テンプレート 7</u> ト Fコード/ファ:	ジョブ IELZME Fコー クス受信転送	ログ ・F/ファクス受信転送(1 き(振分け)	登録 編分け)	カウンタ			
<u>テンプレート ア</u> Fコード/ファ:	<u>IELス帳</u> Fa- クス受信転送	・ドノファクス受信転送(1 き(振分け)	塩分け)				
Fコード/ファ?	クス受信転送	き(振分け)					
					<u>A</u>		
▼ボックス番号		ユーザ名	エージェント		コメント		
003		UserName003	Eメール & 共有フォル	刻に保管			
002		UserName002	親展		-		
		0001110110001					

- [新規]をクリックした場合は、手順5へ進みます。
- パスワードで保護されていないボックス番号リンクをクリックした場合は、手順4へ進みます。
- パスワードで保護されているボックス番号リンクをクリックした場合は、次の手順へ進みます。

3 パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

TopAccess	<u>ファイリングボックス</u> ログイン						
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ			
テンプレート コ	<u>アドレス帳</u> Fコー	ド/ファクス受信転送(
Fコードパス	Fコードパスワードの入力						
	31						

4 [編集] または [削除] をクリックします。

opAcces	5				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	<u>アドレス帳</u> Fコー	- ド/ファクス受信転送(塩分け)		
Fコード設定					
編集削除					
ボックな番号	001				
レホート通知	相应				

[削除]をクリックした場合は、削除の確認ダイアログボックスが表示されるので[OK]をクリックします。

5 エージェントを選択し、[エージェント設定]をクリックします。

TopAccess	;				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
テンプレート	<u>アドレス帳</u> Fコー	-ド/ファクス受信転送(振分に			
Fコード設定	<u>F⊐-F</u> ►				
保存 キャンセ	l				
エージェン/設) ♥ 現展 ■ 掲示板 ■転送	² 3		□ イ) □ 共÷ □ E2 □ フォ	ンターネットファクス/ファク 有フォルダIこ保管 ペール ァイリングボックスIこ保管	

このページでは、以下の設定を行うことができます:

□ P.84 [[Fコード設定] 画面」

6 ページに表示される各ボタンをクリックし、メールボックスのプロパティを設定します。

[Fコード設定]	メールボックス設定をセットアップします。
[宛先設定]	送信先をセットアップします。この項目は、インターネットファクス/ファクス(中継) エージェントまたはEメール送信エージェントを作成するときに有効です。 □ P.86 「宛先設定(メールボックス)」
[インターネットファクス設定]	文書をインターネットファクスとしてどのように送信するかをセットアップします。こ の項目は、インターネットファクス/ファクス(中継)エージェントを作成するときに 有効です。 □ P.86 「インターネットファクス設定(メールボックス)」
[中継孫局送信]	転送を行った際に中継孫局結果表を送信する宛先を設定します。インターネットファク ス/ファクス(中継)エージェントを作成するときに設定します。 P.86 「中継孫局送信(メールボックス)」
[Eメール設定]	文書をEメールメッセージとしてどのように送信するかをセットアップします。この項 目は、Eメール送信エージェントを作成するときに有効です。 □ P.87 「Eメール設定(メールボックス)」
[共有フォルダに保管設定]	文書をお使いのコンピュータのハードディスクまたはネットワークフォルダにどのよう に保存するかをセットアップします。この項目は、共有フォルダに保管エージェントを 作成するときに有効です。 □ P.87 「共有フォルダに保管設定(メールボックス)」
[ボックス設定]	文書をボックスにどのように保存するかをセットアップします。この項目は、ファイリ ングボックスに保管エージェントを作成するときに有効です。 P.87 「ボックス設定(メールボックス)」

7 メールボックスのプロパティ設定を完了したら、[保存]をクリックします。 設定したメールボックスのプロパティが登録されます。

6

[カウンタ] タブ

このセクションでは、TopAccessの[カウンタ] タブについて説明します。

[カウンタ]タブの概要説明	
[カウンタ]項目説明一覧	
[カウンタ] 設定/操作方法	
カウンタを表示する	
部門管理を設定する	

[カウンタ] タブの概要説明

[カウンタ] タブでは、印刷、コピーおよびスキャンしたページ数の記録を確認できます。 □ P.106 [[カウンタ] 項目説明一覧]

■ [カウンタ] 項目説明一覧

□ P.106 「[トータルカウンタ] 画面」
 □ P.108 「[部門管理カウンタ] 画面 <ユーザモード>」
 □ P.109 「[部門管理情報] 画面 <ユーザモード>」
 □ P.110 「[部門管理カウンタ] 画面 <アクセスポリシーモード>」
 □ P.111 「[部門管理情報] (登録) 画面 <アクセスポリシーモード>」
 □ P.112 「[部門管理情報] 画面 <アクセスポリシーモード>」

□ [トータルカウンタ] 画面

プリンタカウンタとスキャンカウンタのトータルカウンタ、スモールサイズとラージサイズ別のトータルカウンタを表示 します。



	カウンタの種類	説明
1	プリントカウンタ	出力トータルカウント値を表示します。
2	プリントカウンタ(スモール)	出力トータルカウント値の詳細を、お使いの機器で設定されている用紙サイズに応じて表
3	プリントカウンタ(ラージ)	示します。
4	スキャンカウンタ	スキャンした原稿のトータルカウント値を表示します。
5	スキャンカウンタ(スモール)	スキャンした原稿のトータルカウント値の詳細を、お使いの機器で設定されている用紙サ
6	スキャンカウンタ(ラージ)	イズに応じて表示します。
プリントカウンタ/プリントカウンタ(スモール)/プリントカウンタ(ラージ)



	カウンタ	説明
1	コピーカウンタ	コピー操作で印刷された枚数を表示します。
2	ファクスカウンタ	ファクス受信で印刷した枚数を表示します。
3	プリンタカウンタ	印刷操作およびEメール受信(インターネットファクス受信)で印刷された枚数を表示します。
4	リストカウンタ	システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。

スキャンカウンタ/スキャンカウンタ(スモール)/スキャンカウンタ(ラージ)



	カウンタ	説明
1	コピーカウンタ	コピー操作でスキャンされた枚数を表示します。
2	ネットワークカウンタ	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
3	ファクスカウンタ	ファクス受信でスキャンした枚数を表示します。

□ [部門管理カウンタ] 画面 <ユーザモード>

部門ごとのトータルカウンタ情報を表示します。



	項目名	機能説明
1	部門コート	確認したい部門の部門コードを入力し、[Enter] ボタンをクリックします。
2	番号	管理部門が登録されている番号を表示します。
3	部門名称	部門名称を表示します。 部門名をクリックすると情報を確認できます。 ♀ P.109 「[部門管理情報]画面 <ユーザモード>」
4	部門コード	部門コードを表示します。
5	トータルプリント枚数	コピー操作で印刷された枚数を表示します。
6	トータルスキャン枚数	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
7	ファクス送信	ファクス送信した枚数を表示します。
8	ファクス受信	ファクス受信した枚数を表示します。

□ 【部門管理情報】 画面 <ユーザモード>



	項目名	機能説明
1	[閉じる]ボタン	[部門管理情報]画面を閉じます。
2	部門番号	管理部門が登録されている番号を表示します。
3	部門名称	部門名称を表示します。
4	部門コード	部門コードを表示します。
5	トータルカウンタ	トータルカウンタを表示します。
6	コピー	コピー操作で印刷された枚数を表示します。
7	ファクス	ファクス受信で印刷した枚数を表示します。
8	プリンタ	印刷操作およびEメール受信(インターネットファクス受信)で印刷された枚数を表示します。
9	リスト	システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。
10	スキャンカウンタ	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。 お使いの機器で設定されている用紙サイズに応じてスモールサイズとラージサイズに分類 して表示します。
11	ファクス通信カウンタ	通信記録を表示します。

□ 【部門管理カウンタ】 画面 <アクセスポリシーモード>

アクセスポリシーモードでログインしている場合、部門の作成と部門ごとのトータルカウンタの操作、Quotaの設定ができます。



	項目名	機能説明
1	[新規] ボタン	部門を作成します。 □ P.111 「[部門管理情報](登録)画面 <アクセスポリシーモード>」
2	[全カウンタクリア]ボタン	全部門のカウンタをリセットします。
3	[全割当初期化]ボタン	全部門の割当を初期化します。
4	[全削除]ボタン	登録されているすべての部門を削除します。
5	番号	管理部門が登録されている番号を表示します。
6	部門名称	部門名称を表示します。 部門名をクリックすると情報を確認できます。 □ P.112 「[部門管理情報] 画面 <アクセスポリシーモード>」
7	部門コード	部門コードを表示します。
8	トータルプリント枚数	コピー操作で印刷された枚数を表示します。
9	トータルスキャン枚数	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
10	ファクス送信	ファクス送信した枚数を表示します。
11	ファクス受信	ファクス受信した枚数を表示します。



		項目名	機能説明	
1	■ [保存] ボタン 設定した内容で部門を登録します。			
2	[キャンセル] ボタン 設定を中止します。			
3	部門名称 部門名称を入力します。			
4	4 部門コード 部門コードを入力します。			
5	力	ラー割当設定	 OFF:カラー出力制限を行いません。 ON:カラー出力制限を行います。 	
		カラー割当	カラー出力できる残数が表示されます。[カラー割当初期値]に入力した値が、カラー出力 するごとに減算され、0になると出力が制限されます。	
		カラー割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。	
6	ブ	ラック割当設定	• OFF :モノクロ出力制限を行いません。	
			 ON:モノクロ出力制限を行います。 	
		ブラック割当	モノクロ出力できる残数が表示されます。[ブラック割当初期値] に入力した値が、モノク ロ出力するごとに減算され、0になると出力が制限されます。	
		ブラック割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。	



		項目名	機能説明					
1	[保	存] ボタン	設定した内容で部門を登録します。					
2	[‡	キンセル] ボタン						
3	[ナ	ウンタリセット] ボタン	表示している部門のカウンタをリセットします。					
4	[肖	除] ボタン	表示している部門を削除します。					
5	部	門名称	部門名称を入力します。					
6	部門コード 部門コードを入力します。							
7	力 [:]	ラー割当設定	 OFF:カラー出力制限を行いません。 ON:カラー出力制限を行います。 					
		カラー割当	カラー出力できる残数が表示されます。[カラー割当初期値]に入力した値が、カラー出力 するごとに減算され、0になると出力が制限されます。					
		カラー割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。					
8	ブ [:]	ラック割当設定	 OFF:モノクロ出力制限を行いません。 ON:モノクロ出力制限を行います。 					
		ブラック割当	モノクロ出力できる残数が表示されます。[プラック割当初期値]に入力した値が、モノクロ出力するごとに減算され、0になると出力が制限されます。					
		ブラック割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99.999.999まで入力できます。					
9	<u>-</u> ا	ータルカウンタ	トータルカウンタを表示します。					
10	٦ł		コピー操作で印刷された枚数を表示します。					
11	フ	ァクス	ファクス受信で印刷した枚数を表示します。					

【部門管理情報】画面 <アクセスポリシーモード>

	項目名	機能説明
12	プリンタ	印刷操作およびEメール受信(インターネットファクス受信)で印刷された枚数を表示します。
13	リスト	システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。
14	スキャンカウンタ	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。
15	ファクス通信カウンタ	通信記録を表示します。

[カウンタ] 設定/操作方法

□ P.114 「カウンタを表示する」
 □ P.116 「部門管理を設定する」

■ カウンタを表示する

本機は、印刷、コピーおよびスキャンしたページ数の記録を保存し、各カウンタとして管理します。これらのカウンタ は、トータルまたは部門別に表示されます。ここでは、各カウンタの表示方法および部門別カウンタの管理方法を説明し ます。

□ P.114 「トータルカウンタを表示する」

□ P.115 「部門カウンタを表示する <ユーザモード>」

注意

ユーザはトータルカウンタをリセットすることはできません。ただし、アクセスポリシーモードで、管理権限が設定 されているユーザは操作パネルからカウンタをリセットすることができます。**設定管理ガイド**を参照してください。

□ トータルカウンタを表示する

[トータルカウンタ]メニューには、スモールサイズのコピーおよび印刷カウンタ、ラージサイズのコピーおよび印刷カウンタ、スキャンカウンタ別にトータルカウンタ情報が表示されます。

1 [カウンタ] タブをクリックし、[トータルカウンタ] メニューをクリックします。

トータルカウンタページが表示されます。

2 トータルカウンタを確認します。

DA CCOC	•					
www.ss						
装置	ジョブ	ログ	登録		カウンタ	
ルカウンター	部門管理					
-タルカウ	アノタ					
510155						
ガリントカウンタ						
	13Ľ-	ファクス	ブリンタ	リスト	トータル	
ルカラー	426	-	4866	-	5292	
色力ラー	0	-	5	-	5	
ブラック	270	0	2243	8	2521	
カリントカウンタ(スモール)					
	13P-	ファクス	ブリンタ	リスト	下一々ル	
フルカラー	412	-	4458		4870	
色カラー	0	-	5	-	5	
ブラック	130	0	1983	8	2121	
おいふわかっかん						
797679730	J- J1	1-47	Hur Ja	1171	1. Au	
		JYJA	2029	- VAR	100	
フルカフェ	14		400	-	422	
2回カラー ゴニック	0	-	0	-	U 400	
トゴリン	140	P	200	0	400	
بالمراجعة والمراجع والمراجع						
(キャノカリノダ				-	1. 50	
		イットワーン	・ リアリ、	×	P=000	
ハレバフー	331	2101			2432	
.巴バラー	0	-	-		0	
フラック	225	730	U		955	
スキャンカウンタ	(スモール)					
	=Ľ-	ネットワーク	クリン ファクン	ス	トータル	
フルカラー	318	2076	-		2394	
2色力ラー	0	-	-		0	
ブラック	133	697	0		830	
スキャンカウンタ	(ラージ)					
	13K-	ネットワーク	ליקר י	2	トータル	
フルカラー	13	25	-		38	_
2色カラー	0	-			0	
	92	- 33	- 0		125	
	34				140	

□ 部門カウンタを表示する <ユーザモード>

[部門管理] メニューでは、特定の部門のカウンタ情報を確認することができます。部門カウンタを表示するには、該当 する部門の部門コードを入力する必要があります。

- **1** [カウンタ] タブをクリックし、[部門管理] メニューをクリックします。 部門管理ページが表示されます。
- **2** [部門コード] ボックスに、カウンタを確認したい部門の部門コードを入力し、[設定] をク リックします。

TopAccess	;				<u>ファイリングボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	
トータルカウンター	部門管理				
部門管理					
部門ごとのカウンタ	!ーを見る!こは部門コードを	入力して下さい。			
部門コード	••	Ente	R.		
		17.	17-		

指定した部門の部門カウンタが表示されます。

3 部門カウンタの詳細を表示したい場合は、部門名称リンクをクリックします。

TopAccess	;					ファイリング	<u>ボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ		登録	カウンタ		
トータルカウンタート	部門管理						
部門管理							
部門ごとのカウンタ	マーを見るこは部門コードを	き入力して下さい.					
部門コード			Enter				
╈ 部門名称	部	門コード トータル	プリント枚数	トータルスキャン枚数	ファクス送信	ファクス受信	
1 DepartmentName	e <u>01</u> 12	3456 0		0	0	0	
	à						

▲ 部門管理情報ページが表示されます。

部門管理情報					
閉じる					
部門表导		1			
		Donortmon	thiomo@1		
APP Manny APP目-コード		122456	uvanieur		
		123450			
トータルカウンタ					
	フルカラー	2色力ラ		ブラック	トータル
	0	0		0	0
ファクス	-	-		0	0
プリンタ	0	0		0	0
リスト	-	-		0	0
トータル	0	0		0	0
	フルカラー	2色力ラ		ブラック	トータル
スモール	0	0		0	0
ラージ	0	0		0	0
ファクス		1			
	コルカラー	2色中二	-	ゴラック	下一次儿
フチール	570755	26/17		0	0
5-27	-			0	0
		C		10	I"
J973				1-1-1-1-1-1	1 Au
7.7. 1		2世万ラ	-	27992	10-200
スモール	U	0		U	0
	U	U		U	U
U/LF					
	-פתעוכ	2色力ラ		フラック	1-31
スモール	-	-		0	0
フージ	-			0	0
スキャンカウンタ					
	フルカラー	2色力ラ	-	ブラック	トータル
コピー(スモール)	0	0		0	0
コピー(ラージ)	0	0		0	0
ファクス(スモール)	•	-		0	0
ファクス(ラージ)	-	-		0	0
ネットワーク(スモール)	0	-		0	0
ネットワーク(ラージ)	0	-		0	0
トータル	0	0		0	0
ファクス通信カウンタ					
	送信		受信		トータル
スモール	0		0		0
ラージ	0		0		0

■ 部門管理を設定する

部門管理を行うには、アクセスポリシーモードでログインする必要があります。

注意

部門コードには、あらかじめ [未定義] 部門が登録されています。この部門は無効ジョブをカウントする際に使用されます。[未定義] 部門は、カウンタ情報を表示することはできますが、変更または削除することはできません。

□ P.116「部門を新規作成・修正・変更」
 □ P.117「部門を削除する」

□ 部門を新規作成・修正・変更

- **1 アクセスポリシーモードでログインします**。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [カウンタ] タブをクリックし、[部門管理] メニューをクリックします。

ファイリングボックス ファイリングボックス ログアウト ログアウト								
装	置 ジョブ		DŐ	登録	カウンタ	<u></u> ב	げ管理	管理者
ータルオ	カウンター 部門管理				h	2		
部門管理 2								
新規		当初期化	全削除					
番号	部門名称	部門コード	トータルプリント枚数	トータルスキャン枚数	ファクス送信	ファクス受信		
1	DepartmentName01	123456	0	0	0	0		
2	DepartmentName02	234567	0	0	0	0		
3	DepartmentName03	345678	0	0	0	0		
4	DepartmentName04	456789	0	0	0	0		
5	DepartmentName05	567890	0	0	0	0	1	
6	DepartmentName06	678901	0	0	0	0	1	
7	DepartmentName07	789012	0	0	0	0	1	
8	DepartmentName08	890123	0	0	0	0	1	
9	DepartmentName09	901234	0	0	0	0	1	
10	DepartmentName10	012345	0	0	0	0	1	
1004	Indefined	00000	0	0	0	0		
1001	ondenned	00000	0	0	0	0		

3 部門管理を設定します。

新規作成する	[新規]ボタンをクリックして、表示される画面で設定します。 □ P.111 「[部門管理情報](登録)画面 <アクセスポリシーモード>」
登録部門の修正/変更する	部門リストから[部門名称]クリックして、表示される画面で修正/変更します。 邱 P.112 「[部門管理情報]画面 <アクセスポリシーモード>」

▲ 設定が完了したら [保存] ボタンをクリックします。

🗌 部門を削除する

- **1 アクセスポリシーモードでログインします**。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [カウンタ] タブをクリックし、[部門管理] メニューをクリックします。

うひんでごの ファイリングボックス ログアウト								
装	置 ジョブ		ログ	登録	カウンタ	고-t	げ管理	管理者
ータルス	カウンター「部門管理				h	2		
部門	1管理 える					•		
(*****		LI ATMENT						
新 規	全方ワンタクリア 全割	当初期化	全削陈					
番号	部門名称	部門コード	トータルプリント枚数	トータルスキャン枚数	ファクス送信	ファクス受信		
1	DepartmentName01	123456	0	0	0	0		
2	DepartmentName02	234567	0	0	0	0		
3	DepartmentName03	345678	0	0	0	0		
4	DepartmentName04	456789	0	0	0	0		
5	DepartmentName05	567890	0	0	0	0		
6	DepartmentName06	678901	0	0	0	0		
7	DepartmentName07	789012	0	0	0	0		
8	DepartmentName08	890123	0	0	0	0		
9	DepartmentName09	901234	0	0	0	0		
10	DepartmentName10	012345	0	0	0	0		
1001	Undefined	00000	0	0	0	0		
	10 th the second se							

3 部門リストから削除する部門名称のリンクをクリックします。

補足

登録したすべての部門を削除する場合は、[全削除]ボタンをクリックします。

4 [削除] ボタンをクリックします。

保存 キャンセル	カウンタリセット	削除				
±788.≠.₽.		2				
部門番方		10				
8P1~19640		Departmer	ntNameU1			
部門コード		123456				
カラー割当設定		ON 👻				
カラー割当		999999999				
		00000000				
		999999999				
ブラック割当設定		ON 🔻				
ブラック割当		99999999				
ブラック割当初期値		99999999				
トータルカウンタ						
	フルカラー	2色力5	;	ブラック		トータル
	0	0		0		0
ファクス	•	-		0		0
プリンタ	0	0		0		0
リスト	•	-		0		0
トータル	0	0		0		0
コピー						
	フルカラー	2色力5) —	ブラック		トータル
スモール	0	0		0		0
ラージ	0	0		0		0
ファクス						
	フルカラー	2色力ラ	;-	ブラック		トータル
スモール		-		0		0
ラージ	-	-		0		0
ブリンタ						
	コルカラー	2色力=		ブラック		下一切儿
スモール	0	0		0		0
5	0			0		0
171						
274	100.05-	0 0 10		ゴールク		はこ為は、
77.4	510755	28/1.	/-	0.000		1-3/2
At-10 5-21				0		0
7-2		1		U		0
スキャンカリンタ	I and the set					The second se
	フルカラー	2色力5	-	7792		トータル
	0	0		0		0
コピー(ラージ)	0	0		0		0
ファクス(スモール)		-		0		0
ファクス(ラージ)	-	-		0		0
ネットワーク(スモール)	0	-		0		0
ネットワーク(ラージ)	0	-		0		0
トータル	0	0		0		0
ファクス通信カウンタ						
	送信		受信		トータル	b
			-		1.0	

[ユーザ管理] タブ

このセクションでは、TopAccessでユーザを管理する方法について説明します。

[ユーザ管理] タブの概要説明	
[ユーザアカウント] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	
[グループ管理]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	127
[ロール管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	129
[部門管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	134
[エクスポート/インポート] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>	138

7

[ユーザ管理] タブの概要説明

□ P.120 「[ユーザアカウント] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」
 □ P.127 「[グルーブ管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」
 □ P.129 「[ロール管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」
 □ P.134 「[部門管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」
 □ P.138 「[エクスポート/インポート] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」

■ [ユーザアカウント] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

アクセスポリシーモードでログインしている場合、ユーザアカウントに関する検索や設定ができます。

- □ P.121 「[ユーザアカウント検索] 画面」
- □ P.122 [[ユーザ情報作成] 画面」
- □ P.123 [[パスワード入力] 画面]
- □ P.124 「[ユーザ情報] 画面」
- □ P.126 [[ロール割り当て] 画面]
- □ P.126 [[グループ割り当て] 画面]



	項目名	機能説明
1	[検索] ボタン	登録されているユーザを検索します。 🚇 P.121 「[ユーザアカウント検索] 画面」
2	[新規] ボタン	新しいユーザ情報を登録します。 ♀ P.122 「[ユーザ情報作成] 画面」
3	[削除] ボタン	ユーザアカウント一覧で選択しているユーザを削除します。 初期登録ユーザは削除できません。
4	[全削除]ボタン	登録されているすべてのユーザを削除します。(初期登録ユーザ除く)
5	[ロック解除] ボタン	ユーザアカウント一覧で選択しているユーザがロック状態の場合にロックを解除します。
6	[パスワードリセット] ボタン	ユーザアカウント一覧で選択しているユーザのパスワードをリセットします。 □ P.123 「[パスワード入力] 画面」
7	[割当初期化] ボタン	ユーザアカウント一覧で選択しているユーザに設定されている割当設定を初期化します。
8	[全割当初期化] ボタン	すべての割当設定を初期化します。

	項目名	機能説明
9	[カウンタリセット] ボタン	ユーザアカウント一覧で選択しているユーザに設定されているカウンタをリセットします。
10	[全カウンタクリア]ボタン	すべての部門に設定されているカウンタをリセットします。
11	番号	ユーザの登録番号を表示します。 10001~10007は初期登録ユーザに割り当てられています。
12	ユーザ名	ユーザ名を表示します。 Undefined、Admin、Service、Auditor、Faxope、Guest、Printopeは初期登録ユーザです。 ユーザ名をクリックすると、ユーザ情報を確認することができます。 □ P.124 「[ユーザ情報] 画面」
13	ドメイン名	ユーザ情報で登録されているドメイン名を表示します。
14	部門番号	ユーザ情報で登録されている部門番号を表示します。
15	状態	ユーザの状態を表示します。

□ [ユーザアカウント検索] 画面

登録ユーザを検索することができます。

|--|

	- 番号	間始 終了
2	- 部門番号	0001:DepartmentName01
3 —	🗐 ユーザ名	
<u>ا</u> لب ۱		

	項目名	機能説明
1	番号	検索するユーザ番号を入力します。 1~10000の範囲で検索条件を入力します。
2	部門番号	検索する部門番号を選択します。
3	ユーザ名	検索するユーザ名を入力します。 入力した文字列で前方一致検索します。
4	ドメイン名	検索するドメイン名を入力します。
5	[検索] ボタン	入力/選択した条件でユーザを検索します。

□ [ユーザ情報作成] 画面

新しいユーザ情報を登録することができます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力/設定した内容でユーザ情報を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	ユーザ情報作成を中止します。
3	ユーザ名	ユーザ名を入力します。 半角英数字と記号(! # \$ % & @ ^ _)で128文字まで入力できます。
4	ドメイン名	ドメイン名を選択します。
5	認証方法	 ユーザの認証方法を選択します。 <u>内部認証</u>:お使いの機器の内部認証を使用します。 LDAP 認証/Windows ドメイン認証: LDAP または Windows ドメインで管理している ネットワーク認証を使用します。
6	パスワード	パスワードを入力します。半角英数字と記号(! # () * + , / : ; = ? @ ? ^ _ ` { ¦ } ~) で64文字まで入力できます。
7	ロール割り当て	[認証方式] で「内部認証」を選択している場合に設定できます。 登録されているロールを選択します。[編集] ボタンをクリックして表示される画面でロー ルを選択します。 ♀ P.126 「[ロール割り当て] 画面」
8	グループ割り当て	[認証方式] で「内部認証」を選択している場合に設定できます。 登録されているグループを選択します。[編集] ボタンをクリックして表示される画面でグ ループを選択します。 ♀ P.126 「[グループ割り当て] 画面」
9	部門番号	登録されている部門を選択します。 🏨 P.134 「[部門管理]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」
10	パネル表示言語	タッチパネルの表示言語を選択します。
11	パネルキーボードのレイアウト	タッチパネルに表示されるキーボードのパターンを選択します。
12	カラー割当設定	 OFF: カラー出力制限を行いません。 ON: カラー出力制限を行います。
	カラー割当	カラー出力できる残数が表示されます。[カラー割当初期値] に入力した値が、カラー出力 するごとに減算され、0になると出力が制限されます。
	カラー割当初期値	ユーザに割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。

	項目名	機能説明
13	ブラック割当設定	 OFF:モノクロ出力制限を行いません。 ON:モノクロ出力制限を行います。
	ブラック割当	モノクロ出力できる残数が表示されます。[ブラック割当初期値]に入力した値が、モノク ロ出力するごとに減算され、0になると出力が制限されます。
	ブラック割当初期値	ユーザに割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。

🗌 [パスワード入力] 画面

[パスワード入力]画面は、[ユーザアカウント]項目説明一覧でパスワードを変更するユーザのチェックボックスにチェックを付け、[パスワードリセット]ボタンをクリックすると表示されます。



	項目名	機能説明	
1	[OK] ボタン	入力したパスワードを保存します。	τ
2	[キャンセル] ボタン	パスワードの変更を中止します。	<u>[</u>
3	パスワード	新しいパスワードを入力します。	

□ 【ユーザ情報】 画面

登録されているユーザ情報を更新することができます。



	項目名	機能説明	
1	[保存] ボタン	入力/設定した内容でユーザ情報を保存します。	
2	[キャンセル] ボタン	ユーザ情報変更を中止します。	
3	[削除] ボタン	表示しているユーザをユーザアカウントから削除します。	
4	[カウンタリセット] ボタン	カウンタをリセットします。	
5	ユーザ名	ユーザ名を表示します。	
6	ドメイン名	登録されているドメイン名を表示します。変更する場合は選択します。 認証方法が[LDAP認証/Windowsドメイン認証]の場合のみ選択できます。	
7	認証方法	 ユーザの認証方法を選択します。 内部認証:お使いの機器の内部認証を使用します。 LDAP 認証/Windows ドメイン認証: LDAP または Windows ドメインで管理して 	
		イットワーク認証を使用します。	

	項目名	機能説明			
8	パスワード	パスワードは変更できません。 パスワードは変更する場合は、[ユーザアカウント]項目でパスワードをリセットしてくだ さい。 〇 P 123 「「パスワード λ カ 〕 画面 」			
9	ロール割り当て	[認証方式] で「内部認証」を選択している場合に設定できます。 登録されているロールを表示します。変更する場合は[編集] ボタンをクリックして表示 される画面でロールを選択します。 □ P.126 「[ロール割り当て] 画面」			
10	グループ割り当て	 「認証方式」で「内部認証」を選択している場合に設定できます。 登録されているグループを表示します。変更する場合は[編集] ボタンをクリックして される画面でグループを選択します。 P.126 [[グループ割り当て] 画面」 			
11	部門番号	登録されている部門を表示します。変更する場合は選択します。 □ P.134 「[部門管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>」			
12	パネル表示言語	登録されているタッチパネルの表示言語を表示します。変更する場合は選択します。			
13	パネルキーボードのレイアウト	登録されているタッチパネルに表示されるキーボードのパターンを表示します。変更する 場合は選択します。			
14	カラー割当設定	 OFF:カラー出力制限を行いません。 ON:カラー出力制限を行います。 	7		
	カラー割当	カラー出力できる残数が表示されます。[カラー割当初期値] に入力した値が、カラー出力 するごとに減算され、0になると出力が制限されます。	Ц I		
カラー割当初期値 ユーザに割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。		ユーザに割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。	げ留		
15	ブラック割当設定	 OFF:モノクロ出力制限を行いません。 ON:モノクロ出力制限を行います。 	割タ		
	ブラック割当	モノクロ出力できる残数が表示されます。[プラック割当初期値]に入力した値が、モノク ロ出力するごとに減算され、0になると出力が制限されます。	Ļ Ļ		
	ブラック割当初期値	ユーザに割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。			
16	トータルカウンタ	トータルカウンタを表示します。			
17	コピー	コピー操作で印刷された枚数を表示します。			
18	3 ファクス ファクス受信で印刷した枚数を表示します。				
19	プリンタ 印刷操作およびEメール受信(インターネットファクス受信)で印刷された枚数を表示します。				
20	0 リスト システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。				
21	スキャンカウンタ	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。	1		
22 ファクス通信カウンタ 通信記録を表示します。		通信記録を表示します。			

□ [ロール割り当て] 画面

割り当てるロールを選択します。



	項目名	機能説明	
1	[OK] ボタン	設定したロール割り当て内容を保存します。	
2	[キャンセル] ボタン	ロールの割り当てを中止します。	
3	利用可能ロール	登録されているロール一覧が表示されます。 割り当てるロールを選択して、[追加] ボタンをクリックします。	
4	割り当てロール	割り当てるロール一覧が表示されます。 割り当てを取りやめるロールを選択して、[削除] ボタンをクリックします。	

□ 【グループ割り当て】 画面

割り当てるグループを選択します。



	項目名	機能説明
1	[OK] ボタン	設定したグループ割り当て内容を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	グループの割り当てを中止します。
3	利用可能グループ	登録されているグループ一覧が表示されます。 割り当てるグループを選択して、[追加] ボタンをクリックします。
4	割り当てグループ	割り当てるグループ一覧が表示されます。 割り当てを取りやめるグループを選択して、[削除] ボタンをクリックします。

■【グループ管理】項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

アクセスポリシーモードでログインしている場合、登録されているロールをグループとして管理することができます。 □ P.127 「[グループ情報作成] 画面」 □ P.128 「[グループ情報] 画面」



	項目名	機能説明	
1	[新規]ボタン	新しいグループを登録します。 □ P.127 「[グループ情報作成] 画面」	
2	[削除] ボタン	グループ一覧で選択しているグループを削除します。	
3	[全削除]ボタン	すべてのグループを削除します。	
4	グループ名称	グループ名を表示します。 グループ名をクリックすると、グループ情報を確認することができます。 □ P.128 「[グループ情報] 画面」	

□ [グループ情報作成] 画面

新しいグループを登録することができます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力/設定した内容でグループ情報を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	グループ情報作成を中止します。
3	グループ名称	グループ名を入力します。 半角の英数字や「"'()*+,/:;<=>?[¥]'{¦}~」以外の記号で、最大128文字ま で入力できます。
4	ロール割り当て	グループに割り当てるロールを選択します。[編集] ボタンをクリックして表示される画面 でロールを選択します。 □ P.126 「[ロール割り当て] 画面」

7

□ [グループ情報] 画面

グループに登録されているロールを確認することができます。



	項目名	機能説明	
1	[保存] ボタン	入力/設定した内容でグループ情報を保存します。	
2	[キャンセル] ボタン	グループ情報作成を中止します。	
3	グループ名称	グループ名を表示します。	
4	ロール割り当て	グループに割り当てるロールを表示します。変更する場合は[編集] ボタンをクリックして表示される画面でロールを選択します。 ロール割り当て] 画面」	

■ [ロール管理] 項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

アクセスポリシーモードでログインしている場合、ロールを管理/登録することができます。

- □ P.129 「初期登録ロールと権限」
- □ P.131 「[ロールの新規作成] 画面」
- □ P.133 [□-ル編集] 画面」

	TopAccess					:	<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
	装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
	ユーザアカウント	グループ管理	ロール管理 部門管	理 エクスボート/・	<u>12#-1</u>	-	
	ロール管理						更新
1	新規前除						
3 —	ロール名						
	Administrator						
	AccountManager						
	CopyOperator						
	ScanOperator						
	Print						
	PrintOperator						
	erlingOperator						
	ColorPrintCopyOper	ator					
	Guest						

	項目名	機能説明	
1	[新規] ボタン	新しいロールを登録します。 □ P.131 「[ロールの新規作成] 画面」	
2	[削除] ボタン	ロール一覧で選択しているロールを削除します。 初期登録ロールは削除できません。	
3	ロール名	ロール名を表示します。 初期登録ロールについては、以下を参照してください。 □ P.129 「初期登録ロールと権限」 ロール名をクリックすると、ロール情報を確認することができます。 □ P.133 「[ロール編集] 画面」	

□ 初期登録ロールと権限

初期登録ロールの権限は、下表のとおりです。

初期登録ロール名	権限項目	権限によって可能な操作(機能)
Administrator	スキャン機能 *1	ファイリングボックスに保管
	出力設定	カラー印刷
	ファイリングボックス	ファイリングボックスへのアクセス
	デバイス設定	デバイス設定
	ユーザ/部門管理	ユーザ/部門管理
	ログ管理	閲覧
		エクスポート
	ジョブ管理	ジョブ操作
AccountManager	ユーザ/部門管理	ユーザ/部門管理
CopyOperator	コピー機能	コピージョブ

初期登録ロール名	権限項目	権限によって可能な操作(機能)
ScanOperator	スキャン機能	共有フォルダへ保存 リモート保存 Eメール送信 リモートスキャン/WSスキャン(Pull)
	ローカルファイル保存	ローカル保存 USB保存
	リモート	Eメール送信 リモート保存 WS Scan(Push)
Print	印刷機能 *1	印刷ジョブ
PrintOperator	印刷機能*1	印刷管理
	出力設定	カラー印刷
eFilingOperator	スキャン機能 *1	ファイリングボックスに保管
	ファイリングボックス	ファイリングボックスへのアクセス
ColorPrintCopyOperator	コピー機能	コピージョブ カラーコピー
	印刷機能*1	印刷ジョブ カラー印刷
	出力設定	カラー印刷
FaxOperator	ファクス/インターネットファクス機 能	インターネットファクス送信 ファクス送信 ファクス受信印刷 ^{*2}
Auditor	ログ管理 *1	閲覧
Guest	(権限設定なし)	(設定なし)
User	コピー機能	コピージョブ カラーコピー 共有フォルダへ保存 リモート保存 ファイリングボックスに保管
	印刷機能*1	印刷ジョブ カラー印刷 ファイリングボックスに保管
	スキャン機能	共有フォルダへ保存 リモート保存 Eメール送信 ファイリングボックスに保管 リモートスキャン/WSスキャン(Pull)
	ファクス/インターネットファクス機 能 ^{*1}	インターネットファクス送信 ファクス送信 共有フォルダへ保存 リモート保存
	出力設定	カラー印刷
	ローカルファイル保存	ローカル保存 USB保存
	リモート	E メール送信 リモート保存 WS Scan(Push)
	ファイリングボックス	ファイリングボックスへのアクセス
Fax	ファクス/インターネットファクス機 能 ^{*1}	インターネットファクス送信 ファクス送信

*1 一部の操作(機能)のみ可能となります。
 *2 ファクス受信印刷機能については、サービスエンジニアにお問い合わせください。

□ [ロールの新規作成] 画面

新しいロールを登録することができます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力/設定した内容でロールを保存します。
2	[キャンセル] ボタン	ロール作成を中止します。
3	ロール名	ロール名を入力します。 半角英数字128文字まで入力できます。
4	ベースロール	新しいロールのベースとなるロールを選択します。 ベースとして選択できるロールは、作成済みのロールか初期登録ロールのCopyOperator、 ScanOperator、Print、PrintOperator、eFilingOperator、ColorPrintCopyOperator、 FaxOperator、Guest、User、Faxから選択します。

	項目名	機能説明
5	MFP機能	ロールに割り当てる権限を選択します。
	コピー機能	コピー機能のすべてを割り当てます。
	コピージョブ	コピージョブを割り当てます。
	印刷機能	印刷機能のすべてを割り当てます。
	印刷ジョブ	印刷ジョブを割り当てます。
	印刷管理	印刷管理を割り当てます。
	スキャン機能	スキャン機能のすべてを割り当てます。
	リモートスキャン/ WSスキャン(Pull)	リモートスキャンまたはWSスキャン(Pull)を割り当てます。
	ファクス/インターネットファ クス機能	ファクス/インターネットファクス機能のすべてを割り当てます。
インターネットファ 送信		インターネットファクス送信を割り当てます。
	ファクス送信	ファクス送信を割り当てます。
	ファクス受信印刷	ファクス受信印刷を割り当てます。
	出力設定	出力設定のすべてを割り当てます。
	カラー印刷	カラー印刷を割り当てます。
	ローカルファイル保存	ローカルファイル保存のすべてを割り当てます。
	ローカル保存	ローカル保存を割り当てます。
	USB保存	USB保存を割り当てます。
	リモート	リモートのすべてを割り当てます。
	Eメール送信	Eメール送信を割り当てます。
	リモート保存	リモート保存を割り当てます。
	WS Scan(Push)	WS Scan(Push)を割り当てます。
	ファイリングボックス	ファイリングボックスのすべてを割り当てます。
	ファイリングボックスへ のアクセス	ファイリングボックスへのアクセスを割り当てます。
6	機能一覧	ロールに割り当てた権限によって可能な操作(機能)を表示します。 コピー機能、印刷機能、スキャン機能、ファクス/インターネットファクス機能、出力設定、 ローカルファイル保存、リモート、ファイリングボックス

□ [ロール編集] 画面

ロールを確認/編集することができます。 初期登録ロールは編集できません。



	百日夕	機能覚問
	<u>400</u>	נאיזעסאאז
1	[保存] ボタン	編集した内容でロールを保存します。
2	[キャンセル] ボタン	ロール編集を中止します。
3	ロール名	ロール名を変更する場合は入力します。 半角の英数字や「"'()*+,/:;<=>?[¥]'{¦}~」以外の記号で、最大128文字ま で入力できます。
4	MFP機能	ロールに割り当てるMFP機能を選択します。割り当てる機能を選択します。 設定項目の詳細は、以下を参照してください。 P.131 「[ロールの新規作成] 画面」
5	デバイス管理	初期登録ロールに割り当てられているデバイス管理の権限を表示します。(初期登録ロールのみ)
6	機能一覧	ロールに割り当てた内容を機能別で表示します。 設定項目の詳細は、以下を参照してください。

■ [部門管理]項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

アクセスポリシーモードでログインしている場合、部門管理を登録することができます。 □ P.135 [[部門管理情報] 画面]

□ P.136 [[部門管理情報] (編集) 画面」



	項目名	機能説明
1	[新規]ボタン	新しい部門を登録します。 □ P.135 「[部門管理情報] 画面」
2	[全部門のカウンタリセット] ボタ ン	全部門のカウンタをリセットします。
3	[全割当初期化] ボタン	全部門の割当を初期化します。
4	[全部門削除] ボタン	登録されている部門を削除します。
5	番号	部門の登録番号を表示します。
6	部門名称	部門名を表示します。 部門名をクリックすると、部門管理情報を確認することができます。 □ P.136 「[部門管理情報](編集)画面」
7	部門コード	部門コードを表示します。
8	トータルプリント枚数	部門のトータルプリント枚数を表示します。
9	トータルスキャン枚数	部門のトータルスキャン枚数を表示します。
10	ファクス送信	部門のトータルファクス送信枚数を表示します。
11	ファクス受信	部門のトータルファクス受信枚数を表示します。

□ [部門管理情報] 画面

新しい部門を登録することができます。



		項目名	機能説明
1	[保	存] ボタン	入力/設定した内容で部門情報を保存します。
2	[キャンセル] ボタン		部門情報の作成を中止します。
3	部「	門名称	部門名を入力します。 半角文字で40文字、全角文字で20文字まで入力できます。
4	部「	問コート*	部門コードを入力します。 半角数字63文字まで入力できます。
5 カラー割当設定 • OFF:カラー出力制 • ON:カラー出力制		ラー割当設定	 OFF:カラー出力制限を行いません。 ON:カラー出力制限を行います。
		カラー割当	カラー出力できる残数が表示されます。[カラー割当初期値]に入力した値が、カラー出力 するごとに減算され、0になると出力が制限されます。
		カラー割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。
6 ブラック割当設定 • OFF:モノクロ出力制限を行いません。		• OFF :モノクロ出力制限を行いません。	
			• ON :モノクロ出力制限を行います。
		ブラック割当	モノクロ出力できる残数が表示されます。[ブラック割当初期値] に入力した値が、モノク ロ出力するごとに減算され、0になると出力が制限されます。
		ブラック割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。

□ [部門管理情報](編集)画面

部門管理情報を確認/編集することができます。

1	部門管理情報						
2 —							
3 —	【保存】 キャンセル し ナ	コウンタリセット	削除				
4	*必須入力		_				
5 —	部門番号		1				
6 — i			DepartmentName0	1			
7 —	*部門コード		123456				
8 —			ON 👻				
-	カラー創当		99999999				
			00000000				
<u> </u>	カフー割ヨ科規制地		99999999				
9 —	フラック割当該定		ON 👻				
	ブラック割当		99999999				
	ブラック割当初期値		99999999				
		フルカラー	2色カラー	ブラック	トータル		
	コピー	0	0	0	0		
	ファクス	-	-	0	0		
	ラリンタ	0	0	0	0	_	
	レスト	-	-	0	0	_	
1		•			V		
		コルカラー	2色力ラー	ブラック	トータル		
	スモール	0	0	0	0		
	ラージ	0	0	0	0		
l2 —	ーー ファクス						
		フルカラー	2色力ラー	ブラック	トータル		
	スモール	-	-	0	0	_	
12	フーン	-	-	U	U		
<u>ا</u> ے دا		1011-115-	loth the second	レビーションク	下一句儿。		
	スモール	0	0	0	0	_	
	ラージ	0	0	0	0	-	
4							
		フルカラー	2色力ラー	ブラック	トータル		
	スモール	-	-	0	0		
	ラージ	-	•	0	0		
5-	スキャンカウンタ						
		フルカラー	2色力ラー	ブラック	トータル		
	コピー(スモール)	0	0	0	0	_	
		U	U	U	0	_	
	ファクス(ラージ)	-		0	0		
	ネットワーク(スモール)	0	-	0	0	-	
	ネットワーク(ラージ)	0	-	0	0	-	
	トータル	0	0	0	0		
6	ファクス通信カウンタ						
-		送信	受信		トータル		
	スモール	0	0		0		

	項目名	機能説明			
1	[保存] ボタン				
2	[キャンセル] ボタン	部門情報の作成を中止します。			
3	[カウンタリセット] ボタン	カウンタをリセットします。			
4	[削除] ボタン	表示している部門を削除します。			
5	部門番号	部門の登録番号を表示します。			
6	部門名称	部門名を変更する場合は入力します。 半角文字で40文字、全角文字で20文字まで入力できます。			
7	部門コード	部門コードを変更する場合は入力します。 半角数字63文字まで入力できます。			
8	カラー割当設定	 OFF:カラー出力制限を行いません。 ON:カラー出力制限を行います。 			
	カラー割当	カラー出力できる残数が表示されます。[カラー割当初期値] に入力した値が、カラー出力 するごとに減算され、0になると出力が制限されます。			
	カラー割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。			

	項目名	機能説明			
9	ブラック割当設定	• OFF:モノクロ出力制限を行いません。			
		• ON :モノクロ出力制限を行います。			
	ブラック割当	モノクロ出力できる残数が表示されます。[プラック割当初期値]に入力した値が、モノクロ出力するごとに減算され、0になると出力が制限されます。			
	ブラック割当初期値	部門に割り当てる初期値を入力します。99,999,999まで入力できます。			
10	トータルカウンタ	トータルカウンタを表示します。			
11	コピー	コピー操作で印刷された枚数を表示します。			
12	ファクス	ファクス受信で印刷した枚数を表示します。			
13	プリンタ	印刷操作およびEメール受信(インターネットファクス受信)で印刷された枚数を表示しま す。			
14	リスト	システムページ印刷で印刷された枚数を表示します。			
15	スキャンカウンタ	スキャン操作でスキャンした原稿枚数を表示します。			
16	ファクス通信カウンタ	通信記録を表示します。			

■ 【エクスポート/インポート】項目説明一覧 <アクセスポリシーモード>

アクセスポリシーモードでログインしている場合、お使いの機器の設定をエクスポート/インポートすることができます。 □ P.138 「エクスポート」 □ P.140 「インポート」

□ エクスポート



	項目名	機能説明
1	ユーザ情報(スモール/ラージカウ	ユーザ情報(スモール/ラージカウンタ)のエクスポート用のファイルを作成します。
	ンタ)	[新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。
		すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され
		ます。
		ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに
		従ってください。

	項目名	機能説明
2	ユーザ情報	ユーザ情報のエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。
3	ユーザ情報(全カウンタ)	ユーザ情報(全力ウンタ)のエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。
4	複合(ユーザ情報+ロール+グルー ブ)	複合(ユーザ情報+ロール+グループ)のエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。
5	複合(全カウンタ+ロール+グルー プ)	複合(全カウンタ+ロール+グルーブ)のエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。
6	LDAPO-N	LDAPロールのエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。
7	部門情報(スモール/ラージカウン タ)	部門情報(スモール/ラージカウンタ)のエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。
8	部門情報	部門情報のエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。
9	部門情報(全カウンタ)	部門情報(全カウンタ)のエクスポート用のファイルを作成します。 [新規作成] ボタンをクリックするとファイルを作成します。 すでにファイルを作成してある場合は、ファイル名、ファイルサイズ、作成日が表示され ます。 ファイルをエクスポートする場合は、ファイル名をクリックして表示されるダイアログに 従ってください。

□ インポート

注意

ユーザ情報でパスワードを変更した場合、変更されたパスワードは仮パスワードと判断して、次回ユーザがログイン したときに、パスワード変更を促す画面が表示されます。

	TopAccess						<u>ファイリングボック</u> ログアウ
	装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
	ユーザアカウント	グループ管理	ロール管理 部門管理	▲ エクスポート/~	ロボート		
	エクスポート	/インポート					
		Ŕ					
1 —	ユーザ情報						
	7- (1.4						
	27/17/245						
2 —	複合(ユーザ情報	+ロール+グループ)					
	ファイル名			参照インポート			
°							
3							
	ファイル名			参照			
4 —	部門コード						
-							
	ファイル名		ſ	毎辺 イボート			

	項目名	機能説明
1	ユーザ情報	ユーザ情報のファイルをインポートします。 [参照] ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、[開く] をクリックします。
		ファイル名を確認して、[インポート]ボタンをクリックします。
2	複合(ユーザ情報+ロール+グルー プ)	複合(ユーザ情報+ロール+グループ)のファイルをインポートします。 [参照] ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、[開く] をクリックします。 ファイル名を確認して、[インポート] ボタンをクリックします。
3	LDAPO-N	LDAPロールのファイルをインポートします。 [参照] ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、[開く] をクリックします。 ファイル名を確認して、[インポート] ボタンをクリックします。
4	部門コード	部門コードのファイルをインポートします。 [参照] ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、[開く] をクリックします。 ファイル名を確認して、[インポート] ボタンをクリックします。

8

[管理者] タブ

このセクションでは、TopAccessのアクセスポリシーモードから、機器の設定やネットワーク設定、ユーザやグループ 管理を行うことができる管理者機能について説明します。

[セットアップ] 項目説明一覧	. 142
[セットアップ] 設定/操作方法	. 217
[セキュリティ]項目説明一覧	. 252
[セキュリティ] 設定/操作方法	. 267
[保守] 項目説明一覧	. 284
[保守] 設定/操作方法	. 301
[登録]([管理者] タブ) 項目説明一覧	. 315
[登録]([管理者] タブ) 設定/操作方法	. 334

[セットアップ] 項目説明一覧

補足

[セットアップ] メニューは [管理者] タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがア クセスできます。 アクセス方法は、以下を参照してください。 ♀ P.23 「アクセスポリシーモード」

□ P.142 「一般設定」
 □ P.148 「ネットワーク設定」
 □ P.185 「コピー設定」
 □ P.188 「ファクス設定」
 □ P.191 「共有フォルダに保管設定」
 □ P.198 「Eメール設定」
 □ P.200 「インターネットファクス設定」
 □ P.200 「インターネットファクス設定」
 □ P.201 「プリンタ/ファイリングボックス設定」
 □ P.202 「プリンタ設定」
 □ P.203 「プリントサービス設定」
 □ P.210 「ICCプロファイルの設定」
 □ P.212 「プリントデータコンバータ設定」
 □ P.213 「内蔵ブラウザ設定」
 □ P.215 「Off Device Customization Architecture設定」
 □ P.216 「バージョン」

■ 一般設定

装置情報、節電、日付、時刻やWebの全般的な設定などの一般設定をセットアップすることができます。

補足

[一般] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

🕮 P.143	「装置情報」	🕮 P.145	「節電モード設定」
🕮 P.143	「機能設定」	🕮 P.146	「日付と時間」
🕮 P.144	「ファイリングボックス通知情報イベント」	🕮 P.146	「SNTP設定」
🕮 P.144	「ジョブスキップ設定」	🕮 P.147	「サマータイム設定」
🕮 P.144	「管理者によるアドレス帳操作制限」	🕮 P.147	「WEB設定」
□ 装置情報

[装置] タブページに表示される装置情報の内容を設定します。



	項目名	機能説明
1	名称	お使いの機器の装置名を表示します。
2	MFPモデル	お使いの機器のモデル名を表示します。
3	シリアル番号	お使いの機器のシリアル番号を表示します。
4	MACアドレス	お使いの機器のMACアドレスを表示します。
5	ローカル共有フォルダとファイリ ングボックスの容量	お使いの機器のローカル共有フォルダとファイリングボックスの空き容量を表示します。
6	ファクスメモリ容量	お使いの機器のファクス送受信で利用可能な容量を表示します。
7	データクローニング機能	お使いの機器の設定などをほかの機体に移行する場合に有効にします。
8	USBダイレクト印刷	USBダイレクト印刷機能を有効にするか無効にするかを選択します。
9	設置場所	お使いの機器の設置場所を入力します。この情報は、ユーザがTopAccessを起動したとき に開かれる[装置]タブページに表示されます。
10	連絡先	お使いの機器を管理する担当者の名前を入力します。この情報は、ユーザがTopAccessを 起動したときに開かれる[装置]タブページに表示されます。
11	サービス電話番号	お使いの機器のサービス担当者の電話番号を入力します。この情報は、ユーザが TopAccessを起動したときに開かれる [装置] タブページに表示されます。
12	管理者メッセージ	ユーザに通知したいお使いの機器に関するメッセージを入力します。この情報は、ユーザ がTopAccessを起動したときに開かれる[装置]タブページに表示されます。

□ 機能設定

3	機能設定		
	コーカルHDDへ保存	有効 🔻	
	ファイリングボックス	有効 👻	
	Eメール送信	有効 👻	
<u> </u>	FTP保存	有効 👻	
	FTPS保存	有効 👻	
	USBメディアを使用	有効 👻	
	SMB保存	有効 ▼	
<u> </u>	Netware保存	有効 ▼	
	インターネットファクス送信	有効 ▼	
	ファクス送信	有効 ▼	
	ネットワークインターネットファックス	有効 ▼	
	ネットワークファックス	有効 ▼	
	Web Serviceスキャン	有効 ▼	
	Twain スキャン	有効 🔻	
	外部コントローラへのスキャン	有効 🔻	

	項目名	機能説明
1	ローカルHDDへ保存	ローカルHDDへ保存機能を有効にするか無効にするかを選択します。
2	ファイリングボックス	ファイリングボックス機能を有効にするか無効にするかを選択します。

	項目名	機能説明
3	Eメール送信	Eメール送信機能を有効にするか無効にするかを選択します。
4	FTP保存	FTP保存機能を有効にするか無効にするかを選択します。
5	FTPS保存	FTPS保存機能を有効にするか無効にするかを選択します。
6	USBメディアを使用	USBメディアの使用を有効にするか無効にするかを選択します。
7	SMB保存	SMB保存機能を有効にするか無効にするかを選択します。
8	Netware保存	Netware保存機能を有効にするか無効にするかを選択します。
9	インターネットファクス送信	インターネットファクス送信機能を有効にするか無効にするかを選択します。
10	ファクス送信	ファクス送信機能を有効にするか無効にするかを選択します。
11	ネットワークインターネットファ クス	ネットワークインターネットファクス機能を有効にするか無効にするかを選択します。
12	ネットワークファクス	ネットワークファクス機能を有効にするか無効にするかを選択します。
13	Web Serviceスキャン	Web Serviceスキャン機能を有効にするか無効にするかを選択します。
14	Twain スキャン	Twain スキャン機能を有効にするか無効にするかを選択します。
15	外部コントローラへのスキャン	外部コントローラへのスキャン機能を有効にするか無効にするかを選択します。

□ ファイリングボックス通知情報イベント

ファイリングボックスに保存されたファイルの保存期限を知らせるEメールの送信条件を設定します。

ファイリングボックス通知情報イベント 文書神吟奉前通知 3

	項目名	機能説明
1	文書削除事前通知	ファイリングボックス内のファイルの保存期限が迫ったことを知らせるEメールを、保存期限の何日前に送信するかを選択します。日数は0(通知しない)または1~99日の範囲で設定することができます。

🗌 ジョブスキップ設定

	ジョブスキップ設定 ジョブスキップ設定	OFF -
	項目名	機能説明
1	ジョブスキップ設定	の刷条件に合わないジョブをスキップする機能を有効にするか無効にするかを選択しま

□ 管理者によるアドレス帳操作制限

	管理者によるアドレス帳操作制限	
1	 ● 制度なし 	
2 -	────────────────────────────────────	

す。

	項目名	機能説明
1	制限なし	すべてのユーザがアドレス帳の操作を行うことができます。
2	管理者のみ操作可能	アクセスポリシーが管理者として設定されているユーザのみがアドレス帳の操作を行うこ とができます。

🗌 節電モード設定

お使いの機器の節電モードの設定を行います。 節電モードの種類や移行手順については、**かんたん操作ガイド**を参照してください。

節電モード設定	
1	OFF -
2 自動節電時間	60分 🔻
	240 分 👻
4 スーパースリーブ	無効 👻

	項目名	機能説明
1	オートクリア	お使いの機器のアイドル状態が続いた場合に、タッチパネル画面をデフォルト表示および デフォルト設定に戻すまでの時間を選択します。
2	自動節電時間	お使いの機器のアイドル状態が続いた場合に、自動的に低電力モードに移行するまでの時 間を選択します。
3	自動オフ時間	お使いの機器のアイドル状態が続いた場合に、自動的に電源オフにするまでの時間を選択 します。

補足

お使いの機器の動作状態によっては、設定時間どおりに移行しない場合があります。

4	スーパースリープ	お使いの機器の低電力モードが一定時間経過した場合、または操作パネルの〔	[節電]	ボタ
		ンを押した場合に、スーパースリープモードに移行するかを設定します。		

注意

- 本機にオプションの無線LANモジュール、Bluetoothモジュール、e-BRIDGE ID Gateが装着されている場合、またはIPsec 機能(オプション)が有効な場合は、この設定を「有効」にしてもスーパースリープモードに移行しません。
- スーパースリープモード中のお使いの機器をネットワーク検索できないなど、ネットワーク接続できない場合は、検索などを再試行してください。

お使いの機器がスーパースリープモードに移行するには、以下のネットワーク設定を行う必要があります。

- IPv6設定でIPv6使用を無効に、またはIPv6アドレスをマニュアルに設定する。
 □ P.152 「IPv6の設定」
- IPX/SPX設定でIPX/SPX使用を無効に設定する。
 □ P.153 「IPX/SPXの設定」
- AppleTalk設定でAppleTalk使用を無効に設定する。
 P.154「AppleTalkの設定」
- POP3設定で次のいずれかの設定になっていること。
 - POP3クライアント使用: 無効
 - POP3サーバーアドレス:未入力
 - アカウント名:未入力
 - ポーリングレート:0分
 - □ P.165 「POP3の設定」
- IEEE 802.1X認証を無効にする。
 有線LAN環境におけるIEEE 802.1X認証方法については、設定管理ガイドの以下の章を参照してください。
 第2章「設定項目(管理者設定)」-「IEEE 802.1X認証設定」
 お使いの機器のスーパースリープモード中のネットワークアクセス設定については、以下のページを参照してください。

□ P.173 「スーパースリープモードからの復帰設定」

8

🗌 日付と時間

日付、時刻、タイムゾーン、日付表示形式を設定します。

補足

SNTP機能を有効にすると日付と時間の設定が設定できなくなります。

	日付と時間	
	年 月 日 時刻	
1 —	2011 • 5月 • 10 00 : 00	
2 —	(GMT+12:00) オークランド、ウェリントン	▼
3 —	日付表示形式	年/月/日 🔻

	項目名	機能説明
1	年/月/日/時刻	年/月の値を各ボックスで選択します。また、日/時刻の値を各ボックスに入力します。
2	タイムゾーン	本機を設置する場所のタイムゾーンを選択します。
3	日付表示形式	日付表示のフォーマットを選択します。

□ SNTP設定

SNTPでは、SNTPサービスを使用して本機の時間設定を同期するかどうかを設定することができます。

SNTP設定	
SNTP使用	無効 👻
プライマリ SNTPアドレス	0.0.0.0
セカンダリ SNTPアドレス	0.0.0.0
ポーリングレート	24 8時間
ポート番号	123
NTPEZEE	無効 🗸

	項目名	機能説明		
1	SNTP使用	SNTP(Simple Network Time Protocol)を有効にするか無効にするかを選択します。有効 にした場合は、SNTPサービスを利用して本機の時間設定を自動的に更新することができま す。		
	補足			
	有効にすると[日付と時間の設知	定]が設定できなくなります。		
2	プライマリSNTPアドレス	[SNTP使用] を有効にした場合に、プライマリSNTPサーバーアドレスのIPアドレスまた はFQDNを入力します。		
3	セカンダリSNTPアドレス	[SNTP使用]を有効にした場合に、必要に応じてセカンダリSNTPサーバーアドレスの アドレスまたはFQDNを入力します。		
	補足			
	TCP/IPの設定で[SNTPサーバ7 を取得することができます。 □□ P.148 「TCP/IPの設定」	Pドレス取得]オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからSNTPサーバーアドレス		
4	ポーリングレート	お使いの機器が時間を確認するために、どのくらいの間隔でSNTPサーバーにアクセスする か指定します。		
5	ポート番号	SNTPで使用するポート番号を入力します。通常、「123」を使用します。		
6	NTP認証	NTP認証を有効にするか無効にするかを選択します。		

□ サマータイム設定

サマータイムへの切り替えに必要な設定をここで行います。

サマータイム設定										
 - サマータイム	有効	-								
 - 標準時間との差	+1:00	•								
		月		週		曜日		時刻		
 - 日時	開助台	1月	•	1週	•	日曜日	•	0	:	0
	終了	1月	-	1週	-	日曜日	•	0		0

	項目名	機能説明
1	サマータイム	サマータイムへの切り替えを行う場合には「有効」を選択します。初期値は「無効」です。
2	標準時間との差	現地標準時間からの時間差を選択します。0時間を除く-2時間から+2時間までを、30分単 位で選択できます。初期値は+1時間です。
3	日時	サマータイムの適用期間を設定します。 • 開始:サマータイムの開始日時を選択または入力します。 • 終了:サマータイムの終了日時を選択または入力します。

補足

- サマータイムの適用期間中に設定を変更すると、変更内容がそのまま本機の時刻に反映されます。適用期間中に 設定を[無効]にした場合は、標準時間に切り替わります。
- 設定した切り替え日時に本機の電源が入っていない場合、次回起動時に切り替えを行います。
- 切り替え後はウィークリータイマーにもサマータイムが適用されます。

注意

- 切り替え日時の[開始] と [終了] は、本機に設定された時間を基準に設定してください。
 □ P.146 「日付と時間」
- 切り替え日時の [開始] と [終了] が同月に設定された場合は、自動切り替えを行いません。

□ WEB設定

TopAccessの表示言語と、自動的にアクセスポリシーモードからログアウトするセッションタイマを設定します。

	WEB設定		
1 —	- セッション確保時間	30 分	

	項目名	機能説明
1	セッション確保時間	TopAccessのセッションデータを保持する時間を入力します。5から999の範囲を整数で 入力します。この設定は、ファイリングボックスWebユーティリティのセッションデータ

■ ネットワーク設定

TCP/IP、フィルタリング、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour、LDAP、DNS、DDNS、SMB、NetWare、HTTP、SMTP クライアント、SMTPサーバー、POP3、SNTP設定、FTPクライアント、FTPサーバー、SNMP、セキュリティ設定な どのネットワーク設定をセットアップすることができます。

補足

[ネットワーク] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

- □ P.148 「TCP/IPの設定」
- P.150 「フィルタリングの設定」
 P.152 「IPv6の設定」
 P.153 「IPX/SPXの設定」
 P.154 「AppleTalkの設定」
 P.154 「Bonjourの設定」
 P.154 「LDAPの設定」
 P.155 「DNSの設定」
 P.156 「DDNSの設定」
 P.158 「SMBの設定」
 P.160 「NetWareの設定」
 P.161 「HTTPの設定」

□ P.162 「SMTPクライアントの設定」
 □ P.164 「SMTPサーバーの設定」
 □ P.165 「POP3の設定」
 □ P.166 「FTPクライアントの設定」
 □ P.167 「FTPサーバーの設定」
 □ P.168 「SLPの設定」
 □ P.169 「SNMPの設定」
 □ P.172 「Web Service設定」
 □ P.173 「LLTDの設定」
 □ P.173 「スーパースリープモードからの復帰設定」
 □ P.175 「IPセキュリティの設定」

□ TCP/IPの設定

TCP/IPを介した通信を有効にするには、TCP/IPプロトコルを設定します。TopAccess、SMB印刷、Raw TCPまたは LPR印刷、IPP印刷、Eメール送信、インターネットファクスの各機能を使用するには、TCP/IPを設定する必要があります。

OK キャンセル 設定を有	効にする為にメイン	ウィンドウ	の保存ボ	タンをクリッ・	クしてください。	
Ethernet 通信速度/方式	自動		-			
	MFP07	088510				
アドレス設定方法	マニュア	"ル マ				
ドメイン名の取得	有効 🖣	•				
トレードアドレス取得	有効 🔻	•]				
WINSサーバアドレス取得	有効 🔻	•				
SMTPサーバアドレス取得	無効 🔻	•				
POP3サーバアドレス取得	無効・	•]				
SNTPサーバアドレス取得	無効・	•]				
IPアドレス衝突検出	有効 🔻	·				
IPアドレス	157	69	73	250		
サブネットマスク	255	255	255	0		
ゲートウェイ	157	69	73	1	Ĩ	

	項目名	機能説明
1	Ethernet通信速度/方式	Ethernet通信速度を選択します。初期値は[自動]に設定されています。
	注 意 特定のEthernet速度を選択す 設定が分からない場合は、[設定を行ってもネットワーク 	- る場合は、接続しているネットワークの速度と同じ設定にする必要があります。Ethernetの 自動]を選択してください。 7の接続が不安定な場合は、本機の電源を一度オフにした後、再度オンにしてください。
2	ホスト名	お使いの機器のホスト名を入力します。半角の英数字、「-」、「.」を含め、63文字まで入力 できます。初期値はMFP名称に設定されています。

	項目名	機能説明
3	アドレス設定方法	IPアドレスの設定方法を選択します。
		 マニュアル: 固定の IP アドレスを手動で設定します。このオブションを選択したとき (h 「IPアドレス2」 ボックスにIPアドレスを入力します。
		は、[IPアトレス] ホッジスにIPアトレスを入力します。 • 自動:AutoIP機能またはDHCPを使って、IPアドレスを自動で割り付けます。ネット
		ワークがDHCPをサポートしている場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲート
		ウェイ、プライマリWINSサーバーアドレス、セカンダリWINSサーバーアドレス、
		POP3サーバーアドレス、SMTPサーバーアドレスを自動的にDHCPサーバーから取得 することができます。ネットワークがDHCPをサポートしていない提合け、AutoIP機
		能を使用してIPアドレスを割り付けます。
		• 自動IPなし: AutoIP機能を使用せずDHCPのみを使ってIPアドレスを自動で割り付けま
		す。ネットワークがDHCPをサボートしている場合はIPアドレス、サフネットマスク、 ゲートウェイ プライマリWINSサーバーアドレス セカンダリWINSサーバーアドレ
		ス、POP3サーバーアドレス、SMTPサーバーアドレスを自動的にDHCPサーバーから
		取得することができます。DHCPサーバーと通信できない場合は、前回使用したIPアド
	ドメノンクの取得	レスをそのまま使用しまり。
4	トメイノ名の取付	アメイン名をUncryーハーから自動的に取得する場合は、[有効] に設定します。この設 定は [アドレス設定方法] オブションで [自動]Pなし] または [自動] が設定されている場
		合のみ適用されます。初期値は[有効]に設定されています。
	注意	
	DHCPサーバーがドメイン名の-	データを持っていない場合は、DDNS設定のドメイン名に手動で正しい値を設定しても、反映
	されず値が空欄になります。そ(の場合は、この設定を[無効] に設定し、DDNS設定で正しいドメイン名を入力してください。
	🛄 P.156 「DDNSの設定」	
5	ドメインサーバアドレス取得	ドメインサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効]に設定
		します。この設定は[アドレス設定万法]オフションで[自動IPなし]または[自動]か設 [定されている場合のみ適用されます。初期値は[有効]に設定されています。
	注 尭	
	DHCPサーバーがプライマリお	よびセカンダリDNSサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、DNS設定のプライマ
	この設定を「無効」に設定し、	マーアドレスに手動で圧しい値を設定しても、反映されり値が空欄になりまり。その場合は、 DNS設定で正しいプライマリおよびセカンダリDNSサーバーアドレスを入力してください。
	□ P.155 「DNSの設定」	
6	WINSサーバアドレス取得	WINSサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効]に設定し
		ます。この設定は [アドレス設定方法] オブションで [自動]Pなし] または [自動] が設定 されている場合のみ適用されます。初期値は「有効] に設定されています
	<u>、</u>	
	汪恴	
	DHCPサーバーがプライマリお。	よびセカンダリWINSサーバーアドレスのデータを持っていない場合は、SMB設定のプライマ
	りおよいセカンダリWINSサー/ この設定を「毎効」に設定し、	ヽーアトレスに手動で止しい値を設定しても、反映されす値が空欄になります。その場合は、 SMB設定で正しいプライマリおよびセカンダリWINSサーバーアドレスを入力してください。
	□ P.158 「SMBの設定」	
7	SMTPサーバアドレス取得	SMTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効]に設定し
		ます。この設定は「アドレス設定方法」オプションで「自動IPなし」または「自動」が設定
		されている場合のみ週用されます。初期値は「無効」に設定されています。
	注意	
	DHCPサーバーがSMTPサーバー	- アドレスのデータを持っていない場合は、SMTPクライアント設定のSMTPサーバーアドレ
	スに手動で正しい値を設定して	も、反映されず値が空欄になります。その場合は、この設定を[無効]に設定し、SMTPクラー
	1 アンド設定で正しいSMTPリー □ P.162 「SMTPクライアント	の設定
8	POP3サーバアドレス取得	POP3サーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効] に設定し
		ます。この設定は [アドレス設定方法] オプションで [自動IPなし] または [自動] が設定
		されている場合のみ適用されます。初期値は[無効]に設定されています。
	注意	
	DHCPサーバーがPOP3サーバー	-アドレスのデータを持っていない場合は、POP3設定のPOP3サーバーアドレスに手動で正し
	い値を設定しても、反映されず	値が空欄になります。その場合は、この設定を[無効]に設定し、POP3設定で正しいPOP3
	サーバーアドレスを入力してく	ださい。
	■ F.103 PUP307 設化」	

8

	項目名	機能説明
9	SNTPサーバアドレス取得	SNTPサーバーアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得する場合は、[有効] に設定します。この設定は [アドレス設定方法] オプションで [自動IPなし] または [自動] が設定されている場合のみ適用されます。初期値は [無効] に設定されています。
	注意	
	DHCPサーバーがSNTPサーバー い値を設定しても、反映されず(サーバーアドレスを入力してく; 印 P.146 「SNTP設定」	アドレスのデータを持っていない場合は、SNTP設定のSNTPサーバーアドレスに手動で正し 直が空欄になります。その場合は、この設定を[無効]に設定し、SNTP設定で正しいSNTP ださい。
10	IPアドレス衝突検出	IPアドレスの衝突を検出するかを設定します。[有効]に設定した場合、衝突を検出すると 操作パネル上にメッセージが表示されます。初期値は[有効]に設定されています。
11	IPアドレス	[アドレス設定方法] ボックスで [マニュアル] を選択したときに、お使いの機器に設定す る固定のIPアドレスを入力します。0000~255255255255の範囲で設定します。
12	サブネットマスク	[アドレス設定方法] ボックスで [マニュアル] を選択したときに、必要に応じてサブネットマスクを入力します。0000~255255255255の範囲で設定します。
13	ゲートウェイ	[アドレス設定方法] ボックスで [マニュアル] を選択したときに、必要に応じてゲート ウェイアドレスを入力します。0000~255 255 255 255の範囲で設定します。

🗌 フィルタリングの設定

本機へアクセスするクライアントを制限したい場合は、フィルタリングを設定します。フィルタリングの設定は、IPアドレスまたはMACアドレスで指定することができます。

注意

IPアドレスのフィルタリング設定よりもMACアドレスのフィルタリング設定の方が、より優先的に使用されます。

	51005020								
	OK Cancel								
1 —	IPフィルタリング使用	無効	•						
2 —	IPフィルタリングルール	許可	•						
3 —	ー 	開始7	ポレス			「終了ア	ポレス		
•	フィルタ1	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 2	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 3	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 4	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 5	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 6	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ フ	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 8	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 9	0	0	0	0	0	0	0	0
	フィルタ 10	0	0	0	0	0	0	0	0
4 —	MACアドレス ライルタリング使用	無効	•						
<u>э</u> —	MAC アトレス フィルシリンクルール	[[+ 미]	•						
6 —	MACアドレス フィルタリング	MAC7	ギレス						
	フィルタ 1								
	フィルタ 2								
	フィルタ 3								
	フィルタ 4								
	フィルタ 5								
	フィルタ 6								
	フィルタ フ								
	フィルタ 8								
	フィルタ 9								

	項目名	機能説明
1	IPフィルタリング使用	IPアドレスでフィルタリングをする場合、[有効]に設定します。この設定を[有効]にすると、[IPフィルタリングルール]で選択した条件で、[IPフィルタリング]で指定したIPアドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを制限します。初期値は[無効]に設定されています。
	注意	
	IP フィルタリングは、IPv4で構 せん。IPv6の環境でフィルタリ	築されたネットワーク環境でのみ有効となります。IPv6のネットワーク環境では使用できま ングをしたい場合は、MACアドレスでフィルタリングしてください。
2	IPフィルタリングルール	 IPフィルタリングの条件を設定します。 <u>許可</u>: [IPフィルタリング] で指定したIPアドレスが設定されたネットワーク上の機器からのアクセスを、許可します。 拒否: 指定したIPアドレスが設定された機器からのアクセスを拒否します。
3	IPフィルタリング	IPフィルタリングするクライアントの開始IPアドレスと終了IPアドレスを入力します。最大 10個の範囲を指定することができます。
	注 意 IPアドレスは、IPv4のアドレスの	Dみ指定できます。IPv6のアドレスは指定できません。
4	MACアドレス フィルタリング 使用	MACアドレスでフィルタリングをする場合、[有効] に設定します。この設定を [有効] に すると、[MACアドレス フィルタリングルール] で選択した条件で、[MACアドレス フィ ルタリング] で指定したMACアドレスが割り当てられたネットワーク上の機器からのアク セスを制限します。初期値は [無効] に設定されています。
5	MACアドレス フィルタリング ルール	 MACアドレスフィルタリングの条件を設定します。 許可: [MACアドレス フィルタリング] で指定したMACアドレスが割り当てられた ネットワーク上の機器からのアクセスを許可します。 拒否:指定したMACアドレスが割り当てられた機器からのアクセスを拒否します。
6	MACアドレス フィルタリング	MACアドレスフィルタリングするクライアントのMACアドレスを入力します。最大10個のアドレスを指定することができます。

□ IPv6の設定

IPv6を介した通信を有効にするには、IPv6プロトコルを設定します。

	IFVO	
	OK キャンセル 設す	定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
	IPv6	
1 -	IPv6使用	有効 ▼
2 -	LLMNR	無効 👻
3 —	リンクローカルアドレス	
4 —	◎ 手動	
	IPアドレス	
	プレフィックス 長	
	ゲートウェイ	
	設定の取得にD	DHCPv6を使用する
5 —		目すろ
•		IPアドレス取得にDHCPv6を使用する(Miflag)
		1: 0
		2: 0
		3: 0
		4: 0
		5. U
		7: 0
6 —	│ 	
		IPアドレス取得にDHCPv6を使用する
		 設定の取得にDHCPv6を使用する
		 ■ 設定の取得にDHCPv6を使用する □ FQDNオプション アップデート方法 サーバ マ

	項目名	機能説明
1	IPv6使用	IPv6プロトコルの有効/無効を選択します。初期値は[無効]に設定されています。
2	LLMNR	IPv6使用を有効にし、LLMNRの有効/無効を選択します。初期値は[無効]に設定されています。
3	リンクローカルアドレス	IPv6で使用する固有なIPアドレスが表示されます。
4	手動	 IPv6アドレスを手動で設定します。設定できるIPv6アドレスは1個です。 IPアドレス:本機のIPアドレスを入力します。1:1:1:1:1:1:1~ "fff:fff:fff:fff:fff:fff:fff:fff:fff:ff
	補足	
	 マニュアルを選択した場合、 	ステートフルアドレスは設定できません。

• IPv6アドレスが重複した場合は、DAD (Duplicate Address Detection) 機能にて検知し、本機のタッチパネルに通知します。

	項目名	機能説明
5	ステートレスアドレスを使用する	 ルーターから通知されるIPv6アドレス(ステートレスアドレス)を自動で取得します。 IPアドレス取得にDHCPv6を使用する(M flag):ステートレスのネットワーク環境で、 IPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを取得します。 設定の取得にDHCPv6を使用する(O flag):ステートレスのネットワーク環境で、 DHCPv6サーバーから通知されるDNSサーバーのIPv6アドレスなどのオプション情報 を使用します。 FQDNオプション:IPアドレス取得にDHCPv6を使用するを選択した場合、FQDNオプ ションを選択できます。FQDNオプションをした場合、アップデート方法をサーバーま たはクライアントから選択します。 IPアドレスアドレスを表示します。最大7個までのIPv6アドレスを保持 することができます。
	補 足 本機がMフラグに"0"が設定さ しません。ルーターの設定でRA 一度オフにした後、再度オンに	れているRA(Router Advertisement)をルーターから受信した場合は、DHCPv6機能は動作 のMフラグの設定を"1"に変更した場合は、DHCPv6機能を動作させるために本機の電源を してください。
6	ステートフルアドレスを使用する	 DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス(ステートフルアドレス)を自動で取得します。 IPアドレス取得にDHCPv6を使用する:DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレスを使用します。 設定の取得にDHCPv6を使用する:DHCPv6サーバーから通知されるIPv6アドレス以外のDNSサーバーのIPv6アドレスなどのオブション情報を使用します。 FQDNオブション:IPアドレス取得にDHCPv6を使用するを選択した場合、FQDNオブションを選択できます。FQDNオブションを選択した場合、アップデート方法を[サーバ]または[クライアント]から選択します。初期値は[サーバ]に設定されています。 IPアドレス:取得したステートフルアドレス、プレフィックス長、ゲートウェイを表示します。

□ IPX/SPXの設定

IPX/SPXを介した通信を有効にするには、IPX/SPXプロトコルを設定します。NetWare 5.1/6.0/6.5サーバーを使い IPX/SPXを介してNovell印刷機能を使用するには、IPX/SPXを設定する必要があります。



	項目名	機能説明
1	IPX/SPX使用	IPX/SPXプロトコルの有効/無効を選択します。IPX/SPXネットワークでNovell印刷を セットアップするには、有効を選択してください。 初期値は[無効]に設定されています。
2	フレームタイプ	 目的のフレームタイプを選択します。 <u>自動</u>:本機が最初に検出した、適切なフレームタイプを使用します。 IEEE 802.3/Ethernet II/IEEE 802.3 Snap/IEEE802.2: [自動]の代わりに、これらのオプションから使用するフレームタイプを選択することもできます。
3	現在のフレームタイプ	本機の実際のフレームタイプを表示します。

□ AppleTalkの設定

AppleTalkを介した通信を有効にするには、AppleTalkプロトコルを設定します。Macintoshコンピュータから AppleTalk印刷機能を使用するには、AppleTalkを設定する必要があります。

	Apple Talk	
	OK キャンセル 認	定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
1 —	Apple Talk使用	有効 👻
2 —	デバイス名	MFP07088510
3 —	Apple Talkブーン	*

	項目名	機能説明
1	AppleTalk使用	AppleTalkプロトコルの有効/無効を選択します。AppleTalk印刷をセットアップするに は、有効を選択してください。初期値は[無効]に設定されています。
2	デバイス名	AppleTalkネットワークに表示される本機の装置名を入力します。
3	AppleTalkゾーン	必要に応じて本機が接続するゾーン名を入力します。「*」を入力すると、デフォルトゾー ンに接続します。

□ Bonjourの設定

Mac OS XのBonjourネットワークの有効/無効を設定します。



	項目名	機能説明
1	Bonjour使用	Bonjourの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	Link-Localホスト名	本機のDNS名を入力します。
3	サービス名	Bonjourネットワークに表示される本機の名称を入力します。

LDAPの設定

LDAPサーバーのアドレス帳を利用して宛先の検索や指定をしたい場合に、LDAPディレクトリサービスの有効/無効を 設定します。

LDAP	
OK キャンセル	設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
 LDAP使用	無効 ▼
 一 付加情報1	company
 一 付加情報2	department
 ━ 検索方法	部分一致 🔻

	項目名	機能説明
1	LDAP使用	LDAPの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	付加情報1	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名を入力します。半角英数字と記号(= ; # ¥を 除く)で22文字まで入力できます。
3	付加情報2	LDAPサーバーの設定に対応するスキーマ名を入力します。半角英数字と記号(= ; # ¥を 除く)で22文字まで入力できます。

	項目名	機能説明
4	検索方法	 LDAP検索時の検索方法を選択します。 部分一致:検索条件と部分的に一致する情報を検索します。 前方一致:検索条件と一致する内容で始まる情報を検索します。 後方一致:検索条件と一致する内容で終わる情報を検索します。
		 後方一致:検索条件と一致する内容で終わる情報を検索します。 完全一致:検索条件と完全に一致する情報を検索します。

DNSの設定

DNSを使用してSMTPサーバー、POP3サーバー、およびLDAPサーバーの指定にFQDNを設定したい場合に、DNSサーバーを有効にします。

補足

DNSサービスが有効であり、DNSサーバーがダイナミックDNSサービスをサポートしている場合は、同時にDDNS セッションも設定してください。

🚇 P.156 「DDNSの設定」

DNS					
OK キャンセル 設定を有効にする#	制にメインウィンドウ	の保存ボ	タンをクリッ	クしてください。	
DNS使用	有効	•			
プライマリDNSサーバーアドレス	0	0	0	0	
セカンダリDNSサーバーアドレス	0	0	0	0	
プライマリDNSサーバーアドレス(IPv6)					
ーーー セカンダリDNSサーバーアドレス(IPv6)					

	項目名	機能説明
1	DNS使用	DNSサーバーの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	プライマリDNSサーバーアドレス	DNSサービスが有効な場合に、プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。00000~255 255 255 255の範囲で設定します。
3	セカンダリDNSサーバーアドレス	DNSサービスが有効な場合に、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定 します。0 0 0 0~255 255 255 255の範囲で設定します。
4	プライマリDNSサーバーアドレス (IPv6)	IPv6でDNSサービスが有効な場合に、プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。1:1:1:1:1:1:1:1~ffff :ffff :fff
5	セカンダリDNSサーバーアドレス (IPv6)	IPv6でDNSサービスが有効な場合に、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレス を指定します。1:1:1:1:1:1:1:1~ffff :ffff :ffff :ffff :ffff :ffff :ffff :ffff の範囲で設定します。

補足

TCP/IPの設定で[ドメインサーバアドレス取得]オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからプライマリ DNSサーバーアドレスとセカンダリDNSサーバーアドレスを取得し、適切なIPアドレスが自動的に入力されます。

DDNSの設定

DDNSでは、DNSサーバーがダイナミックDNSをサポートしている場合に、ダイナミックDNSサービスを有効にすることができます。

注意

- 本機においてDDNSでセキュリティを使用する場合、WindowsのDNSのレコードを更新するサーバーと本機の時 刻の設定がサーバーのアカウントポリシーに記載されている時間以上ずれている場合、セキュリティを使用した DNSの更新に失敗します。DNSサーバーの時刻の確認をして、本機との時刻を合わせてください。
- DDNSを使用している環境で、DHCPを使って本機のIPアドレスを割り当てている場合は、DHCP Server's Scope OptionsまたはServer Optionで「006 DNS Servers」および「015 DNS Domain Name」を有効にします。

LO DHCP			
Action Yiew	1 🖸 🗟 😰] 🖑		
Tree	Server Options		
DHCP	Option Name	Vendor	Value
💼 🔂 w2000s-en1.domino6.ldm6j.local	😡 006 DNS Servers	Standard	172.16.16.2
	🐗 015 DNS Domain Name	Standard	test.ad.local
۲ ())	•		•

DDNSを有効にする場合は、前方参照ゾーンおよび逆引き参照ゾーンで、「自動更新を使用可能にしますか」オプションが「はい」(Windows 2000 Serverの場合)または「非セキュリティ保護およびセキュリティ保護」(Windows Server 2003/Windows Server 2008の場合)に設定されていることを確認してください。

Windows Server 2003/Windows Server 2008の設定が「非セキュリティ保護およびセキュリティ保護」以外に設定 されている場合は、DDNSの設定で、プライマリおよびセカンダリの「ログインネーム」、「パスワード」にログイ ン可能な設定を行ってください。

DDNSの設定のプライマリおよびセカンダリの「ログインネーム」、「パスワード」を使用して、DNSサーバーの レコードをアップデートしたくない場合には、本機のホスト名を前方参照ゾーンおよび逆引き参照ゾーンに追加 してください。

前方参照ゾーン (Windows 2000 Server)

起動中 Active Directory 統合

Active Directory に格納されたデータ 動的更新を使用可能にしますか(W) はい

161E

WINS ゾーンの転送 | 全統 SOA (Start of Authority)

エイジングと書種のプロパティを設定するには、[エイジング]をかっク エイジング(ロ)...

キャンセル

逆引き参照ゾーン (Windows 2000 Server)

? ×

-

セキュリティ ネーム サーバー ――時停止(E)

変更(<u>C</u>)..

OK キャンセル 設定を有効にする為に	こメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
DDNS使用	有効 👻
セキュリティ方式	til 👻
セカンダリログインネーム	
セカンダリバスワード	
TSIG/SIG(0)キーファイル	未装着
	参照
	アップロード 削除
TSIG/SIG(0)プライベートキーファイル	未装着
	要照

	項目名	機能説明
1	DDNS使用	ダイナミックDNSサービスの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されてい ます。
2	ドメイン名	ダイナミックDNSサービスを使用してDNSサーバーに登録する本機のドメイン名を入力し ます。半角英数字と記号(= : # ¥を除く)で96文字まで入力できます。
	補足	
	TCP/IPの設定で[ドメイン名の	取得]オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからドメイン名を取得することがで
	きます。 🕮 P.148 「TCP/IPの設定」	
3	セキュリティ方式	 セキュリティ方式を選択します。 <u>なし</u> DDNSを行いません。 GSS-TSIG GSS-TSIGを使用してセキュアなDDNSを行います。ログインネームとパスワードが設定可能です。ログインネームとパスワードが設定されていない場合は、セキュアな DDNSは行われません。 TSIG TSIGを使用してセキュアなDDNSを行います。キーファイルとプライベートキーファ イルをアップロードする必要があります。2つのファイルがアップロードされていない 場合は、セキュリティ設定が行われません。 SIG(0) SIG(0)を使用してセキュアなDDNSを行います。キーファイルとプライベートキー ファイルをアップロードする必要があります。2つのファイルがアップロードされていない ない場合は、セキュリティ設定が行われません。
4	プライマリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、プライマリログインネームを指定します。半角英数字と記号(=:#¥を除く)で128文字まで入力できます。
5	プライマリパスワード	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、プライマリパスワードを指定します。半 角英数字と記号(= : # ¥を除く)で128文字まで入力できます。
6	セカンダリログインネーム	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、セカンダリログインネームを指定しま す。半角英数字と記号(= : # ¥を除く)で128文字まで入力できます。
7	セカンダリパスワード	セキュリティ方式でGSS-TSIGを選択した場合は、セカンダリパスワードを指定します。半 角英数字と記号(= : # ¥を除く)で128文字まで入力できます。
8	TSIG/SIG(0)キーファイル	TSIGおよびSIG(0)で使用するキーファイルを、アップロードまたは削除する場合に設定します。 アップロードする場合は、[参照]をクリックしキーファイルを指定して、[アップロード] をクリックします。 削除する場合は、[削除]をクリックします。

	項目名	機能説明
9	TSIG/SIG(0)プライベート キーファイル	TSIGおよびSIG(0)で使用するプライベートキーファイルを、アップロードまたは削除す る場合に設定します。 アップロードする場合は、[参照]をクリックしキーファイルを指定して、[アップロード] をクリックします。 削除する場合は、[削除]をクリックします。

□ SMBの設定

SMBでは、SMBネットワークの各プロパティを設定し、Microsoft Windowsネットワークによる本機へのアクセスや、 SMB印刷を有効にします。SMBを有効にすると、SMB印刷が利用可能になるほか、本機の共有フォルダを参照できる ようになります。また、異なるサブネット間のファイル共有やプリンタ共有をWINSサーバーを使って解決している場合 は、WINSサーバーアドレスを指定します。



	項目名	機能説明
1	SMBサーバプロトコル	SMBの有効/無効を選択します。 • <u>有効</u> :SMBを有効にします。 • 無効 :SMBを無効にします。
2	制限	 SMBで制限を指定します。 <u>なし</u>: SMBで制限しない場合に選択します。 ブリント共有: 共有フォルダの参照のみ有効にし、本機のSMB印刷を無効にします。 ファイル共有: SMB印刷のみ有効にし、本機の共有フォルダの参照を無効にします。
3NetBIOS名Windows ネットワーク上で表示される本機の名称を入力します 「MFP <nicシリアル番号>」がNetBIOS名として設定されています。</nicシリアル番号>		Windows ネットワーク上で表示される本機の名称を入力します。標準の設定では、 「MFP <nicシリアル番号>」がNetBIOS名として設定されています。</nicシリアル番号>
	注 意 NetBIOS名は、半角英数字と「- は、警告メッセージが表示され;	-」(ハイフン)のみを使用して入力してください。それ以外の文字を使用して入力した場合 ます。

	項目名	機能説明
4	ログオン	本機が所属するワークグループ名またはドメイン名を入力します。 ・ <u>ワークグループ</u> :本機をワークグループに参加させる場合は、ワークグループ名を入力します。すべてのクライアントコンピュータは、ユーザ名やパスワードを使用せずに本機にアクセスすることができます。 ・ ドメイン:本機をドメインにログオンさせる場合は、ドメイン名を入力します。ドメイ
		ンのメンバとしてログオンしていないクライアントコンピュータから本機にアクセス するには、ユーザ名とパスワードが必要になります。本機へのアクセスを制限したい場 合は、ドメインで管理します。
	補足	
	TCP/IPの設定で[ドメイン名の きます。 Ⅲ P.148 「TCP/IPの設定」	取得]オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからドメイン名を取得することがで
	注意	
	ーーワークグループ名は、半角英数= さい。それ以外の文字を使用し	字と以下の記号「; : " < > + = ¥ ?,」以外の文字とひらがな、漢字を使用して入力してくだ て入力した場合は、警告メッセージが表示されます。
5	プライマリドメイン コントローラ	本機をドメインにログオンさせる場合に、プライマリドメインコントローラのサーバー名 またはIPアドレスを指定します。
6	バックアップドメイン コントローラ	本機をドメインにログオンさせる場合に、必要に応じてバックアップドメインコントローラのサーバー名またはIPアドレスを指定します。プライマリドメインコントローラが使用できない場合に、バックアップドメインコントローラが使用されます。
	ーーー プライマリドメインコントロー 内のプライマリドメインコントI タッチパネルの「NIC初期化中」 ントローラおよびバックアップ	ラおよびバックアップドメインコントローラに誤った設定を行うと、Windowsネットワーク コーラおよびバックアップドメインコントローラを最大4分程度検索するとともに、検索中は 表示が消えません。この場合は、「NIC初期化中」表示が消えた後、プライマリドメインコ ドメインコントローラに正しい設定を行ってください。
7	デバイス名	指定したドメインにログオンするための、本機のデバイス名(ログオンユーザ名)を入力 します。
8	パスワード	指定したデバイス名(ログオンユーザ名)のパスワードを入力します。
9	プライマリWINSサーバー アドレス	WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要があ る場合に、プライマリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。異なるサプネットから NetBIOS経由でアクセスしたい場合に設定します。
	補足	
	ICP/IPの設定で[WINSサーバー ンダリWINSサーバーアドレスを □ P.148 「TCP/IPの設定」	- アトレス取得」オフジョンを有効にした場合は、DHCPリーハーがらフライマリおよびセガ 取得することができます。
10	セカンダリWINSサーバー アドレス	WINSサーバーを使用して本機のNetBIOS名およびワークグループ名を解決する必要があ る場合に、必要に応じてセカンダリWINSサーバーのIPアドレスを指定します。プライマリ WINSサーバーが使用できない場合に、セカンダリWINSサーバーが使用されます。
	補足 TCP/IPの設定で [WINSサーバー ンダリWINSサーバーアドレスを	-アドレス取得] オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからプライマリおよびセカ 取得することができます。
	🛄 P.148 「TCP/IPの設定」	
	LプライマリWINSサーバーアド の設定は無効になります。	レス」およひ [セカンダリWINSサーバーアドレス] に、 0.0.0.0] を入力した場合は、WINS

	項目名	機能説明
11	SMBサーバのSMB署名	 クライアントが本機の共有フォルダにアクセスする場合など、クライアントから本機に SMBでアクセスする際に、SMB署名を使用するかどうかを設定します。 クライアントの同意により通信にデジタル署名を行う: クライアントがデジタル署名を 使用してSMB通信した場合のみ、デジタル署名を使ってSMB通信を保護します。クラ イアントがデジタル署名を使用していない場合は、デジタル署名を使用せずにSMB通 信を行います。 常にサーバ側の通信にデジタル署名を行う: クライアントがデジタル署名を使用して SMB通信した場合のみ、本機と通信ができるようにします。クライアントがデジタル 署名を使用せずに本機にSMB通信した場合は、本機とSMB通信することはできません。 サーバの通信にデジタル署名を行わない: クライアントがデジタル署名を使わずに SMB通信した場合のみ、本機と通信ができるようにします。クライアントが常にデジ タル署名を使用してSMBサーバーにアクセスするよう設定されている場合は、本機と SMB通信することはできません。
	注 意 クライアントコンピュータでSM アントの同意により通信にデジー くなる恐れがあります。	IBクライアントのSMB署名の設定がどのように設定されているか分からない場合は、[クライ タル署名を行う]を設定してください。誤ったSMB署名の設定を行うと、SMB通信ができな
12	SMBクライアントのSMB署名	 ネットワークフォルダにスキャンデータを保管する場合など、本機からSMBサーバーにアクセスする際に、SMB署名を使用するかどうかを設定します。 サーバの同意により通信にデジタル署名を行う:通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合のみ、デジタル署名を使ってSMB通信を保護します。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が無効の場合は、デジタル署名を使用せずにSMB通信を行います。 常にクライアント側の通信にデジタル署名を行う:常にデジタル署名を使用してSMBサーバーとSMB通信を行います。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が無効の場合は、SMBサーバーと通信することはできません。 クライアントの通信にデジタル署名を行わない:デジタル署名を使用せずにSMBサーバーとSMB通信を行います。通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合は、SMBサーバーと通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合は、SMBサーバーと通信するSMBサーバーのSMB署名の設定が有効の場合は、SMBサーバーと通信することはできません。
	注意 ・通信するSMBサーバーでSM 意により通信にデジタル署4 恐れがあります。 ・Windows Server 2003/Window 設定されています。Window デジタル署名を行う]またの	BサーバーのSMB署名の設定がどのように設定されているか分からない場合は、[サーバの同 Aを行う]を設定してください。誤ったSMB署名の設定を行うと、SMB通信ができなくなる pws Server 2008では、デフォルトの設定で常にサーバー側の通信にデジタル署名を行うよう s Server 2003/Windows Server 2008とSMB通信を行う場合は、[サーバの同意により通信に は[常にクライアント側の通信にデジタル署名を行う]を設定してください。

□ NetWareの設定

NetWareでは、NetWareバインダリとNDSサービスを設定します。Novell印刷環境を構築するときは、この設定を行う 必要があります。

	NetWare	
	OK キャンセル 1	没定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
1 —	NetWare使用	有効 👻
2 —	バインダリサーバー使用	有効 ▼
3 —	NDS使用	有効 ▼
4 —	サービスコンテキスト	Org
5 —	サービスツリー	Dept1
6 —		Nwsr v

	項目名	機能説明
1	NetWare使用	NetWareの有効/無効を選択します。 • 有効 :NetWareを有効にします。 • <u>無効</u> :NetWareを無効にします。

	項目名	機能説明
2	バインダリサーバー使用	NetWareパインダリモードでのNovell印刷を有効にするか選択します。パインダリモード でNetWareサーバーを使ってNovell印刷環境を構築するときは、有効を選択してください。
3	NDS使用	NetWare NDSモードでのNovell印刷を有効にするか選択します。NDSモードでNetWare サーバーを使ってNovell印刷環境を構築するときは、有効を選択してください。有効を選 択した場合は、同時にNDSのコンテキストとツリーの指定も行ってください。
4	サービスコンテキスト	本機用のNetWareプリントサーバーのNDSコンテキストを入力します。
5	サービスツリー	NDSツリーを入力します。
6	優先サーバ	優先して接続するNetWareサーバー名を入力します。

□ HTTPの設定

HTTPネットワークサービスでは、TopAccessやファイリングボックスWebユーティリティなど、Webベースのサービ スを有効にするかを設定します。

нир	
OK キャンセル 設定を有効にする為にメインウィン	ドウの保存ボタンをクリックしてください。
HTTPサーバー使用	有効 ▼
SSL使用	無効 👻
ブライマリボート番号	80
セカンダリボート番号	8080
SSLポート番号	10443

	項目名	機能説明
1	HTTPサーバー使用	TopAccessやファイリングボックスWebユーティリティなどのWebベースのサービスを 有効にするか選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	SSL使用	HTTPで本機にアクセスするときにSSL(Secure Sockets Layer)を使用するか選択しま す。有効にすると、TopAccessやファイリングボックスWebユーティリティの操作により 通信されるデータは暗号化されます。初期値は[無効]に設定されています。
	注意	
	SSLを使用するには、サーバーの	DOSがSSLをサポートしている必要があります。
3	プライマリポート番号	HTTPアクセスに使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できま す。通常は、初期値の「80」を使用します。
4	セカンダリポート番号	TopAccessおよびファイリングボックスWebユーティリティに使用するポート番号を入 力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「8080」を使用します。
	注意	
	HTTPのSSL無効時に、セカンダ	リポート番号に、その他のネットワーク設定と同じポート番号を指定すると、TopAccessや
	ファイリングボックスWebユー	ティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ
	ルからHTTP設定を変更し、正し	いポート番号を設定してください。
5	SSLポート番号	SSLに使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常は、 初期値の「10443」を使用します。
	注意	
	HTTPのSSL有効時に、HTTP設定	のSSLポート番号に、その他のネットワーク設定と同じポート番号を指定すると、TopAccess
	やファイリングボックスWebユ	ーティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パ
	ネルからHTTP設定を変更し、正	しいポート番号を設定してください。

□ SMTPクライアントの設定

SMTPクライアントでは、インターネットファクスおよびEメールのSMTP送信を有効にするか選択します。

注意

インターネットファクスおよびEメール送信を行うには、送信者アドレスを設定する必要があります。送信者アドレ ス設定については、以下の説明を参照してください。

□ P.232 「Eメール設定をセットアップする」

□ P.233 「インターネットファクス設定をセットアップする」

また、内部認証以外のユーザ管理設定が有効になっている場合は、本機にログインしたユーザの送信者アドレスが自動的に設定されます。ユーザ管理設定の詳細については、以下の説明を参照してくだい。

🛄 P.141 「[管理者]タブ」

SWIF	
OK キャンセル 設定を有効にする X	制にメインウィンドウの「保存ボタンをクリックしてください。
SMTPクライアント使用	有効 ▼
SSL使用	無効・
SSL/TLS	STARTTLS -
SMTPサーバーアドレス	
POP Before SMTP	無効 ▼
1211E	無効 👻
ログイン名	
パスワード	
Eメール/インターネットファクス送信最大容量	30 - MB
	25
SMTPクライア、小の接続タイムアウト(1-180)	30 44

	項目名	機能説明
1	SMTPクライアント使用	本機からSMTPサーバーを介してインターネットファクスおよびEメールを送信する場合 に有効にします。初期値は[有効]に設定されています。
2	SSL使用 注意 ・ [登録されたCA証明書を使用 □ P.267 [[セキュリティ] ・ SSI を使用するには、サー/	SMTPサーバーにアクセスするときにSSL (Secure Sockets Layer)を使用するか選択します。
3	SSL/TLS 注意 [Over SSL] を選択した場合は、 用します。	 [SSL使用]を有効にした場合に、SSLに使用するプロトコルを選択します。 <u>STARTTLS</u>: SMTP の拡張コマンドである STARTTLS を使用してメッセージを TLS (Transport Layer Security) で送信する場合に選択します。 Over SSL:メッセージをSSL (Secure Socket Layer) で送信する場合に選択します。 ポート番号を正しいSSLポート番号に変更してください。Over SSLでは、通常「465」を使

	項目名	機能説明]
4	SMTPサーバーアドレス	[SMTPクライアント使用]を有効にした場合に、SMTPサーバーのIPアドレスまたはFQDN を入力します。半角英数字と記号(= : # ¥を除く)で128文字まで入力できます。	
	注意		
	FQDNを使用してSMTPサーバ- 	- を指定する場合は、DNSサーバーを設置しDNSの設定を有効にする必要があります。	
	補足		
	TCP/IPの設定で[SMTPサーバ・ レスを取得することができます。 □□ P.148 「TCP/IPの設定」	-アドレスの取得]オプションを有効にした場合は、DHCPサ-バーからSMTPサ-バ-アド 。	
5	POP Before SMTP	POP Before SMTP認証を有効にするかどうかを選択します。初期値は[無効]に設定されています。	
6	認証 ログイン名	 SMTPサーバーに接続するための認証方法を選択します。 <u>無効</u>:認証を使用せずにSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 Plain: Plain認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 Login: Login認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 CRAM-MD5: CRAM-MD5認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 Digest-MD5: Digest-MD5認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 MtLM (IWA): NTLM (IWA) 認証を使用して SMTP サーバーに接続する場合に選択します。 Image: NTLM (IWA): NTLM (IWA) 認証を使用して SMTP サーバーに接続する場合に選択します。 Image: Image: Im	8 [管理者
8	パスワード	イン名を入力します。半角英数字と記号(=;#¥を除く)で64文字まで入力できます。 認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に、SMTPサーバーに接続するためのパス ワードを入力します。半角英数字と記号(-:#¥を除く)で64文字まで入力できます。	19ブ
9	Eメール/インターネットファクス 送信最大容量	SMTPを介して送信可能な最大容量を選択します。2~30MBの範囲で設定します。	-
10	ポート番号	[SMTPクライアント使用]を有効にした場合に、SMTPサーバーにアクセスするための ポート番号を入力します。入力するポート番号は、SMTPサーバーのポート設定によって 異なります。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「25」を使用します。	
	注意 HTTP設定のセカンダリポート ファイリングボックスWebユー ルからHTTP設定を変更し、正し	番号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessや ティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ ルポート番号を設定してください。	
11	SMTPクライアントの 接続タイムアウト(1-180)	SMTPサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力します。1~ 180秒の範囲で設定します。初期値は「30」に設定されています。	

□ SMTPサーバーの設定

SMTPサーバーでは、インターネットファクスおよびEメールのSMTP受信を有効にするか選択します。通常は、オフラ ンプゲートウェイ機能を利用したい場合に設定します。

SMTPサーバー	
OK キャンセル	設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
SMTPサーバー使用	有効 🔻
ボート番号	25
Eメールアドレス	
Eメール転送使用	無効 🔻
	有効 🔻
オフランブ印刷	有効 🔻

	項目名	機能説明
1	SMTPサーバー使用	本機がSMTPサーバーとして働くかどうかを選択します。オフランプゲートウェイ機能を 利用したい場合は、有効にする必要があります。有効にすると、本機ドメイン宛のインター ネットファクスやEメールを、SMTP通信によりSMTPサーバーを介して受信することがで きます。初期値は[有効]に設定されています。
2	ポート番号	SMTPでインターネットファクスやEメールを受信するポート番号を入力します。通常、 「25」を使用します。
	注意	
	HTTP設定のセカンダリポート者 ファイリングボックスWebユー ルからHTTP設定を変更し、正し	≸号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessや ティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ ,いポート番号を設定してください。
3	Eメールアドレス	本機のEメールアドレスを入力します。本機がSMTPサーバーとして動作する場合は、本機のドメイン名を含むすべてのインターネットファクスやEメールをSMTPを使って受信することができます。受信した文書のEメールアドレスが、ここで入力した名前と一致すると、本機は受信した文書を印刷します。半角英数字と記号(=;#¥を除く)で70文字まで入力できます。
4	Eメール転送使用	オフランプゲートウェイ転送を有効にするか選択します。初期値は[無効]に設定されて います。
5	オフランプセキュリティ	本機のアドレス帳に登録されたファクス番号にのみオフランプゲートウェイ転送を行うか どうかを設定します。有効にすると、指定された転送宛先が本機のアドレス帳に登録され ていない場合、送信を中断します。不正なオフランプゲートウェイ転送を防ぐことができ ます。初期値は[有効]に設定されています。
6	オフランプ印刷	オフランプゲートウェイ転送を行う際に、転送される文書を本機で印刷するかを設定しま す。有効にすると、オフランプゲートウェイ転送される文書を自動的に印刷し、どのよう な文書が転送されたのかを確認することができます。初期値は[有効]に設定されています。

POP3の設定

POP3ネットワークサービスでは、インターネットファクスやEメール印刷ジョブを受信するPOP3サーバーを設定します。

POP3	
OK キャンセル 設定を有効にす	る為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
POP3クライアント使用	有効 👻
SSL使用	無効 👻
125EE	無効 👻
ーーーログインタイプ	自動 ▼
アカウント名	
パスワード	
ポーリングレート	5 分
ポート番号	110
SSLポート番号	995
POP3クライアントの接続タイムアウト(1-18)	0) 30 #6

	項目名	機能説明
1	POP3クライアント使用	POP3サーバーからのインターネットファクスやEメールの取り込みを有効にするか選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	SSL使用	 POP3サーバーにアクセスするときにSSL (Secure Sockets Layer)を使用するか選択します。 <u>無効</u>: SSLを無効にします。 登録されたCA証明書を使用する:本機に登録された証明書を使用してSSL認証を行う場合に選択します。 全ての証明書を受け入れる:本機の登録された証明書を使用せずにSSL認証を行う場合に選択します。
	注 意 • [登録されたCA証明書を使用 □ P.267 [[セキュリティ] • SSLを使用するには、サーバ	する]を選択した場合は、セキュリティ設定でCA証明書を登録する必要があります。 設定/操作方法」 「一のOSがSSLをサポートしている必要があります。
3	POP3サーバーアドレス	[POP3クライアント使用]を有効にした場合に、POP3サーバーのIPアドレスまたはFQDN を入力します。半角英数字と記号(=;# ¥を除く)で128文字まで入力できます。
	注意 FQDNを使用してPOP3サーバー 補足 TCP/IPの設定で[POP3サーバフ を取得することができます。 P.148「TCP/IPの設定」	を指定する場合は、DNSサーバーを設置しDNSの設定を有効にする必要があります。 7ドレス取得]オプションを有効にした場合は、DHCPサーバーからPOP3サーバーアドレス
4	認証	 POP3サーバーにアクセスするときの認証を有効にするかどうかを設定します。 <u>無効</u>:認証を無効にします。 NTLM/SPA:NTLM/SPA認証を有効にします。 Kerberos:Kerberos認証を有効にします。
5	ログインタイプ	 POP3のログインタイプを選択します。 <u>自動</u>: POP3サーバーによって、ログインタイプを自動的に決定する場合に選択します。 POP3: 一般的なPOP3ログインタイプを使用する場合に選択します。 APOP: APOPのログインタイプを使用する場合に選択します。APOPでは、ユーザ名およびパスワードを暗号化して、POP3サーバーにアクセスすることができます。
	注意 [自動] を選択してもメールサー 択してください。	バーにログインできない場合は、[POP3] または [APOP] いずれかのログインタイプを選

	項目名	機能説明
6	アカウント名	本機がPOP3サーバーにアクセスするためのアカウント名を入力します。半角英数字と記号 (= ; # ¥を除く)で96文字まで入力できます。
	注意	
	[認証]で[NTLM/SPA]または してください。	[Kerberos] を選択している場合は、アカウント名はドメインを除いたアカウント名を入力
7	パスワード	本機がPOP3サーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。半角英数字と記号 (= ; # ¥を除く)で96文字まで入力できます。
8	ポーリングレート	本機が新着メッセージを確認するために、どのくらいの間隔でPOP3サーバーにアクセスするか指定します。0から4096までの値を入力できます。初期値は「5」に設定されています。
9	ポート番号	POP3サーバーにアクセスするポート番号を入力します。入力するポート番号は、POP3 サーバーのポート設定によって異なります。1から65535までの値を入力できます。通常 は、初期値の「110」を使用します。
10	SSLポート番号	SSLを使用してPOP3サーバーにアクセスするポート番号を入力します。入力するポート番号は、POP3サーバーのポート設定によって異なります。通常、「995」を使用します。
11	POP3クライアントの 接続タイムアウト(1-180)	POP3サーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力します。1~ 180秒の範囲で設定します。初期値は「30」に設定されています。

□ FTPクライアントの設定

FTPクライアントでは、[共有フォルダかUSBに保管]操作でFTPを使ってネットワークフォルダに文書を保存する場合に、初期値として使用されるポート番号を設定します。



	項目名	機能説明
1	SSL設定	SSLで用いる証明書を設定します。
		• 無効 :SSLを無効にします。
		• 登録されたCA証明書を使用する:登録された証明書を利用します。
		• 全ての証明書を受け入れる:すべての証明書を利用します。
2	ポート番号(初期値)	ネットワークフォルダにFTPでアクセスするときに使用するポート番号を入力します。
		FTPで使用するポート番号はFTPサーバーの設定よって異なることがあります。1から
		65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「21」を使用します。

□ FTPサーバーの設定

FTPサーバーでは、本機のFTPサーバー機能の有効/無効を設定します。

	FTPサーバー	
	0K キャンセル	設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
1 — 2 — 3 —	FTPサーバー使用 SSL使用 ポート番号(初期値)	有效 ▼ 無効 ▼ 21
4 —	SSLポート番号	990

	項目名	機能説明	
1	FTPサーバー使用	本機のFTPサーバー機能を有効にするかどうかを選択します。以下の機能を使用する場合 は、有効にする必要があります。 • FTP印刷 • AddressBook Viewerで本機のアドレス帳データを読み書きする • ファイリングボックスBackup/Restore Utilityでファイリングボックスデータをバッ クアップ/リストアする 初期値は[有効]に設定されています。	
2	SSL使用	FTPサーバーにアクセスするときにSSL(Secure Sockets Layer)を使用するか選択しま す。初期値は[無効]に設定されています。	
	注 意 SSLを使用するには、サーバーの	DOSがSSLをサポートしている必要があります。	
3	ポート番号(初期値)	本機にFTPでアクセスするときに使用するポート番号を入力します。1から65535までの値 を入力できます。通常は、初期値の「21」を使用します。	
	注意 HTTP設定のセカンダリポート番号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessペ ファイリングボックスWebユーティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ ルからHTTP設定を変更し、正しいポート番号を設定してください。		
4	SSLポート番号	SSLを使用してFTPサーバーにアクセスするポート番号を入力します。入力するポート番号は、FTPサーバーのポート設定によって異なります。1から65535までの値を入力できます。通常は、初期値の「990」を使用します。	
	注意 HTTP設定のセカンダリポート都 ファイリングボックスWebユー ルからHTTP設定を変更し、正し	春号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessや ティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ いポート番号を設定してください。	

□ SLPの設定

SLPを有効にすると、本機はService Agentとなり、User Agentからのサービス検索および、Directory Agentへのサービス登録に対応します。

補足

SLP設定では、以下のプリントサービスのみサポートしています。 Raw TCP印刷、LPD印刷、IPP印刷、WSD印刷、SMB印刷、FTP印刷

注 意

SLPの"printer-location"attributeについて

SLPで通知するサービスに、情報として"printer-location"というattributeがあります。その情報はTopAccessの[管理 者] タブ、[セットアップ] メニュー、[一般] サブメニュー、[装置情報] にある[設置場所] の設定が使用されま す。TopAccessから[設置場所]の設定を変更した場合は、本機の電源を一度オフにした後、再度オンにしてくださ い。電源を入れ直した後、SLPの"printer-location"に反映されます。

	SLP	
	0K キャンセル	設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
	SLP使用	無効 -
	TTL	8
-+	スコープ	DEFAULT

	項目名	機能説明
1	SLP使用	SLPサービスの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	TTL	サービスを提供するネットワークの範囲TTL(Time To Live)を設定します。 異なるネットワーク上に存在するUser AgentおよびDirectory Agentと通信を行うために 使用します。
3 スコープ スコープを設定します。デフォルト値は「DEFAULT」になります。 スコープを設定することで、サービスを提供するグループを指定できます。		スコープを設定します。デフォルト値は「DEFAULT」になります。 スコープを設定することで、サービスを提供するグループを指定できます。
	 補 足 スコープの入力では、「,」 スコープの設定では、以下の スコープの入力欄を空欄にし User Agent (UA) であるKo てサービス検索を行うことが 	(カンマ)区切りで複数指定することができます。 D記号「()¥!<=>~;*+」は入力できません。 って設定することはできません。 nqueror(SUSE Linux)やSLPSNOOPユーティリティ(Novellクライアント)などを使用し ができます。

□ SNMPの設定

SNMPネットワークサービスでは、SNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視するSNMPを有効 にするか選択します。管理者が本機のMIBに適合したSNMPネットワーク監視ユーティリティを使って装置状態を監視し たい場合は、SNMPおよびSNMPトラップを有効に設定する必要があります。

	OK キャンセル 設定を有効にする	5為にメインウィンドウ	の保存ボタン	をクリック	してくだ	さしい。	
I —	SNMP V1/V2使用	有効 ▼					
<u>-</u>		public					
s — –	リードライトコミュニティ	private					
i —	SNMP V3使用	無効 👻					
	「新相」「削除金」「今削除金」「エクフポート」						
,		SNMP V	3フーザ情報				
	番号 ユーザ名 №	SIII - SIIII - SIII - SIIII - SIII - SIII - SIIII - SIII - SIIII - SIIII - SIIII - SIIII - SIII - SIIII - SIIIII - SIIII - SIIII - SIIII - SIIII - SIIII -	<u>マエーブ 間報</u> プライ	・ バシーブ	որու	許可レベル	
	🔲 1 0001 H	MAC-MD5	None			Administrator	
			Ann 44.	-			
;			無初 •	r			
			HMAC-MD5 ▼				
			72		_		
	SNMP V3トラップブライハシーブロトコル		raU		•		
<u>_</u>			有効。				
<u> </u>	■ 警告トラップ使用		有効、	1			
4 —	- 		0	0	0	0	
·	トラップ送信先2		0	0	0	0	
	トラップ送信先3		0	0	0	0	
	トラップ送信先4		0	0	0	0	
	トラップ送信先5		0	0	0	0	
	トラップ送信先6		0	0	0	0	
	トラップ送信先7		0	0	0	0	
	トラップ送信先8		0	0	0	0	
	・		0	0	0	0	
	トラップ送信先10		0	0	0		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		·	19	19		

	項目名	機能説明
1	SNMP V1/V2使用	SNMP V1/V2の有効/無効を選択します。TopAccessDocMon、TWAINドライバ、ファ イルダウンローダおよびAddressBook Viewerの使用をユーザに許可する場合は、有効を 選択してください。初期値は[有効]に設定されています。
2	リードコミュニティ	SNMPアクセス用のSNMPリードコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号(= : # ¥を除く)で31文字まで入力できます。初期値は「public」に設定されています。
 注意 セキュリティの観点から、リードコミュニティのコミュニティ名は、工場出荷時のコミュニティ名から変更しいただく事を推奨します。 リードコミュニティのコミュニティ名を変更する場合は、お使いのアプリケーションと設定を合わせてくださ合わせないと、MIBを使用しているアプリケーション(TopAccess、TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、Active Viewer)が使用できなくなります。また、プリンタドライバのSNMP通信も無効になり、オプション構成の自門コードチェック、有効なファイリングボックスの取得などの機能が使用できなくなります。 リードコミュニティを空欄にした場合、クライアントコンピュータと本様のSNMP通信はできなくなります。 		ードコミュニティのコミュニティ名は、工場出荷時のコミュニティ名から変更して使用して ユニティ名を変更する場合は、お使いのアプリケーションと設定を合わせてください。設定を ているアプリケーション (TopAccess、TWAINドライバ、ファイルダウンローダ、AddressBook ります。また、プリンタドライバのSNMP通信も無効になり、オプション構成の自動取得や部 ファイリングボックスの取得などの機能が使用できなくなります。 こした場合、クライアントコンピュータと本機のSNMP通信はできなくなります。
3	リードライトコミュニティ	SNMP通信による読み書きを許可するSNMPリードライトコミュニティ名を入力します。 半角英数字と記号(= : # ¥を除く)で31文字まで入力できます。初期値は「private」に 設定されています。
注意 ・ セキュリティの観点から、リードライトコミュニティのコミュニティ名は、工場出荷時のコミュニティ名から変更 用していただく事を推奨します。 ・ リードライトコミュニティのコミュニティ名を変更する場合は、お使いのアプリケーションと設定を合わせてくれ 設定を合わせないと、MIBを使用しているアプリケーション(TopAccess、TWAINドライバ、ファイルダウンロ AddressBook Viewer)が使用できなくなります。また、プリンタドライバのSNMP通信も無効になり、オプショ の自動取得や部門コードチェック、有効なファイリングボックスの取得などの機能が使用できなくなります。		

	項目名	機能説明
4	SNMP V3使用	SNMP V3の有効/無効を選択します。TWAINドライパ、ファイルダウンローダおよび AddressBook Viewerの使用をユーザに許可する場合は、有効を選択してください。
5	SNMPユーザ情報の作成	本機に登録されたSNMPユーザ情報がリスト表示されます。SNMPユーザ情報は、登録、編 集、削除、およびエクスポートすることができます。詳しくは以下の説明を参照してくだ さい。 P.221 「SNMP V3ユーザ情報を登録・編集する」 P.222 「SNMP V3ユーザ情報をエクスポートする」 P.224 「SNMP V3ユーザ情報を削除する」
6	SNMP V3トラップ使用	SNMP V3トラップを送信するかを選択します。初期値は [無効] に設定されています。
7	SNMP V3トラップユーザ名	SNMP V3トラップユーザ名を入力します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。
8	SNMP V3トラップ認証 プロトコル	認証に使用するプロトコルを選択します。 • <u>HMAC-MD5</u> : HMAC-MD5を使用する場合に選択します。 • HMAC-SHA: HMAC-SHAを使用する場合に選択します。
9	SNMP V3トラップ認証 パスワード	認証パスワードを入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。
10	SNMP V3トラッププライバシー プロトコル	 データの暗号化に使用するプロトコルを選択します。 <u>なし</u>:暗号化をしない場合に選択します。 CBC-DES: CBC-DESを使用する場合に選択します。 CFB-AES-128: AES-128(CFBモード)を使用する場合に選択します。
11	SNMP V3トラッププライバシー パスワード	プライバシーパスワードを入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。
12	認証トラップ使用	指定したプライベートコミュニティ以外からSNMP V1/V2により本機にアクセスがあった場合に、SNMPトラップを送信するかを選択します。初期値は[有効]に設定されています。
13	警告トラップ使用	警告状況が発生したときに、SNMP V1/V2トラップを送信するかを選択します。初期値は[有効]に設定されています。
14	トラップ送信先 1~10	SNMPトラップを送信するIPアドレスを入力します。アドレスは10か所まで指定することができます。0000~255 255 255 255の範囲で設定します。
15	IPトラップコミュニティ	IPトラップ用のトラップコミュニティ名を入力します。半角英数字と記号で31文字まで入 力できます。初期値は「public」に設定されています。
16	IPXトラップアドレス	IPXトラップを送信するIPXアドレスを入力します。半角英数字と記号で20文字まで入力で きます。
	>> 	

注意

「SNMP V3ユーザ情報」の一覧表に登録済みのユーザ名を、SNMP V3トラップのユーザ名として使用する場合は、一覧に登録されている「認証プロトコル」、「認証パスワード」(一覧表には表示されない)、「プライバシープロトコル」、「パスワード」 (一覧表には表示されない)と同一のプロトコルとパスワードを、「SNMP V3トラップ認証プロトコル」、「SNMP V3トラップ 認証パスワード」、「SNMP V3トラッププライバシープロトコル」、「SNMP V3トラッププライバシーパスワード」に入力して ください。 これらの情報が同一ではない場合には、一覧表に登録されている情報が使用されます。

[SNMP V3ユーザ情報の作成] 画面

SNMP V3ユーザ情報の作成画面の [新規] ボタンをクリックすると表示します。

SNMP V3ユーザ情	報の作成	
保存 キャンセル		
コンテキスト名	MFP	
ユーザ名		
認証プロトコル	HMAC-MD5 👻	
認証バスワード		
プライバシープロトコル	なし 🗸	
パスワード		
許可レベル		

補足

SNMP V3ユーザ情報は、[SNMP V3ユーザ情報の作成] 画面の [保存] ボタンをクリックすると瞬時に登録され、 ネットワークから登録したユーザで本機にSNMPアクセスが可能になります。

	項目名	機能説明
1	コンテキスト名	コンテキスト名が表示されます。
2	ユーザ名	ユーザの名前を入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。
3	認証プロトコル	認証に使用するプロトコルを選択します。 ・ <u>HMAC-MD5</u> : HMAC-MD5を使用する場合に選択します。 ・ HMAC-SHA: HMAC-SHAを使用する場合に選択します。
4	認証パスワード	認証に使用するパスワードを入力します。半角英数字で最大31文字まで入力できます。
5	プライバシープロトコル	 データの暗号化に使用するプロトコルを選択します。 <u>なし</u>:暗号化をしない場合に選択します。 CBC-DES: CBC-DESを使用する場合に選択します。 CFB-AES-128: AES-128 (CFBモード)を使用する場合に選択します。
6	パスワード	ユーザ情報のパスワードを入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。
7	許可レベル	 SNMP V3のユーザのアクセス許可レベルを選択します。 一般ユーザ:データの読み取りのみを許可します。 管理者:データの読み取りと書き込みを許可します。

□ Web Service設定

Web ServiceプリントおよびWeb Serviceスキャンを行う場合に設定します。Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008コンピュータ搭載の機能を利用して、ネットワークを介したクライアントとの操作ができます。

	Web Service設定	
	OK キャンセル 設定を有効にす	る為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
	一般	
1 —	SSL使用	有効 🔻
2 —		TOSHIBA e-STUDIOXXXX-07088510
	プリント	
3 —	Web Serviceプリント	有効 🔻
4 —	ブリンタ名	TOSHIBA e-STUDIOXXXX-07088510
5 —	ブリンタ情報	
•		
	スキャン	
6 —		有効 🔻
7 —	スキャナ名	TOSHIBA e-STUDIOXXXX-07088510
8 —	スキャナ情報	
9 —	ーー クライアントPCからのスキャンでの認証	全てのジョブを受け付ける
•	今て小ジョゴを受け付ける・コーザタポネス	ー・・・・・ー・・・・ー 「の場合Guarthi ブル」オオ (Guarthi ブルリエートフナト) 傍閉太方がに ブイドオい

	項目名	機能説明
1	SSL使用	Web ServiceでSSLを使用するかどうかを設定します。 • 有効 :SSLを使用します。 • <u>無効</u> :SSLを使用しません。
2	フレンドリーネーム(表示名)	本機の表示名を入力します。全角半角に関係なく127文字まで入力できます。
3	Web Serviceプリント	 Web Serviceプリントの有効/無効を設定します。 <u>有効</u>: Web Serviceプリントを有効にします。 無効: Web Serviceプリントを無効にします。
	注意	
	SSLを使用したWeb Serviceプリ があります。詳細は、以下を参野 囗 P.267 [[セキュリティ]設定	ントを有効にするには、本機やクライアントコンピュータに証明書をインストールする必要 照してください。 E/操作方法」
4	プリンタ名	本機のプリンタ名を入力します。全角半角に関係なく(= ; # ¥を除く)120文字まで入力 できます。初期値は「MFPモデル名称-シリアル番号」に設定されています。
5	プリンタ情報	本機のプリンタ情報を入力します。全角半角に関係なく(= ; # ¥を除く)127文字まで入 力できます。
6	Web Serviceスキャン	 Web Serviceスキャンの有効/無効を設定します。 <u>有効</u>: Web Serviceスキャンを有効にします。 <u>無効</u>: Web Serviceスキャンを無効にします。
7	スキャナ名	本機のスキャナ名を入力します。全角半角に関係なく(= ; # ¥を除く)120文字まで入力 できます。初期値は「MFPモデル名称-シリアル番号」に設定されています。
8	スキャナ情報	本機のスキャナ情報を入力します。全角半角に関係なく(= ; # ¥を除く)120文字まで入 力できます。
9	クライアントPCからのスキャンで の認証	 クライアントPCからスキャンする場合、ユーザ認証によって処理を受け付けるかどうか設定します。 全てのジョブを受け付けない:ユーザ認証にかかわらず全てのジョブを受け付けません。 ユーザ名が有効であればジョブを受け付ける:ユーザ認証されている場合のみジョブを受け付けます。 全てのジョブを受け付ける:ユーザ認証にかかわらず全てのジョブを受け付けます。

LLTDの設定

LLTD (Link Layer Topology Discovery) では、デバイスの接続検証やインストール、TopAccessの起動などを行う 場合に有効に設定します。Windows Vista/Windows 7/Windows Server 2008でローカルネットワーク上のデバイス の探索を行い、ネットワークマップに位置情報やIPアドレス、MACアドレス、プロファイルなどを表示することができ ます。



	項目名	機能説明
1	LLTD使用	LLTDの有効/無効を設定します。 • <u>有効</u> :LLTDを有効にします。 • 無効 :LLTDを無効にします。
2	デバイス名	ネットワークマップに表示されるデバイス名を入力します。 半角または全角の文字が入力可能で、半角の英数字で16文字まで入力できます。

□ スーパースリープモードからの復帰設定

スーパースリープモード中のネットワークアクセスについて設定します。 ネットワーク検索により本機をスーパースリープモードから復帰させたい場合などに設定してください。

注意

節電モード設定で、スーパースリープモード設定が「有効」に設定されている場合に、復帰設定が有効になります。 スーパースリープモード設定が「有効」に設定されていない場合は、本機がスーパースリープモードに移行しないの で、復帰設定は無効になります。

🚇 P.145 「節電モード設定」

~		-
ОK	キャンセル 設定を有効にする為にメインウィンドウの	保存ボタンをクリックしてください。
スー 4つま	パースリーブモードから復帰を許可するブロトコルを設定してく こで違択可能です。	idu 10
_		
V	ARP	
V	SNMP for IPv4	
	SNMP for IPv6	
V	SMB	
	Bonjour	
	Neighbor Discovery(Link Local Address)	
	Neighbor Discovery(Manual)	
	LLMNR	
	LLTD	1
	SLP	1
	Web Services for IPv4	1
-	Web Convince for IDvC	1

[管理者]

ダレ

	項目名	機能説明
1	プロトコル	本機をスーパースリープモードから復帰させるプロトコルを選択します。4つまで選択できます。 ます。 • ARP
		IPv4環境で本機を使用する場合に、アドレス解決ができるようになります。 SNMP for IPv4
		IPv4環境でClient Utilitiesを使用する場合に、SNMPでネットワーク検索されるように なります。
		 SNMP for IPV6 IPv6環境でClient Utilitiesを使用する場合に、SNMPでネットワーク検索されるようになります。 SMB
		IPv4環境でNetBIOS名を利用する場合に、名前解決ができるようになります。 Bonjour
		 Bonjourを使用する場合に、Bonjourでネットワーク検索されるようになります。 Neighbor Discovery(Link Local Address)
		IPv6環境で本機を使用する場合に、アドレス解決ができるようになります。 Neighbor Discovery(Manual)
		IPv6環境で本機を使用する場合に、アドレス解決ができるようになります。 ・ LLMNR
		IPv6環境でNetBIOS名を利用する場合に、名前解決ができるようになります。 • LLTD
		ネットワークマップを利用する場合に、ネットワークマップの表示(デバイス探索)が できるようになります。 • SLP
		SLPを利用する場合に、サービス探索されるようになります。 • Web Services for IPv4
		IPv4環境でWS-Discoveryを使用する場合に、WS-Discoveryでネットワーク検索され るようになります。 • Web Services for IPv6
		- Web Gervices for IF VO IPv6環境でWS-Discoveryを使用する場合に、WS-Discoveryでネットワーク検索され るようになります。

注意

- スーパースリープモードからの復帰設定では、各プロトコルの設定の「有効」/「無効」に関係なく、任意のプロトコルを選択できます。ただし、復帰設定で選択していても、選択したプロトコルがプロトコルの設定で「無効」に設定されている場合は、本機はスーパースリープモードから復帰しません。
- 本設定で選択したプロトコルでネットワークアクセスを行っても、本機から応答が来ない場合は、ネットワーク アクセスを再試行してください。

補足

以下のプロトコルは、復帰設定を行わなくても、スーパースリープモードから復帰できます。

- IPP
- FTP
- HTTP
- SMTP
- RAW9100
- LPD
- WebService

□ IPセキュリティの設定

IPセキュリティ機能を使用すると、IPsec(IP Security Protocol)による暗号化通信が可能となります。

補足

[フラッシュコネクション] ボタンは、IPsec通信に使用するキーの漏えいや、セキュリティへの侵害が発生した場合、 フラッシュコネクション機能を使用して、現在のセッションを手動で消去(フラッシュ)し、新しいセッションを開 始させることができます。また、何らかの理由によりSAD(Security Association Database)の情報を消去したい場 合にも、フラッシュコネクション機能で情報を消去することができます。

展る	設定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックリ、てください。
#115/-	
<u> </u> フィルタ マニュ 22/00 ^{[7]P75}	<u>アルキー KEキー プロファイル オリシー</u>
コノルの名	

	項目名	機能説明
1	[戻る] ボタン	[IPセキュリティ] 画面を閉じます。
2	IPsec使用	IPsecの有効/無効を設定します。 • 有効 :IPsecを有効にします。 • <u>無効</u> :IPsecを無効にします。
3	ポリシー	IPsecで使用するポリシーを選択します。 IPsecによる暗号化通信を行うには、お使いになる環境に合わせたIPsecのポリシーを作成 する必要があります。 □ P.184 [[ポリシーの追加] / [ポリシーの修正] 画面」
4	フィルタ	 IPsec環境のフィルタを作成します。 「追加] ボタン: [フィルタの追加] 画面でフィルタを追加できます。 □ P.176 [[フィルタの追加] / [フィルタの修正] 画面] 「削除] ボタン: 削除するフィルタにチェックを付けてからクリックするとフィルタを削除できます。 フィルタ名: 登録されているフィルタ名をクリックすると内容を修正できます。 □ P.176 [[フィルタの追加] / [フィルタの修正] 画面] フィルタアクション: 登録されているフィルタのアクションを表示します。
5	マニュアルキー	 IPsecのマニュアルキーを設定します。 [追加] ボタン: [マニュアルキーの追加] 画面でマニュアルキーを追加できます。 □ P.178 [[マニュアルキーの追加] / [マニュアルキーの修正] 画面」 [削除] ボタン: 削除するマニュアルキーにチェックを付けてからクリックするとマニュアルキーを削除できます。 マニュアルキー名: 登録されているマニュアルキー名をクリックすると内容を修正できます。 □ P.178 [[マニュアルキーの追加] / [マニュアルキーの修正] 画面」 暗号化アルゴリズム: 登録されている暗号化アルゴリズムを表示します。
6	IKE‡—	 IPsecのIKEキーを設定します。 「追加] ボタン: [IKEの追加] 画面でIKEキーを追加できます。 □ P.180 「[IKEの追加] / [IKEの修正] 画面」 「削除] ボタン: 削除するキー名にチェックを付けてからクリックするとキーを削除できます。 キー名: 登録されているキー名をクリックすると内容を修正できます。 □ P.180 「[IKEの追加] / [IKEの修正] 画面」 IKEタイプ: 登録されているIKEタイプを表示します。

	項目名	機能説明
7	プロファイル	 IPsecの環境に合わせて「フィルタ」と「マニュアルキー」または「IKEキー」を作成し、それらを組み合わせて「プロファイル」を作成します。 [追加] ボタン: [プロファイルの追加] 画面でプロファイルを追加できます。 □ P.182 「[プロファイルの追加] / [プロファイルの修正] 画面」 [削除] ボタン: 削除するプロファイル名にチェックを付けてからクリックするとプロファイルを削除できます。 プロファイル名: 登録されているプロファイル名をクリックすると内容を修正できます。 □ P.182 「[プロファイルの追加] / [プロファイルの修正] 画面」 プロファイルモード: 登録されているプロファイルのモードを表示します。
8	ポリシー	 登録済みのプロファイルを組み合わせてIPsecで使用するポリシーを作成します。 「追加] ボタン: [ポリシーの追加] 画面でポリシーを追加できます。 □ P.184 [[ポリシーの追加] / [ポリシーの修正] 画面」 「削除] ボタン: 削除するポリシー名にチェックを付けてからクリックするとポリシーを削除できます。 ポリシー名: 登録されているポリシー名をクリックすると内容を修正できます。 □ P.184 [[ポリシーの追加] / [ポリシーの修正] 画面」

[フィルタの追加] / [フィルタの修正] 画面

フィルタの〔追加〕ボタン、または登録済みのファイル名をクリックすると表示します。 IPsecのフィルタを作成します。

2	OK キャンセル リセット 誘	定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
3 —		
4	フィルタ名	
5	インターネットプロトコルバージョン	IPv4 -
6 -	発信元アドレス	My IP Address
7 —	宛先アドレス	任意のIPアドレス ▼
8 —	プロトコルタイプ	任意 🔻
9 —	発信ポート	任意
10—	宛先ボート	任意
11 - 		
) 許可
		セキュリティのネゴシエート
	セキュリティブロトコルタイ	
1	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正	
1 2 3	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット W	「J ESP マ
	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 0K キャンセル リセット B	「プ ESP ▼ 定を有効にする為にメインウィンドウの保存ポタンをクリックしてください。
1 2 3 4 5	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット W フィルタ名 インターネットブロトコルバージョン	「J ESP ▼ 定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボシンをクリックしてください。 test01 「Pv4 ▼
1 2 3 5 6	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット W フィルタ名 インターネットプロトコルバージョン 発信デアドレス	(プ ESP ▼ 定を有効にする為にメインウィンドウの保存ポシンをクリックしてください。 test01 [Pv4 ▼]
1 3 4 5 6	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット B フィルタ名 インターネットブロトコルバージョン 発信元アドレス 2547	(プ ESP ▼ 定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 test01 [Pv4 ▼] My IP Address
	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット B フィルタ名 インターネットブロトコルバージョン 発信元アドレス 気先アドレス コーロトリルタイゴ	「プ ESP ▼ 定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 test01 「Pv4 ▼ My IP Address 任意のIPアドレス ▼
1 3 4 5 7 8	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット B フィルタ名 インターネットブロトコルバージョン 発信元アドレス プロトコルタイブ 発行サート	「J ESP ▼ 「J ESP ▼ 「定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 test01 「Pv4 ▼ My IP Address 仟意のIPアドレス ▼ 「 斤意 ▼
	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット B フィルタ名 インターネットブロトコルバージョン 発信元アドレス プロトコルタイブ 発信ポート 第4年 ート	(プ ESP ▼ 定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 testD1 IPv4 ▼ My IP Address 任意 ▼ 任意 ▼ 「た意 ▼
1 2 3 4 5 6 7 9 10	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット B フィルタ名 インターネットブロトコルバージョン 発信元アドレス 発信ポート 売先ポート コットのタフなし、	は定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 test01 「Pv4 ↓ My IP Address 任意 ↓ 任意 ↓ 任意 ↓
1 2 3 4 5 6 7 8 10 11	セキュリティブロトコルタイ 	は定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 testD1 IPv4 → My IP Address 住意のIPアドレス ▼ 住意 ▼ 住意 ▼
1 2 3 4 5 6 7 8 10 11	セキュリティブロトコルタイ マイルタの修正 OK キャンセル リセット W フィルタ名 インターネットブロトコルバージョン 発信元アドレス 発信元アドレス 気沈アドレス プロトコルタイブ 発信ポート 発行ポート フィルタアグション	は定を有効にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 test01 PP4 → My IP Address 任意 → 任意 → 任意 → 任意 → 任意 → 任意 → 任意 →

	項目名	機能説明
1	[OK] ボタン	設定したフィルタを保存します。
2	[キャンセル] ボタン	フィルタの登録を中止します。
3	[リセット] ボタン	設定した内容をリセットして、初期の状態に戻します。
4	フィルタ名	フィルタの名前を入力します。半角の英数字や「#%&+¥';,」以外の記号で、最大63 文字まで入力できます。

	項目名	機能説明
5	インターネットプロトコルバー	IPsecを使用するIPのバージョンを選択します。
		IPv4: IPsecをIPV4境境(使用する場合に選択します。
		 IPv6: IPsecをIPvo環境("使用9 る場合に選択しま9。
6	発信元アドレス	フィルタを適用させる通信の発信元のアドレスとして、本機のIPアドレスが設定されます。 ボックスには [自分のIPアドレス] と表示されます。この項目を変更することはできません。
7	宛先アドレス	 フィルタを適用させる通信の宛先のアドレスを設定します。 特定のIPアドレス:特定の宛先をIPアドレスで設定します。アドレスの入力ボックスに IPアドレスを入力します。 サブネット/プレフィックス:宛先をIPアドレスとサブネットマスクで設定します。アドレスの入力ボックスにIPアドレスとサブネットマスクのプレフィックス値を直接入力します。 FQDN:宛先をFQDNで設定します。アドレスの入力ボックスにFQDNを入力します 任意のIPアドレス:任意の宛先を設定します。
8	プロトコルタイプ	 フィルタに使用するプロトコルを選択します。 <u>任意</u>:任意のプロトコルを使用します。 TCP:TCPのみを使用します。 UDP:UDPのみを使用します。 ICMP:ICMPのみを使用します。
9	発信ポート	 発信元のポート番号を設定します。プロトコルタイプでTCPまたはUDPを選択した場合のみ、設定することができます。 任意:任意の発信ポートを使用します。 ポート番号:発信ポート番号を設定します。ポート番号の入力ボックスにポート番号を入力します。
10	宛先ポート	 宛先のボート番号を設定します。プロトコルタイプでTCPまたはUDPを選択した場合のみ、 設定することができます。 <u>任意</u>:任意の宛先ポートを使用します。 ボート番号:宛先ポート番号を設定します。ポート番号の入力ボックスにポート番号を 入力します。
11	フィルタアクション	 フィルタの動作を設定します。 許可:指定した宛先からのアクセスを許可します。 ブロック:指定した宛先からのアクセスを拒否します。 セキュリティのネゴシエート:指定した宛先とIPsec通信を行います。なお、この項目を設定した場合は、IPsec通信に使用するセキュリティプロトコルタイプを以下から選択します。 ESP:ESP (Encapsulating Security Payload)を使用します。 AH:AH (Authentication Header)を使用します。

[マニュアルキーの追加] / [マニュアルキーの修正] 画面

マニュアルキーの[追加]ボタン、または登録済みのマニュアルキー名をクリックすると表示します。 IPsecのマニュアルキーを設定します。

	OK キャンセル リセット 設定を有対	加こする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
3 +		
	* 必須入力	
4 —	マニュアルキー名	
5 -	━━━━ 暗号化アルゴリズム	
6 —	ハッシュアルゴリズム	SHA1 -
7 †		
	セキュリティバラメータインテックス	*****SPIは256から4095の間で設定してください
	ESP暗号化牛ー	
	ESPI認証キー	
	AH認証キー	
8 	アウトバウンドキー	
	セキュリティパラメータインデックス	*****8PIは256から4095の間で設定してください
	ESP暗号化キー	
	ESP認証キー	
	AHIP師土—	
1 ⊥	<u></u>	
1 <u> </u> 2 		加工する為にンインウィンドウの保存ポタンをクリックしてください。
1 <u> </u> 2 <u> </u> 3 <u> </u>	マニュアルキーの修正 ○K キャンセル リセット 設定を有対	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。
1 2 3 4	マニュアルキーの修正	加こする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01
1 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	マニュアルキーの修正 のK キャンセル リセット 設定を有対 ・必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルニリズム	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TESTD1 なし ▼
1 - - 3 4 - -	マニュアルキーの修正 のK キャンセル リセット 設定を有対 * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム ・ ハッシュアルゴリズム	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし SHA1 ▼
1234567	マニュアルキーの修正 (K) キャンセル リセット 設定を有対 ・ 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム ハッシュアルゴリズム インパウンボキー	かにする為にメインウィンドウの保存ボタノをクリックしてください。 TESTD1 なし SHA1 ・
1 - - 3 4 - - - 7	マニュアルキーの修正	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TESTD1 なし ・ SHA1 ・ 300 ***5P1は256から4095の間で設定してください
1 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	マニュアルキーの修正 ()K キャンセル リセット 設定を有が * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム インパウンドキー セキュリティバラメータインデックス ESP暗号化キー	#にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし ・ SHA1 ・ 300 ****SPI(ま256から4095の間で設定してください)
1 - - 3 4	マニュアルキーの修正 のK キャンセル リセット 設定を有対 * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム ・ハッシュアルゴリズム ・インパウンドキー セキュリティ・「ラメータインデックス ESP暗号化キー ESP短野キー	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし マ SHA1 マ 300 ****SPI(\$2560v54095の間で設定してください) 123456769011234567890
1234567	マニュアルキーの修正 のド キャンセル リセット 設定を有が * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム ・パンパウンギーー セキュリティバラメータインデックス ESPI図Eキー AUPTモー	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし マ SHA1 マ 300 ****SPIは2565から4095の間で設定してください 12345678901234667890 12346678901234667890
1 2 3 4 5 6 7 8	マニュアルキーの修正 のK キャンセル リセット 設定を有が * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム インパウンギー セキュリティバラメータインデックス ESPI認知キー AH認証キー アウトパウンドキー	加にする為にメインウィンドウの採存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし ・ SHA1 ・ 300 ****SPIは2565から4095の間で設定してください 12345678901234567890 12345678901234567890
1 - - 2 3	マニュアルキーの修正 ()K キャンセル リセット 設定を有が * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム ・パッドウンドキー セキュリティバラメータインデックス ESP暗器化キー ESP認証キー Art認証キー アウトバウンドキー セキュリティバラメータインデックス	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし ▼ SHA1 ▼ 300 ****SPIは256から4095の間で設定してください 12345678901234567890 12345678901234667890 300 ****SPIは256から4095の間で設定してください
1 - - 2 3 4	マニュアルキーの修正 ()K キャンセル リセット 設定を有が ・必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルコリズム ・パッドウンドキー セキュリティパラメータインデックス ESP暗号化キー セキュリティパラメータインデックス ESP認証キー やまロリティパラメータインデックス ESP認証キー	加にする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし ▼ SHA1 ▼ 300 ****SP1は256から4095の間で設定してください 12345678901234567890 12345678901234567890 300 ****SP1は256から4095の間で設定してください
1 2 2 2 2 2 2	マニュアルキーの修正 のK キャンセル リセット 設定を有対 * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルコリズム ハッシュアルコリズム インパウンドキー セキュリティパラメータインデックス ESP暗号化キー ESPIQ型キー AH20翌キー AH20翌キー AH20翌キー とSPIQ型キー AH20翌キー AH20翌キー	はこする為にメインウィンドウの保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし ▼ SHA1 ▼ 300 ****SPIは256から4095の間で設定してください 12345678901234567890 12345678901234567890 300 ****SPIは266から4095の間で設定してください
1	マニュアルキーの修正 のK キャンセル リセット 設定を有対 * 必須入力 マニュアルキー名 暗号化アルゴリズム ハッシュアルゴリズム ハッシュアルゴリズム インパウンドキー セキュリティバラメータインデックス ESP暗号化キー ESP短星キー ハモシータインデックス ESP暗号化キー セキュリティバラメータインデックス ESP暗号化キー ESP短星キー	はこする為にメインウィンドウの/保存ボタンをクリックしてください。 TEST01 なし ▼ SHA1 ▼ 300 ****SPIは266から4095の間で設定してください 12345678901234567890 300 ****SPIは266から4095の間で設定してください 12345678901234567890

	項目名	機能説明	
1	[OK] ボタン	設定したキーを保存します。	
2	[キャンセル] ボタン	キーの登録を中止します。	
3	[リセット] ボタン	設定した内容をリセットして、初期の状態に戻します。	
4	マニュアルキー名	マニュアルキーの名前を入力します。半角の英数字や「# % & + ¥ ';,」以外の記号で、 最大63文字まで入力できます。	
5	暗号化アルゴリズム	 暗号化アルゴリズムを選択します。 <u>なし</u>:暗号化しません。 AES-256-CBC: AES-CBC (256ビット)を使用します。 AES-192-CBC: AES-CBC (192ビット)を使用します。 AES-128-CBC: AES-CBC (128ビット)を使用します。 3DES-CBC: 3DES-CBCを使用します。 DES-CBC: DES-CBCを使用します。 	
6	ハッシュアルゴリズム	ハッシュアルゴリズムを選択します。 • <u>SHA1</u> :SHA1を使用します。 • MD5:MD5を使用します。 • AES-XCBC-MAC:AES-XCBC-MACを使用します。	
		項目名	機能説明
---	---	-----------------------	--
7	イ	ンバウンドキー	受信側のキーを選択します。
		セキュリティパラメータイン デックス	識別用のセキュリティパラメータインデックス(SPI)を指定します。
		ESP暗号化キー	ESP(Encapsulating Security Payload)の暗号化キーを入力します。
		ESP認証キー	ESP(Encapsulating Security Payload)の認証キーを入力します。
		AH認証キー	AH(Authentication Header)の認証キーを入力します。
8	ア	ウトバウンドキー	送信先向けのキーを選択します。
		セキュリティパラメータイン デックス	識別用のセキュリティパラメータインデックス(SPI)を指定します。
		ESP暗号化キー	ESP(Encapsulating Security Payload)の暗号化キーを入力します。
		ESP認証キー	ESP(Encapsulating Security Payload)の認証キーを入力します。
		AH認証+-	AH(Authentication Header)の認証キーを入力します。

[IKEの追加] / [IKEの修正] 画面

IKEキーの[追加]ボタン、または登録済みのキー名をクリックすると表示します。 IPsecのIKEキーを設定します。

3 —	OK +#JER JEV	設定を有効し	9 つめにメインワイ	ンドワの川希仔ボタンを		
4 —	IKE キー名					
_						
5 —	IKEタイプ IKEバージョン					
	◎ IKEv1(メインモード)					
	認証方法		[注意: この選打	RはすべてのIKEv1書	設定に適用されます。]
	 証明書 東前井 	·				
	● #m六 ◎ IKEv2	"HT				
	認証方法					
	○ 証明書					
	● 爭胞共	лир		,		
		-hid	IP7FUA -			
_						
6 —	セッションキー設定 新レルキーの生成問題	2000	41			
		20000	用步	le PF Sを有効		
7 —	フィルタIKEトランスフォーム	and - 100 - 14				
	整合性	暗号化	256 CBC			
	MD5	AES-	192-CBC			
	AES-XCBC-MAC	🔽 AES-	-128-CBC			
		AES-0	CTR			
		DL3				
		DES-	CBC			
	Diffe-Hellmanアルゴ!	Des-	cBC	•		
1 —	Diffie-Hellmanアルコ にてきの修正 () () キャンセル) リセット	DES- Uズム MODP 1	cBC 1024 (Group 2) 	▼	こうりょうしてください	
1 — 2 — 3 —	Diffe-Hellmanアルコ レイン・ レーン・	DES- Uズム MODP 1 DES- DES-	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ	マンドウの保存ボタンタ	シリックしてください	
1 — 2 — 3 — 4 —	Diffe-Hellmanアルコ ドビ Eの修正	 DES- リズム MODP 1 設定を有効ご TEST01 	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ	マ	シリックしてください	,
1 — 2 — 3 — 4 —	Diffe-Hellmanアルコ レビ Eの修正 (のK キャンセル) リセット IKE キー名 IKE キー名 IKE 5-15 IKE 5-15	 DES- MODP 1 読定を有効に TEST01 	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ	マンドウの「保存ボタンを	シリックしてください	
1 — 2 — 3 — 4 — 5 —	Diffie-Heilmanアルコ レビモの修正 のに、キャンセル リセット IKE キー名 IKE 5-ジョン ⑥ IKEY1(シインモード)	 DES- MODP 1 設定を有効に TEST01 	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ	 ンドウの(保存ボタンタ 	シリックしてください	
1 — 2 — 3 — 4 — 5 —	Diffe-Hellmanアルコ レビモの修正 レビモー名 IKE キー名 IKE キー名 IKE ゲージョン ・ IKE パージョン ・ IKE パージョン ・ IKE パージョン ・ IKE パージョン ・ IKE パージョン ・ IKE のたま ・ IKE のたま ・ I I I I I I I I I I I I I	 DES- がののP1 設定を有効に TEST01 	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ (注意: この)習	▼ ンドウの(幕存ボタンタ 用ますべての)KEv(目	ジリックしてください。	
1 — 2 — 3 — 4 — 5 —	Diffe-Hellmanアルコ レビモの修正 (KE キー名 (KE タイプ) (KE タイ) (KE タイプ) (KE タイプ) (KE タイ) (KE タイプ) (KE タイプ) (DES- MODP 1 設定を有効に TEST01 : : : 	CBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ ド注意: この選	▼ ンドウの保存ボタンタ 見ますべてのIKEv1	ジリックしてください。 気定に適用されます。	5
1 — 2 — 3 — 5 —	Diffe-Hellmanアルコ レビモの修正 のK キャンセル リセット KE キー名 KE 5(-ジョン ・ IKEY(ンインモード) 認知法 ・ 証明語 ・ 証明 ・	 DES- MODP 1 設定を有効ご TEST01 :: :: :: :: : : : : : : : 	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ ド注意: この選:	▼ ンドウの(茶存ボタンタ 見ますべての)KEv1書	2クリックしてください。 気定に適用されます。	
1 — 2 — 3 — 5 —	Diffe-Hellmanアルコ レビモの修正 (K) キャンセル リセット (KEキー名) (KEパージョン ※Eタイラ (KEパージョン) ※Eパージョン ※Eダイラ (KEパージョン) ※Eダイラ (KEY2 (2型正方法 ※)	 DES- がのDP1 〕 設定を有効に TESTD1 : : :	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ り注意: この)謝	▼ ンドウの(集存ボタンを 用ますべての)KEv1≣	ジリックしてください。 充定に適用されます。	
1 — 2 — 3 — 4 — 5 —	Diffe-Hellmanアルニ! レビ Eの修正 OK キャンセル リセット IKE キー名 IKE 4-名 IKE 5-ジョン ③ IKE V(ペインモード) IZ証方法 副母籍 ④ 事前井 ⑤ IKE v2 IZ証方法 ■ 正母規 ③ 事前井	DES- Iズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 :	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ り主意: この灌:	 ア ンドウの(集存ボタンを 用ますべての)KEv1 	ジリックしてください。 気定1二適用されます。	.]
1 — 2 — 3 — 4 — 5 —	Diffe-Hellmanアルコ レビ Eの修正 OK キャンセル リセット IKE キー名 IKE キー名 IKE パージョン ③ IKE VI (レインモード) IZ証方法 ③ 都前井 ④ 本前井 ロー	DES- Jズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 TEST01 : : : : : : : : : : : : : : : : :	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ り注意: この違: 	 、 	ジリックしてください。	.]
1 — 2 — 3 — 4 — 5 —	Diffe-Hellmanアルニ! Diffe-Hellmanアルニ! のK キャンセル リセット のK キャンセル リセット IKE キー名 IKE キー IKE キー IKE キー IKE キー IKE キー IKE キー IKE キー IKE キー IKE キー IKE キ	DES- Jズム MODP 1	csc 1024 (Group 2) する為にメインウィ り主意: この選: 	 、 <	シリックしてください。 気定に適用されます。	, , ,
1 3 5 6	Diffe-Hellmanアルコ) IVEの修正	DES- Jズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 TEST01 : : : // 「 // 「 // 「 // 「 // 「 // 「 // 「	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ り注意: この選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 マ ンドウの(保存ボタンを 用ますべての)KEv1 	ジリックしてください 気定に適用されます。	,
1 — 2 — 3 — 4 — 5 — 6 —	Diffe-Hellmanアルコ! レビEの修正 のK キャンセル リセット (KEキー名 (KEタイブ (KEダイブ) (KEダイブ) (KEダイブ) (KEダイブ) (Eの時間) の事前共 の事前共 の事前共 の事前共 の事前共 のすうション に四時間 の事前共 のすうション に四時間 の事前共 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、	DES- Jズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 TEST01 ボオキー カルルロ ートID 28800	CBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ ド注意: この選択 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(クリックしてください)	
1 — 2 3 4 — 5 — 6 —	Diffe-Hellmanアルコ! レビ Eの修正 のK キャンセル リセット IKE5-ブラン ・IKE4-7 IKE5-ブラン ・ILE201た法 ・IE9用編 ・事前共 ・IE9用編 ・事前共 ・IE9用編 ・事前共 ・ レモッンキー設定 新しいキーの生成間隔	DES- Jズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 TEST01 TEST01 ボオキー ボオキー ルレロ トレロ 28800	cBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ り注意: この選 1 1 Pアドレス、 1 Pアドレス、	、 、 、	シリックしてください。	.]
1 — 2 — 3 — 5 — 6 — 7 —	Diffe-Hellmanアルコ! レビ Eの修正 (のK) キャンセル リセット (KE5-ブーン) (KE5-ブーン) (NE5-ブー)	DES- Jズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 TEST01 TEST01 TEST01 TEST01 Z8800 電岩化	CBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ ド注意: この選: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	シリックしてください。	
1 — 2 — 3 4 — 5 — 6 — 7 —	Diffe-Hellmanアルコ! Diffe-Hellmanアルコ! のK キャンセル リセット のK キャンセル リセット IKE5-ブョン ・IKE4-7 IKE5-ジョン ・IE94 の事前共 ・IE94 の事前共 ・IE94 の事前共 ・IE94 の事前共 ・ ロの時間 ・ モッジョンキー設定 新し、キーの生成間隔 フィルグ3KE1テジスフォーム 整合性 ・ マSH41	DES- Jズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 TEST01 (清キー 、 、 、	CBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ ド注意: この選 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	シリックしてください。	
1 — 2 3 4 — 5 — 6 — 7 —	Diffe-Hellmanアルコ! Diffe-Hellmanアルコ! のK キャンセル リセット IKE キー名 IKE キー子 IKE キー名 IKE キー名 IKE キー子 IKE キー IKE キー	DES- Iズム MODP 1 Iズム MODP 1 I	CBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ ド注意: この選: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	シリックしてください。	
1 — 2 3 4 — 5 — 6 — 7 —	Diffe-Hellmanアルコ Diffe-Hellmanアルコ のK キャンセル リセット IKE キー名 IKE キーろ IKE キー マ マ IKE キーろ IKE キーろ	DES- Iズム MODP 1 Jズム MODP 1 TEST01 TEST01	CBC 1024 (Group 2) する為にメインウィ ド注意: この選: ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(クリックしてください)	
1 — 2 — 3 — 5 — 6 — 7 —	Diffe-Hellmanアルコ レビモの修正 (人) キャンセル リセット (人) キャンセル (人) キャン (人) キャン	DES- リズム MODP 1 DES- 1ズム MODP 1 TESTD1	CBC (CBC (CFC) (CF	、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	(クリックしてください)	

	項目名	機能説明
1	[OK] ボタン	設定したキーを保存します。
2	[キャンセル] ボタン	キーの登録を中止します。
3	[リセット] ボタン	設定した内容をリセットして、初期の状態に戻します。

	項目名	機能説明
4	IKEキー名	IKEキーの名前を入力します。半角の英数字や「#%&+¥';,」以外の記号で、最大63 文字まで入力できます。
	補足	
	最大で30個のIKEキーを作成す	ることができます。
5	IKEタイプ	
	IKEv1(メインモード)	 IKEv1を使用します。 証明書:電子証明書により認証する場合に選択します。この項目を選択するには、あらかじめ本機にIPsec用証明書がインストールされている必要があります。 事前共有キー:あらかじめ通信相手と鍵情報を交換して認証する場合に選択します。入力ボックスに通信相手と共有する鍵情報を入力します。半角の英数字や「"&,<=¥`{}」とスペース以外の記号で、最大で128文字まで入力できます。 注意 複数のIKEv1の事前共有キーを登録すると、最後に登録した事前共有キーのみ有効にな
		ります。
	IKEv2	IKEv2を使用します。 証明書:電子証明書により認証する場合に選択します。この項目を選択するには、あらかじめ本機にIPsec用証明書がインストールされている必要があります。 事前共有キー:あらかじめ通信相手と鍵情報を交換して認証する場合に選択します。入力ボックスに通信相手と共有する鍵情報を入力します。半角の英数字や「"&,<=¥`{}」
		 とスペース以外の記号で、最大で128文字まで入力できます。 ローカルID: IPアドレス、FQDN、Email、Key-IDから選択します。Key-IDを選択した 場合は、対応した値を入力します。半角の英数字や「"&,<=¥`{}」とスペース以 外の記号で、最大で128文字まで入力できます。 リモートID: IP アドレス、FQDN、Email、Key-ID から選択します。FQDN、Email、 Key-IDを選択した場合は、対応した値を入力します。半角の英数字や「"&,<=¥` {}」とスペース以外の記号で、最大で128文字まで入力できます。
6	セッションキー設定	
	新しいキーの生成間隔	 IPsec通信の鍵情報を生成し直す間隔を秒単位で入力します。60秒~604,800秒(7日間)の範囲で設定します。 PFSを有効: IKEでPFS(Perfect Forward Secrecy)機能を使う場合、チェックボックスをオンにします。
7	フィルタIKEトランスフォーム	
	整合性	 IKEで使用する認証アルゴリズムを選択します。 SHA1:SHA1を使用します。 MD5:MD5を使用します。 AES-XCBC-MAC:AES-XCBC-MACを使用します。
	暗号化	 IKEで使用する暗号アルゴリズムを選択します。 AES-256-CBC: AES-CBC(256ビット)を使用します。 AES-192-CBC: AES-CBC(192ビット)を使用します。 AES-128-CBC: AES-CBC(128ビット)を使用します。 AES-CTR: AES-CTRを使用します。 3DES-CBC: 3DES-CBCを使用します。 DES-CBC: DES-CBCを使用します。
	Diffie - Hellmanアルゴリズム	 IKEで使用するDiffie -Hellmanグループを選択します。 MODP 768 (Group 1): 768ビットのMODPグループを使用します。 MODP 1024 (Group 2): 1024ビットのMODPグループを使用します。 MODP 2048 (Group 14): 2048ビットのMODPグループを使用します。 楕円曲線 P-256 (グループ 19): 楕円曲線 P-256を使用します。 楕円曲線 P-384 (グループ 20): 楕円曲線 P-384を使用します。 楕円曲線 P-521 (グループ 21): 楕円曲線 P-521を使用します。

[プロファイルの追加] / [プロファイルの修正] 画面

プロファイルの[追加]ボタン、または登録済みのプロファイル名をクリックすると表示します。 登録済みのフィルタとマニュアルキーまたはIKEキーを組み合わせてIPsec環境のプロファイルを作成します。



. —	プロファイル名 TESTD1	
. —		
	トンネルモード Yes マ	
	IPv4/IPv6 アドレス 192.168.1.1	
_	====の選択	
	+− TEST01(IKEv1) ▼	
	ESPI-ランスフォーム AHトランスフォーム セッションキー設定 歴合性 昭吉化 整合性 図 SHA1 図 SHA1 一 新し、中一の生成間隔 MO5 AES-258-CBC 一 MO5 AES-XCBC 図 AES-128-CBC 一 MO5 ③ AES-258-CBC ○ MO5 ● MO5 ② AES-128-CBC ○ MO5 ● MO5 ③ AES-250-CBC ○ MO5 ● MO5 □ IPCOMPトランスフォーム ■ FORMULA	A∳

	項目名	機能説明
1	[OK] ボタン	設定したプロファイルを保存します。
2	[キャンセル] ボタン	プロファイルの登録を中止します。
3	[リセット] ボタン	設定した内容をリセットして、初期の状態に戻します。

	項目名	機能説明
4	プロファイル名	プロファイルの名前を入力します。半角の英数字や「#%&+¥':,」以外の記号で、最 大63文字まで入力できます。
	補 足 最大で30個のプロファイルを	作成することができます。
5	トンネル設定	
	トンネルモード	 IPsec通信にトンネルモードを使用するかを選択します。 Yes:トンネルモードを使用します。 <u>No</u>:トンネルモードを使用しません。(トランスポートモードを使用します。)
	Pv4/ Pv6アドレス	トンネルモードの使用時にデータの暗号化/復号化などを行う、ゲートウェイのIPアドレス を入力します。
6	キーの選択	
	+-	本機に登録されているIKEキー設定が表示されます。プロファイルに適用するキーを選択します。
7	プロポーサル	
	ESPトランスフォーム AHトランスフォーム	 ESPに適用するトランスフォームを設定します。 整合性: ESPで使用する認証アルゴリズムを選択します。 SHA1: SHA1を使用します。 MD5: MD5を使用します。 AES-XCBC: AES-XCBCを使用します。 暗号化: ESPで使用する暗号アルゴリズムを選択します。 AES-256-CBC: AES-CBC (256ビット)を使用します。 AES-192-CBC: AES-CBC (192ビット)を使用します。 AES-128-CBC: AES-CBC (128ビット)を使用します。 AES-CTR: AES-CTRを使用します。 3DES-CBC: 3DES-CBCを使用します。 DES-CBC: DES-CBCを使用します。 なし: 暗号化をしません。 AHに適用するトランスフォームを設定します。
		 SHA1:SHA1を使用します。 MD5:MD5を使用します。 AES-XCBC:AES-XCBCを使用します。
	セッションキー設定	 IPsec通信に使用するセッションキーを設定します。 セッションキー設定:セッションキーを生成し直す間隔を設定します。生成間隔は、時間またはデータ量で設定することができます。設定したい方法のチェックボックスをオンにして、ボックスに数値を入力します。 新しいキーの生成間隔[]/秒:キーの生成間隔を時間(秒)で設定します。180~86,400秒(24時間)の範囲で設定します。 新しいキーの生成間隔[]/キロバイト:キーの生成間隔をデータ量(キロバイト)で設定します。 20,480~214,783,647KBの範囲で設定します。
	IPCOMPトランスフォーム	IPCOMPトランスフォームを使用する場合は選択します。
8	IPフィルタ	本機に登録されているフィルタ設定がリストで表示されます。プロファイルに適用する フィルタのチェックボックスをオンにします。なお、複数のフィルタが登録されている場 合は、リストの並び順を変更することもできます。並び順を変えたいフィルタの [MOVE] 欄をクリックし、[上に移動] / [下に移動] をクリックすると、フィルタを上/下に移動 させることができます。

[ポリシーの追加] / [ポリシーの修正] 画面

ポリシーの[追加]ボタン、または登録済みのポリシー名をクリックすると表示します。 登録済みのプロファイルを組み合わせて、IPsecで使用するポリシーを作成します。





	項目名	機能説明
1	[OK] ボタン	設定したポリシーを保存します。
2	[キャンセル] ボタン	ポリシーの登録を中止します。
3	ポリシー名	ポリシーの名前を入力します。半角の英数字や「# % & + ¥ ';,」以外の記号で、最大63 文字まで入力できます。
	補足	
	最大で10個のポリシーを作成す	ることができます。
4	プロファイル名	ポリシーに適用するプロファイルを選択します。
		ノロノアイルは複数選択することかでざます。

■ コピー設定

コピー設定をセットアップすることができます。

補足

[コピー] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

🚇 P.185 「初期設定」

□ P.187 「コピージョブ強制続行設定」

🗌 初期設定

初期設定では、タッチパネル画面から行うコピー操作に適用する標準のコピー設定をセットアップします。

初期設定	
カラーモード	フルカラー 👻
カラー原稿モード	文字/写真 ▼
ブラック原稿モード	文字/写真 ▼
 濃度調整(カラー)	手動 👻
濃度調整(ブラック)	自動 👻
	普通紙 ▼
ブック両面	左開き ▼
マガジンソート	左開き ▼
2in1 / 4in1	横書き ▼
	9999 🗸
自動両面	OFF -
	15 A 10 - 1

	項目名	機能説明
1	カラーモード 注意 ブラック無制限機能が有効な場	 コピーに適用する標準のカラーモードを選択します。 オートカラー:各原稿のカラータイプを自動で判断します。カラー原稿はフルカラーで コピーし、モノクロ原稿はモノクロでコピーします。 <u>フルカラー</u>:すべての原稿をフルカラーでコピーします。 ブラック:すべての原稿をモノクロでコピーします。
2	設定管理ガイドを参照してくだう カラー原稿モード	 かラー原稿に適用する標準の原稿モードを選択します。 文字/写真:文字と写真が混在する原稿をコピーする場合に選択します。 文字:文字のみ、または文字と線画のみの原稿をコピーする場合に選択します。 印画紙写真:L判などの一般的な写真原稿をコピーする場合に選択します。 印刷写真:雑誌やカタログなどのグラビア印刷による写真原稿をコピーする場合に選択します。します(例:雑誌、パンフレット) 地図:細かい図形や文字がある原稿をコピーする場合に選択します。
3	プラック原稿モード	 プラック原稿に適用する標準の原稿モードを選択します。 <u>文字/写真</u>: 文字と写真が混在する原稿をコピーする場合に選択します。 文字: 文字のみ、または文字と線画のみの原稿をコピーする場合に選択します。 写真: 写真原稿をコピーする場合に選択します。 グレースケール: 文字と写真が混在する原稿で、特に写真の再現性を高めたい場合に選 択します。
4	濃度調整(カラー)	 カラーイメージの濃度を選択します。 自動:標準のカラー濃度モードに自動モードを適用します。自動モードでは、原稿の濃度を自動的に検知して最適な濃度でコピーします。 <u>手動</u>:標準のカラー濃度モードに手動モードを適用します。手動モードでは、原稿の濃度を手動で設定します。

	項目名	機能説明
5	濃度調整(プラック)	 イメージの濃度を選択します。 <u>自動</u>:標準の濃度モードに自動モードを適用します。自動モードでは、原稿の濃度を自動的に検知して最適な濃度でコピーします。 手動:標準の濃度モードに手動モードを適用します。手動モードでは、原稿の濃度を手動で設定します。
6	手差し用紙	手差しコピーを行う際に標準で使用する用紙の種類を選択します。
7	ブック両面	ブック原稿を両面コピーする際に適用する標準のページ配列を選択します。 ・ <u>左開き</u> : 左ページから読む配列でブック原稿をコピーします。 ・ 右開き: 右ページから読む配列でプック原稿をコピーします。
8	マガジンソート	マガジンソートコピーに適用する標準のページ配列を選択します。 ・ <u>左開き</u> : 左ページから読む配列で冊子を作成します。 ・ 右開き: 右ページから読む配列で冊子を作成します。
9	2in1 / 4in1	 2in1/4in1コピーに適用するページ配列を選択します。 横書き: 2ページまたは4ページを左から右、または上から下の配列でコピーします。縦 向き原稿のときは、本機は左から右にコピーします。横向き原稿の場合は、上から下に コピーします。 縦書き: 2ページまたは4ページを右から左、上から下の配列でコピーします。縦向き 原稿のときは、本機は右から左にコピーします。横向き原稿の場合は、上から下にコ ピーします。
10	最大コピー部数	ユーザが指定できるコピーの最大枚数を選択します。[9999] *、[999]、[99]、[9] の中から選択することができます。
11	自動両面	 自動両面原稿送り装置に原稿がセットされたときに自動的に適用する両面コピー設定を選択します。 OFF:自動両面原稿送り装置に原稿がセットされたときに、初期設定として両面コピーを[片面→片面]にします。 片面→向面:自動両面原稿送り装置に原稿がセットされたときに、初期設定として両面コピーを[片面→両面]にします。 両面/両面:自動両面原稿送り装置に原稿がセットされたときに、初期設定として両面コピーを[両面→両面]にします。 ユーザ設定:自動両面原稿送り装置に原稿がセットされたときに、両面コピーの選択画面を自動的に表示します。
12	ソートモード	コピーを実行する際に適用する標準のソートモードを選択します。

* お使いの機種によっては選択できません。

🗌 コピージョブ強制続行設定

 OFF -

	項目名	機能説明
1	給紙元自動変更	原稿サイズと給紙元の用紙サイズが異なった場合に、自動的に原稿サイズに合わせて給紙 元を変更するかどうか設定します。 • ON:給紙元を変更してジョブを続行します。 • <u>OFF</u> :ジョブを停止します。
2	異方向用紙の許可	原稿の向きと給紙元の用紙の向きが異なった場合に、異なる方向の用紙にコピーするかど うか設定します。 • ON:異方向の用紙へのコピーを許可してジョブを続行します。 • <u>OFF</u> :ジョブを停止します。
3	排紙トレイ自動切替(カスケード印 刷)	 自動的に排紙トレイを切り替えるかどうか設定します。 ON:排紙トレイを自動的に切り替えてジョブを続行します。 <u>OFF</u>:ジョブを停止します。
4	ステイプル針無し時の印刷中断	ステイプルの針がなくなったときに印刷を中断するかどうか設定します。 ・ <u>ON</u> :ステイプルの針がなくなったときは印刷を中断します。 ・ OFF:ステイプルの針がなくなったときでも印刷を中断しません。
5	パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑がフルになったとき印刷を継続するかどうか設定します。 • ON:パンチ屑がフルになったときでも印刷を継続します。 • <u>OFF</u> :パンチ屑がフルになったときは印刷を中断します。

■ ファクス設定

ファクス設定をセットアップすることができます。

補足

[ファクス] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

🗌 ファクス設定

ファクス設定では、タッチパネル画面から行うファクス操作に適用する標準のファクス設定をセットアップします。

補足

お使いの機種によっては、表示されない項目や機能があります。



	項目名	機能説明
1	自局名称	本機を識別するターミナルID(会社名)を入力します。この名称は、本機から送信される すべての文書の先頭に印字されます。
2	自局番号	本機のファクス番号を入力します。このファクス番号は、本機の回線1から送信されるすべての文書の先頭に印字されます。
3	自局番号(回線2)	本機に回線2を設置している場合に、回線2のファクス番号を入力します。このファクス番号は、本機の回線2から送信されるすべての文書の先頭に印字されます。
4	リンガ音量	呼び出し音量を選択します。
5	モニタ音量	送信中の回線モニタ音量を選択します。
6	終了音量	受信完了時の終了音の音量を選択します。

	項目名	機能説明
7	受信方法	ファクス受信時に本機をどのように動作させるかを選択します。
		• 手動:操作パネルの [スタート] ボタンを押すことによって、着信原稿の受信を開始し
		ます。
		• TEL/FAX: 受信したときに電話かファクスかを自動的に検知します。電話としても使用 されている回線に本機を接続する場合は、このオブションを選択します。
8	リモート受信	外付け電話を使ってファクスのリモート受信する場合の操作方法を選択します。
		 OFF:リモート受信機能を無効にします。 ・ ガノセル・ ・ デギ聖を 和って アラジート ・ ガノセル ・ デジー ・ アラジー ・ ガノセル ・ デジー ・ アラジー ・ アラジー ・ ガ ・ ・
		 ・ ダイドル・交話器を取って通話した後、ダイドル操作で交信を開始します。 ・ 簡易:受話器を取った後、指定時間内に受話器を元に戻すと受信を開始します。
9	ダイヤルタイプ	回線1のダイヤルの種類を選択します。
		• 10PPS : 10PPSパルスタイプのダイヤル回線を使用します。
		20PPS、20PPSハルスダイブのダイヤル回線を使用します。 PB・トーンタイプのブッシュホン回線を使用します。
10	ダイヤルタイプ (回線2)	
10		 ● 10PPS: 10PPSパルスタイプのダイヤル回線を使用します。
		• 20PPS: 20PPSパルスタイプのダイヤル回線を使用します。
		• PB:トーンタイプのプッシュホン回線を使用します。
11	回線2設定	回線2を設置している場合に、回線2をどのように使用するか選択します。
		・ 受信専用(時刻指定):回線2を指定した時間の間、受信専用として使用します。選択し
		た場合は、回線2を受信専用として使用する開始時刻と終了時刻を入力してください。
12	解像度	ファクスを送信する際に適用する標準の解像度を選択します。
		成されたテキスト原稿をしたは心に达信する場合に適しています。 • 精細:標準の解像度に精細モードを適用します。このモードは、細かい文字や細かな線
		画を含む原稿を送信する場合に適しています。
		• 高精細:標準の解像度に高精細モードを適用します。このモードは、特に細かい文字や
40		精密な線画を含む原稿を送信する場合に適しています。
13	原情モート	 ファクスを送信する际に適用する標準の画員を選択します。 文字:標準の画質モードに文字モードを適用します。このモードは、テキスト原稿を送
		 信する場合に適しています。
		• 文字/写真:標準の画質モードに文字/写真モードを適用します。このモードは、テキ
		 スト、与具间力で構成された尿禍を达信する場合に適じています。 雪直:標準の面質モードに写直モードを適用します。このモードは、写直原稿を送信す
		る場合に適しています。
14	濃度調整	ファクスを送信する際に適用する標準の濃度を選択します。
		原稿によって理想的な濃度を適用する [自動] を選択するか、手動で11段階の濃度を選択 します。
15	受信元記録	- このフローン 受信した時刻、日付、ページ数を確認する受信ヘッダ(RTI)を受信ファクスに印刷するか
		選択します。
16	ECM	文書が電話回線のノイズや歪みなどにより影響を受けた部分があるときに、自動的に再送 するECM(Error Correction Mode:自動誤り訂正モード)を有効にするか選択します。
17	切り捨て印刷	記録紙より大きなファクス原稿を受信したときに、受信したファクス原稿の下の部分を切
18	縮小印刷	ンコーマッルで選択したす。 記録紙の印刷可能範囲より大きなファクス原稿を受信したときに 受信したファクス原稿
	גאויריי-, ר. סואר	を縮小するか選択します。
19	両面印刷	記録紙の両面に受信したファクス原稿を印刷するか選択します。
20	縱横交互排紙	受信ごとに、縦横交互に排紙方向を変えて排紙トレイに出力するか選択します。
21	復活送信	初期値で指定されているリダイヤル回数に失敗した後、メモリ内に保持した原稿を操作パ
		ネルで探1Fして送信することかできます。このオフションを有効にした場合は、1〜24時間 の範囲でデータを保持する時間を選択します。
22	通信管理記録自動印刷	通信を完了するたびに、送信ジャーナルや受信ジャーナルを自動的に印刷するか選択しま
1		す。

8

	項目名	機能説明
23	メモリ送信結果表	 メモリ送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 OFF:メモリ送信レポートを印刷しません。 常時印刷:メモリ送信を完了するたびにメモリ送信レポートを印刷します。 エラー時のみ印刷:メモリ送信に失敗した場合にのみメモリ送信レポートを印刷しま
		す。 常時印刷(原稿付加):メモリ送信を完了するたびに、原稿の最初のページを添付したメモリ送信レポートを印刷します。 エラー時のみ印刷(原稿付加):メモリ送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付したメモリ送信レポートを印刷します。
24	同報送信結果表	 同報送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 OFF: 同報送信レポートを印刷しません。 常時印刷: 同報送信を完了するたびに同報送信レポートを印刷します。 エラー時のみ印刷: 同報送信に失敗した場合にのみ同報送信レポートを印刷します。 常時印刷(原稿付加): 同報送信を完了するたびに、最初のページのイメージを添付した同報送信レポートを印刷します。 エラー時のみ印刷(原稿付加): 同報送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付した同報送信レポートを印刷します。
25	ポーリング結果表	 ポーリング受信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 OFF:ポーリングレポートを印刷しません。 常時印刷:ポーリング受信を完了するたびに、ポーリングレポートを印刷します。 <u>エラー時のみ印刷</u>:ポーリング受信に失敗した場合にのみ、ポーリングレポートを印刷します。
26	中継親局結果表	 中継送信を実行した後に、どのように結果レポートを印刷するか選択します。 OFF: 中継局レポートを印刷しません。 常時印刷: 中継送信を完了するたびに中継局レポートを印刷します。 エラー時のみ印刷: 中継送信に失敗した場合にのみ中継局レポートを印刷します。 常時印刷(原稿付加): 中継送信を完了するたびに、最初のページのイメージを添付した中継局レポートを印刷します。 エラー時のみ印刷(原稿付加): 中継送信に失敗した場合にのみ、最初のページのイメージを添付した中継局レポートを印刷します。

■ 共有フォルダに保管設定

共有フォルダ保存設定をセットアップすることができます。

補足

[共有フォルダに保管] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

🕮 P.191	「本体保存先の設定」	🕮 P.194	「シングルページファイルの構成の設定」
🕮 P.191	「期間の設定」	🕮 P.194	「ファイル保存時のユーザ名とパスワード表示設定」
🕮 P.192	「宛先の設定」	🕮 P.194	「検索間隔の設定」
🕮 P.192	「フォルダ名の設定」	🕮 P.195	「リモート1とリモート2の設定」
🕮 P.193	「フォーマットの設定」	🕮 P.196	「N/Wファクスの設定」
🕮 P.193	「シングルページファイルの保存場所の設定」	🕮 P.196	「N/Wファクスの保管先の設定」

□ 本体保存先の設定

本機の共有フォルダのパスを確認することができます。共有フォルダは、Windowsネットワークから本機を参照して開くことができます。

 共有フォルダに保管設定 本体保存先

 1
 保存パス

 2
 ・

 3
 、スキャンしたドキュメントを招約先の直下に送信します。

	項目名	機能説明
1	保存パス	共有フォルダかUSBに保管操作でローカルフォルダを指定した場合にファイルが保存され る本機の共有フォルダ名を表示します。
2	スキャンしたドキュメントを格納 先のサブフォルダに保存します。	共有フォルダに「グループ番号-グループ名-テンプレート名」 の名前のサブフォルダを作成 してファイルを保存する場合に選択します。
3	スキャンしたドキュメントを格納 先の直下に送信します。	共有フォルダ直下にファイルを保存する場合に選択します。

□ 期間の設定

保存期間の設定では、本機の共有フォルダに保存したファイルをどのように削除するか選択します。

注意

ローカル保存時に作成されたフォルダは、そのフォルダ内のファイルが削除されて空になると自動的に削除されま す。

期間		
	削路	
· Do		

	項目名	機能説明
1	手動削除	手動でスキャンファイルを削除します。このオプションを選択した場合は、共有フォルダ に保存されたファイルは自動的に削除されません。
2	[]日後に削除	指定した保存日数が経過すると、保存したファイルを自動的に削除します。このオプションを選択した場合は、ファイルを保存しておく日数を入力します。初期値は「30日」に設定されています。

🗌 宛先の設定

保存先にネットワークフォルダを指定することを許可するか選択します。

宛先		
──── ネットワークフォルダを使用しない	,1	
	ローカルフォルダを使用 マ	

	項目名	機能説明
1	ネットワークフォルダを使用しな い	保存先にネットワークフォルダを指定することを許可しません。このオプションを選択した場合は、ユーザは本機の共有フォルダまたはUSBメディアにのみスキャンファイルを保存することができます。
2	ネットワークフォルダを使用する	保存先にネットワークフォルダを指定することを許可します。このオプションを選択した 場合は、リモート1とリモート2の設定を行い、ユーザが保存先にネットワークフォルダを どのように選択するのかを設定します。
3	ファイル保存先	操作パネルの[共有フォルダかUSBに保管]画面を表示したときにデフォルトで選択され る保存先を選択します。 ・ <u>ローカルフォルダを使用</u> :ローカルフォルダに保存します。 ・ リモート1 :リモート1に設定されているフォルダに保存します。 ・ リモート2 :リモート2に設定されているフォルダに保存します。

🗌 フォルダ名の設定

ファイルの保存時に自動的に作成されるフォルダの名前に、機体やユーザの情報を付けるかを選択します。

	フォルダ名	
1	フォルダ名の付加	マシン名を付加 🗸

	項目名	機能説明
1	フォルダ名の付加	ファイル保存時に作成されるフォルダ名の付加情報を選択します。 <u>無効</u>:情報を付加しません。 マシン名を付加:本継のNetBIOS名を付加します。
		 ユーザ名を付加:ユーザ認証で設定されたユーザ名を付加します。

🗌 フォーマットの設定

スキャン結果を共有フォルダやUSBに保存する際のファイル名の付け方を設定します。

フォーマット	
ファイル名フォーマット(*)	[ファイル名]-[日付]-[ページ] ▼
日付フォーマット(米)	[YYYY][MM][DD][HH][mm][SS]
ページ番号フォーマット(*)	4桁 -
サブルフォーマット	自動 👻
*これらの設定はEメールに添付さ	nるファイルにも適用されます

	項目名	機能説明
1	ファイル名フォーマット	ファイル名のフォーマットを選択します。ファイル名、日付、ページ番号の各情報が、選択したフォーマットのとおりに付加されます。なお、この設定の内容は、Eメールに添付するファイル名にも適用されます。 ・ <u>[ファイル名] - [日付] - [ページ]</u> ・ [ファイル名] - [ページ] - [日付] ・ [日付] - [ページ] - [日付] ・ [日付] - [ページ] - [ファイル名] ・ [ページ] - [ファイル名] - [日付] ・ [ページ] - [ファイル名] - [日付]
2	日付フォーマット	 [ファイル名フォーマット] で選択したファイル名の「日付」部分の付け方を選択します。 なお、この設定の内容は、Eメールに添付するファイル名にも適用されます。 [YYYY] [MM] [DD] [HH] [mm] [SS] :年(4桁)、月、日、時、分、秒を付加します。 [YY] [MM] [DD] :年(4桁)、月、日を付加します。 [YYYY] [MM] [DD] :年(2桁)、月、日を付加します。 [YY] [MM] [DD] :年(2桁)、月、日を付加します。 [HH] [mm] [SS] :時、分、秒を付加します。 [YYYY] [MM] [DD] [HH] [mm] [SS] [mm0] :年(4桁)、月、日、時、分、秒、 乱数(3桁: 乱数2桁と0) を付加します。
3	ページ番号フォーマット	[ファイル名フォーマット] で選択したファイル名の「ページ」部分に適用されるページ番号の桁数を、3~6桁の範囲で選択します。なお、この設定の内容は、Eメールに添付するファイル名にも適用されます。初期値は「4桁」に設定されています。
4	サプIDフォーマット	ファイルの保存時、すでに同じ名前のファイルが保存先に存在していた場合、本機はその ファイル名の末尾に自動的にサブID(識別番号)を付加して保存します。このサブIDの桁 数を、[自動]または4~6桁の範囲で選択します。なお、初期設定では[自動]が設定され ており、ファイル名の状況に合わせて任意の桁数(4~6桁)の番号が入力されます。

□ シングルページファイルの保存場所の設定

スキャン時にマルチ/スキャン設定で[シングル]を選択すると、スキャン結果はシングルページのファイルとして保存 されます。この設定では、シングルページのファイルを保存する際に、サブフォルダを作成して保存するかどうかを選択 します。

	シングルページファイルの保存場所	
1 —	● サブフォルダを作成し保存	
2 —	━━━◎ サブフォルダを作成せずに保存	

	項目名	機能説明
1	サブフォルダを作成し保存	指定した保存先にサブフォルダを作成し、その中にファイルを保存します。
2	サブフォルダを作成せずに保存	指定した保存先にそのままファイルを保存します。

□ シングルページファイルの構成の設定

スキャン時にマルチ/スキャン設定で[シングル]を選択すると、スキャン結果はシングルページのファイルとして保存 されます。この設定では、シングルページで保存されるファイルのページ構成を選択します。なお、この設定の内容は、 Eメールに添付するファイルにも適用されます。

	シンクルペーシファイルの構成(*)	
1	━━━◎ スキャンした1ページが1つのファイルとなります(両面の原稿は2つのファイルとなります)	
	━━━━◎ スキャンした原稿のとおりにファイル化されます(両面の原稿は1つのファイルとなります)	
	この設定はシングルページでファイル作成するときに適用されます	
	*この設定はEメールに添付されるファイルにも適用されます	

	項目名	機能説明
1	スキャンした1ページが1つのファ イルとなります	原稿を1ページスキャンするごとに、1つのファイルとして保存します。たとえば、1枚の両 面原稿をスキャンする場合は、表面を1ファイル、裏面を1ファイルとして保存します。
2	スキャンした原稿のとおりにファ イル化されます	原稿を1枚スキャンするごとに、1つのファイルとして保存します。たとえば、1枚の両面原 稿をスキャンする場合は、表面と裏面の2ページを1ファイルとして保存します。

□ ファイル保存時のユーザ名とパスワード表示設定

ユーザ認証機能が有効の場合、ユーザ認証に使用しているユーザ名とパスワードを、ネットワークフォルダ(リモート1 /2で指定したフォルダ)に保存する際の[ログインユーザ名] と [パスワード] にも自動的に入力して優先的に使用するかどうかを設定します。この設定はリモート1またはリモート2の保存先設定が、'ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める'のときに適用されます。



	項目名	機能説明
1	デバイスのユーザ名とパスワード	ログイン中のユーザ名とパスワードは使用しません。スキャン時に必要に応じて[ログインユーザ名]と[パスワード]を入力してください。
2	ログインユーザ名とパスワード (テンプレート展開時はテンプレー ト登録を優先)	ログイン中のユーザ名とパスワードが自動的に使用されます。ただし、テンプレートを使用した場合は、テンプレートに登録されているユーザ名とパスワードが自動的に使用されます。
3	ログインユーザ名とパスワード (テンプレート展開時もログイン ユーザとパスワードを優先)	ログイン中のユーザ名とパスワードが自動的に使用されます。テンプレートを使用した場合も、ログイン中のユーザ名とパスワードが使用されます。

□ 検索間隔の設定

Г

共有フォルダに保存されたファイルの保存期間を検索するタイミングを設定します。なお、この設定の内容は、ファイリングボックスに保存されたファイルにも適用されます。

	検索間隔		
1 —	期限切れファイル	12 時間	
	この設定はファイリングボックスの	文書にも適用されます	

	項目名	機能説明
1	期限切れファイル [] 時間	指定した時間が経過するごとにファイルの保存期間の検索を行います。1~24時間の範囲で 設定します。初期設定では12時間に設定されています。
	補足	存期間や、期限が切れたファイルを削除するかどうかは、以下の項目で設定することができ
	ます。 踊 P.191 「期間の設定」	

□ リモート1とリモート2の設定

ネットワークフォルダへの保存を許可する場合に、適用されるネットワークフォルダの保存先の設定を行います。リモート1およびリモート2の2つのネットワークフォルダを指定することができます。リモート1、リモート2の設定項目は同じです。



保存先のネットワークフォルダは、共有設定されている必要があります。

UE⊦1	──● 次のネットワークフォルダに保存する リモート設定リスト
	ープロトコル 💿 SMB 🔘 FTP 🔘 FTPS 🔘 NetWare IPX/SPX 🔘 NetWare TCP/IP
	サーバー名称
	- ネットワークパス \\Client01\users\scannd
	ーログインユーザ名 luser01
	- バスワード •••••••
	◎ ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める

	項目名	機能説明
1	[リモート1] / [リモート2]	利用するリモートを選択します。
2	次のネットワークフォルダに保存 する	ネットワークフォルダへの保存を選択した場合に、保存されるネットワークフォルダを設 定します。ユーザに任意のネットワークフォルダの設定を許可する場合は、[ユーザがネッ トワークフォルダを指定することを認める]を選択します。
3	プロトコル	 スキャンファイルをネットワークフォルダに転送するときに使用するプロトコルを選択します。 SMB:SMBプロトコルを使用してスキャンファイルをネットワークフォルダに転送します。 FTP:スキャンファイルをFTPサーバーに転送します。 FTPS:スキャンファイルをFTP over SSLでFTPサーバーに転送します。 NetWare IPX/SPX:スキャンファイルをIPX/SPXプロトコルを介してNetWareサーバーに転送します。 NetWare TCP/IP:スキャンファイルをTCP/IPプロトコルを介してNetWareサーバーに転送します。
4	サーバー名称	プロトコルでFTPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するFTPサーバー名または IPアドレスを入力します。たとえば、スキャンファイルをFTPサーバーの「ftp:// 192.168.1.1/user/scanned」というFTPフォルダに転送する場合は、このボックスに 「192.168.1.1」と入力します。 プロトコルでNetWare IPX/SPXを選択した場合は、スキャンファイルを転送する NetWareサーバー名または、Tree/Context (NDSが使用可能な環境の場合)を入力します。 プロトコルでNetWare TCP/IPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するNetWare サーバーのIPアドレスを入力します。 半角英数字と記号で64文字まで入力できます。
5	コマンドポート	プロトコルでFTPを選択した場合に、コマンド実行に使用するポート番号を入力します。通常は、初期状態で入力された「-」のままにします。「-」にした場合は、ネットワークの設定ページの[FTPクライアント]で設定したポート番号(初期値)が適用されます。初期設定のポート番号とは別のポート番号を指定したい場合のみこの値を変更します。数字と「-」(ハイフン)を使用して、0から65535までの値を入力できます。初期値は「-」に設定されています。
6	ネットワークパス	プロトコルにSMBを選択した場合は、ネットワークフォルダへのネットワークパスを入力 します。たとえば、SMBサーバー名が「Client01」というコンピュータの「users ¥ scanned」というフォルダを指定する場合は、「¥ ¥ Client01 ¥ users ¥ scanned」と入力 します。 プロトコルにFTPを選択した場合は、指定したFTPサーバーのディレクトリを入力します。 たとえば、FTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というフォルダを指定す る場合は、「user/scanned」と入力します。 プロトコルにNetWare IPX/SPX またはNetWare TCP/IPを選択した場合は、指定した NetWare サーバーのディレクトリを入力します。たとえば、NetWare サーバーの「sys¥ scan」というフォルダを指定する場合は、「¥ sys¥ scan」と入力します。 半角英数字と記号で128文字まで入力できます。

	項目名	機能説明
7	ログインユーザ名	必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするためのログインユーザ名を入力します。プロトコルにFTPを選択した場合、このボックスを空欄にすると、匿名でのログインと判断されます。 半角英数字と記号で32文字まで入力できます。
8	パスワード	必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。
9	パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。半角英数字と記号、スペースを含み32文字まで 入力できます。スペース1文字のみも可能です。
10	ユーザがネットワークフォルダを 指定することを認める	保存先のネットワークフォルダを指定することをユーザに許可します。ファイルを保存す るネットワークフォルダを固定で設定する場合は、〔次のネットワークフォルダに保存す る〕を選択します。
	補足	

どちらか一方のネットワークフォルダをユーザに指定することを認める場合は、ネットワークフォルダの保存先を設定して いないリモート1またはリモート2の [ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める]を選択します。

□ N/Wファクスの設定

N/W-Faxドライバでファイル保存機能をオンにして文書をファクス送信した場合に、保存先にネットワークフォルダを 指定することを許可するか選択します。

	N/Wファクス	
1 —	━━━ ◎ ネットワークフォルダを使用しない	
2 —	── ◎ ネットワークフォルダを使用する	

	項目名	機能説明
1	ネットワークフォルダを使用しな い	N/W-Faxドライバのファイル保存機能をオンにして送信した文書の保存先にネットワークフォルダを指定することを許可しません。このオプションを選択した場合は、ユーザは本機の共有フォルダにのみN/W-Faxドライバを使って送信した文書を保存することができます。
2	ネットワークフォルダを使用する	N/W-Faxドライパのファイル保存機能をオンにして送信した文書を、ネットワークフォル ダに保存することを許可します。選択した場合は、[N/Wファクスの保管先]で、文書を保 存するネットワークフォルダを設定します。

□ N/Wファクスの保管先の設定

N/W-Faxドライバのファイル保存機能でネットワークフォルダへの保存を許可する場合に、適用されるネットワークフォルダの保存先の設定を行います。



	項目名	機能説明
1	プロトコル	N/W-Faxドライバで送信する文書をネットワークフォルダに転送するときに使用するプ
		ロトコルを選択します。
		 <u>SMB</u>:SMBプロトコルを使用して文書をネットワークフォルダに転送します。
		• FTP:文書をFTPサーバーに転送します。
		• FTPS:スキャンファイルをFTP over SSLでFTPサーバーに転送します。
		• NetWare IPX/SPX:スキャンファイルをIPX/SPXプロトコルを介してNetWareサー
		バーに転送します。
		• NetWare TCP/IP:スキャンファイルをTCP/IPプロトコルを介してNetWareサーバー
		に転送します。

	項目名	機能説明
2	サーバー名称	プロトコルでFTPを選択した場合は、文書を転送するFTPサーバー名またはIPアドレスを入 カします。たとえば、文書をFTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」という FTPフォルダに転送する場合は、このボックスに「192.168.1.1」と入力します。 プロトコルでNetWare IPX/SPXを選択した場合は、スキャンファイルを転送する NetWareサーバー名または、Tree/Context (NDSが使用可能な環境の場合)を入力します。 プロトコルでNetWare TCP/IPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するNetWare サーバーのIPアドレスを入力します。
3	コマンドポート	プロトコルでFTPを選択した場合に、コマンド実行に使用するポート番号を入力します。通 常は、初期状態で入力された「-」のままにします。「-」にした場合は、ネットワークの設 定ページの[FTPクライアント]で設定したポート番号(初期値)が適用されます。初期 設定のポート番号とは別のポート番号を指定したい場合のみこの値を変更します。
4	ネットワークパス	プロトコルにSMBを選択した場合は、ネットワークフォルダへのネットワークパスを入力 します。たとえば、SMBサーバー名が「Client01」というコンピュータの「users ¥ scanned」というフォルダを指定する場合は、「¥ ¥ Client01 ¥ users ¥ scanned」と入力 します。 プロトコルにFTPを選択した場合は、指定したFTPサーバーのディレクトリを入力します。 たとえば、FTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というフォルダを指定す る場合は、「user/scanned」と入力します。 プロトコルにNetWare IPX/SPX またはNetWare TCP/IPを選択した場合は、指定した NetWareサーバーのディレクトリを入力します。たとえば、NetWareサーバーの「sys¥ scan」というフォルダを指定する場合は、「¥ sys ¥ scan」と入力します。
5	ログインユーザ名	必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするためのログインユーザ名を入力します。プロトコルにFTPを選択した場合、このボックスを 空欄にすると、匿名でのログインと判断されます。
6	パスワード	必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするた めのパスワードを入力します。パスワードにはスペースも入力可能です。
7	パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。

■ Eメール設定

Eメール設定をセットアップすることができます。この設定では、Eメール送信操作に必要な設定を行います。

補足

[Eメール設定] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの [リセット] ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

□ Eメール設定

Eメール文書に適用する送信者アドレス、送信者名、ファイル形式、分割送信サイズ、本文を設定します。

1 —			
2 —	送信者名		
3 —	件名(ファックス受信転送)	◎ 送信元のTTI	
		● MFPのTTI	
4 —	ファイル形式(ブラック)	PDF(マルチ) ▼	
5 —		PDF(マルチ) ▼	
6 —	リトライ回数	3	
7 —	リトライ間隔	1 分	
8 —		分割無 ▼	
9 —	本文(初期値)		*
			Ŧ
0—	本文送信	有効 🔻	
1—	BCC送信アドレス表示	OFF -	
	*添付ファイルの"ファイル名フォーマット シングルページのファイル構成は共有フォ	","日付フォーマット","ページ番号フォーマット", ルダに保管の設定が適用されます	
2			

	項目名	機能説明
1	送信者アドレス	本機のEメールアドレスを入力します。
	注意	
	Eメール送信を有効にするには、 有効になっている場合は、本機 ついては、以下の説明を参照し □ P.141 「[管理者]タブ」	[送信者アドレス] を入力する必要があります。ただし、内部認証以外のユーザ管理設定が にログインしたユーザの送信者アドレスが自動的に設定されます。ユーザ管理設定の詳細に てくだい。
2	送信者名	本機の名前を入力します。
3	件名(ファクス受信転送)	ファクス受信転送時に件名として使用するTTIを選択します。
4	ファイル形式(ブラック)	 プラックモードでスキャン時に、Eメール送信操作で送信されるスキャンイメージのファイル形式を選択します。 TIFF(マルチ):スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。 TIFF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。 PDF(マルチ):スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。 PDF(シングル):スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。 XPS(マルチ):スキャンイメージを複数ページのXPSファイルとして保存します。 XPS(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存します。

	項目名	機能説明
5	ファイル形式(カラー)	カラーモードでスキャン時に、Eメール送信操作で送信されるスキャンイメージのファイル
		形式を選択します。 • TIFE(フルチ)・スキャンイメージを複数ページのTIFEファイルとして保存します
		• TIFF (シングル): スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存
		します。
		• <u>PDF (マルチ)</u> :スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。
		• PDF (シングル) · スキャンイメージを、「ヘージ」ファイルのPDFファイルとして保存
		• 高圧縮PDF(マルチ):スキャンイメージを複数ページの高圧縮PDFファイルとして保
		存します。画質よりファイルサイズの縮小を優先したい場合に適しています。
		 高圧縮PDF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルの高圧縮PDFファイ コントスロケレキオ、東原レリファイルリスログロック
		ルとし(保存しまり。画員よりノアイルサイスの縮小を優先したい場合に適し(いま す。
		• XPS(マルチ) :スキャンイメージを複数ページのXPSファイルとして保存します。
		• XPS (シングル) :スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存
		します。 • JPFG・スキャンイメージをJPFGファイルとして保存します。
	補足	
	XPSファイルで保存したデータ	は、お使いのコンピュータがWindows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 SP1、または
	Windows XP SP2/Windows Serv	/er 2003 SP1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することができま
6	<u>り</u> 。 リトライ回数	インターネットへのFメール送信が正常に完了できなかった場合に、再送信を試す回数を入
ľ		カします。初期値は「3回」に設定されています。
7	リトライ間隔	インターネットへのEメール送信が正常に完了できなかった場合に、再送信を試す間隔を分 単位で入力します。初期値は「1分」に設定されています。
	注音	
		- ノ明府]の恐中を亦再した根本、ノンケーネットフェクス恐中の「リトニノ同粉」わたが
	「リトライ間隔」も同様に変更さ	11 间隔」の設定を変更した場合、1 ンダーネットファクス設定の「ケトノ1 回数」および れます。
	🕮 P.200 「インターネットファ	クス設定」
8	分割送信サイズ	メッセージの分割サイズを選択します。
9	本文(初期値)	タッチパネル画面からユーザがEメール送信操作を実行するときに、[本文] ボックスに自
		動的に入力される標準の本文を設定します。この本文は、ユーザがEメール送信操作を行う ときに、白巾に恋雨することができます。
10		<u>ここに、日田に友美するここかできます。</u> 本立を送信するかしないかを選択します。
11	BCC送信アドレス表示	BCC送信アドレスの入力欄を表示するか選択します。
		 ON: BCC送信アドレスの入力欄を表示します。
		• <u>OFF</u> : BCC送信アドレスの入力欄を表示しません。
12	Eメール送信時に送信者アドレスの 変更を禁止します	送信者のアドレスを変更できないようにする場合は選択します。

■ インターネットファクス設定

インターネットファクス設定をセットアップすることができます。この設定では、インターネットファクス操作に必要な 設定を行います。

補足

[インターネットファクス] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

□ インターネットファクス設定

インターネットファクスに適用する送信者アドレス、送信者名、分割ページサイズ、初期値として設定される本文、およ び本文を送信するかどうかを設定します。

Leise / FUX	User01@example.com
送信者名	User01
	 送信元のTTI MFPのTTI
リトライ回数	3
リトライ間隔	1 分
分割送信サイズ	分割無 ▼
本文(初期)值)	

	項目名	機能説明
1	送信者アドレス	本機のEメールアドレスを入力します。
	注意	
	インターネットファクス送信を ユーザ管理設定が有効になって 管理設定の詳細については、以 ^一 印 P.141 「[管理者]タブ」	有効にするには、[送信者アドレス]を入力する必要があります。ただし、内部認証以外の いる場合は、本機にログインしたユーザの送信者アドレスが自動的に設定されます。ユーザ 下の説明を参照してくだい。
2	送信者名	本機の名前を入力します。
3	件名(ファクス受信転送)	ファクス受信転送時に件名として使用するTTIを選択します。
4	リトライ回数	インターネットへのインターネットファクス送信が正常に完了できなかった場合に、再送 信を試す回数を入力します。初期値は「3回」に設定されています。
5	リトライ間隔	インターネットへのインターネットファクス送信が正常に完了できなかった場合に、再送 信を試す間隔を分単位で入力します。初期値は「1分」に設定されています。
	注 意 [リトライ回数] および [リトラ も同様に変更されます。 🏨 P.198 「Eメール設定」	ライ間隔]の設定を変更した場合、Eメール設定の[リトライ回数]および[リトライ間隔]
6	分割送信サイズ	メッセージの分割サイズを選択します。
7	本文(初期値)	タッチパネル画面からユーザがインターネットファクス操作を実行するときに、[本文] ボックスに自動的に入力される標準の本文を設定します。この本文は、ユーザがインター ネットファクス操作を行うときに、目的の本文に変更することができます。
8	本文送信	本文を送信するかしないかを選択します。

■ プリンタ/ファイリングボックス設定

補足

[プリンタ/ファイリングボックス] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、 [セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

□ プリンタ/ファイリングボックスジョブの強制続行設定

プリンタファイリングボックス設定	
プリンタファイリングボックスジョブの強制	統行設定
	OFF -
	OFF 👻
ジョブ強制続行〈排紙先設定違い〉	OFF -
排紙トレイ自動切替(カスケード印刷)	OFF -
ステイブル針無し時の印刷中断	OFF -
パンチ層フル時の印刷維続	ON 👻

	項目名	機能説明
1	給紙元自動変更	 原稿サイズと給紙元の用紙サイズが異なった場合に、自動的に原稿サイズに合わせて給紙元を変更するかどうか設定します。 ON:給紙元を変更してジョブを続行します。 <u>OFF</u>:ジョブを停止します。
2	異方向用紙の許可	 原稿の向きと給紙元の用紙の向きが異なった場合に、異なる方向の用紙にコピーするかどうか設定します。 ON:異方向の用紙へのコピーを許可してジョブを続行します。 <u>OFF</u>:ジョブを停止します。
3	ジョブ強制続行(排紙先設定違い)	 排紙先の指定が間違っている場合に、ジョブを強制的に続行するかどうか設定します。 ON:指定の排紙先に印刷します。 OFF: ジョブを停止します。
4	排紙トレイ自動切替(カスケード印刷)	 自動的に排紙トレイを切り替えるかどうか設定します。 ON:排紙トレイを自動的に切り替えてジョブを続行します。 <u>OFF</u>:ジョブを停止します。
5	ステイプル針無し時の印刷中断	ステイプルの針がなくなったときに印刷を中断するかどうか設定します。 • ON:ステイプルの針がなくなったときは印刷を中断します。 • <u>OFF</u> :ステイプルの針がなくなったときでも印刷を中断しません。
6	パンチ屑フル時の印刷継続	パンチ屑がフルになったとき印刷を継続するかどうか設定します。 <u>ON</u>:パンチ屑がフルになったときでも印刷を継続します。 OFF:パンチ屑がフルになったときは印刷を中断します。

■ プリンタ設定

プリンタの動作方法とRaw印刷ジョブに適応するプリンタオプションを設定することができます。

補足

[プリンタ] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

□ P.202 「一般設定」

□ P.203 「Raw印刷ジョブ印刷初期値設定」

□ P.204 「RAW印刷ジョブ設定」

🗌 一般設定

印刷ジョブをキューに保存する日数など、プリンタ関連の機能を設定します。

	プリンタ設定	
	一般設定	
	プライベート印刷、ホールド印刷、お試し印刷、無効な印刷の保持 期間	14日 💌
	LT<>A4/LD <>A3	有効 ▼
	▲4ワイド印刷モード(PCL)	無効 -
. <u> </u>	プリント制限	なし -

	項目名	機能説明
1	プライベート印刷、ホールド印刷、 お試し印刷、無効な印刷の保持期間	プライベート印刷、ホールド印刷およびお試し印刷ジョブをどのくらいの期間保存するか 選択します。期間は、1~12時間または1~30日の範囲で選択できます。また、[無期限] を選択し、キューにあるジョブを手動で削除するまで保存することもできます。初期値は 「14日」に設定されています。
2	LT<>A4/LD<>A3	印刷ジョブに設定された用紙サイズがセットされていない場合に、自動的に異なる用紙に 印刷するか選択します。[有効]を選択した場合、たとえば、レターサイズに設定された印 刷ジョブをA4用紙に印刷することができます。[無効]を選択した場合は、印刷ジョブに設 定されているサイズと同じサイズの用紙をカセットにセットするようメッセージが表示さ れます。初期値は「有効」に設定されています。
3	A4ワイド印刷モード(PCL)	PCLの印刷ジョブをA4用紙に印刷する場合、印刷範囲の横幅を広くするかを選択します。 [有効]を選択した場合、用紙向きが縦で約3.5 mm、横で約1.5 mm印刷範囲の横幅が広が り、1行当たりに印刷される内容を増やすことができます。初期値は「無効」に設定されて います。
4	プリント制限	 印刷ジョブに応じて、印刷を制限するか選択します。 <u>なし</u>:すべてのデータを印刷します。 ブライベート印刷限定:プライベート印刷された印刷ジョブのみ印刷します。 ホールド印刷限定:ホールド印刷された印刷ジョブのみ印刷します。 ブライベート / ホールド印刷限定:プライベート印刷またはホールド印刷された印刷 ジョブのみ印刷します。

□ Raw印刷ジョブ印刷初期値設定

LPRキューが指定されていないRaw印刷ジョブ、または指定したLPRキューが存在しないRaw印刷ジョブに適用される 印刷設定を設定します。

補足

Raw印刷ジョブの設定は、LPRキューを追加してLPRキューごとに設定することもできます。 □ P.204 「RAW印刷ジョブ設定」

	Raw印刷ジョブ印刷初期値設定	
1 —	- Raw 印刷ジョブ _ 両面印刷	無効 👻
2 —	Raw 印刷ジョブ _ 用紙サイズ	A4 👻
3 —	Raw 印刷ジョブ _ 用紙タイプ	普通紙 🔹
4 —	Raw印刷ジョブ _ 用紙向き	縦 👻
5 —	Raw印刷ジョブ _ ステイブル	OFF -
6 —	Raw 印刷ジョブ _ 排紙トレイ	排紙トレイ ▼
7 —	POLフォームライン	12.0
8 —	PCL フォントピッチ	10.0
9 —	PCL フォントサイズ	12.0
0-	PCLフォント番号	0
1—	PCL政行設定	自動
2—	シンボルセット	Roman-8 👻
3—	给紙方法	自動 🗸
4—	白紙は印字しない	ON 👻
5-	へッダ印刷モード	OFF -

	項目名	機能説明
1	Raw印刷ジョブ両面印刷	Raw印刷ジョブを両面印刷するか選択します。
2	Raw印刷ジョブ用紙サイズ	Raw印刷ジョブに適用する標準の用紙サイズを選択します。
3	Raw印刷ジョブ用紙タイプ	Raw印刷ジョブに適用する標準の用紙の種類を選択します。
4	Raw印刷ジョブ用紙向き	Raw印刷ジョブに適用する標準の印刷の向きを選択します。
5	Raw印刷ジョブステイプル	Raw印刷ジョブをステイプル留めするか選択します。
6	Raw印刷ジョブ排紙トレイ	Raw印刷ジョブに適用する標準の排紙トレイを選択します。Novell、UNIX、Windowsな どOSが作成したバナーページもここで指定したトレイに排紙されます。
7	PCLフォームライン	各ページに印刷する行数を入力します。
8	PCLフォントピッチ	選択したフォント番号が固定ピッチフォントである場合に、フォントピッチを入力します。 文字ピッチは1インチ当たりのANK文字の数で計算されます。10ピッチタイプは、1インチ にANK文字を10文字印刷します。
9	PCLフォントサイズ	選択したフォント番号がプロポーショナルフォントである場合に、フォントサイズを入力 します。フォントサイズオプションでは、標準フォントのポイントサイズ(高さ)を決定 することができます。
10	PCLフォント番号	印刷を行う際に、標準フォントとして使用する内蔵PCLフォントのフォント番号を入力します。フォント番号および内蔵PCLフォントは、内蔵PCLフォントリストで確認することができます。フォント番号および内蔵PCLフォントについては、 印刷ガイド を参照してください。
11	PCL改行設定	改行設定を選択します。
12	シンボルセット	Raw印刷ジョブに適用するシンボルセットを選択します。
13	給紙方法	Raw印刷ジョブに適用する給紙方法を選択します。
14	白紙は印字しない	Raw印刷ジョブに含まれる白紙ページを印字するか選択します。
	注意	

UNIXフィルタやCUPSから印刷する場合には、本設定は反映されません。これらの印刷で白紙ページを印刷したくない場合 は、UNIXフィルタのコマンドやCUPSの設定で、白紙ページを印刷しないように設定してください。設定方法については、 インストールガイドおよび印刷ガイドを参照してください。

15 ヘッダ印刷モード

合計ページ数が奇数となるRaw印刷ジョブを両面印刷する場合に、最終奇数ページをほか の奇数ページと同じ印字面に印刷するかを選択します。[ON]を選択した場合、最終奇数 ページもほかの奇数ページと同じ印字面(うら)に印刷されます。[OFF]を選択した場合 は、最終奇数ページは偶数ページと同じ印字面(おもて)に印刷されます。

□ RAW印刷ジョブ設定

最大16個のLPRキューを作成し、キューごとにRaw印刷ジョブ設定を指定することができます。これらのキューは、UNIX コンピュータから印刷する場合など、プリンタドライバを使用せずに印刷する場合に使用します。Raw印刷ジョブでは、 LPRキューの追加、変更、削除を行います。



	項目名	機能説明
1	[追加] ボタン	LPRキューを追加します。 □ P.204 「[新規LPRキューの追加] / [編集] 画面」
2	[編集] ボタン	LPRキュー一覧で選択しているLPRキューの内容を編集します。 ♀ P.204 「[新規LPRキューの追加]/[編集]画面」
3	[削除] ボタン	LPRキュー一覧で選択しているLPRキューを削除します。
4	LPRキュー一覧	登録済みのLPRキューの一覧を表示します。

[新規LPRキューの追加] / [編集] 画面



	項目名	機能説明
1	キューネーム	キュー名を、31文字以下の半角英数字で入力します。キュー名は、大文字・小文字を認識 するため、「Queue1」と「queue1」など、大文字・小文字が異なるキュー名も異なるLPR キューとして追加することができます。
2	両面印刷	Raw印刷ジョプを両面印刷するか選択します。
3	用紙サイズ	Raw印刷ジョブに適用する標準の用紙サイズを選択します。
4	用紙タイプ	Raw印刷ジョブに適用する標準の用紙の種類を選択します。
5	用紙向き	Raw印刷ジョブに適用する標準の印刷の向きを選択します。
6	ステイプル	Raw印刷ジョブをステイプル留めするか選択します。
7	排紙トレイ	Raw印刷ジョブに適用する標準の排紙トレイを選択します。Novell、UNIX、Windowsな どOSが作成したバナーページもここで指定したトレイに排紙されます。
8	PCLフォームライン	各ページに印刷する行数を入力します。
9	PCLフォントピッチ	選択したフォント番号が固定ピッチフォントである場合に、フォントピッチを入力します。 文字ピッチは1インチ当たりのANK文字の数で計算されます。10ピッチタイプは、1インチ にANK文字を10文字印刷します。

	項目名	機能説明
10	PCLフォントサイズ	選択したフォント番号がプロポーショナルフォントである場合に、フォントサイズを入力 します。フォントサイズオプションでは、標準フォントのポイントサイズ(高さ)を決定 することができます。
11	PCLフォント番号	印刷を行う際に、標準フォントとして使用する内蔵PCLフォントのフォント番号を入力し ます。フォント番号および内蔵PCLフォントは、内蔵PCLフォントリストで確認すること ができます。フォント番号および内蔵PCLフォントについては、 印刷ガイド を参照してく ださい。
12	PCL改行設定	改行設定を選択します。
13	シンボルセット	Raw印刷ジョブに適用するシンボルセットを選択します。
14	給紙方法	Raw印刷ジョブに適用する給紙方法を選択します。
15	白紙は印字しない	Raw印刷ジョブに含まれる白紙ページを印字するか選択します。
	注 意 UNIXフィルタやCUPSから印刷 は、UNIXフィルタのコマンドや インストールガイドおよび印刷:	する場合には、本設定は反映されません。これらの印刷で白紙ページを印刷したくない場合 PCUPSの設定で、白紙ページを印刷しないように設定してください。設定方法については、 ヴイド を参照してください。
16	ヘッ <i>ダ</i> 印刷モード	合計ページ数が奇数となるRaw印刷ジョブを両面印刷する場合に、最終奇数ページをほか の奇数ページと同じ印字面に印刷するかを選択します。[ON]を選択した場合、最終奇数 ページもほかの奇数ページと同じ印字面(うら)に印刷されます。[OFF]を選択した場合 は、最終奇数ページは偶数ページと同じ印字面(おもて)に印刷されます。
	注 意 ヘッダ印刷モードは、対象機種の	りみ使用できます。

■ プリントサービス設定

Raw TCP印刷、LPD印刷、IPP印刷、FTP印刷、NetWare印刷やEメール印刷などの印刷サービスを設定します。

補足

[プリントサービス] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの [リセット] ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

□ P.206 「Raw TCP印刷の設定」
 □ P.206 「LPD印刷の設定」
 □ P.207 「IPP印刷の設定」

□ P.208 「FTP印刷の設定」
 □ P.208 「NetWare印刷の設定」
 □ P.209 「Eメール印刷の設定」

□ Raw TCP印刷の設定

Raw TCP印刷では、Raw TCP印刷サービスを有効/無効およびRaw TCP印刷用のLPDポート番号を設定します。

プリントサービス設定	
Raw TCP印刷	
1 ——— Raw TCP印刷使用	有効 👻
2	9100
3 —— Raw bi-directional使用	無効 ▼

	項目名	機能説明
1	Raw TCP印刷使用	Raw TCP印刷サービスの有効/無効を選択します。初期値は [有効] に設定されています。
2	ポート番号	Raw TCP印刷に使用するポート番号を入力します。1024から32767までの値を入力でき ます。通常は、初期値の「9100」を使用します。
	注意	
	HTTP設定のセカンダリポート都	≸号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessや
	ファイリングボックスWebユー	ティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ
	ルからHTTP設定を変更し、正し	いポート番号を設定してください。
3	Raw bi-directional使用	Raw双方向通信の有効/無効を選択します。初期値は[無効]に設定されています。

LPD印刷の設定

ユーザにLPR印刷を許可する場合は、LPD印刷を設定しLPD/LPR印刷サービスを有効にする必要があります。

LPD印刷	
1 ——— LPD印刷使用	有効 🔻
2 ポート番号	515
3LPD/1+-	OFF -

	項目名	機能説明
1	LPD印刷使用	LPD印刷サービスの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	ポート番号	LPR印刷に使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常 は、初期値の「515」を使用します。

注意

HTTP設定のセカンダリポート番号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessやファイリングボックスWebユーティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネルからHTTP設定を変更し、正しいポート番号を設定してください。

	項目名	機能説明
3	LPDバナー	LPR印刷で印刷するジョブごとにバナーページ(ヘッダページ)を印刷するか選択します。 初期値は [OFF] に設定されています。

□ IPP印刷の設定

ユーザにIPP印刷を許可する場合は、IPP印刷を設定しIPP印刷サービスを有効にする必要があります。

IPPE印刷使用 有効 マ IPPボート80使用 有効 マ ボート番号 631 URL http://MFP07072547:631/Print SSL使用 無効 マ SSLUFL http://MFP07072547:443/Print JU/ンタ名 MFP07072547:443/Print JU/ンタ名 MFP07072547:443/Print JU/ンタ名 MFP07072547 認証 無効 マ ユーザ名 user01	- バスワード	
	— ユーザ名	user01
	- 121E	無効 ▼
IPPE印刷使用 有効 マ IPPボート80使用 有効 マ ボート番号 631 URL http://MFP07072547:631/Print SSL使用 無効 マ SSLボート番号 443 SSL URL http://MFP07072547:43/Print	ブリンタ名	MFP07072547
IPPE印刷使用 有効・ IPPボート80使用 有効・ ボート番号 631 URL http://MEP07072547:631/Print SSL採用 無効・ SSLボート番号 443	SSL URL	https://MFP07072547:443/Print
	SSLポート番号	443
 — IPP印刷使用 有効 → IPPボート80使用 有効 → — ボート番号 G31 URL http://mkFP07072547:631/Print 	SSL使用	無効 -
 → IPPE1刷使用 有効 → → IPPボート80使用 有効 → → ボート番号 631 	- URL	http://MFP07072547:631/Print
 → IPPED副使用 → IPPボート80使用 有効 → 		631
—— IPP印刷使用 有効 ▼	— IPPポート80使用	有効 👻
	IPP印刷使用	有効 👻

	項目名	機能説明	
1	IPP印刷使用	IPP印刷サービスの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されています。	
2	IPPポート80使用	IPP印刷にポート80を有効にするか選択します。通常、ポート631がIPPアクセスに使用されるので、各ユーザはURLにIPPポートを指定する必要があります(例:http:// <ipアドレスまたはdns名>:631/Print)。このオプションを有効にすると、HTTPアクセスの標準ポートであるポート80を介してのIPPアクセスが許可され、IPPポートのポート番号を指定する必要がなくなります(例:http://<ipアドレスまたはdns名>/Print)。初期値は[無効]に設定されています。</ipアドレスまたはdns名></ipアドレスまたはdns名>	
3	ポート番号	IPP印刷に使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力できます。通常 は、初期値の「631」を使用します。	
	注 意 HTTP設定のセカンダリポート番 ファイリングボックス Webユー ルからHTTP設定を変更し、正し	春号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessや ティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ ,いポート番号を設定してください。	
4	URL	IPP印刷用のURLが表示されます。IPP印刷用のURLを変更することはできません。ユーザ はプリンタドライバでIPP印刷をセットアップする際に、このURLを印刷ポートとして設定 します。	
5	SSL使用	SSLを使用してIPP印刷を行うかどうかを設定します。初期値は[無効]に設定されています。	
	 補 足 SSLを有効にした場合、SSL ポートを利用する場合は、以 https://<ipアドレス 例:https://192.168.53.204:4</ipアドレス SSLを使用するには、サー/ 	SLを利用したIPP印刷ポートを利用することができるようになります。SSLを利用したIPP印刷 以下のURLをIPP印刷ポートとして使用します。 ス>: <sslポート番号>/Print 4:443/Print</sslポート番号>	
6	SSLポート番号	SSLを有効にした場合に使用するポート番号を入力します。1から65535までの値を入力で きます。通常は、初期値の「443」を使用します。	
	注意		
	HTTP設定のセカンダリポート番	春号(HTTPのSSL有効時はSSLポート番号)と同じポート番号を指定すると、TopAccessや	
	ノァイリンクホックスWebユー ルからHTTP設定を変更し、正し	ティリティにアクセスできなくなります。誤って設定してしまった場合は、本機の操作パネ ,いポート番号を設定してください。	
7	SSL URL	SSLを使用したIPP印刷用のURLが表示されます。IPP印刷用のURLを変更することはできません。ユーザはプリンタドライバでIPP印刷をセットアップする際に、このURLを印刷ポートとして設定します。	
8	プリンタ名	IPP印刷するプリンタ名称を入力します。半角英数字と記号(= ; # ¥を除く)で127文字 まで入力できます。初期値は「MFP名称」に設定されています。	

	項目名	機能説明	
9	認証	 コンピュータにキューを作成する際に認証を行うかどうかを設定します。認証を有効にすると、IPP印刷ポートの作成時にユーザ名とパスワードの要求を行います。 <u>無効</u>:認証を無効にします。 Basic:認証を有効にします。 	
	注 意 MacintoshコンピュータからIPP れておりません。	P印刷を行う場合は、認証は無効に設定してください。Mac OSでは、Basic認証はサポートさ	
10	ユーザ名	認証が有効な場合に、認証に使用するユーザ名を入力します。ユーザは、IPPキューを作成 時にこのユーザ名を入力します。半角英数字と記号で127文字まで入力できます。	
11	パスワード	認証に使用するパスワードを入力します。ユーザは、IPPキューを作成時にこのパスワード を入力します。半角英数字と記号で127文字まで入力できます。初期値は「password」に 設定されています。	

□ FTP印刷の設定

Г

ユーザにFTP印刷を許可する場合は、FTP印刷サービスを有効にする必要があります。

FTP印刷	
1 —— FTP印刷使用	有効 🔻
2 FTP印刷 ユーザ名	Print
3	

	項目名	機能説明
1	FTP印刷使用	FTP印刷サービスの有効/無効を選択します。初期値は[有効]に設定されています。
2	FTP印刷ユーザ名	FTP印刷を実行するユーザにログインユーザ名を要求する場合は、ユーザ名を入力します。 半角英数字と記号で127文字まで入力できます。このボックスを空欄にした場合は、デフォ ルトの「Print」がユーザ名として使用されます。
3	FTP印刷パスワード	FTP印刷を実行するユーザにログインパスワードを要求する場合は、パスワードを入力します。半角英数字と記号で31文字まで入力できます。

□ NetWare印刷の設定

ユーザにNovell印刷を許可する場合は、NetWare印刷を設定しNovell印刷サービスを有効にする必要があります。

	Co Bil		
Netvi	are=11約1		
<i>プ</i> リン	トサーバー名	MFP07072547	
	7ード		
FORU-	ヒーポーロングレート	20	

	項目名	機能説明
1	プリントサーバー名	NetWareファイルサーバーに作成したプリントサーバー名を入力します。半角英数字と記 号で47文字まで入力できます。初期値は「MFP名称」に設定されています。
2	パスワード	必要に応じて、プリントサーバーに設定されたパスワードを入力します。半角英数字と記 号で31文字まで入力できます。初期値は「Print」に設定されています。
3	印刷キューポーリングレート	プリントキューをどのくらいの頻度でスキャンするかを設定します。1から255の範囲で、 秒単位で指定します。初期値は「30」に設定されています。

□ Eメール印刷の設定

受信したEメールの印刷方法を設定します。

Eメール印刷	
Eメールヘッダ印刷	無効 -
本文印刷	有効 🔻
Eメール本文最大印刷枚数	5
エラーメッセージの出力	有効 🔻
エラーメール転送をする	無効 👻
エラーメールの転送先アドレス	
分割受信	有効 👻
分割受信待ち時間	24
MDNUプライ	無効 👻

	項目名	機能説明
1	Eメールヘッダ印刷	Eメール印刷ジョブを受信したときに、Eメールヘッダを印刷するか選択します。初期値は 「無効」に設定されています。
2	本文印刷	Eメール印刷ジョブを受信したときに、本文を印刷するか選択します。初期値は[有効]に 設定されています。
3	Eメール本文最大印刷枚数	Eメール印刷ジョブの本文を、最大何ページまで印刷するかを1から99の範囲で入力しま す。初期値は「5」に設定されています。
4	エラーメッセージの出力	Eメール印刷を正常に終了できなかったときに、エラーメッセージを記載したレポートを印 刷するか選択します。初期値は[有効]に設定されています。
5	エラーメール転送をする	Eメール印刷を正常に終了できなかったときに、エラーメッセージを指定したEメールアド レスに送信するか選択します。初期値は[無効]に設定されています。
6	エラーメールの転送先アドレス	[エラーメール転送をする] を有効にした場合に、エラーメッセージが送信されるEメール アドレスを入力します。半角英数字と記号で140文字まで入力できます。
7	分割受信	分割して送信されてきたEメールジョブを印刷するか選択します。初期値は[無効]に設定 されています。
8	分割受信待ち時間	分割して送信されてきたEメールジョブを本機が印刷するまでの待ち時間を入力します。1 ~24時間の範囲で設定します。初期値は「24」に設定されています。
9	MDNリプライ	開封確認メッセージを要求されたEメール印刷ジョブを受信した場合に、開封確認メッセージを返信するかどうかを選択します。初期値は[無効]に設定されています。

■ ICCプロファイルの設定

プリンタ機能で使用するプロファイルを設定することができます。

補足

- この機能は対象機種のみ使用できます。
- [ICCプロファイル] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。
 □□ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □□ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

□ P.210 「RGBソースプロファイルの設定」

□ P.210 「CMYKソースプロファイルの設定」

□ P.211 「プリンタプロファイルの設定」

□ RGBソースプロファイルの設定

RGBデータの印刷時、RGBデータのカラースペース変換に使用する入力プロファイルを設定します。

Γ	プロファイル設定	
	RUBノースノロノアイル	
1		SourceRGB_v10
2		
1		

	項目名	機能説明
1	デフォルトプロファイル	印刷時にプリンタドライバのカラープロファイル設定の初期設定として表示する、RGB ソースプロファイルを設定します。本機に登録されているRGBソースプロファイルの中か ら選択することができます。
2	[保守]ボタン	RGBソースプロファイルをメンテナンスする場合にクリックします。クリックするとRGB ソースプロファイルの保守ページが表示され、本機にプロファイルをインポートしたり、登 録済みのプロファイルをエクスポートしたり、削除したりすることができます。詳しくは、 以下の説明を参照してください。 P.242 「プロファイルをインポートする」 P.243 「プロファイルをエクスポートする」 P.245 「プロファイルを削除する」

□ CMYKソースプロファイルの設定

CMYKデータの印刷時、CMYKデータのカラースペース変換に使用する入力プロファイルを設定します。

	CMYKソースプロファイル	
1	デフォルトプロファイル	SourceCMYK_v10 -
2		

	項目名	機能説明
1	デフォルトプロファイル	印刷時にプリンタドライバのカラープロファイル設定の初期設定として表示する、CMYK ソースプロファイルを設定します。本機に登録されているCMYKソースプロファイルの中 から選択することができます。
2	[保守] ボタン	 CMYKソースプロファイルをメンテナンスする場合にクリックします。クリックするとCMYKソースプロファイルの保守ページが表示され、本機にプロファイルをインポートしたり、登録済みのプロファイルをエクスポートしたり、削除したりすることができます。詳しくは、以下の説明を参照してください。 P.242 「プロファイルをインポートする」 P.243 「プロファイルをエクスポートする」 P.245 「プロファイルを削除する」

□ プリンタプロファイルの設定

印刷時にデータのカラースペース変換に使用する出力プロファイルを設定します。

プリンタプロファイル	
デフォルトプロファイル	OutputCMYK_v10 -
	保守
	レンダリングインテント
	◎ 矢0覚的
	◎ 市目支付自行
	◎ 彩度

	項目名	機能説明	
1	デフォルトプロファイル	印刷時にプリンタドライバのカラープロファイル設定の初期設定として表示する、プリン タプロファイルを設定します。本機に登録されているプリンタプロファイルの中から選択 することができます。	
2	[保守]ボタン	プリンタプロファイルをメンテナンスする場合にクリックします。クリックするとプリン タプロファイルの保守ページが表示され、本機にプロファイルをインポートしたり、登録 済みのプロファイルを削除したり、エクスポートしたりすることができます。詳しくは、以 下の説明を参照してください。 ロ P.242 「プロファイルをインポートする」 ロ P.243 「プロファイルをエクスポートする」 0 P.245 「プロファイルを削除する」	
3	レンダリングインテント	プリンタプロファイルのレンダリングインテントを[知覚的]、[相対的]、[彩度]、[絶対 的]から選択します。	

■ プリントデータコンバータ設定

プリントデータコンバータの詳細については、サービスエンジニアにお問い合わせください。

補足

[プリントデータコンバータ] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。

🛄 P.23 「アクセスポリシーモード」

□ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」



	項目名	機能説明	
1	プリントデータコンバータ	プリントデータコンバータ機能の有効/無効を選択します。	
		コンハータの設定ノアイルかインホートされていない場合は有効を選択できません。	
2	新規コンバータインポート	コンバータの設定ファイルをインポートします。	
	補足		
	[参照]ボタンをクリックしてインポートするファイルを選択し、[開く]をクリックします。 ファイル名を確認して、[インポート]ボタンをクリックします。		
3	現在のコンバータ	インポートされているコンバータの設定ファイルを表示します。	

■ 内蔵ブラウザ設定

操作パネル上にWebページを表示させる「EWB(Embedded Web Browser)機能」を設定します。

補足

[内蔵ブラウザ] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

注意

EWB(Embedded Web Browser)機能を使用するには、オプションの外部連携オプション(GS-1020)が必要です。

□ P.213 「ホームページ設定」
 □ P.213 「プロキシ設定」
 □ P.214 「サーバ登録設定」
 □ P.214 「メニュー画面URL一覧」
 □ P.214 「URLの新規追加] 画面」

□ ホームページ設定

EWB機能を起動したときのホームページを設定します。

 内蔵ブラウザ ホームページ設定

 オームページ:
 http://localhost/

	項目名	機能説明
1	ホームページ	ホームページのURLを入力します。

□ プロキシ設定

EWB機能のプロキシを設定します。

プロキシ	設定		
ホスト名			
ポート番号	<u>.</u>		
Exception	URL		

	項目名	機能説明
1	ホスト名	プロキシサーバーのホスト名を入力します。
2	ポート番号	プロキシサーバーのポート番号を入力します。
3	例外URL	プロキシサーバーを利用しないURLをセミコロン(:)で区切って入力します。

□ サーバ登録設定

EWB機能で使用するサーバーのアドレスを登録します。



	項目名	機能説明
1	[追加] ボタン	入力欄に入力されたサーバーアドレスを一覧に登録します。
2	入力欄	サーバーアドレスを入力します。
3	[削除] ボタン	選択されたアドレスを一覧から削除します。
4	サーバーアドレス一覧	登録されているサーバーアドレス一覧を表示します。

□ メニュー画面URL一覧

操作パネルのメニュー画面に表示するURLを登録します。



	項目名	機能説明
1	[追加] ボタン	操作パネルに表示するURLを登録します。 □ P.214 「[URLの新規追加] 画面」
2	[削除] ボタン	URL一覧から選択されたアドレスを削除します。
3	URL一覧	操作パネルに表示されるURL一覧を表示します。

[URLの新規追加] 画面



	項目名	機能説明
1	[保存]ボタン	入力したURL名/URLで登録します。
2	[キャンセル] ボタン	URLの新規追加を中止します。
3	URL名	登録するURLの名称を入力します。
4	URL	登録するURLを入力します。
Off Device Customization Architecture設定

ODCA(Off Device Customization Architecture)は、外部環境のアプリケーションソフトと本機が提供するサービスを 連携して使用する場合に設定します。 詳細については、連携するアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

補足

[ODCA] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

□ P.215 「ネットワーク」□ P.215 「環境設定」

🗌 ネットワーク



	項目名	機能説明
1	ポートの使用	外部環境から接続を受け付けるかどうかを設定します。
2	ポート番号	外部環境から接続を受け付けるポート番号を設定します。
3	SSLポートの使用	外部環境から接続する際にSSLを使用するかどうかを設定します。
4	SSLポート番号	外部環境から接続を受け付けるSSLポート番号を設定します。

🗌 環境設定

環境設定		
ー セッションタイムアウト(60-99999)	90 秒	

	項目名	機能説明
1	セッションタイムアウト	接続状態を継続する時間を設定します。

[管理者] タブ

■ バージョン

お使いの機器のバージョン情報を表示します。

補足

[バージョン] サブメニューは、[管理者] タブの [セットアップ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セットアップ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」

🚇 P.142 「[セットアップ] 項目説明一覧」

バージョン情報		
ブリンタメーカ	TOSHIBA	
ファームウェアバージョン	T140SY0W0030	
ーー メインROMバージョン	140M-015	
ー スキャンROMバージョン	1408-01	

	項目名	機能説明
1	プリンタメーカ	お使いの機器のメーカー名を表示します。
2	ファームウェアバージョン	お使いの機器のファームウェアバージョンを表示します。
3	メインROMバージョン	お使いの機器のメインROMのバージョンを表示します。
4	スキャンROMバージョン	お使いの機器のスキャンROMのパージョンを表示します。

[セットアップ] 設定/操作方法

ここでは、TopAccessを使って本機を設定する方法について説明します。 □ P.217 「一般設定をセットアップする」 □ P.219 「ネットワーク設定をセットアップする」 □ P.221 「SNMP V3を設定する」 □ P.226 「コピー設定をセットアップする」 □ P.228 「ファクス設定をセットアップする」 □ P.230 「共有フォルダに保管設定をセットアップする」 □ P.232 「Eメール設定をセットアップする」 □ P.233 「インターネットファクス設定をセットアップする」 □ P.235 「プリンタ/ファイリングボックス設定をセットアップする」 □ P.236 「プリンタ設定をセットアップする」 □ P.237 「プリントサービス設定をセットアップする」 □ P.241 「ICCプロファイル設定をセットアップする」 □ P.241 「ICCプロファイル設定をセットアップする」 □ P.241 「ICCプロファイル設定をセットアップする」 □ P.243 「内蔵ブラウザ機能を設定する」

- □ P.250 [Off Device Customization Architecture設定をセットアップする]
- □ P.251 「バージョン情報を表示する」

注 意

用紙カセットの用紙サイズの設定は、TopAccessから行うことはできません。本機操作パネルより行ってください。 設定方法については、コピーガイドを参照してください。

▌一般設定をセットアップする

装置情報、節電、日付、時刻やWebの全般的な設定などの一般設定は、[セットアップ]メニューの [一般] サブメニュー からセットアップすることができます。

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

-般設定のセットアップ手順

1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」

🤈 [管理者] タブをクリックします。

3 [セットアップ] メニューをクリックし、[一般] サブメニューをクリックします。



一般サブメニューページが表示されます。

[管理者]

ダレ

4	必要に応じて、	一般設定をセッ	トアップします。
---	---------	---------	----------

N++ 000								<u>ファイリングボッ</u> ログァ
装直	ジョブ	ログ	登録		カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守		<u>登録</u>				
セットアップ								
-般 <u>ネットワーク</u> ユビー	- 共有フォルダに係	<u> 證 Eメール イン</u>	<u>ターネットファクス プ</u>	リンタロァイ	<u> ルングボックス</u>	<u> プリンタ プリントサービン</u>	<u> (ICCプロファイル プ</u>	リントデータコンバータ EWB ODCA パ
味仔								
一般設定 装置情報								
名称		N	FP07088510					
MFPモデル		т	TOSHIBA e-STUDIO6550C					
シリアル番号		c	LE000047					
MACアドレス		C	0:80:91:6C:29:7E					
ローカル共有フォルダとファ	イリングボックスの容	量 2	6205 MB					
ファックスメモリ容量		g	77 MB					
データクローニング機能		7	可交力 👻					
山のしだマロントに印刷		7	可交力 👻					
00000100100								
設置場所								
設置場所 連絡先								
設置場所 連絡先 サービス電話番号		0						

このページでは、以下の設定を行うことができます:

🕮 P.143	「装置情報」	🕮 P.145	「節電モード設定」
🕮 P.143	「機能設定」	🕮 P.146	「日付と時間」
🕮 P.144	「ファイリングボックス通知情報イベント」	🕮 P.146	「SNTP設定」
🕮 P.144	「ジョブスキップ設定」	🕮 P.147	「サマータイム設定

□ P.144 「管理者によるアドレス帳操作制限」

凵 P.147 「サマータイム設定」 🛄 P.147 「WEB設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に [キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル] ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。



注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値 が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

■ ネットワーク設定をセットアップする

TCP/IP、フィルタリング、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour、LDAP、DNS、DDNS、SMB、NetWare、HTTP、SMTP クライアント、SMTPサーバー、POP3、SNTP設定、FTPクライアント、FTPサーバー、SNMP、セキュリティ設定な どは、[セットアップ] メニューの [ネットワーク] サブメニューからセットアップすることができます。

ネットワーク設定のセットアップ手順

- **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [セットアップ] メニューをクリックし、[ネットワーク] サブメニューをクリックします。

TopAccess	5								<u>ファイリングボックス</u> ログァウト
装置		ジョブ	-	Ī	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	1	セキュリティ	I.	保守	1	<u>登録</u>			
セットアメディ 一般 <u>ネットワーク</u> 保存 (キャンセ	<u>זיי</u> ב זע2	<u>共有フォルダ</u>	IC保管 Eメ・	-JU K23	<u>ターネットファクス ブリ:</u>	<u>ンタロァイリングボックス</u>	<u>JUVA </u> JUVAH-EJ	<u>ז וורכדביטו ז</u>	<u>リントデータコンバータ EWB ODCA バージョン</u>

ネットワークサブメニューページが表示されます。

4 リンクをクリックするかページをスクロールして、設定を変更するネットワーク設定の表を 表示し、ボタンをクリックして必要に応じてネットワーク設定をセットアップします。



[管理者]

ダレ

[セットアップ] 設定/操作方法 219

□ P.158「SMBの設定」
 □ P.160「NetWareの設定」
 □ P.161「HTTPの設定」

□ P.173「スーパースリープモードからの復帰設定」
 □ P.175「IPセキュリティの設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]は、設定を保存する 前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer
ок ++>+21

ネットワークインターフェイスカードの初期化を開始します。

注意

ネットワークインターフェイスカードを初期化中は、ネットワークが無効になり、TopAccessでは「2~3分ほ ど待ってからつなぎ直してください。」が表示されます。また、本機のタッチパネルに「NIC初期化中」が表示 されます。これらのメッセージが消えたら、TopAccessが再び使用できるようになります。

■ SNMP V3を設定する

□ P.221 「SNMP V3ユーザ情報を登録・編集する」
 □ P.222 「SNMP V3ユーザ情報をエクスポートする」
 □ P.224 「SNMP V3ユーザ情報を削除する」

□ SNMP V3ユーザ情報を登録・編集する

- **1** [セットアップ] メニューの [ネットワーク] サブメニューから [SNMP] ボタンをクリッ クします。
- 2 SNMP V3ユーザ情報を新規作成する場合は [新規] をクリックし、すでに登録済みのユー ザ情報を編集する場合は、リストから編集したいユーザ名をクリックします。

SNMP				
OK キャンセル 設定を有効にす	する為にメインウィンドウの係	保存ボタンをクリックしてくだる	i	
SNMP V1/V2使用	有効 👻			
リードコミュニティ	public			
リードライトコミュニティ	private	private		
SNMP V3使用	無効 👻	無効 -		
新規 削除 全削除 エクスボー				
	SNMP V3.2.	ーザ情報 - ゴライバシー ラロトラル	時可してい	
	HMAC-MD5	None	Administrator	
SNMP V3トラップ使用 SNMP V3トラップユーザ名 SNMP V3トラップユーザ名 SNMP V3トラップ認証プロトコル SNMP V3トラップ認証が、スワード		無効 ▼ HMAC-MD5 ▼		

SNMP V3ユーザ情報の作成ページが表示されます。

3	以下の項目を設定	し、[保存]をクリックします。
	SNMP V3ユーザ情報	服の作成
	保存 キャンセル	
	=>3€2%	MFP
	ユーザ名 認証プロトコル	HMAC-MD5 👻
	認証バスワード	
	プライバシープロトコル	tau 👻
	バスワード	
	許可レベル	

このページでは、以下の設定を行うことができます: P.171 「[SNMP V3ユーザ情報の作成] 画面」 SNMP V3ユーザ情報の作成ページが閉じ、SNMP V3ユーザ情報の作成リストに作成したユーザ情報が登録され ます。

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

SNMP V3ユーザ情報は、[SNMP V3ユーザ情報の作成] 画面の [保存] ボタンをクリックすると瞬時に登録され、ネットワークから登録したユーザで本機にSNMPアクセスが可能になります。

▲ [OK] をクリックします。

設定または修正した内容で登録されます。

5 [OK] をクリックしてSNMP設定ページを閉じます。

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

6 [OK] をクリックします。

設定または修正した内容で登録されます。

7 [ネットワーク] サブメニューのページで [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に [キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル] をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル] は、設定を保存する 前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

8 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer

ネットワークインターフェイスカードの初期化を開始します。

注意

ネットワークインターフェイスカードを初期化中は、ネットワークが無効になり、TopAccessでは「2~3分ほ ど待ってからつなぎ直してください。」が表示されます。また、本機のタッチパネルに「NIC初期化中」が表示 されます。これらのメッセージが消えたら、TopAccessが再び使用できるようになります。

□ SNMP V3ユーザ情報をエクスポートする

- **1** [セットアップ] メニューの [ネットワーク] サブメニューから [SNMP] ボタンをクリッ クします。
- **2** SNMP V3ユーザ情報のリストからエクスポートする情報のチェックボックスをオンにし、 [エクスポート] をクリックします。

SNMP			
OK キャンセル 設定を有効にす	る為にメインウィンドウの係	存ボタンをクリックしてくだる	ti no
SNMP V1/V2使用	有効 ▼		
リードコミュニティ	public		
リードライトコミュニティ	private		
SNMP V3使用	無効 👻		
新規(削除)全削除(エクスボート			
		ーサ 情報 	許可レベル
1 <u>0001</u>	HMAC-MD5	None	Administrator
SNIM Thラップ使用		無効 👻	
SNMP V3トラップユーザ名			
SNMP V3トラップ認証プロトコル		HMAC-MD5 👻	
SNMP V3トラップ認証バスワード			

エクスポート画面が表示されます。

注意

「ユーザ情報をエクスポートする前にネットワーク設定を保存してください。」というメッセージが表示された 場合は、[ネットワーク] サブメニューのページで [保存] をクリックした後、エクスポートの操作をしてく ださい。 **3** エクスポートするユーザ情報のファイル名のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存]を選択します。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

4 保存先を指定し、[保存]を選択します。

名前を付けて保存				×
G ● ▼ □ > □>ピューター → Data (D:)		🕶 🍫 Data (D:)の	検索	٩
整理 マ 新しいフォルダー			• ==	0
☆ お気に入り ^ 名前 ^	更新日時	種類	サイズ	
🚺 ダウンロード 検索条件に	一致する項目はありま	ません。		
■ デスクトップ				
🖲 最近表示した場所				
(湯 ライブラリ				
■ ドキュメント ■				
■ ピクチャ				
🗑 ビデオ				
♪ ミュージック				
Data (D:)				
				-
ファイルの裡類(T): ID ファイル				•
● フォルダーの非表示		保存(S)	キャンセ	
		NT		

5 エクスポートページを閉じます。

SNMP V3ユーザ情報のエク	フスポート
ファイル名	紙サイズ
SNMPv3-0001-attribute[1].id	0.132812

注 意

管理者が複数のコンピュータからアクセスポリシーモードで本機に同時にアクセスし、同時にエクスポート操作を 行った場合、エクスポートの動作が不安定になる可能性があります。エクスポートをする場合は、必ず管理者が1台 のコンピュータからアクセスポリシーモードで本機にアクセスし、操作をするようにしてください。

□ SNMP V3ユーザ情報を削除する

- 1 [セットアップ] メニューの [ネットワーク] サブメニューから [SNMP] ボタンをクリッ クします。
- **2** SNMP V3ユーザ情報のリストから削除する情報のチェックボックスをオンにし、[削除] を クリックします。

補足

すべてのSNMP V3ユーザ情報を削除する場合は、[全削除] ボタンをクリックします。

SNMP			
OK キャンセル 設定を有効にする	る為にメインウィンドウの保	存ボタンをクリックしてくだる	ti io
SNMP V1/V2使用	有効 👻		
リードコミュニティ	public		
リードライトコミュニティ	private		
SNMP V3使用	無効 👻		
新規削除全削除エクスポート		- +f 特超	
# ₹ 2 (%	2証プロトコル	プライバシープロトコル	許可レベル
R 1 0001 H	IMAC-MD5	None	Administrator
SNM Tトラップ使用 SNMP V3トラップユーザ名 SNMP V3トラップ記録正プロトコル		無効 ▼ HMAC-MD5 ▼	
SNMP V3トラップ認証パスワード			

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

3 [OK] をクリックします。



SNMP V3ユーザ情報が削除されます。

4 [OK] をクリックしてSNMP設定ページを閉じます。

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

5 [OK] をクリックします。

設定または修正した内容で登録されます。

6 [ネットワーク] サブメニューのページで [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]は、設定を保存する 前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

7 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer	х
ок + +>+	•

ネットワークインターフェイスカードの初期化を開始します。

注意

ネットワークインターフェイスカードを初期化中は、ネットワークが無効になり、TopAccessでは「2~3分ほ ど待ってからつなぎ直してください。」が表示されます。また、本機のタッチパネルに「NIC初期化中」が表示 されます。これらのメッセージが消えたら、TopAccessが再び使用できるようになります。

[管理者] タブ

■ コピー設定をセットアップする

コピー操作に適用される設定は、[セットアップ] メニューの [コピー] サブメニューからセットアップすることができます。

注 意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

コピー設定のセットアップ手順

- **1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します**。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セットアップ] メニューをクリックし、[コピー] サブメニューをクリックします。

TopAccess	5						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	1 3	<u>2禄</u>			
セットア ・酸 <u>ネットワーン</u> 保存 キャンセ		に保管 Eメール イン	<u>9-797777777777777777777777777777777777</u>	タロァイリングボックス	<u> プリンタ プリントサービス</u>	<u>、 ICCプロファイル ブ</u>	<u> ジトデータロンバータ EWB ODCA バージョン</u>

コピーサブメニューページが表示されます。

4 必要に応じて、コピー設定をセットアップします。

装直	217	ログ	登録	t	ロウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	1	登録				
セットアッフ	9							
一般 ネットワーク	2 コピー 共有フォルダに	<u>保管 Eメール インタ</u>	<u>ヽーネットファクス コ</u>	りンタファイリン	ノグボックス :	<u> プリンタ プリントサービス</u>	<u>ג ווכלםסדיווע</u> ב	<u> パントデータコンバータ EWB ODCA</u>
「 キャンセ	210							
コピー設定								
初期設定								
カラーモード		7	ルカラー 🔻					
カラー原稿モード		文	字/写真 ▼					
ブラック原稿モー	e .	文	字/写真 🔹 🔻					
濃度調整(カラー)		手	動 ▼					
濃度調整(ブラック	7)	É	動 ▼					
手差 .用紙		**						
- Lordan		E	- HERE _					
		4	:IĦ]≧ ▼					
フック両面		左	:開き ▼					
フック両面 マガジンソート		72	書き ▼					
フック両面 マガジンソート 2in1 / 4in1								
フック両面 マガジンソート 2in1 / 4in1 最大コピー部数		99	999 👻					

このページでは、以下の設定を行うことができます:

□ P.185 「初期設定」

□ P.187 「コピージョブ強制続行設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer
ОК #7721

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

[管理者] タブ

■ ファクス設定をセットアップする

ファクス装置に関する設定とファクス操作に適用される設定は、[セットアップ]メニューの[ファクス]サブメニュー からセットアップすることができます。

注意

- 設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。
- この [ファクス] サブメニューのページは、本機にオプションのFAXユニットを装着している場合にのみ利用できます。

ファクス設定のセットアップ手順

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セットアップ] メニューをクリックし、[ファクス] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	<u>گ</u> ا	<u>}</u>			
セットア 一般 ネットワー	<u>=ビー</u> ファクス ±	特有フォルダご保管 Eメー	<u>・ル インターネットファク</u>	<u>ス ゴリンタロァイリング:</u>	<u> ボックス プリンタ プリ</u>	<u>ישרידת וככלםס</u>	ァイル ゴリントデータコンバータ ODCA バージ

ファクスサブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、ファクス設定をセットアップします。

pAccess							<u>ファイリングボッ:</u> ログア ¹
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	1 1	<u> 登録</u>			
セットアップ							
 一般 ネットワーク : 	ゴビー ファクス 共	有フォルダに保管 Eメール	インターネットファク	ローブリンタファイリン	ジボックス ブリンタ ブリ	ントサービス 100プロファ	>イル ブリントデータコンバータ ODCA
保存 キャンセル							
ファクス設定							
ST STRUCE							
自局名称		mfp-049	98820				
自局番号		100000	00001				
自局番号(回線2)							
リンガ音量		0 🔍 🖉		07			
モニタ音量		0 🔘 🖉		07			
終了音量		0 🔘 🖉		07			
受信方法		自動	•				
リモート受信		OFF	-				
ダイヤルタイプ		PB	-				
ダイヤルタイブ(回線2)		PB	•				
回線2設定		送信 /	受信 🔹				
		開始時刻	ij 00 : 00				
		終了時刻	ıj 00 ; 00				
		普通	•		12		
解像度							

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.188 「ファクス設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer
ОК Х + 47721

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

[管理者] タブ

■ 共有フォルダに保管設定をセットアップする

ファイル保存操作やN/W-Faxドライバの共有フォルダ保存機能に適用される設定は、[セットアップ]メニューの[共有フォルダに保管]サブメニューからセットアップすることができます。

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

共有フォルダ保存設定のセットアップ手順

1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🛄 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [セットアップ] メニューをクリックし、[共有フォルダに保管] サブメニューをクリックし ます。

TopAccess	5									2	<u>ァイリングボックス</u> ログアウト
装置		ジョブ	۵	7	登録	カウンタ	ユーザ管	理	管理者		
セットアップ	1	セキュリティ	I	保守	I	<u>登録</u>					
	' 2 ⊒Ľ: ₩	<u>-</u> 共有フォルダ		<u>-14 12</u>	<u>ターネットファクス プレ</u>	ンタファイリングボック	7 <u>7 IV)\$ IV</u>	ントサービス	<u> ווריקססלטע ב</u>	<u> 抑ントデータコンバータ EM</u>	/B ODCA バージョン

共有フォルダに保管サブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、共有フォルダ保存設定をセットアップします。

TopAccess	5						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	1 3		1		
セットアップ 一般 ネットワーク 保存 キャンセ	・ 2 <u>コピー</u> 共有フォルダ ル	に保管 Eメール イン:	<u>ターネットファクス プリ</u>	ンタロァイリングボックス	<u> ブリンタ ブリントサービ</u>	<u>ス ICCプロファイル :</u>	ガリントデータコンバータ EWB ODCA バージョン
共有フォルダに係	管設定						
保存パス		FILE_SHARE					E
 □ スキャンし; (サブフォル) ③ スキャンし 	ヒドキュメントを格納先のサ ノダ名は次のようになります。 たドキュメントを格納先の直	ブフォルダに保存します。 :グルーブ番号・グループ名 :下に送信します。	-テンプレート名)				
期間							
 ● 手動前塚余 ③ 30 	日後に前期余			2			-

このページでは、以下の設定を行うことができます:

- 🚇 P.191 「本体保存先の設定」
- □ P.191 「期間の設定」
- 🚇 P.192 「宛先の設定」
- 🛄 P.192 「フォルダ名の設定」
- □ P.193 「フォーマットの設定」
- □ P.193 「シングルページファイルの保存場所の設定」
- □ P.194 「シングルページファイルの構成の設定」
- □ P.194 「ファイル保存時のユーザ名とパスワード表示設定」
- □ P.194 「検索間隔の設定」
- □ P.195「リモート1とリモート2の設定」
- □ P.196 「N/Wファクスの設定」

□ P.196 「N/Wファクスの保管先の設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックする前に長い時間が経過すると各項目の値が更新されないこと がありますが、設定は正常に適用されています。この場合、各項目の値を確認した後、サブメニューをクリックして 画面を更新してください。

■ Eメール設定をセットアップする

Eメール送信操作に必要な設定は、[セットアップ] メニューの [Eメール] サブメニューからセットアップすることができます。

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの [リセット] ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

Eメール設定のセットアップ手順

1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 「管理者」 タブをクリックします。
- **?** [セットアップ] メニューをクリックし、[Eメール] サブメニューをクリックします。

ΤορΛccess	5						<u> ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	1 3	<u>登録</u>			
セットデブ	・ ! <u>コピー</u> 共有フォルダ	<u>ハc保管 Eメール イン</u> ト	ターネットファクス ブリン	ノタロア・イリングボックス	<u> プリンタ プリントサービン</u>	<u>ス 100プロファイル ナ</u>	リントデータコンバータ EWB <u>ODCA バージョン</u>
保存 キャンセ	JV	2					

Eメールサブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、Eメール設定をセットアップします。

opAccess							<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保	Ē I š	<u>登録</u>			
セットアップ <u>一般 ネットワーク コ</u>	ビー 共有フォルダル	<u>こ保管</u> Eメール :	(ンターネットファクス ブリン	ノタロァイリングボックス_	ブリンタ ブリントサービン	<u> </u>	ブリントデータコンバータ EWB ODCA バージョン
【保存】 キャンセル							
Eメール設定							
送信者アドレス							
送信者名							
件名(ファックス受信転送)		 送信元のTTI 				
ファイル形式(ブラック) ファイル形式(カラー) リトライ(回数			● MFPのTTI PDF(マルチ) ▼ PDF(マルチ) ▼]			
リトライ間隔			1 分				
分割送信サイズ			分割無 ▼				
本文(初期値)					,		5

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.198 「Eメール設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6	[OK]	をクリックし、	変更を適用します。
---	------	---------	-----------



注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

■ インターネットファクス設定をセットアップする

インターネットファクス操作に必要な設定は、[セットアップ]メニューの[インターネットファクス]サブメニューからセットアップすることができます。

注 意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

インターネットファクス設定をセットアップする手順

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [セットアップ] メニューをクリックし、[インターネットファクス] サブメニューをクリッ クします。



インターネットファクスサブメニューページが表示されます。

4 必要に応じて、インターネットファクス設定をセットアップします。

pAccess					<u>ファイリングボック</u> ログアウ
装置 ジョブ	D7 3	録 カウンタ	ユーザ管理	管理者	
2ットアップ <u>セキュリティ</u>	保守	<u>登録</u>			
<u>ヱットアップ</u>					
-般 ネットワーク コピー 共有フォルダに	<u>保管 Eメール インターネットフ</u>	ァクス <u>ブリンタロァイリングボック</u>	ス ブリンタ ブリントサービス	100プロファイル プリント・	データコンバータ EWB ODCA バ
インターネットファクス設定					
き信者アドレス					
送信者名					
件名(ファックス受信転送)	◎ 送信元の1	ТІ			
	● MFPのTTI				
ルライ回数	3				
トライ間隔	1 分				
分割送信サイズ	分割無 👻				
本文(初期値)			*		
				N	
				2	
				v	
			+		

このページでは、以下の設定を行うことができます:

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に [キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル] をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル] ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer
ОК + 7>t/

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

■ プリンタ/ファイリングボックス設定をセットアップする

印刷ジョブおよびファイリングボックスジョブの続行方法について、[セットアップ] メニューの [プリンタ/ファイリン グボックス] サブメニューからセットアップすることができます。

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット] ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

プリンタ/ファイリングボックス設定をセットアップする手順

- **1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します**。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [セットアップ] メニューをクリックし、[プリンタ/ファイリングボックス] サブメニュー をクリックします。

TopAccess	5									<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置		ジョブ	ログ		登録		カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	I	セキュリティ	I.	保守	I.	登録				
	: =Ľ=	<u> 共有フォルダ </u>	<u>こ保管 Eメール</u>	e 128	<u>-ネットファクス</u> :	ブリンタ・ファ	イリングボックス	<u>JUV\$ JUV++-</u>	<u>=2 100707p11v</u>	<u> ブリントデータコンバータ EWB ODCA バージョン</u>
【保存】 キャンセ	ll -						2 ^{کہ}			

プリンタ/ファイリングボックスサブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、プリンタ/ファイリングボックス設定をセットアップします。

TopAccess							<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	1	<u>登録</u>			
セットアップ 一般 <u>ネットワー</u> ク ま 保存 キャンセル	<u>(一 共有フォルタロ(</u>)	<u> 雑首 Eメール インター3</u>	<u>ŀyŀファクス</u> プリ	ンタファイリングボックス	(<u>JUVA </u> JUV I 4 - E	<u>(ス ICCプロファイル ブ</u>	リントデータエンバータ EWB ODCA バージョン
プリンタファイリングボ プリンタファイリングボ 給紙元自動変更	ックス設定 ックスジョブの強制続	行設定					
異方向用紙の許可 ジョブ強制統行(排紙先調	敗定違い)	OFF	· •				
排紙トレイ自動切替(カス) ステイブル針無し時の印 パンチ屑フル時の印刷組	ケード印刷) 刷中断 続	OFF OFF	•				

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.201 「プリンタ/ファイリングボックスジョブの強制続行設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に [キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル] をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル] ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

[管理者] タブ

6	[0	K] をクリックし、	変更を適用します。
		Webページからのメッセージ 💽	

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

■ プリンタ設定をセットアップする

プリンタの動作方法とRaw印刷ジョブに適応するプリンタオプションの設定は、[セットアップ] メニューの [プリンタ] サブメニューでセットアップすることができます。 □ P.237 「Raw印刷ジョブ設定」

プリンタ設定をセットアップする手順

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セットアップ] メニューをクリックし、[プリンタ] サブメニューをクリックします。

opAccess	5						<u>ファイリングボック:</u> ロ <u>グアウ</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	- <u>セキュリティ</u>	1	保守	<u>登録</u>			
セットアップ セットシップ	<u>セキュリティ</u> ? 7 コピー 単有つましめ	「「保管」 Fメール	<u>保守</u> インターネットファクス -	<u>登録</u> カレックロックエングボックス	ゴルンタ ゴルトサービ	7 166プロファイル プ	リントデータインバーター EWBL ODCA しい
 【保存】 【キャンセ			122 10122201 2	<u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	\overline{k}_{2}	A 1002H227176 2	<u>9919 2497 2 two 9904 71</u>

プリンタサブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、プリンタ設定をセットアップします。

装置	ジョブ	ログ	登録		カウンタ	ユーザ管	哩	管理者		
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	1	登録						
セットアッフ	1									
- 般 ネットワー	2 コピー 共有フォルダに	<u>課管 Eメール イン</u> タ	<u>ーネットファクス</u>	ブリンタイファイ	リングボックス	プリンタ <u>プリン</u>	トサービス	<u>ICCプロファイル</u>	ブリントデータコンバータ	R BUB ODCA
保友] キャーオ	711.									
プリンタ設定										
一般設定 ブライベート印刷 明間	、ホールド印刷、お試し印刷、タ	無効な印刷の保持 14	8 -							
LT<>A4/LD <	>A3	有	効 👻							
A4ワイド印刷モー	F(PCL)	無	効 👻							
プリント制限		ta			-					
Raw印刷ジョブI	印刷初期値設定									
Raw印刷ジョブ	_ 両面印刷	無	効 👻							
Raw印刷ジョブ	_ 用紙サイズ	A	•							
Raw印刷ジョブ	_用紙タイプ	普	通紙 ▼							
Raw印刷ジョブ	_用紙向き	級	•							
Raw印刷ジョブ	_ステイブル	0	F 🔹		Ν					
Raw印刷ジョブ	_排紙トレイ	押	紙トレイ ▼		12					

💷 P.202 「一般設定」

```
    □ P.203 「Raw印刷ジョブ印刷初期値設定」
    □ P.204 「RAW印刷ジョブ設定」
```

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に [キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル] をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル] ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

A [OK]	をクリ	ックし、	変更を適用し	します。
------------	-----	-----	------	--------	------

Windows Internet Explorer	х
OK ++>+	

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存] をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

Raw印刷ジョブ設定

最大16個のLPRキューを作成し、キューごとにRaw印刷ジョブ設定を指定することができます。これらのキューは、UNIX コンピュータから印刷する場合など、プリンタドライバを使用せずに印刷する場合に使用します。Raw印刷ジョブでは、 LPRキューの追加、変更、削除を行います。 ♀ P.237 「LPRキューを追加または変更する」

□ P.238 「LPRキューを削除する」

LPRキューを追加または変更する

1 LPRキューを追加する場合は、「追加」をクリックします。 既存のLPRキューの設定を変更する場合は、一覧で設定を変更したいLPRキューのラジオボ タンを選択し、[編集]をクリックします。



新しいLPRキューの追加ページが表示されます。

ダレ

新規LPRキューの追加	
【保存】 キャンセル	
キューネーム	
両面印刷	無効 🔻
用紙サイズ	A4 👻
用紙タイプ	普通紙 ▼
用紙向き	縦 👻
ステイプル	OFF 👻
排紙トレイ	排紙トレイ ▼
PCLフォームライン	12.0
PCLフォントピッチ	10.0
PCLフォントサイズ	12.0
PCLフォント番号	0
PCL政行設定	自動
シンボルセット	Roman-8 -
給紙方法	自動
白紙は印字しない	ON -
ヘッダ印刷モード	OFF -

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.204 「[新規LPRキューの追加] / [編集] 画面」

3 [保存] をクリックします。

キュー名が一覧に追加されます。

LPRキューを削除する

1 一覧で削除したいLPRキューのラジオボタンを選択し、[削除] をクリックします。

iehn)	編集 削問	[余]													
		R													
_		47-	1			14466811	1	1	1				1		
+:	ューネーム	印刷/採サイス	(用紙タイラ	用紙向き	ステイブル	排紙トレ イ	PCLフォームライン	PCL フォントピッチ	PCL フォントサイズ	PCL フォント番号	PCL改行設定	シンボルセット	給紙方法	白紙は印字しない	ヘッダ印刷
00	1	無効 A4	普通紙	縦	OFF	InnerTray	12.0	10.0	12.0	0	自動	Roman-8	自動	ON	OFF

確認ダイアログボックスが表示されます。

2 [OK] をクリックします。

Windows Internet Explorer
Queue1を削除しますか?

選択したLPRキューが削除されます。

■ プリントサービス設定をセットアップする

Raw TCP印刷、LPD印刷、IPP印刷、FTP印刷、NetWare印刷やEメール印刷などの印刷サービス設定は、[セットアップ]メニューの[プリントサービス]サブメニューからセットアップすることができます。

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

プリントサービス設定をセットアップする手順

1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🕮 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [セットアップ] メニューをクリックし、[プリントサービス] サブメニューをクリックします。

TopAccess	5								<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置		ジョブ	ログ		登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	1	セキュリティ	I.	保守	I.	<u>登録</u>			
セット、ブー 一般 ネット 1-2	י 2 ⊒Ľ- טע	<u>- 共有フォルダ</u>	<u>こ保管 Eメール</u>	2 123:	<u>ーネットファクス ブリン</u>	タロァイリングボックス	<u> אירעד</u> אירעד ערדי אירעד	ג <u>וככלםסדיוו</u> ע 2	プリントデータコンバータ EWB ODCA バージョン

プリントサービスサブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、プリントサービス設定をセットアップします。

ΤορΛccess	;						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョ ブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保受	Ê I	登録			
セットアップ <u>歳</u> ネットワーク 保存 キャンセノ	コピー 共有フォルダ レ	<u>に保管 Eメール イン</u>	<u>9-7917707 JUU</u>	<u>タファイリングボックス こ</u>	<u> ガリンタ ブリントサービ:</u>	ג <u>וככלםסדיוע</u> <u>:</u>	ガントデータコンバータ EWB ODCA バージョン
プリントサービス語 Down TCDEREN	定						
Raw TCPED刷使用		有効 👻					
ポート番号		9100					
Raw bi-directional	使用	無効 👻					
LPD印刷							
LPD印刷使用		有効 🗸	7				
ポート番号		515	7				
LPDバナー		OFF 🔻					

このページでは、以下の設定を行うことができます:

- 🛄 P.206 「Raw TCP印刷の設定」
- □ P.206 「LPD印刷の設定」
- □ P.207 [IPP印刷の設定]
- □ P.208 「FTP印刷の設定」
- □ P.208 「NetWare印刷の設定」
- □ P.209 「Eメール印刷の設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に [キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル] をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル] ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer
ОК +721
. 0

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

■ ICCプロファイル設定をセットアップする

プリンタ機能で使用するプロファイルの設定は、[セットアップ]メニューの [ICCプロファイル] サブメニューからセットアップすることができます。

補足

この機能は対象機種のみ使用できます。

□ P.242 「ソースプロファイルの設定」

ICCプロファイル設定をセットアップする手順

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [セットアップ] メニューをクリックし、[ICCプロファイル] サブメニューをクリックします。

TopAccess	5						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	1 6	进 1	<u>登録</u>			
セット シブ 二般 シップ 2	・ ! コビー 共有フォルタ	15保管 <u>Eメール 1</u>	ンターネットファクス ブリン	タファイリングボックス	ブリンタ ブリントサービス	_ ICCプロファイル ヹ N	リントデータコンバータ EWB <u>ODCA パージョン</u>
保存 キャンセ	ル 出荷時状態	戻す				1 ² 2	

ICCプロファイルサブメニューページが表示されます。

4 必要に応じて、ICCプロファイル設定をセットアップします。

延辺 リタブ 日グ 取扱 カウンタ ユーザ菜種 管理者 セットアップ 三日、日本リーンゴ 国子 夏速 ビットアップ	opAccess							<u>ファイリングボッ</u> ログァ
セットアップ 住田 熟述 セットアップ	装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ 記 ネットワーン エニ 共有フォルダに経営 Eメール インターネットファンス ブリンダファイリングボックス ブリンタ ブリンオ サーンス KC プロファイル ブリンドデータコンバータ EWB ODCA バー 探子 プロファイル 出荷時状態に戻す プロファイル BourceRGB_v10 ・ 探子 CMMYO-スプロファイル アフォルトプロファイル SourceRMYK_v10 ・ 探子 プリンタブロファイル アフォルトプロファイル アフォルトプロファイル SourceRMYK_v10 ・ 探子 レンタリングインテン+ ショ類的 ● 利用作的 ● 利用的 ● 利用的 ● 利用的	セットアップ	セキュリティ	保守	I.	登録			
(麻存 キャンセル 生荷時状態に戻す プロファイル RGBソーズプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル ・ (原子) レンタリングインデント ・ 3000000000000000000000000000000000000	セットアップ <u>一般</u> <u>ネットワーク</u> ⊒	ビー 共有フォルダ	に保管 Eメール イン	<u>ネーネットファクス ブリン</u>	<u>ゆワァイリングボックス :</u>	<u> ガリンタ ブリントサ</u>	<u>ービス ICCプロファイル ゴ</u>	リントデータコンパータ EWB ODCA バージ
プロァイル SourceRGB_Y0 SourceRGB_Y0 デフォルトブロファイル SourceCMYK_y10 プフォルトブロファイル SourceCMYK_y10 プフォルトブロファイル SourceCMYK_y10 プフォルトブロファイル SourceCMYK_y10 プフォルトブロファイル SourceCMYK_y10 プフォルトブロファイル OutputCMYK_y10 デフォルトブロファイル SourceCMYK_y10 デフォルトブロファイル OutputCMYK_y10 デフォルトブロファイル SourceCMYK_y10 デクホート SourceCMYK デクホート SourceCMYK デクホート SourceCMYK デクホート SourceCMYK デクホート SourceCMYK デクホート SourceCMYK <td>保存 キャンセル</td> <td>出荷時状態に</td> <td>戻す</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	保存 キャンセル	出荷時状態に	戻す					
デフォルトプロファイル SourceRGB_v10 ・ CMKY-スプロファイル SourceCMYK_v10 ・ デフォルトプロファイル SourceCMYK_v10 ・ プリングプロファイル OutputCMYK_v10 ・ デフォルトプロファイル OutputCMYK_v10 ・ デフォルトプロファイル SourceCMYK_v10 ・ デフォルトプロファイル OutputCMYK_v10 ・ デフォルトプロファイル SourceCMYK_v10 ・ デフォートプロファイル SourceCMYK_v10 ・ デフォートプロレー SourceCMYK_v10 ・ デフォートプロレー SourceCMYK ・ SourceCMYK SourceCMYK ・ SourceCMYK SourceCMYK ・ SourceCMYK ・ SourceCMYK ・ </td <td>プロファイル設定 RGBソースプロファイル</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	プロファイル設定 RGBソースプロファイル	2						
CMMKY-スプロファイル SourceCMYK_v10・ 原守 SourceCMYK_v10・ プリンタブロファイル OutputCMYK_v10・ 原守 デフォルトブロファイル OutputCMYK_v10・ 原守 ジリンダブロアケイル OutputCMYK_v10・ 原守 ジリンダブレデン・ ・ 知知時) ● 利田時う ● 利田 ● 利田	デフォルトブロファイル				SourceRGB_v 保守	10 🔻		
デフォルトプロファイル アプラオルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル デフォルトプロファイル ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	CMYKソースプロファイ	Ĩŀ						
ブリンタブロファイル デフォルトプロファイル 「保守 レンダリングインテント ● 知覚的) ● 相対的 ● 彩痕	デフォルトプロファイル				SourceCMYK 保守	<u>v10</u> •		
デフォルトプロファイル	ブリンタブロファイル							
● 知知能的 ● 相對的 ● 非度	デフォルトプロファイル				OutputCMYK_ 保守 レンダリングイン	y10 ▼		
					 ○ 知覚的 ● 相対的 ● 彩度 	Z		
◎ 絶力的つ					◎ 絶対的			

このページでは、以下の設定を行うことができます:

□ P.210 「RGBソースプロファイルの設定」

□ P.210 「CMYKソースプロファイルの設定」

□ P.211 「プリンタプロファイルの設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]は、設定を保存する前に、変更した設定をクリアしてすべてを現在の設定状態に戻したい場合にクリックします。
 [出荷状態に戻す]をクリックすると、工場出荷時の設定に戻すことができます。

6 [OK] をクリックし、変更を適用します。

Windows Internet Explorer

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

□ ソースプロファイルの設定

□ P.242 「プロファイルをインポートする」
 □ P.243 「プロファイルをエクスポートする」
 □ P.245 「プロファイルを削除する」

プロファイルをインポートする

1 インポートしたいプロファイル設定の[保守]をクリックします。

TopAccess						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置 ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ セキュリティ	保守	I.	<u>登録</u>			
セットアップ 一般 <u>ネットワーク</u> コビー 共有フォルダ	ご保管 Eメール インタ	<u>ーネットファクス ブリン</u>	ッタロァイリングボックス. :	<u>ガリンタ プリントサービス</u>	_ ICCプロファイル <u>プ</u>	リントデータコンバータ EWB ODCA バージョン
保存(キャンセル) 出荷時状態に	戻す					
プロファイル設定						
RGBソースプロファイル						
デフォルトプロファイル			SourceRGB_v	0 -		
CMYKソースプロファイル			12			
デフォルトブロファイル			SourceCMYK_ 保守	v10 •		
プリンタプロファイル			M3			
デフォルトプロファイル			OutputCMYK_ 保守 レン・レックイン: の知覚的 ● 相対的 ● 彩度 ● 絶対的	710 ▼ F≥}		

選択したプロファイルの保守ページが表示されます。

2 [プロファイルのインポート]の[参照]をクリックして、プロファイルのファイルを選択し、[インポート]をクリックします。

大の			
	プロファイル名	ファイル名	
デフォルトブロファイ	ル SourceRGB_v10	ADV_SourceRGB_A00.icc	
現在のプロファイル	L .	ht 1 ht 2	
削除 エクスポ			
削除 エクスボ・ プロファイル:	2	ファイル名	

プロファイルのインポートを開始します。

3 プロファイルがインポートされます。[戻る] をクリックしてプロファイルの保守ページを 閉じます。

	<u>}</u>	1-10-1-21-2	17-21.2	
デフ	オルトプロファイル	SourceRGB v10	ADV SourceRGB ADD icc	
現花	Eのプロファイル キン・エクフポート	3		
現在	Eのプロファイル 余 エクスポート プロファイル名		177-111/26	
現花削除	Eのプロファイル 余 エクスポート プロファイル名 SourceRGB_v10		 ファイル名 ADY_SourceRGB_A00.icc	

[現在のプロファイル] のリストにインポートしたプロファイルが追加されます。

プロファイルをエクスポートする

1 エクスポートしたいプロファイル設定の [保守] をクリックします。

							<u>ログフ</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	I.	<u>登録</u>			
セットアップ <u>一般</u> <u>ネットワーク</u>	コピー 共有フォルダに(<u> 箬 Eメール インタ</u>	<u>ニネットファクス ブリン</u>	<u>ッタロァイリングボックス </u>	ブリンタ ブリントサービス	ICCプロファイル <u>プ</u>	リントデータコンバータ EWB ODCA バーシ
【保存】 キャンセノ	し 出荷時状態に戻	.च					
プロファイル設定							
RGBソースプロファ	·1ル						
デフォルトプロファイ	ιŀ			SourceRGB_v	10 🔻		
CMYKソースプロフ	ァイル			N			
デフォルトプロファイ	ιŀ			SourceCMYK 保守	_v10 •		
ブリンタブロファイル	ŀ			7			
デフォルトプロファイ	μ			OutputCMYK 保守 レン・グライン の知覚的 の相対的 の彩度	v10 ▼ テント		

選択したプロファイルの保守ページが表示されます。

2 [現在のプロファイル] のリストでプロファイルを選択し、[エクスポート] をクリックしま す。

	ブロファイル名	ファイル名	
デフォルトブロファイル	SourceRGB_v10	ADV_SourceRGB_A00.icc	
200 (1 m (2 H	1		
フロファイルのインボー	-1-		
ファイル名		「泰昭」「インボート」	
現在のプロファイル			
ブロファイル	_	ファイル名	

エクスポート画面が表示されます。

注意

工場出荷時に登録されているプロファイルをエクスポートすることはできません。

3 エクスポートするプロファイルのファイル名のリンクを右クリックし、「対象をファイルに 保存」を選択します。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

4 保存先を指定し、[保存]を選択します。

名前を付けて保存						×
	efault	 Document 	s	- - - + - − +	検索	Q
- ● 整理 - Ⅲ 表:	<u>к</u> •	📑 新しいフォ	พร			0
お気に入りリンク		名前	更新日時	種類	サイズ	
ドキュメント			Z	のフォルダは空	೯೮೩	
1 最近表示した場所	f					
🔳 デスクトップ						
🚇 コンピュータ						
📔 ピクチャ						
詳細 >>						
フォルダ	^					
ファイル名(N):	Profi	le1.icc				•
ファイルの種類(T):	ICC :	プロファイル				•
 フォルダの非表表 	7				(保存(S)	*>セル

5 [閉じる] をクリックしてエクスポートページを閉じます。

閉じる		
エクス ト ファイル名	Sample.icc	

6 [戻る] をクリックしてプロファイルの保守ページを閉じます。

	プロファイル名	ファイル名	
デファ	オルトプロファイル SourceRGB_v10	ADV_SourceRGB_A00.icc	
プロ	ロァイルのインボート		
ファ・	イル名	「参照」「インボート」	
		Brank	
		1917	
現右	モのプロファイル		
現石	εのプロファイル 余 エクスポート		
現石	Eのプロファイル 条 エクスポート プロファイル名	(1977) [ファイル名	
現右 削除	Eのプロファイル 条 エクスポート プロファイル名 SourceRCB_V10	「RETATION LIFE TO A CONTROL OF A CONTROL OF A CONTROL OF A CONTROL A CONTR	

プロファイルを削除する

1

δpAccess							<u>ファイリングボ</u> ログ
装置	ジョブ	ログ	登禄	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	I.	<u>登録</u>			
セットアップ							
<u>一般</u> <u>ネットワーク</u>	コピー 共有フォルダに	<u>保管 Eメール インタ</u>	ニネットファクス ブリング	2ファイリングボックス :	ブリンタ ブリントサービス	にCプロファイル <u>プリ</u>	<u>ントデータコンバータ EWB ODCA バー:</u>
【保存】 キャンセル	レーニーと荷時状態に調	हर					
ゴロコッズル語文							
RGBソースプロファ	イル						
デフォルトプロファイ	ц.			Paurae DCP	10 -		
) フォルビンロンアイ	NV			SourceRGB_V 保守	iu 👻		
CMYKソースプロフ	アイル			N			
デフォルトブロファイ	JI.			SourceCMYK	v10 💌		
				保守			
				5			
フリンタフロファイ。	L .			. 0			
デフォルトブロファイ	ν			OutputCMYK_	v10 👻		
				保守			
				UN BON	テント		
				◎ 知覚的			
				 相対的 			
				◎ 彩度			

選択したプロファイルの保守ページが表示されます。

2 [現在のプロファイル] のリストでプロファイルを選択し、[削除] をクリックします。

	JUJ/1/1/46	ファイル名	
デフォルトプロファイル	SourceRGB_v10	ADV_SourceRGB_A00.icc	
ブロファイルのインボ	~ F		
ファイル名		参照 インポート	
またのゴロコッイル			
現住のフロファイル 剤B会 エクスポート			
BIRE エノムハード		1 7 m	
マーイル名		リアイル名	
 ○ 238_v10 		ADV_SourceRGB_A00.icc	

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

注意

工場出荷時に登録されているプロファイルを、削除することはできません。

[管理者] タブ





プロファイルが削除されます。



戻る			
	プロファイル名	ファイル名	
『フォ	ルトプロファイル SourceRGB_v10	ADV_SourceRGB_A00.icc	
ファイ	1ル名	*照 インボート	
ファイ	ル名 のプロファイル		
ファイ 現在 削防	ル名 のブロファイル エクスポート		
ファイ 現在 削防	ルる のブロファイル ミュニクスポート ブロファイル名	(老照) 1ンボート ファイル名	
ファイ 現在 削防	ル名 のプロファイル エクスポート プロファイル名 SourceRGB_V10	そ死 インボート ファイル名 ADV_SourceRGB_A00.icc	

現在のプロファイルのリストからプロファイルが削除されます。

■ プリントデータコンバータ設定をセットアップする

プリントデータコンバータについては、サービスエンジニアにお問い合わせください。 プリントデータコンバータ設定は、[セットアップ] メニューの [プリントデータコンバータ] サブメニューからセット アップすることができます。

注意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

プリントデータコンバータ設定をセットアップする手順

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [セットアップ] メニューをクリックし、[プリントデータコンバータ] サブメニューをク リックします。

TopAccess	;						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
	セキュリティ	保守	1 2	<u>2録</u>			
セット プ ー娘 ネット 】 保存】 キャンセ	: コピニ 共有フォルダ ル	に保管 Eメール <u>イン</u> タ	<u>マーネットファクス ブリン</u>	タワァイリングボックス	<u> ブリンタ ブリントサービン</u>	<u>3 ICCプロファイル ブ</u>	<u>リントデータコンパータ EWB ODCA パージョン</u>

プリントデータコンバータサブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、プリントデータコンバータ設定をセットアップします。

TopAccess	1						<u>ファイリングボックス</u> ロ <u>グアウト</u>
装置	ジョブ	D5	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	I. I.	<u>登録</u>			
セットアップ <u>一般</u> <u>ネットワーク</u> 【保存】 キャンセ	<u>コピー</u> <u>共有フォルダに</u> レ	課管 Eメール インター3	<u>トットファクス ゴリン:</u>	タ <u>ロァイリングボックス コ</u>	<u>リンタ プリントサービス</u>	<u> וואינסלט </u> ל <u>וואינס</u> ל <u>ו</u>	リントデータコンバータ EWB ODOA パージョン
プリントデータコン プリントデータコン	バータ設定 ^{バータ} 無効 ▼						
新規コンバータイ	レポート						
ファイル名		参照	こ				
現在のコンバータ							
削除 アクスオ ファイル名		ファイルサイズ	日付		\longrightarrow		

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.212 「プリントデータコンバータ設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に[キャンセル]をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル]をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル]ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。

6	[0]	K]	をクリック	さし、	変更を適用します。
		Web	ページからのメッセージ	?	

キャンセル

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

■ 内蔵ブラウザ機能を設定する

操作パネル上にWebページを表示させる「EWB (Embedded Web Browser)機能」の設定は、[セットアップ] メニューの [EWB] サブメニューからセットアップすることができます。

注意

EWB(Embedded Web Browser)機能を使用するには、オプションの外部連携オプション(GS-1020)が必要です。

□ P.248 「サーバーを登録する」

□ P.249 「サーバーを削除する」

🗌 サーバーを登録する

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セットアップ] メニューをクリックし、[EWB] サブメニューをクリックします。



EWBサブメニューページが表示されます。

4 EWB機能でサーバーを登録する場合は、サーバーのアドレスを入力し、[追加] をクリックします。

追加	
る言葉	
	サーバアドレス

サーバーが登録されます。

同じ手順を繰り返し、複数のサーバーを登録することができます。

5 [EWB] サブメニューのページで [保存] をクリックします。

□ サーバーを削除する

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セットアップ] メニューをクリックし、[EWB] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;								<u>ファイリングボックス</u> ロ <u>グアウト</u>
装置		ジョブ	ログ		登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	I.	セキュリティ	I.	保守	I.	登録			
セット デップ 一般 ネット 1-2	=Ľ-	- 共有フォルダ	こ保管 <u>Eメール</u>	1/2/20	<u>ーネットファクス プリン:</u>	シファイリングボックス	ブリンタ ブリントサービス	_ <u>ICCプロファイル</u> <u>オ</u>	<u>リントデータコンバータ EWB ODCA バージョン</u>
保存 キャンセ	ll -								ئ ر 2

EWBサブメニューページが表示されます。

4 EWB機能でサーバーを削除する場合は、削除するサーバーを選択し、[削除] をクリックします。

ーバ登録設定		
<u>ho</u>		
2	サーバアドレス	
10		

5 [OK] をクリックします。

Windows Internet Explorer	×
ОК Така	zil

サーバーが削除されます。

6 [EWB] サブメニューのページで [保存] をクリックします。

[管理者] タブ

■ Off Device Customization Architecture設定をセットアップする

ODCA (Off Device Customization Architecture) については、サービスエンジニアにお問い合わせください。 ODCA (Off Device Customization Architecture) 設定は、[セットアップ] メニューの [ODCA] サブメニューから セットアップすることができます。

注 意

設定を変更しても、設定した内容がすぐに本体タッチパネルに反映されないことがあります。設定を変更した場合は、 操作パネルの[リセット]ボタンを押すか、オートクリアされると反映されます。

Off Device Customization Architecture設定をセットアップする手順

- **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **?** [セットアップ] メニューをクリックし、[ODCA] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;								ファイリングボックス ログァウト
装置		ジョブ	D 5	i	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	T	セキュリティ	I.	保守	I.	<u>登録</u>			
セット プ 一般 ネットワーク	:l⊒Ľ:	- 共有フォルダ	IC保管 EX-	<u></u>	<u>ネットファクス ブリン</u>	ノタロァイリングボックス_	ブリンタ ブリントサービス	<u> 100プロファイル プ</u>	リントデータコンバータ EWB ODCA バージョン
保存 キャンセ	l								2

ODCAサブメニューページが表示されます。

▲ 必要に応じて、Off Device Customization Architecture設定をセットアップします。

TopAccess	1						<u>ファイリングボックス</u> <u>ログアウト</u>
装置	¥∋ಶ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	1	<u>登録</u>			
セットアップ							
一般 ネットワーク	コピー 共有フォルダ	ご保管 Eメール インタ	ハーネットファクス ブリン	タファイリングボックス	ブリンタ ブリントサービス	<u>ICCプロファイル</u> <u>ブ</u>	<u> リントデータコンバータ EWB ODCA バージョン</u>
保存」キャンセ	V						
Off Device Custo	nization Architecture設	定					
ネットワーク							
ポートの使用		有効 🔻					
ポート番号		49629					
SSLポートの使用		無効 👻					
SSLポート番号		49630					
環境設定					4		
セッションタイムアリ	가 (60-99999)	90 ¥	,		N		

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.215 「ネットワーク」 □ P.215 「環境設定」

5 [保存] をクリックします。

保存の確認ダイアログボックスが表示されます。

補足

設定を保存する前に [キャンセル] をクリックすると、設定を保存せずに現在の設定状態に戻します。[キャ ンセル] をクリックしても、工場出荷時の設定に戻すことはできません。[キャンセル] ボタンは、設定を保 存する前に、変更した設定をクリアしてすべて現在の設定状態に戻したい場合に、クリックします。
6	[0]	K] をクリックし、	変更を適用します。
		Webページからのメッセージ	

注意

Internet Explorerをお使いの場合、[保存]をクリックして設定の変更を保存した後も、画面上に表示された設定の値が更新されないことがありますが、設定は正常に適用されています。この場合、サブメニューをクリックして画面を 更新すると、現在の設定状態で各項目の値が表示されます。

■ バージョン情報を表示する

本機システムウェアのバージョン情報は、[セットアップ]メニューの[バージョン]サブメニューから確認することが できます。

バージョン情報を表示する手順

- **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セットアップ] メニューをクリックし、[バージョン] サブメニューをクリックします。

TopAccess	5						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	D9	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	I.	<u>登録</u>			
セットシップ 二度 ネット・1	? 2 <u>コピー</u> 共有フォルダI	<u>に保管 Eメール インタ</u>	<u>ーネットファクス プリン:</u>	タファイリングボックス :	<u> プリンタ プリントサービス</u>	<u>R ICCプロファイル ブリ</u>	リントデータコンパータ EWB ODCA バージョン

バージョンサブメニューページが表示されます。

▲ バージョンサブメニューページでは本機のバージョン情報を確認することができます。

TopAccess	1						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
	セキュリティ	保守	I.	登録			
セットアップ 一般 ネットワーク	コピー 共有フォルダ	こ保管 Eメール インタ	<u>マーネットファクス プリン</u>	タファイリングボックス :	<u>プリンタ プリントサービス</u>	<u>נן ווריידם און ווייד</u>	<u>リントデータコンバータ EWB ODCA バージョン</u>
バージョン情報							
ブリンタメーカ			TOSHIBA				
ファームウェアバー	-9=0		T130SY0W003				
メインROMパージ スキャンROMパー	ョノ ・ジョン		130M-014 130S-01				

[セキュリティ] 項目説明一覧

補足

[セキュリティ] メニューは [管理者] タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがア クセスできます。 アクセス方法は、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」

□ P.252 「認証」
 □ P.260 「証明書管理」
 □ P.264 「パスワードポリシー」

認証

お使いの機器の認証機能を利用して、それぞれの操作を制限することができます。

補足

[認証] サブメニューは、[管理者] タブの [セキュリティ] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[セキュリティ] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.252 「[セキュリティ] 項目説明一覧」

- □ P.253 「部門管理設定」
- □ P.254 「ユーザー認証設定」
- □ P.256 [Eメール認証]
- □ P.258 「Eメールアドレス設定」
- □ P.258 「シングルサインオン設定」
- □ P.259 「ホームディレクトリ設定」

□ 部門管理設定

部門ごとにカウンタを管理したい場合は、部門管理を有効に設定します。部門管理を有効にすると、コンピュータからの 印刷操作、操作パネルからコピーやスキャン、ファクスおよびインターネットファクス送信、ファイリングボックスの操 作などを行うときに部門コードの入力画面を表示し、お使いの機器の操作を部門ごとに管理することができます。

注意

以下のアプリケーションは、部門管理設定に関係なく、お使いの機器にアクセスすることができます。

- AddressBook Viewer
- Backup/Restore Utility
- TWAINドライバ
- ファイルダウンローダ

認証 証明書管理 パスワードポリシ	_
asar arvierent vixy 1009	-
保存 キャンセル	
部門管理語定	
部門コード	無効 ▼
部門コードなし印刷ジョブ	不正ジョブリストに入れる 👻
	有効 🔻
部門管理(ファクス)	有効 👻
	有効 ▼
	有効▼
部門管理(スキャン)	

	項目名	機能説明
1	部門コード	部門管理設定を有効にするかしないかを設定します。初期値は「無効」に設定されています。
2	部門コードなし印刷ジョブ	 部門コードが有効に設定されている場合に、部門コードが設定されていない印刷ジョブまたは不正な部門コードが設定されている印刷ジョブを印刷するかしないかを設定します。 <u>不正ジョブリストに入れる</u>:認証に失敗した印刷ジョブを、不正ジョブリストに登録します。 印刷:部門コードが間違っていても印刷します。 削除:部門コードが間違っていた場合は、印刷ジョブを削除します。
	補足	
	部門コード強制を[ON]に設定 部門コードを入力すると、正しい	し、プリンタドライバで双方向通信が有効になっている場合は、プリンタドライバで不正な い部門コードを入力するようメッセージが表示されるようになります。
3	部門管理(コピー)	この機能を有効に設定すると、以下のカウンタを部門ごとに管理します。 - コピー枚数 - コピー操作時に読み取った原稿枚数 初期値は「有効」に設定されています。
4	部門管理(ファクス)	この機能を有効に設定すると、以下のカウンタを部門ごとに管理します。 - 送信したファクス枚数 - ファクスを送信する際に読み取った原稿枚数 - 受信したファクス枚数 - 受信したファクスの印刷枚数 [*] 初期値は「有効」に設定されています。
5	部門管理(プリント)	この機能を有効に設定すると、プリント/Eメール受信/インターネットファクス受信の印刷 枚数を、部門ごとに管理します。 初期値は「有効」に設定されています。
6	部門管理(スキャン)	この機能を有効に設定すると、共有フォルダに保管などのスキャン操作時に読み取った原 稿枚数を、部門ごとに管理します。 初期値は「有効」に設定されています。
7	部門管理(リスト)	この機能を有効に設定すると、リストの印刷枚数を部門ごとに管理します。 初期値は「有効」に設定されています。

* 手動受信やポーリング受信、本機の親展や掲示板などに登録されている原稿の印刷など、部門コードの入力が必要なファクス受信の印刷の みがカウントされます。

🗌 ユーザー認証設定

お使いの機器にアクセスするユーザの認証について設定できます。

ユーザ 22000 ユーザ 22000 ユーザ 22000	無効 ▼ 削除 ▼
□ ログインによりジョブを自動リリースする □ グストユーザを有効にする	有效 ~

	項目名	機能説明
1	ユーザ認証	ユーザ認証を有効にするかしないかを設定します。初期値は[無効]に設定されています。
	注意	
		「「」」思想「」を思するとナルノ
	 ユーリ認証を有効にすると ユーザ認証を有効にすると 	Eメール認証」は設定じるません。 ゴラック無制限機能を利用できなくなります。ゴラック無制限機能の詳細については、 設 定
	・ ユーリ認証を有効にすると、 管理ガイド を参照してくださ	ノノツノ無制政機能を利用できなくなりより。ノノツノ無制政機能の計幅については、 設た ***
2		ここ。
2	認証大奴时の印刷ション/RdW ロ 刷ジョブ	ユーリ認証に大敗した印刷ショブを印刷するかしないかを改走します。 • ホールド印刷 ・ホールド印刷ジョブに啓録します。
		• 削除:認証に失敗した印刷ジョブを削除します。
2	ログインに上口ジョブを白動日	プライベート印刷パップとホールド印刷パップを、ログインのときに加理するか設定しま
3	リースする	フライベーロルリフョンとか、ルドロルリフョンを、ロシインのとさに処理するか改定します。
		• 無効 :ログインしても印刷しません。
		• 有効 :ログインした段階で印刷します。
4	ゲストユーザを有効にする	ゲストユーザの操作を有効にします。
5	認証種別	認証方法を選択します。
		• <u>内部認証</u> :
		ネットワークユーザを管理するシステムがない環境では、お使いの機器の内部認証を
		使って管理することができます。
		内部認証を有効にした場合、ユーサはお使いの機器に登録されているユーザ名およびハ スロードを1カオスと、撮作パネルから撮作を行うことができます。
		 Windowsドメイン認証:
		ネットワークユーザをWindowsドメインで管理しているネットワークでは、Windows
		ドメイン認証を使って管理することができます。
		Windowsドメイン認証を有効にした場合、ユーザはWindowsドメインに登録されてい
		るユーザ名およびパスワードを入力すると、操作パネルから操作を行うことができま
		9。 〇〇日 255 「Mindowalty イン通知王」
		ネットワークユーザをIDAPで管理しているネットワークでは IDAP認証を使って管
		理することができます。LDAP認証を有効にした場合、ユーザはLDAPサーバーに登録
		されているユーザ名およびパスワードを入力すると、操作パネルから操作を行うことが
		できます。
		🕮 P.256 「LDAP認証」

Windowsドメイン認証

		LeXAC	- AL	
	ユーウにお話		1月 X刀 ▼	
	認証失敗時の日	印刷ジョブ/Raw印刷ジョブ	削防余 ▼	
	ログインによりシ	フョブを自動リリースする	有効 💌	
	□ ゲストユー 認証種別	ザを有効にする	WindowsFメイン認証 ・	
	NTドメイン	サーバを使用		
	ドメイン1			
	ドメイン名	dept01		
	PDC			
	BDC			
	ドメイン2			
	ドメイン名	dept02		
	PDC			
	BDC			
	ドメイン3			
	ドメイン名	dept03		
	PDC			
	BDC			
. —	接続タイムアリ	<u>۲</u>		
	PDC(1-180)		60 秒	
	*接続タイムアウ	ント時間を反映するためには、再 載	起動が必要となります。	
	ロールベース	アクセス設定		
	LDAPサーバー	を使用したロールベースアクセス	ス 無効 -	
	LDAPサーバー		•	

	項目名	機能説明
1	NTドメインサーバを使用	NTドメインコントローラを使用してドメインを管理している場合はチェックします。
2	ドメイン1	Windowsドメイン認証に利用するドメインを設定します。 ドメイン名:ドメイン名を入力します。 PDC:プライマリドメインコントローラ(PDC)のサーバー名またはIPアドレスを入力し ます。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。 BDC:バックアップドメインコントローラ(BDC)のサーバー名またはIPアドレスを入力 します。半角英数字と記号で128文字まで入力できます。
	/エー忌 プライマリドメインコントロー 内のプライマリドメインコント タッチパネルのユーザ認証画面	ラおよびバックアップドメインコントローラに誤った設定を行うと、Windowsネットワーク ローラおよびバックアップドメインコントローラを2~4分程度検索するとともに、検索中は の[OK]が反転したままになります。
3	ドメイン2	複数のドメインを登録する場合に設定します。
4	ドメイン3	設定内容は、「ドメイン1」と同じです。
5	接続タイムアウト	PDCおよびBDCのサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力します。1~180秒の範囲で設定します。
6	ロールベースアクセス設定	LDAPサーバーを使用したロールベースアクセスを設定します。 LDAPサーバーを使用したロールベースアクセス :ロールベースアクセスの有効/無効を選 択します。初期値は[無効]に設定されています。 LDAPサーバー :ロールベースアクセスを管理するLDAPサーバーを選択します。

LDAP認証

Г

	ユーザ認証	有効 🔻
	認証失敗時の印刷ジョブ/Raw印刷ジョブ	前16余 👻
	ログインによりジョブを自動リリースする	有効 👻
	□ ゲストユーザを有効にする	
	認証種別	LDAP 認語 -
	● Windowsサー)「 ● その他のLDAPサー)「 居性名(ユーザ名)	
2 —	ロールペースアクセス設定	
	LDAPサーバーを使用したロールベースアクセス	無効 🔻
	1 DAPTT-JJ-	*

	項目名	機能説明
1	LDAPサーバー	LDAP認証に利用するLDAPサーバーを選択します。 <u>Windowsサーバ</u> : Windowsサーバーを使用してLDAPを設定している場合に選択します。 その他のLDAPサーバ: Windowsサーバー以外のOSを使ってLDAPを設定している場合に 選択します。Windowsサーバー以外のOSを使っている場合は、LDAPに登録されたユーザ 名の属性名を入力します。
2	ロールベースアクセス設定	LDAPサーバーを使用したロールベースアクセスを設定します。 LDAPサーバーを使用したロールベースアクセス:ロールペースアクセスの有効/無効を選 択します。初期値は[無効]に設定されています。 LDAPサーバー:ロールペースアクセスを管理するLDAPサーバーを選択します。

□ Eメール認証

Eメール認証を有効にすると、スキャン画面からEメール送信を行う際に、ユーザはユーザ名とパスワードの入力が必要 になります。

Eメール22語 Eメール22語	無効 🗸	
--------------------	------	--

	項目名	機能説明
1	Eメール認証	 Eメール認証を有効にするかしないかを設定します。 SMTP: お使いの機器のSMTP認証を使って管理することができます。 SMTP認証を有効にした場合、ユーザはSMTPサーバーに登録されているユーザ名およ びパスワードを入力すると、操作パネルからEメール送信操作を行うことができます。 P.257「SMTP」 LDAP: ネットワークユーザをLDAPで管理しているネットワークでは、LDAP認証を使って管 理することができます。 LDAP認証を有効にした場合、ユーザはLDAPサーバーに登録されているユーザ名およ びパスワードを入力すると、操作パネルからEメール送信操作を行うことができます。 P.257「LDAP」
	<mark>注 意</mark> Eメール認証を行う場合は、「Eメ 踊 P.258 「Eメールアドレス設況	(-ルアドレス設定」を行う必要があります。 E」

SMTP

Γ		
	Eメール認証	
	E-J = 1.IDEL	
		図 1 ノジーネット ノデジス禁止
<u> </u>		
	1917	Plain -
1	8-6-8 L	Fiaili

	項目名	機能説明
1	インターネットファクス禁止	インターネットファクス送信を許可したくない場合にチェックをオンにします。 すべてのユーザはインターネットファクス送信を操作することができなくなります。
2	SMTPサーバーアドレス	Eメール認証に利用するSMTPサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。
3	認証	 認証方式を選択します。 Plain: Plain認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 Login: Login認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 CRAM-MD5: CRAM-MD5認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 Digest-MD5: Digest-MD5認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 Kerberos: Kerberos認証を使用してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。 NTLM (IWA): NTLM (IWA) 認証を使用して SMTP サーバーに接続する場合に選択します。 自動: 自動で認証を識別してSMTPサーバーに接続する場合に選択します。

LDAP

Eメール認証	
モメール認証	□ インターネットファクス禁止
10100	
LUAPTENE	v
属性タ(フーザタ)	

	項目名	機能説明
1	インターネットファクス禁止	インターネットファクス送信を許可したくない場合にチェックをオンにします。 すべてのユーザはインターネットファクス送信を操作することができなくなります。
2	LDAPサーバー	LDAP認証に利用するLDAPサーバーを選択します。
3	その他のLDAPサーバー	Windowsサーバー以外のOSを使ってLDAPを設定している場合に選択します。 Windowsサーバー以外のOSを使っている場合は、LDAPに登録されたユーザ名の属性名を 入力します。

Eメールアドレス設定

Eメール認証が有効な場合に、Eメールアドレスの設定を行います。

Eメールアドレス設定	
1 送信者アドレス設定	Eメール設定の送信者アドレス ▼
	送信者アドレス:
	Eメール送信時に送信者アドレスの変更を禁止します
2 ——— 送信者名	□ 送信者名は送信者アドレスのアカウント名+Eメール設定の送信者名になります
3 —— Eメール宛先制限設定	有効 🔻

	項目名	機能説明
1	送信者アドレス設定	送信者アドレスを設定します。 Eメール設定の送信者名 : Eメール設定で指定した送信者アドレスを設定します。 ユーザー名+@+メールドメイン名 : 送信者アドレスを、「ユーザ名+@+メールドメイン名」の形式で設定します。 「ユーザ名」には、認証時にタッチパネルで入力したユーザ名が使用されます。「メールド メイン名」には、[ドメイン名] ボックスで設定したドメイン名が使用されます。 これを選択した場合は、[ドメイン名] ボックスを入力します。 LDAPのユーザ名 : LDAPアドレスから検索した送信者アドレスを設定します。 指定したLDAPサーパーの[属性名(ユーザ名)]で指定したスキーマから認証時にタッチ パネルで入力したユーザ名を検索します。 入力したユーザ名が指定したスキーマから見つかった場合は、そのユーザ名に登録されて いるEメールアドレスを送信者アドレスとして設定します。 入力したユーザ名が指定したスキーマから見つからなかった場合は、送信者アドレスを、 「ユーザ名+@+メールドメイン名」の形式で設定します。 Eメール送信時に送信者アドレスの変更を許 可しない場合は、このチェックボックス をオンにします。
2	送信者名	Eメール送信時の送信者名を、「アカウント名+スペース+Eメール設定の送信者名」の形式 で設定する場合は、このチェックボックスをオンにします。
3	Eメール宛先制限設定	Eメールの宛先編集を制限します。

□ シングルサインオン設定

Eメール認証を行う場合、スキャン画面からEメール送信を行う際に、ユーザはユーザ名とパスワードの入力が必要となりますが、シングルサインオン設定を有効にすることにより、この操作が不要となります。

	項目名	機能説明
1	シングルサインオン	シングルサインオンを有効にするかしないかを設定します。初期値は[有効]に設定されています。

🗌 ホームディレクトリ設定

ホームディレクトリ設定が有効な場合に、ホームディレクトリの設定を行います。

 ホームディレクトリ設定

 ホームディレクトリサーバー

 第二 ホームディレクトリサーバー

 (LDAP server01 *)

 ③ ユーザ認証のサーバーを使用する

 ③ ユーザ認証のサーバーを使用する(カード認証時は指定サーバーを使用する)

 ● 指定サーバーを使用する

	項目名	機能説明
1	ホームディレクトリ	ホームディレクトリを有効にするかしないかを設定します。
2	ホームディレクトリサーバー	 ホームディレクトリサーバーを設定します。 ユーザ認証のサーバーを使用する: ユーザー認証で指定しているサーバーをホームディレクトリサーバーとして設定します。 ユーザ認証のサーバーを使用する(カード認証時は指定サーバーを使用する): ユーザー認証で指定しているサーバーをホームディレクトリサーバーとして設定します。ただし、カード認証する場合は、指定されているサーバーをホームディレクトリサーバーとして設定します。 指定サーバーを使用する: ホームディレクトリサーバーを指定します。

■ 証明書管理

デバイス証明、クライアント証明などの管理ができます。

補足

[証明書管理] サブメニューは、[管理者] タブの [セキュリティ] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[セキュリティ] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.252 「[セキュリティ] 項目説明一覧」

- □ P.260 「デバイス証明書」
- □ P.261 「クライアント証明書」
- □ P.262 「証明書設定」
- □ P.263 「CA証明書」
- □ P.263 「証明書ファイル」

□ デバイス証明書

IPsecを利用した暗号化通信を行うときのデバイス証明書の設定を行います。

	道入语
	「作成」「エクスポート」
	未導入
S. 154 . V	参照…
	アップロード 削除
	未導入
	CAサーバーアドレス(プライマリ):
	CAサーバーアドレス(セカンダリ):
	証明書内Common NameのMFPアドレス: IPアドレス 🔻
	タイムアウト:10 秒 (1-120)
	CAチャレンジ2:
	(注意:自動的にCAWID明書を加えます)
	署名アルゴリズム 💿 SHA1
	© MD5
	ボーリング間隔: 1分 🔻
	ポーリング持続時間: 8時間 ▼

	項目名	機能説明
1	自己証明書	お使いの機器からIPsecを利用した暗号化通信の証明書を作成します。 【作成】ボタン: [自己証明書作成] 画面が表示され、証明書に必要な項目を設定して、自 己証明書を作成します。 四 P.261 「[自己証明書作成] 画面」 【エクスポート】ボタン: 作成した自己証明書をエクスポートします。
2	インポート	IPsecを利用した暗号化通信の証明書をインポートします。 【参照】ボタン:IPsec用証明書ファイルを選択します。 【アップロード】ボタン:選択したIPsec用証明書ファイルをアップロードします。 【削除】ボタン:登録済みの証明書ファイルを削除します。

	項目名	機能説明
3	SCEP(自動取得)	IPsecを利用した暗号化通信の証明書を自動取得します。
		CAサーバアドレス(プライマリ) :CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。
		半角英数字と記号で128文字まで入力できます。
		CAサーバアドレス(セカンダリ) :CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。
		半角英数字と記号で128文字まで入力できます。
		証明書内Common NameのMFPアドレス :証明書のCommon Nameに記述する本機のアド
		レスを、IPアドレスまたはFQDNのどちらにするかを選択します。初期値は[IPアドレス]
		に設定されています。
		タイムアウト :CAサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力
		します。1~120秒の範囲で設定します。初期値は「10」に設定されています。
		CAチャレンジ: CAチャレンジのパスワードを設定します。半角英数字16文字まで入力で
		きます。
		署名アルゴリズム :署名のアルゴリズムをSHA1かMD5を選択します。
		ポーリング間隔 :ポーリング間隔を設定します。初期値は「1分」に設定されています。
		ポーリング持続時間:ポーリングを行う時間を設定します。初期値は「8時間」に設定され
		ています。
		[リクエスト] ボタン :ボタンを押すと証明書をリクエストします。
		「削除」ボタン :登録済みの証明書を削除します。

[自己証明書作成] 画面



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	自己証明書を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	作成を中止します。
3	国/地域名	半角英数字と記号2文字で国名または地域名を入力します。(例:JP)
4	都道府県名	半角英数字と記号で都道府県名を入力します。最大128文字まで入力できます。
5	市区町村名	半角英数字と記号で市区町村名を入力します。最大128文字まで入力できます。
6	組織名	半角英数字と記号で組織名を入力します。最大128文字まで入力できます。
7	部署名	半角英数字と記号で部署名を入力します。最大128文字まで入力できます。
8	一般名	半角英数字と記号で本機のFQDNまたはIPアドレスを名前として入力します。最大128文字 まで入力できます。
9	Eメールアドレス	半角英数字と記号でEメールアドレスを入力します。最大128文字まで入力できます。
10	有効期間	自己証明書の有効月数を入力します。

□ クライアント証明書

	クライアント証明書	
1 —		

	項目名	機能説明
1	クライアント証明書	クライアントの証明書を作成します。
		[作成] ボタン: [クライアント証明書作成] 画面が表示され、証明書に必要な項目を設定
		して、クライアント証明書を作成します。
		□ P.262 「[クライアント証明書作成] 画面」

[クライアント証明書作成] 画面

1	保存 キャンセル	
ż —		
3	━━ 国/地域名	
4 —	都道府県名	
5 —		
6 —		
7 -	部署名	
8 —		
a —	━━ 有効期間	36 r B(1-99)

	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	クライアント証明書を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	作成を中止します。
3	国/地域名	半角英数字と記号2文字で国名または地域名を入力します。(例:JP)
4	都道府県名	半角英数字と記号で都道府県名を入力します。最大128文字まで入力できます。
5	市区町村名	半角英数字と記号で市区町村名を入力します。最大128文字まで入力できます。
6	組織名	半角英数字と記号で組織名を入力します。最大128文字まで入力できます。
7	部署名	半角英数字と記号で部署名を入力します。最大128文字まで入力できます。
8	一般名	半角英数字と記号でクライアントコンピュータのFQDNまたはIPアドレスを名前として入 力します。最大128文字まで入力できます。
9	有効期間	自己証明書の有効月数を入力します。
10	パスワード	半角英数字と記号で証明書のパスワードを入力します。最大64文字まで入力できます。

🗌 証明書設定



	項目名	機能説明
1	署名アルゴリズム	 証明書の署名アルゴリズムを選択します。 SHA1:SHA1を使用します。 SHA256:SHA256を使用します。 SHA384:SHA384を使用します。 SHA512:SHA512を使用します。
2	公開キー	 証明書の公開キーを選択します。 RSA1024:RSA1024を使用します。 RSA2048:RSA2048を使用します。

□ CA証明書

SMTPクライアントの設定、POP3の設定、FTPクライアントの設定、およびLDAPサービスでSSL使用を [登録された CA証明書を使用する] にしたい場合は、CA証明書をインストールする必要があります。CA証明書は最大10個まで登録 することができます。



	項目名	機能説明
1	CA証明書(PEM)	PEM形式の証明書を選択します。 【アップロード】ボタン:証明書をアップロードします。 【削除】ボタン:登録済みの証明書を削除します。
2	CA証明書(DER)	DER形式の証明書を選択します。 【アップロード】ボタン:証明書をアップロードします。 【 削除】ボタン :登録済みの証明書を削除します。

🗌 証明書ファイル

登録済みの証明書ファイルの一覧が表示されます。

■ パスワードポリシー

登録するパスワードのポリシーを設定できます。

補足

[パスワードポリシー] サブメニューは、[管理者] タブの [セキュリティ] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[セキュリティ] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.252 「[セキュリティ] 項目説明一覧」

🕮 P.264 「ユーザパスワードポリシー」

□ P.265 「管理者、監査者パスワードポリシー」

□ P.266 「パスワードポリシー(ファイリングボックス、テンプレートグループ、テンプレート、暗号化PDF、SNMP v 3、 クローニング)」

🗌 ユーザパスワードポリシー

ユーザとして登録する場合のポリシーを設定します。



	項目名	機能説明
1	最小パスワード桁数	パスワードの最小桁数を設定します。0~64の範囲で設定します。初期値は「0」に設定さ れています。
2	文字列の制限	 パスワードに使用する文字列の登録制限を有効にします。初期値は[無効]に設定されています。 登録制限: ユーザ名と同じパスワードは登録できません。 使用していたパスワードと同じパスワードは登録できません。 連続または繰り返された文字列のパスワードは登録できません。 文字列の制限テキストボックスに入力されている文字が含まれているパスワードは登録できません。
3	ロックアウト設定	パスワードを間違えた場合にロックアウト設定を有効にするか設定します。初期値は[有 効]に設定されています。 リトライ回数:何回間違いを許容するか設定します。0~30回の範囲で設定します。初期値 は「10」に設定されています。 ロックアウト時間:ロックアウトする時間を設定します。1~1440分の範囲で設定します。 初期値は「1」に設定されています。
4	有効期間設定	パスワードに有効期間を設定する場合に[有効]にします。初期値は[無効]が設定されています。 有効期間 :パスワードの有効期間を設定します。1~999日の範囲で設定します。初期値は 「180」に設定されています。

□ 管理者、監査者パスワードポリシー

管理者や監査者として登録する場合のポリシーを設定します。



	項目名	機能説明
1	最小パスワード桁数	パスワードの最小桁数を設定します。0~64の範囲で設定します。初期値は「6」に設定さ れています。
2	文字列の制限	パスワードに使用する文字列の登録制限を有効にします。初期値は[無効]に設定されて います。 登録制限: ・ ユーザ名と同じパスワードは登録できません。 ・ 使用していたパスワードと同じパスワードは登録できません。 ・ 連続または繰り返された文字列のパスワードは登録できません。 ・ 文字列の制限テキストボックスに入力されている文字が含まれているパスワードは登 録できません。
3	ロックアウト設定	パスワードを間違えた場合にロックアウト設定を有効にするか設定します。初期値は[有 効]に設定されています。 リトライ回数:何回間違いを許容するか設定します。0~30回の範囲で設定します。初期値 は「10」に設定されています。 ロックアウト時間:ロックアウトする時間を設定します。1~1440分の範囲で設定します。 初期値は「1」に設定されています。
4	有効期間設定	パスワードに有効期間を設定する場合に[有効]にします。初期値は[無効]が設定されています。 有効期間 :パスワードの有効期間を設定します。1~999日の範囲で設定します。初期値は 「180」に設定されています。

8

□ パスワードポリシー(ファイリングボックス、テンプレートグループ、テンプ レート、暗号化PDF、SNMPv3、クローニング)

操作やアプリケーションなどお使いの機器で使用するパスワードのポリシーを設定します。

最小バスワード桁数	0	(0-20)
文字列の制限	無効 👻	
ロックアウト設定	無効 ▼	
リトライ回数	10	(0-30)
ロックアウト時間	2	分(1-1440)

	項目名	機能説明
1	最小パスワード桁数	パスワードの最小桁数を設定します。0~64 ^{*1} の範囲で設定します。初期値は「0」に設定 されています。
2	文字列の制限	パスワードに使用する文字列の登録制限を有効にします。初期値は[無効]に設定されて います。 登録制限: ・ ユーザ名と同じパスワードは登録できません。 ^{*2} ・ 使用していたパスワードと同じパスワードは登録できません。
3	ロックアウト設定 ^{*3}	パスワードを間違えた場合にロックアウト設定を有効にするか設定します。初期値は[有効]に設定されています。 リトライ回数:何回間違いを許容するか設定します。0~30回の範囲で設定します。初期値は「10」に設定されています。 ロックアウト時間:ロックアウトする時間を設定します。1~1440分の範囲で設定します。 初期値は「1」に設定されています。

*1 SNMP v3の場合、パスワードは1桁以上必要になります。

*2 クローニングの場合、ファイル名と同じパスワードも登録できます。 *3 ロックアウト設定は、ファイリングボックス利用時のみ有効となります。

[セキュリティ] 設定/操作方法

セキュリティの設定では、無線LAN通信でRADIUSサーバーを使用して認証するときに必要な無線LAN証明書のインス トール、SSLを使用するときに必要なデバイス証明書のインストール・エクスポート・SCEP(自動取得)設定やCA証 明書のインストール、IEEE802.1X認証に必要なIEEE802.1X用証明書のインストール・SCEP設定を行うことができます。 P.267 「IPsec用証明書をインストールする」 P.272 「デバイス証明書をインストールする」 P.280 「クライアント証明書の作成/エクスポート」 P.282 「CA証明書をインストールする」

■ IPsec用証明書をインストールする

本機でIPsecを利用した暗号化通信を行う際に、IKEの認証に証明書を使用する場合は、IPsec用証明書をインストールす る必要があります。IPsec用証明書をインストールするには、認証機関から入手またはCAサーバーで発行した証明書を インストールします。また、SCEPでCAサーバーから証明書を自動取得することもできます。

注意

- 本機は以下のエンコード方式のCA証明書およびユーザ証明書をサポートします。
 - CA証明書: DER、BASE64、PKCS#7
 - ユーザ証明書: PKCS#12
- 本機は、md5RSAまたはsha1RSAアルゴリズムの証明書のみサポートしています。これらのアルゴリズムの証明 書を使用しているか確認してください。
- 本機でIPsec通信を行うには、オプションのIPsecオプション(GP-1080)が必要です。
- TopAccess上に表示されるIPsec用証明書の設定メニューは、IPセキュリティ機能が使用可能な場合のみ表示されます。([管理者] タブ> [セットアップ] メニュー> [ネットワーク] サブメニュー> [セキュリティ設定] > [IPsec用証明書])
- ユーザ証明書を本機にインストールするときは、セキュリティを確保するため、本機とクライアントコンピュー タをクロスケーブルで接続し、インストールすることを推奨します。
- □ P.268 [IPsec用証明書をインストールする]
- □ P.269 「登録したIPsec用証明書を削除する」
- □ P.270 「IPsec用証明書を自動取得する」
- □ P.271 「自動取得したIPsec用証明書を削除する」

[管理者]

やし

□ IPsec用証明書をインストールする

▲ TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> ロ <u>グアウト</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ セキュリティ 認証 証明書管理		保守	<u>登録</u>			
保存 ++>%	2					

4 [デバイス証明書] の [インポート] の [参照] をクリックして、IPsec用証明書ファイルを 選択し、[アップロード] をクリックします。

◎ 目亡証明書	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	作成してクスポート
◎ インボート	未導入
	C:\Users\User001\Desktop\Client_20 参照
◎ SCEP(自動取得)	未導入 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
	CAサーバーアドレス(プライマリ): 10.10.70.111
	CAサーバーアドレス(セカンダリ): 10.10.70.121
	証明書内Common NameのMFPアドレス: IPアドレス 🔻
	タイムアウト: 30 秒 (1-120)
	CAチャレンジフ:
	(注意:自動的にCA証明書を加えます)
	署名アルゴリズム 💿 SHA1
	MD5
	ポーリング間隔: 1分 🔫
	ポーリング持続時間: 8時間 ▼

警告メッセージが表示されます。

5 [OK] をクリックします。



IPsec用証明書がインストールされます。

補足

表示される警告メッセージは、IPsec用証明書をインストールした後に、本機の操作パネルからパスワードの 入力が必要なことを通知するメッセージです。パスワードを入力しないと、証明書を使用することができませ ん。

- 6 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。
- 7 IPsec設定を行う前に、本機の操作パネルから登録したIPsec用証明書のパスワードを入力する必要があります。

パスワードの入力方法については、**設定管理ガイド**の以下の章を参照してください。 第2章「設定項目(管理者設定)」--「ネットワーク設定」--「ユーザ証明書の復号」

証明書管理ページが表示されます。

□ 登録したIPsec用証明書を削除する

注 意

Δ

使用中のIPsec用証明書を削除することはできません。

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

ΤοpAccess	;					<u>ファイリング፣</u> ログ	<u>ドックス</u> ブアウト
装置	ジョブ	<u>р</u> у	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	<u>登録</u>			-	
セキュリティ 認証 証明書管理 保存 ++・・・	2]						

証明書管理ページが表示されます。

デバイス証明書](ひ[インポート]の[削除]をクリックします
デバイス証明書	
◎ 自己証明書	導入済 「作成」「エクスボート
◎ インポート	certuser1.pfx
SCEP(自動取得)	マップロード 前原条 未導入
	CAサーバーアドレス(サライマリ): CAサーバーアドレス(セカンダリ):
	証明書内Common NameのMFPアドレス: IPアドレス ▼ タイムアウト: 10 移 (1-120)
	CAチャレンジ: (注意:自動的JCCA証明書を加えます)
	署名アルゴリズム SHA1 MD5
	ポーリング間語。1分 ▼
	ボーリング持続時間: 18時前 ▼ リクエスト

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

注意

IPsec用証明書がインポートされていない場合は、削除することはできません。

5 [OK] をクリックします。

Windows Internet Explorer

IPsec用証明書が削除されます。

6 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

□ IPsec用証明書を自動取得する

1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> <u>ログアウト</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ	セキュリティ	保守	<u>登録</u>			
セキュリティ 認証 証明書管理 保存 キャグ	2]					

証明書管理ページが表示されます。

4 [デバイス証明書] の [SCEP (自動取得)] で以下の項目を入力し、[リクエスト] をクリックします。

◉ 自己証明書	導入済
	作成 エクスポート
◎ インポート	Client_2011119_cert.pfx
	参照
	アップロード(削除)
◎ SCEP(自動取得)	未導入
	CAサーバーアドレス(プライマリ): 10.10.70.111
	CAサーバーアドレス(セカンダリ): 10.10.70.121
	証明書内Common NameのMFPアドレス : IPアドレス マ
	タイムアウト:30 秒 (1-120)
	CAT+U2/2
	(注意:自動的にCA調明書を加えます)
	署名アルゴリズム SHA1
	MD5
	ポーリング間隔: 1 分 👻
	ポーリング持続時間: 8時間 ▼ 57
	リクエスと削除

CAサーバアドレス(プライマリ)	CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。最大128文字まで入力できます。
CAサーバアドレス(セカンダリ)	CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。最大128文字まで入力できます。
証明書内CommonNameのMFPア ドレス	証明書のCommon Nameに記述する本機のアドレスを、IPアドレスまたはFQDNのどちらにするかを選択します。
タイムアウト	CAサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力します。
CAチャレンジ	CAチャレンジを入力します。
署名アルゴリズム	署名のアルゴリズムをSHA1かMD5を選択します。
ポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。
ポーリング持続時間	ポーリングを行う時間を設定します。

注意

- [CAサーバアドレス] でFQDNを使用してCAサーバーを指定する場合は、DNSサーバーを設置しDNSの設 定を有効にする必要があります。
- [証明書のCommon NameのMFPアドレス] で [FQDN] を使用する場合は、DNSサーバーに本機のIPアドレスが登録されている必要があります。

IPsec用証明書が取得されます。

IPsec用証明書と同時にCA証明書も自動取得されます。CA証明書がすでに自動取得されていた場合は、新しい CA証明書を自動取得させるために、一度、IPsec用証明書のSCEPの[削除]をクリックして自動取得されていた CA証明書を削除し、[取得]をクリックして新たに証明書を自動取得してください。 5 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

□ 自動取得したIPsec用証明書を削除する

注 意

使用中のIPsec用証明書を削除することはできません。

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ	セキュリティ	保守	<u>登録</u>			
セキュリティ 認証 証明書管理 保存 ++>	2]					

証明書管理ページが表示されます。

4 [デバイス証明書]の [SCEP(自動取得)]を選択し、[削除]をクリックします。

自己証明書	導入済
	「作成」「エクスポート」
) インボート	未導入
	老照
	アップロード 前時余
SCEP(自動取得)	certuser1.pfx
1	CAサーバーアドレス(プライマリ): 192.168.1.1
•	CAサーバーアドレス(セカンダリ): 192.168.10.1
	証明書内Common NameのMFPアドレス: IPアドレス 🔻
	タイムアウト:10 秒(1-120)
	CAチャレンジ:
	(注意:自動的にCAWEB月書を加えます)
	署名アルゴリズム 💿 SHA1
	© MD5
	ポーリング間隔: 1分 - ▼
	ポーリング持続時間: 8時間 マ
	リクエスト 削除

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

注意

- IPsec用証明書と同時に自動取得したCA証明書も削除されます。
- IPsec用証明書が自動取得されていない場合は、削除することはできません。



windows internet Explorer

IPsec用証明書が削除されます。

6 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

■ デバイス証明書をインストールする

HTTPの設定、FTPサーバーの設定、IPP印刷、およびWeb ServiceプリントでSSL使用を有効にしたい場合は、デバイス証明書をインストールする必要があります。

デバイス証明書をインストールするには、自己証明書を作成するか、認証機関から入手またはCAサーバーで発行したデバイス証明書をインストールします。また、SCEPでCAサーバーからデバイス証明書を自動取得することもできます。

- □ P.275 「デバイス証明書をインストールする」 □ P.276 「登録したデバイス証明書を削除する」
- □ P.277 「デバイス証明書を自動取得する」
- □ P.279 「自動取得したデバイス証明書を削除する」

補足

HTTPの設定、FTPサーバーの設定、IPP印刷、およびWeb ServiceプリントでSSL使用を有効にしたい場合で、本機 およびクライアントコンピュータにインストールする必要のある証明書は以下のとおりです。

使用目的	本機で必要な証明書			クライアントコンピュータに必要な証明書			
	デバイス証明書		CA証明書	自己証明書	クライアント証	CA証明書	
	自己証明書	認証機関から入手/ CAサーバが発行した			明書		
		デバイス証明書					
HTTP、FTP、IPP 印刷* ¹	0	-	-	(O)* ²	-	-	
	-	0	-	-	-	(O)* ²	
Web Serviceプリ ント	-	0	0	-	0	0	
	0	-	-	0	-	-	

*1 HTTPの設定、FTPサーバーの設定、およびIPP印刷で、本機に自己証明書をインストールする場合は、クライアント側にも自己証明書 をインストールします。本機に認証機関から入手したデバイス証明書をインストールする場合は、クライアント側にCA証明書をイン ストールしてください。

*2 Windows Vista/XP/2000の場合、証明書を本機のみにインストールしてSSL使用を有効にすることも可能です。この場合は使用中に以下のメッセージが表示されるので、次の項目を選択してください。 Windows Vistaの場合、「このWebサイトのセキュリティ証明書には問題があります。」というメッセージが表示されるので、「このサイトの閲覧を続行する(推奨されません)。」を選択してください。 Windows XP/2000の場合、「この証明書は信頼された証明機関が発行したものではありません。信頼し受け入れますか?」というメッセージが表示されるので、「はい」を選択してください。 なお、より機密性を高めたい場合は、クライアントコンピュータにも証明書をインストールしてください。

□ P.282 「CA証明書をインストールする」

注意

ユーザ証明書を本機にインストールするときは、セキュリティを確保するため、本機とクライアントコンピュータを クロスケーブルで接続し、インストールすることを推奨します。

□ 自己証明書を作成する/エクスポートする

- **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。
 - 🕮 P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。



証明書内Common NameのMFPアドレス : IPアドレス マ

秒 (1-120)

タイムアウト : 30

8

8 エクスポートする証明書のファイル名のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存] を選択します。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

名前を付けて保存					
🔾 🗸 🗸 🖉	b Documen	its	• \$	検索	
🎍 整理 👻 🏢 表示 👻	📑 新しいフ	オルダ			(
お気に入りリンク	名前	更新日時	種類	サイズ	
Fキュメント		2	のフォルダは雪	2です。	
1 最近表示した場所					
New デスクトップ					
📳 コンピュータ					
📔 ピクチャ					
詳細 >>					
フォルダ ヘ					
ファイル名(N): MFP	-05212774_ce	ert.crt			
	っしティ証明測	2			
ファイルの種類(T): セキ					

10 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

補足

9

エクスポートした証明書をクライアントコンピュータにインストールすると、機密性をより高めることができ ます。

11 自己証明書を作成したら、以下の設定でSSLを有効に設定することができます。

- 🖾 P.161 「HTTPの設定」
- □ P.167 「FTPサーバーの設定」
- 🚇 P.172 「Web Service設定」
- □ P.207 [IPP印刷の設定]

□ デバイス証明書をインストールする

- **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

TopAccess						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ	セキュリティ	保守	<u>登録</u>			
セキュリティ 認証 証明書管理 保存 ++ ・ ク						

証明書管理ページが表示されます。

4 [デバイス証明書] の [インポート] の [参照] をクリックして、デバイス証明書ファイル を選択し、[アップロード] をクリックします。

「バイス証明書	
◎ 自己証明書	導入済
	作成 エクスポート
◎ インポート	未導入
	C:\Users\User001\Desktop\Client_20 参照
◎ SCEP(自動取得)	未導入
	CAサーバーアドチャン(プライマリ): 10.10.70.111
	CAサーバーアドレス(セカンダリ) : 10.10.70.121
	証明書内Common NameのMFPアドレス : IPアドレス 🔻
	タイムアウト: 30 秒 (1-120)
	CAチャレンジン:
	(注意:自動的にCA証明書を加えます)
	署名アルゴリズム 💿 SHA1
	© MD5
	ポーリング間隔: 1分 🔹
	ポーリング持続時間: 8時間 🔻
	リクエスト 削除

警告メッセージが表示されます。

5 [OK] をクリックします。

Windows	Internet Explorer	×
<u>^</u>	ネットワーク設定の保存を行った後、パネルからパス 行ってください。	ワードの入力を
		ок К

デバイス証明書がインストールされます。

補足

表示される警告メッセージは、デバイス証明書をインストールした後に、本機の操作パネルからパスワードの 入力が必要なことを通知するメッセージです。パスワードを入力しないと、証明書を使用することができませ ん。

- 6 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。
- 7 SSL設定を行う前に、本機の操作パネルから登録したデバイス証明書のパスワードを入力する必要があります。

パスワードの入力方法については、**設定管理ガイド**の以下の章を参照してください。 第2章「設定項目(管理者設定)」-「ネットワーク設定」-「ユーザ証明書の復号」

8 以下の設定でSSLを有効に設定することができます。
 □ P.161 [HTTPの設定]
 □ P.167 [FTPサーバーの設定]
 □ P.172 [Web Service設定]
 □ P.207 [IPP印刷の設定]

□ 登録したデバイス証明書を削除する

1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **q** [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	登録				
	1 <u>1120-F#UD-</u> 2						

証明書管理ページが表示されます。

4	[デ	バイス証明書]	の [インポート] の [削除] をクリックします。
		デバイス証明書	
		◎ 自己証明書	靖入済 「作成」「エクスボート
		◎ インポート	certuser1.pfx 春報
		SCEP(白動取得)	
			CAサーバーアドレス(ゴライマリ):
			CAサーバーアドレス(セカンダリ): 証明書内Common NameのMFPアドレス: IPアドレス ・
			タイムアウト:10 秒(1-120)
			(注意:自動的にに発起明書を加えます)
			署名アルゴリズム () SHA1
			O MD5
			ポーリンク間隔: 1 分 マ
			ポーリング持続時間: 8時間 ▼
			リクエスト

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

注意

デバイス証明書がインポートされていない場合は、削除することはできません。

5 [OK] をクリックします。



デバイス証明書が削除されます。

6 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

□ デバイス証明書を自動取得する

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 【セキュリティ】メニューをクリックし、【証明書管理】サブメニューをクリックします。

TopAccess	5					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ	セキュリティ	保守	<u>登録</u>			
セキュリティ 認証 証明書管理 保存 ++>	2]					

証明書管理ページが表示されます。

4 [デバイス証明書] の [SCEP (自動取得)] で以下の項目を入力し、[リクエスト] をクリックします。

◎ 自己証明書	導入済
	作成 エクスボート
◎ インボート	Client_2011119_cert.pfx
	*照
	アップロード 削除
◎ SCEP(自動取得)	未導入
	CAサーバーアドレス(プライマリ): 10.10.70.111
	CAサーバーアドレス(セカンダリ): 10.10.70.121
	証明書内Common NameのMFPアドレス : IPアドレス 🔻
	タイムアウト:30 秒 (1-120)
	CAチャレンジ :
	(注意:自動的にCA証明書を加えます)
	署名アルゴリズム 💿 SHA1
	© MD5
	ポーリング間隔: 1 分 ▼
	ポーリング持続時間:8時間 -
	リクエスと創除

CA サーバアドレス(プライマリ)	CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。最大128文字まで入力できます。
CAサーバアドレス(セカンダリ)	CAサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。最大128文字まで入力できます。
証明書内CommonNameのMFPア ドレス	証明書のCommon Nameに記述する本機のアドレスを、IPアドレスまたはFQDNのどちらかにするかを選択します。
タイムアウト	CAサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を入力します。
CAチャレンジ	CAチャレンジを入力します。
署名アルゴリズム	署名のアルゴリズムをSHA1かMD5を選択します。
ポーリング間隔	ポーリング間隔を設定します。
ポーリング持続時間	ポーリングを行う時間を設定します。

注意

- [CAサーバアドレス]でFQDNを使用してCAサーバーを指定する場合は、DNSサーバーを設置しDNSの設 定を有効にする必要があります。
- [証明書のCommon NameのMFPアドレス] で [FQDN] を使用する場合は、DNSサーバーに本機のIPアドレスが登録されている必要があります。

デバイス証明書が取得されます。

注意

デバイス証明書と同時にCA証明書も自動取得されます。CA証明書がすでに自動取得されていた場合は、新し いCA証明書を自動取得させるために、一度、デバイス証明書のSCEPの[削除]をクリックして自動取得され ていたCA証明書を削除し、[取得]をクリックして新たに証明書を自動取得してください。

5 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

6 以下の設定でSSLを有効に設定することができます。

□ P.154 「LDAPの設定」
 □ P.161 「HTTPの設定」
 □ P.162 「SMTPクライアントの設定」
 □ P.165 「POP3の設定」
 □ P.167 「FTPサーバーの設定」
 □ P.172 「Web Service設定」
 □ P.207 「IPP印刷の設定」

□ 自動取得したデバイス証明書を削除する TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 1 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 [管理者] タブをクリックします。 2 [セキュリティ]メニューをクリックし、[証明書管理]サブメニューをクリックします。 3 ファイリングボックス **Top**Access ログアウト 狂害 ジョブ ログ 登録 カウンタ ユーザ管理 管理者 セキュリティ 保存 ++ 2 証明書管理ページが表示されます。 [デバイス証明書]の[SCEP(自動取得)]を選択し、[削除]をクリックします。 4 デバイス証明書 ◎ 自己証明書 導入済 作成 エクスボート 未導入 ◎ インポート 春昭.... アップロード 削除 certuser1.pfx R. SCEP(自動取得) CAサーバーアドレス(プライマリ): 192.168.1.1 CAサーバーアドレス(セカンダリ) : 192.168.10.1 証明書内Common NameのMFPアドレス: IPアドレス -タイムアウト:10 秒 (1-120) CAチャレンジ (注意:自動的にCA証明書を加えます) 署名アルゴリズム 💿 SHA1 MD5 ポーリング間隔: 1分 ▼ ポーリング持続時間: 8時間 リクエスト」削除

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

注意

- デバイス証明書と同時に自動取得したCA証明書も削除されます。
- デバイス証明書が自動取得されていない場合は、削除することはできません。

×2

5 [OK] をクリックします。

Windows Internet Explorer
ОК * ヤンセル

デバイス証明書が削除されます。



[証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

■ クライアント証明書の作成/エクスポート

1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🕮 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

TopAccess	5					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ	セキュリティ	保守	登録			
セキュリティ 認証 証明書管理 保存 + ャク						

証明書管理ページが表示されます。

4 [クライアント証明書] の [作成] をクリックします。

ソフィアノ「証明者		
	ファイルを作成していません 作成	
証明書設定	40	
	署名アルゴリズム: SHA1 - V	
	公開キー : RSA1024 ▼	

作成クライアント証明書ページが表示されます。

5	以	下の項目をすべ	て入力し、[保存]をクリックします。
		クライアント証明書作	 成
		EMOS 2	JP
		都道府県名	Tokyo
		市区町村名	abcdefghijklm
		組織名	ABCDEFG CORPORATION
		部署名	ABCDEFG Dept.
		一般名	10.10.70.121
		有効期間	36 ヶ月(1-99)
		パスワード	

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.262 [[クライアント証明書作成] 画面]



Windows Internet Explorer	3

7 エクスポートする証明書のファイル名のリンクを右クリックし、[対象をファイルに保存] を選択します。



[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

補足

クライアント証明書が未導入の場合は、[パスワード]にパスワードを入力し、[作成]をクリックして証明書 を作成します。

8 保存先を指定し、[保存] をクリックします。

名前を付けて保存					×
🚱 🗣 📗 « Default	 Documents 		▼ \$ 検索		Q
● 整理 ▼ 2 2 表示 ▼	📑 新しいフォ	ルタ			0
お気に入りリンク	名前	更新日時	種類	サイズ	
F#1X2F		20	のフォルダは空で	j .	
1 最近表示した場所					
📃 デスクトップ					
👰 コンピュータ					
▶ ピクチャ					
詳細 >>					
フォルダ ヘ					
ファイル名(N): MFP-	05212774_cert	.crt			-
ファイルの種類(T): セキ:	ュリティ証明書				•
🗟 フォルダの非表示			【【】	存(S) キャン	ren 🛛

9 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

補足

エクスポートした証明書をクライアントコンピュータにインストールすると、機密性をより高めることができ ます。

■ CA証明書をインストールする

SMTPクライアントの設定、POP3の設定、FTPクライアントの設定、およびLDAPサービスでSSL使用を[登録された CA証明書を使用する]にしたい場合は、CA証明書をインストールする必要があります。CA証明書は最大10個まで登録 することができます。 P.282 「CA証明書をインストールする」 P.283 「登録したCA証明書を削除する」

補足

- 有線LANやオプションの無線LANモジュール(GN-1060)を利用して、RADIUSサーバーを使用したIEEE802.1X
 認証用のCA証明書も同じ手順でインストールできます。
- デバイス証明書/IPsec用証明書のSCEPで自動取得されるCA証明書は、登録数にカウントされません。SCEPで 自動取得されるCA証明書は、それぞれ1個ずつ登録することができます。

□ CA証明書をインストールする

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。

TopAccess ファイリングボックス ロヴァウト ロヴァウト						
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ ト	セキュリティ	保守	登録			
セキュリティ 認証 顧明書管理 <u>バスワードボリーー</u> 原存] = キャン2						

証明書管理ページが表示されます。

4 CA証明書の暗号化種別を選択し、[参照] をクリックしてCA証明書ファイルを選択して、 [アップロード] をクリックします。



CA証明書がインストールされます。

- 5 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。
- 6 以下の設定のSSL使用設定で [登録されたCA証明書を使用する] を選択して、SSLを有効 に設定することができます。
 - □ P.162 「SMTPクライアントの設定」
 - □ P.165 「POP3の設定」
 - □ P.166 「FTPクライアントの設定」
 - 🕮 P.293 「LDAPサービス」

□ 登録したCA証明書を削除する TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 1 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 [管理者] タブをクリックします。 2 [セキュリティ] メニューをクリックし、[証明書管理] サブメニューをクリックします。 3 ファイリングボックス **TopAccess** <u>ログアウト</u> 装置 ジョブ ログ 登録 カウンタ ユーザ管理 ー・ユフブイ 認証|証明書管理|バスワードポレ 保存 ++ 2 証明書管理ページが表示されます。 **4** [証明書ファイル] で削除したいCA証明書を選択し、[CA証明書] の [削除] をクリックし ます。 CA証明書 ◎ CA証明書(PEM) 参照... 参照.... ◎ CA調明書(DER) アップロード 削除 ₽² 証明書ファイル 157.69.73.250.crt

設定の確認ダイアログボックスが表示されます。

5 [OK] をクリックします。

1

Windows Internet Explorer	X
ОК \$772	ul
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	

CA証明書が削除されます。

6 [証明書管理] サブメニューで [保存] をクリックします。

## [保守] 項目説明一覧

補足

[保守] メニューは[管理者] タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。
 アクセス方法は、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.284 「ソフトウェアのアップロード」
 □ P.285 「ソフトウェアの削除」

- 🚇 P.285 「クローンファイル作成」
- □ P.287 「クローンファイルのインストール」
- 🚇 P.288 「インポート」
- □ P.290 「エクスポート」
- 🚇 P.292 「ファイル削除」
- □ P.293 [LDAPサービス]
- 🚇 P.295 「レポート通知」
- 🚇 P.298 「言語設定」
- □ P.300 「システムアップデート」
- 🚇 P.300 「再起動」

### ■ ソフトウェアのアップロード

お使いの機器に内蔵されているクライアントソフトウェアを更新することができます。ユーザは、TopAccessの[ソフトウェアのインストール]リンクから自分のコンピュータにクライアントソフトウェアをダウンロードすることができます。

#### 補足

[ソフトウェアのアップロード] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」



	項目名	機能説明
1	アップロードソフトウェア	お使いの機器にアップロードするアップロードソフトウェアを選択します。
		• Driver Files: クライアントソフトウェアのインストーラファイルをアップロードします。
		• Macintosh PPD Files:Mac OS X 10.4以降で使用するPPDファイルをアップロード
		します。また、Mac OS X 10.4以降で使用するプラグインファイルをアップロードします。
		• Unix Filters: UNIXワークステーション用のtarファイルをアップロードします。
		Point And Print:本機の印刷キューをダブルクリックしたときにインストールされる
		プリンタドライバをアップロードします。
		<b>[OK]ボタン</b> :選択したソフトウェアを確定します。
2	[アップロード] ボタン	参照した設定ファイルをアップロードします。
3	InstallClient1.exe参照ボックス	アップロードする設定ファイルを参照します。

## ■ ソフトウェアの削除

お使いの機器にアップロードしたソフトウェアを削除することができます。

#### 補足

[ソフトウェアの削除] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.284 [[保守] 項目説明一覧]

	27	. <u>.</u> ・ウェアのアップロード   ソフ	<b>トウェアの削除</b>   <u>クローンファイル(</u>	「成   <u>クローンファイルのインストール   インボート</u>   エクスポート   ファイル削除   LDAPサー
	削队	ř.		
*				m
		ファイル	紙サイズ	
		Driver Files	0 (KB)	
		Unix Filters	0 (KB)	
		Macintoch PPD Files	0.(KB)	

	項目名	機能説明	
1	[削除] ボタン	アップロードするソフトウェアの言語を選択します。	-
2	ソフトウェア一覧	お使いの機器にアップロードされているソフトウェアの一覧を表示します。 削除するソフトウェアにチェックを入れます。	

### ■ クローンファイル作成

お使いの機器の環境のクローンファイルを作成できます。 作成したクローンファイルを他の機器にインストールすることで、お使いの機器のクローン環境が構築されます。

補足

[クローンファイル作成] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.284 [[保守] 項目説明一覧]

□ P.286 「クローンファイル」

□ P.286 「カテゴリ設定」



	項目名	機能説明
1	[作成] ボタン	カテゴリ設定で選択されたカテゴリのクローンファイルを作成します。 クリックするとクローンファイルに設定するパスワード設定画面が表示されます。

クローンファイル デバイス名 MFPモデル	ファイルを作成していません	
	<b>クローンファイル</b> デバイス名 MFPモデル 	クローンファイル → デジバス名 ファイルを作成していません MFPモデル → パージョン

	項目名	機能説明
1	デバイス名	作成したクローンファイルのデバイス名(名称)を表示します。 デバイス名をクリックするとクローンファイルをダウンロードすることができます。
2	MFPモデル	作成したクローンファイルのMFPモデルを表示します。
3	バージョン	作成したクローンファイルのシステムROMバージョンを表示します。
4	作成日時	クローンファイルの作成日時を表示します。

# 🗌 カテゴリ設定

クローンファイルにカテゴリを選択します。



	項目名	機能説明
1	セキュリティ	セキュリティレベル、セキュアイレース、セルフテスト、暗号化、認証の設定をクローン ファイルに含めます。
2	デフォルト設定	一般、コピー、スキャン、ファクス、インターネットファクス、プリンタ、通知、ログ設 定、EWB設定をクローンファイルに含めます。
3	ユーザ管理	ユーザ、グループ、ロール、割当、部門コード、メニューをクローンファイルに含めます。
4	ネットワーク/プリントサービス	ネットワーク設定、プリントサービス、無線LAN、Bluetooth、LDAPサービスをクローン ファイルに含めます。
5	アドレス帳	アドレス帳をクローンファイルに含めます。
6	アドレス帳+テンプレート+Fコー ド	アドレス帳、テンプレート、Fコードをクローンファイルに含めます。
## ■ クローンファイルのインストール

作成済みのクローンファイルをインストールすることができます。 他の機器で作成したクローンファイルをインストールすることで、クローン環境が構築することができます。

#### 補足

[クローンファイルのインストール] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」

🕮 P.284 「[保守]項目説明一覧」

□ P.287 「ファイルのアップロード」

□ P.287 「クローンファイル情報」

□ P.288 「クローンファイルに含まれているデータの情報」



	項目名	機能説明
1	[インストール] ボタン	選択されているクローンファイルをインストールします。 クリックするとクローンファイル作成時に設定したパスワードの入力を求めるダイアログ が表示されます。

# [管理者] タブ

8

### 🗌 ファイルのアップロード

	ファイルのアップロード
1 —	参照) アップロード
2 —	<u></u>

	項目名	機能説明
1	[参照] ボタン	クローンファイルを選択します。
2	[アップロード] ボタン	選択したクローンファイルのクローンファイル情報とクローンファイルに含まれている データの情報を表示します。

## □ クローンファイル情報

Г

クローンファイル情報		
<ol> <li>デバイス名</li> </ol>	アップロードされていません	
2 — MFPモデル		
3バージョン		
A作成日時		
4		

	項目名	機能説明
1	デバイス名	作成したクローンファイルのデバイス名を表示します。
2	MFPモデル	作成したクローンファイルのMFPモデルを表示します。
3	バージョン	作成したクローンファイルのシステムROMバージョンを表示します。
4	作成日時	クローンファイルの作成日時を表示します。

□ クローンファイルに含まれているデータの情報

クローンファイルに含まれているデー	-タの情報		
<b>1</b>	なし		
2デフォルト設定	なし		
3 ユーザ管理	なし		
ネットワーク/ブリントサービス	なし		
	なし		
3 ── / アドレス帳 + テンプレート+ Fコード	なし		
b —			

	項目名	機能説明
1	セキュリティ	セキュリティレベル、セキュアイレース、セルフテスト、暗号化、認証の設定が含まれて いるか表示します。
2	デフォルト設定	一般、コピー、スキャン、ファクス、インターネットファクス、プリンタ、通知、ログ設 定、EWB設定が含まれているか表示します。
3	ユーザ管理	ユーザ、グループ、ロール、割当、部門コード、メニューが含まれているか表示します。
4	ネットワーク/プリントサービス	ネットワーク設定、プリントサービス、無線LAN、Bluetooth、LDAPサービスが含まれて いるか表示します。
5	アドレス帳	アドレス帳が含まれているか表示します。
6	アドレス帳+テンプレート+Fコー ド	アドレス帳、テンプレート、Fコードが含まれているか表示します。

## ■ インポート

他の機器からエクスポートされたアドレス帳データや部門コード情報をインポートすることができます。

補足

[インポート] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.284 [[保守] 項目説明一覧」

□ P.288 「アドレス帳」

- Q P.289 [F⊐−ド]
- □ P.289 「テンプレート」
- □ P.289 「複合(テンプレート+アドレス帳+Fコード)」

#### 注意

データをインポートする前に、現在処理中のジョブや、プライベート印刷ジョブ、予約印刷ジョブ、お試し印刷ジョ ブがないことを確認してください。これらのジョブがある場合、データをインポートすることができません。それで もデータのインポートに時間がかかる場合は、お使いの機器がスリープモードに入ってからデータのインポートを 行ってください。

## □ アドレス帳

アドレス帳			
	<ul> <li>追加</li> <li>上書き</li> </ul>		
- ファイルタ		金曜 イボート	

	項目名	機能説明
1	インポート方式	アドレス帳のインポート方式を設定します。 <b>追加</b> :登録済みのデータにインポートした情報を追加します。 <u>上書き</u> :登録済みのデータをすべて削除してインポートした情報に書き換えます。
2	ファイル名	インポートするアドレス帳のファイルを選択します。 <b>[参照]ボタン</b> :アドレス帳のファイルを選択します。 <b>[インポート]ボタン</b> :選択したアドレス帳のファイルをインポートします。

	<b>Г⊐−Г</b> <b>1</b> 7 <i>р</i> -1 <i>и</i> -8	(参照) インボート			
	項目名	機能説明			
1	I ファイル名	インポートするFコードのファイルを選択します。 【参照】ボタン:Fコードのファイルを選択します。 【インポート】ボタン:選択したFコードのファイルをインポートします。			

## □ テンプレート

	テンプレート			
1 —	インボート方式:	◎ 追加 ⑧ 上書き		
<u> </u>	ファイルタ		「変版」「インボート」	

	項目名	機能説明
1	インポート方式	テンプレートのインポート方式を設定します。 <b>追加</b> :登録済みのデータにインポートした情報を追加します。 <u>上書き</u> :登録済みのデータをすべて削除してインポートした情報に書き換えます。
2	ファイル名	インポートするテンプレートのファイルを選択します。 【参照】ボタン:テンプレートのファイルを選択します。 【インポート】ボタン:選択したテンプレートのファイルをインポートします。

## □ 複合(テンプレート+アドレス帳+Fコード)

	複合(テンプレート+ア	ドレス帳 + Fコード)
1 —	ファイル名	徳照」 インボート

	項目名	機能説明
1	ファイル名	インポートする複合(テンプレート+アドレス帳+Fコード)ファイルを選択します。 【参昭】ボタン:複合ファイルを選択します
		【インポート】ボタン:選択した複合ファイルをインポートします。

## ■ エクスポート

アドレス帳、Fコードやテンプレートなどをエクスポートすることができます。

#### 補足

[エクスポート] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」

- □ P.290 「アドレス帳」
- □ P.290 「Fコード」
- □ P.291 「テンプレート」
- □ P.291 「複合(テンプレート+アドレス帳+Fコード)」

## □ アドレス帳

Г

ファイル名	ADDR 110118.csv	
ファイルサイズ	1575	
作成日時	TUE JAN 18 08:59:37 2011	
エクスポートデータのファイル形式	OSV OXML	

	項目名	機能説明
1	ファイル名	作成済みのエクスポート用ファイルのファイル名を表示します。 ファイル名をクリックするとダウンロードすることができます。
2	ファイルサイズ	作成済みのエクスポート用ファイルのファイルサイズを表示します。
3	作成日時	作成済みのエクスポート用ファイルの作成日時を表示します。
4	エクスポートデータのファイル形 式	エクスポート用ファイルのファイル形式を選択します。 <u>CSV</u> : CSV形式でファイルを作成します。 XML: XML形式でファイルを作成します。
5	[新規作成]ボタン	エクスポート用ファイルを作成します。

## □ Fコード

Fコード		
1	ファイルを作成していません	
4		

	項目名	機能説明
1	ファイル名	作成済みのエクスポート用ファイルのファイル名を表示します。 ファイル名をクリックするとダウンロードすることができます。
2	ファイルサイズ	作成済みのエクスポート用ファイルのファイルサイズを表示します。
3	作成日時	作成済みのエクスポート用ファイルの作成日時を表示します。
4	[新規作成] ボタン	エクスポート用ファイルを作成します。

テンプレート		
ファイル名	ファイルを作成していません	
ファイルサイズ		
<b>3</b> 11ED发出 时		
		新井田小市市

	項目名	機能説明
1	ファイル名	作成済みのエクスポート用ファイルのファイル名を表示します。 ファイル名をクリックするとダウンロードすることができます。
2	ファイルサイズ	作成済みのエクスポート用ファイルのファイルサイズを表示します。
3	作成日時	作成済みのエクスポート用ファイルの作成日時を表示します。
4	[新規作成]ボタン	エクスポート用ファイルを作成します。

## □ 複合(テンプレート+アドレス帳+Fコード)

🗌 テンプレート

複合(テンプレート+ア	ドレス帳 + Fコード)	
ファイル名	ファイルを作成していません	
2 ―― ファイルサイズ		
作成日時		
		●新注目·/E 成
·		WINDLEPAR

	項目名	機能説明	
1	ファイル名	作成済みのエクスポート用ファイルのファイル名を表示します。 ファイル名をクリックするとダウンロードすることができます。	
2	ファイルサイズ	作成済みのエクスポート用ファイルのファイルサイズを表示します。	
3	作成日時	作成済みのエクスポート用ファイルの作成日時を表示します。	
4	[新規作成]ボタン	エクスポート用ファイルを作成します。	

## ■ ファイル削除

[共有フォルダへ保管]操作で本機の共有フォルダ(「FILE_SHARE」フォルダ)に保存されたスキャンデータや送信データ、受信データなどの保存データを削除することができます。この操作を定期的に行い、ハードディスクの空き容量を確保することをお勧めします。

#### 補足

[ファイル削除] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」



	項目名	機能説明
1	スキャン	スキャン時に共有フォルダに保管されたデータをすべて削除します。
2	送信	ファクス/インターネットファクス送信時に共有フォルダに保管されたデータをすべて削 除します。
3	受信	ファクス/インターネットファクス受信時にメールボックス(Fコード)やファクス受信転送やインターネットファクス受信転送で共有フォルダに保管されたデータをすべて削除します。

## ■ LDAPサービス

LDAP (Lightweight Directory Access Protocol) サーバーのディレクトリサービスに関するプロパティを登録することができます。新しいディレクトリサービスを追加すると、ユーザはLDAPサーバーを使って宛先を検索することができます。

#### 補足

[LDAPサービス] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード] □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」



	項目名	機能説明
1	[新規] ボタン	ディレクトリに利用するLDAPサーバーを登録します。 □ P.293 「[LDAP情報] 画面」
2	登録LDAP一覧	登録されているLDAPサーバーの一覧を表示します。 LDAPサーバー名をクリックすると、登録内容を編集できます。 踊 P.293 「[LDAP情報] 画面」

## □ [LDAP情報] 画面

登録LDAP一覧のLDAPサーバ名をクリックするか、[新規] ボタンをクリックすると表示されます。

OK リセット 削除	OK リセット 削除	
*必須入力		
*LDAPサーバー名	LDAP server01	
*サーバーアドレス	192.168.1.1	
*ポート番号	389	
	自動 👻	
サーチベース		
ユーザ名		
パスワード		
	1 •	
SSL使用	無効	
	636	

	項目名	機能説明
1	LDAPサーバー名	ディレクトリサービスを識別するディレクトリサービス名を入力します。半角英数字と記 号で64文字まで入力できます。
2	サーバーアドレス	LDAPサーバーのIPアドレスまたはFQDNを入力します。半角英数字と記号で128文字まで 入力できます。

[管理者] タブ

	項目名	機能説明
3	ポート番号	LDAPサーバーにアクセスするポート番号を入力します。1から65535までの値を入力でき ます。SSLを使用しないLDAPサーバーにアクセスするには、初期値の「389」を使用しま す。SSLを使用する場合は、通常「636」を使用します。
4	認証	<ul> <li>SASL認証プロトコルを選択します。SASL認証プロトコルが分からない場合は、[自動]を 選択します。</li> <li>自動で認証を識別してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。</li> <li>Kerberos: Kerberos認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。</li> <li>Digest-MD5: Digest-MD5認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。</li> <li>CRAM-MD5: CRAM-MD5認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。</li> <li>Login: Login認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。</li> <li>Plain: Plain認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。</li> <li>Simple Bind: Simple Bind認証を使用してLDAPサーバーに接続する場合に選択します。</li> </ul>
5	サーチベース	検索ベースを入力します。Windowsサーバーを使用している場合は、必ず入力してくださ い。半角英数字と記号で140文字まで入力できます。
6	ユーザ名	LDAPサービスにアクセスするためにユーザ名が必要な場合は、ログインユーザ名を入力します。半角英数字と記号で140文字まで入力できます。
7	パスワード	LDAPサービスにアクセスするためにパスワードが必要な場合は、ログインパスワードを入 力します。半角英数字と記号で32文字まで入力できます。
8	サーチ時間	LDAPサーバーが応答しない場合に、通信を終了するタイムアウト時間を選択します。1~ 5の範囲で設定します。初期値は「1」に設定されています。
9	SSL使用	<ul> <li>LDAPにアクセスするときにSSL (Secure Sockets Layer)を有効にするか選択します。</li> <li><u>無効</u>:SSLを無効にします。</li> <li>登録されたCA証明書を使用する:本機に登録された証明書を使用してSSL認証を行う場合に選択します。</li> <li>全ての証明書を受け入れる:本機の登録された証明書を使用せずにSSL認証を行う場合に選択します。</li> </ul>
10	<ul> <li>注意</li> <li>・ [登録されたCA証明書を使用する]を選択した場合は、セキュリティ設定でCA証明書を登録する必要があります。</li> <li>□ P.267 [[セキュリティ] 設定/操作方法]</li> <li>・ 登録したLDAPディレクトリサービスのうち1つでもSSLを使用しているLDAPディレクトリサービスがある場合は、有效に設定します。有効に設定すると、LDAPサーバーにSSLを使用してアクセスし、接続できない場合はSSLを使用せずに再度LDAPサーバーに接続するようになります。したがって、有効に設定しても、SSLを必要としないLDAPディレクトリサービスにも接続することができます。</li> <li>・ SSLを使用するには、サーバーのOSがSSLをサポートしている必要があります。</li> <li>&gt; SSLを使用するには、サーバーにDAPサーバーにアクセスするポート番号を入力します。1から65535まで</li> </ul>	
10	SSLホート番号 	SSLを使用し(LDAPサーバーにアクセスするホート番号を人力します。1から65535ま   の値を入力できます。通常は、初期値の「636」を使用します。

## ■ レポート通知

お使いの機器の情報をEメールで受信することができます。

#### 補足

[レポート通知] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」

- □ P.295 [Eメール設定]
- □ P.296 「システム通知情報イベント」
- □ P.297 「ジョブ通知情報イベント」



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	登録されたEメールアドレスにレポートを送信する設定を保存します。

#### □ Eメール設定

	通知設定	
	Eメール設定	
-		
-	管理者Eメールアドレス2	

	項目名	機能説明
1	管理者Eメールアドレス1	レポートを受信する管理者のEメールアドレスを登録します。
2	管理者Eメールアドレス2	チェックを付けた管理者にEメールでレポートが送付されます。
3	管理者Eメールアドレス3	

[管理者] タブ

## □ システム通知情報イベント



#### 通知するイベントにチェックを付けます。

	項目名	機能説明
1	装置	<ul> <li>紙詰まり:紙づまりが発生した場合に通知します。</li> <li>用紙がなくなった場合に通知します。</li> <li>カバー/カセットオープン:カバー/カセットオープンが発生した場合に通知します。</li> <li>印刷:印刷を行った場合に通知します。</li> <li>トナーエンプティ:トナーエンプティになった場合に通知します。</li> <li>排トナーパックフル:廃トナーボックスがいっぱいになった場合に通知します。</li> <li>電源状態:停電など電源状態が変わった場合に通知します。</li> <li>H/Wオプション接続履歴:H/Wオプションを接続した場合に通知します。</li> </ul>
2	保守	<ul> <li>設定変更:設定変更があった場合に通知します。</li> <li>ユーザー情報の編集:ユーザ情報の編集があった場合に通知します。</li> <li>エクスポート/インポート:エクスポート/インポートを行った場合に通知します。</li> <li>クローニング:クローニングを行った場合に通知します。</li> <li>システムアップデート:システムアップデートを行った場合に通知します。</li> <li>工場出荷設定:工場出荷時の状態に設定を戻した場合に通知します。</li> <li>ログ容量:ログが最大件数に達した場合に通知します。</li> </ul>
3	ネットワーク	<b>エラー</b> :ネットワークエラーが発生した場合に通知します。
4	セキュリティ	エラー:Web Serviceセキュリティエラーが発生した場合に通知します。 警告:Web Serviceセキュリティに関する警告情報があった場合に通知します。 情報:Web Serviceセキュリティの情報を通知します。
5	ファクス/インターネットファクス 受信	<b>エラー</b> :ファクス/インターネットファクス受信にエラーが発生した場合に通知します。 <b>警告</b> :定期的なファクス/インターネットファクス受信の削除が正常終了した場合に通知 します。 <b>情報</b> :[保守]メニューの[ファイル削除]機能でファクス/インターネットファクス受信 が正常に削除された場合に通知します。
6	スキャン	警告:定期的なスキャンファイルの削除が正常終了した場合に通知します。 情報:[保守]メニューの[ファイル削除]機能でスキャンファイルが正常に削除された場 合に通知します。

	項目名	機能説明
7	ファイリングボックス	警告:ファイリングボックス空き容量が残りわずかになった場合、ファイリングボックス 文書の保存期間が残りわずかになった場合に通知します。 情報:ファイリングボックスが初期化された場合に通知します。

補足

ファイリングボックス操作が正常に終了したかを通知したい場合は、ファイリングボックスWebユーティリティを使って ボックスごとのプロパティ画面で設定します。設定する方法については、ファイリングボックスガイドを参照してください。

## □ ジョブ通知情報イベント



通知するジョブにチェックを付けます。

	項目名	機能説明	_
1	スキャン	エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する	管理者
2	ファクス/インターネットファクス 受信	エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する	タブ
3	ファクス受信転送	エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する	
4	インターネットファクス受信転送	エラーメッセージを送信する ジョブ完了メッセージを送信する	

## ■ 言語設定

お使いの機器のタッチパネルの表示言語を設定することができます。

#### 補足

[言語設定] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」

□ P.298 「言語パックのインストール」

- □ P.299 「現在の言語パックリスト」
- □ P.299 「パネル言語の初期設定」



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	登録された言語設定を保存します。

## □ 言語パックのインストール

	言語バックのインストール	
1 —	- ファイル名	参照 インボート

	項目名	機能説明
1	ファイル名	インストールする言語パックのファイルを選択します。
		【参照】ボタン:言語パックのファイルを選択します。
		<b>[インポート]ボタン</b> :選択した言語パックのファイルをインポートします。

## 🗌 現在の言語パックリスト

インストールされている言語パックのリストを表示します。不要な言語パックは削除することができます。

<u> </u>	191975			
		バージョン	日付	
	English(LIS)	019 00	金 曜日 12月 17 00:00:00 2010	
	English(GB)	019.001	金曜日 12月 17 00:00:00 2010	
	Deutsch	018.001	木曜日 12月 15 17:50:00 2010	
	Français	018.001	木曜日 12月 15 17:55:00 2010	
	Español	018.001	木曜日 12月 15 17:55:00 2010	
	taliano taliano	018.001	木曜日 12月 15 17:56:00 2010	
	Dansk	018.001	木曜日 12月 15 17:58:00 2010	
	Suomi	018.001	木曜日 12月 15 18:05:00 2010	
	Norsk	018.001	木曜日 12月 15 18:08:00 2010	
	Svenska	018.001	木曜日 12月 15 18:10:00 2010	
	Nederlands	018.001	木曜日 12月 15 18:12:00 2010	
	Polski	018.001	木曜日 12月 15 18:15:00 2010	
	Русский	018.001	木曜日 12月 15 18:16:00 2010	
	日本語	019.000	金曜日 12月 17 00:00:00 2010	
	简体中文	018.000	木曜日 12月 15 18:00:00 2010	

	項目名	機能説明				
1	[削除] ボタン	不要な言語パックにチェックを付けてから [削除] ボタンをクリックすると削除すること ができます。				
	補足					
	English(US)」と「ハネル表示言語」(選択している言語の言語パックは削除できません。					
2	名前	言語パックの名前を表示します。				
3	バージョン	言語パックのバージョンを表示します。				
4	日付	言語パックのインストール日を表示します。				

## 🗌 パネル言語の初期設定

タッチパネルの表示言語を選択します。

パネル言語の初期設定		
	日本語	<b>~</b>
パネルキーボードのレイアウト	QWERTY -	•

	項目名	機能説明
1	パネル表示言語	タッチパネルの表示言語を選択します。
2	パネルキーボードのレイアウト	タッチパネルに表示されるパネルキーボードのキー配列を選択します。

## ■ システムアップデート

お使いの機器のシステムをアップデートすることができます。

#### 補足

[システムアップデート] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」

□ P.300 「ソフトウェアパックのインストール」

□ P.300 「現在のソフトウェア一覧」

## □ ソフトウェアパックのインストール



	項目名	機能説明
1	ファイル名	インストールするソフトウェアパックのファイルを選択します
		【 <b>参照】ボタン</b> :ソフトウェアバックのファイルを選択します。  【インストール】ボタン:選択したソフトウェアパックのファイルをインストールします。

## □ 現在のソフトウェア一覧

インストールされているシステムファームウェアのリストを表示します。

現在のソフトワ	テアー覧			
名称		バージョン	作成日時	インストール日
T130SF0VV0020		T13I \$F0VV0030		2010-1 -28
T130HD0VV0020		T130HD0//0030		
T130MAWV.03		XXXXXXXXXXX		
1130SLGVWV.02		*****		
430DFV////.085				
T130FVWV.03		xxxxxxxxxxxxx		

	項目名	機能説明
1	名前	システムファームウェアの名前を表示します。
2	バージョン	システムファームウェアのパージョンを表示します。
3	作成日時	システムファームウェアの作成日を表示します。
4	インストール日	システムファームウェアのインストール日を表示します。

#### ▋再起動

お使いの機器を再起動します。

補足

[再起動] サブメニューは、[管理者] タブの [保守] メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[保守] メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.284 「[保守] 項目説明一覧」

## [保守] 設定/操作方法

ここでは、TopAccessから行う本機の保守作業について説明します。ファイルのバックアップや復元、本機に保存した ファイルの削除やユーザに提供するソフトウェアの更新などをTopAccessから行う方法について説明します。 P.301 「保守機能について」 P.302 「クライアントソフトウェアをアップロードする」 P.304 「クライアントソフトウェアを削除する」 P.305 「共有フォルダからデータを削除する」 P.306 「LDAPサービスを登録する」 P.308 「レポート通知を設定する」

- □ P.310 「インポートまたはエクスポートする」
- □ P.314 「再起動する」

#### ■保守機能について

TopAccessのアクセスポリシーモードの [保守] メニューでは、以下の保守作業を行うことができます。

- クライアントソフトウェアをアップロードする
   管理者は本機にクライアントソフトウェアをアップロードすることができ、ユーザはそれらのソフトウェアを
   TopAccessから自分のコンピュータにダウンロードすることができます。この機能は、本機に最新バージョンのソフトウェアを転送するときに使用します。
   P.302 「クライアントソフトウェアをアップロードする」
- クライアントソフトウェアを削除する
   管理者は本機に転送したクライアントソフトウェアを削除し、ユーザがそのソフトウェアをTopAccessからダウン
   ロードすることを禁止できます。この機能は、特定のソフトウェアのダウンロードを無効にするときに使用します。
   P.304 「クライアントソフトウェアを削除する」
- ハードディスクのデータをバックアップする
   管理者は本機のハードディスクにあるアドレス帳やメールボックス、テンプレートデータのバックアップファイルを
   作成することができます。この機能は、システムのソフトウェアを更新する前やハードディスクを交換する前などに、
   バックアップファイルを作成するときに使用します。
   P.290「エクスポート」
- バックアップファイルからデータを復元する
   管理者は本機のバックアップファイルからアドレス帳やメールボックス、テンプレートデータを復元することができます。この機能は、システムのソフトウェアを更新した後やハードディスクを交換した後などに、データを復元するときに使用します。
   P.288 「インポート」
- ・ 共有フォルダに保存されているファイルを削除する
   管理者は本機の [共有フォルダかUSBに保管] 操作で共有フォルダ(「FILE_SHARE」フォルダ)に保存されたスキャンデータやファクス/インターネットファクス送信データ、ファクス/インターネットファクス受信データを削除することができます。この機能は、ハードディスクの空き容量を確保するために定期的に行ってください。
   □ P.305 「共有フォルダからデータを削除する」
- ディレクトリサービスを登録する
   管理者はLDAP(Lightweight Directory Access Protocol)サーバーのディレクトリサービスに関するプロパティを登録することができます。
   □ P.306 「LDAPサービスを登録する」
- レポート通知を設定する
   管理者はEメールを使ったレポート通知を有効にすることができます。また、どのイベントが発生したら通知するのかを指定することができます。
   □ P.308 「レポート通知を設定する」
- アドレス帳のデータをインポートまたはエクスポートする
   管理者は異なるアプリケーションで作成したCSV形式またはXML形式のアドレス帳データをインポートすることが
   できます。また、アドレス帳データをCSVファイルまたはXMLファイルとして異なるアプリケーションにエクスポートすることができます。
   □ P.310 「インポートまたはエクスポートする」
- 再起動する
   管理者は本機を再起動することができます。
   P.314 「再起動する」

[管理者] タブ

8

## ■ クライアントソフトウェアをアップロードする

管理者は、本機に内蔵されているクライアントソフトウェアをアップロードすることができます。ユーザは、それらのソ フトウェアをTopAccessの[ソフトウェアのインストール]リンクから自分のコンピュータにダウンロードすることが できます。

- クライアントソフトウェアインストーラ
- Macintosh PPDファイル
- UNIXフィルタ
- ポイントアンドプリント用プリンタドライバファイル



新しいクライアントソフトウェアをアップロードした場合、以前アップロードした古いバージョンのクライアントソ フトウェアを上書きします。

#### TopAccessから最新バージョンのクライアントソフトウェアをアップロードする

## **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [保守] メニューをクリックし、[ソフトウェアのアップロード] サブメニューをクリックし ます。

TopAccess	5						<u>774</u>	リングボックス ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保	Ŧ I	<u>登録</u>				
保守 ソフトウェアのアッ クライアントリート トライフストーリート アップロードソフトワ アップロード	コード   ソフトウェアの コードす シェアを本体にアップロードす シンドできます。 フェア Driver Files ウェアを選択後、必要なファ	<u>剤酸   クローンファイル</u> することができます。一般コ ● <mark>OK</mark> イルの場所を指定して下き	( ¹ <u>2−−ンファイルの</u> ¹ ¹ <u>2−−ンファイルの</u> ¹	<u>ンインストール   インボー </u> トウェアのリンクからクライ?	<u>ト   エクスポート</u>   フ <del>ァイ</del> アントソフ	ル和酸   LDAPサービス	3.   レポート通知   宣語的	定   <u>システムアッ</u>

ソフトウェアのアップロードサブメニューページが表示されます。

## ▲ [アップロードソフトウェア] ボックスから転送するソフトウェアを選択します。

アップロードソフトウェア	Driver Files 💌	OK
アップロードソフトウェアを アップロード	Driver Files Macintosh PPD F Unix Filters Point And Print	がを指定して下さい。

Driver Files	クライアントソフトウェアのインストーラファイルをアップロードします。
Macintosh PPD Files	Mac OS X 10.2.4~10.3.x用およびMac OS X 10.4以降で使用するPPDファイルを アップロードします。また、Mac OS X 10.4以降で使用するプラグインファイルをアッ プロードします。
Unix Filters	UNIXワークステーション用のtarファイルをアップロードします。
Point And Print	本機の印刷キューをダブルクリックしたときにインストールされるプリンタドライバを アップロードします。

## **5** [OK] をクリックします。

ページの下部が選択したソフトウェアに変更されます。

6 表示される各ボックスで [参照] をクリックし、アップロードする設定ファイルを指定します。

TopAccess	5				<u>ファイリン</u>	<u>ッグボックス</u> ログアウト				
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者				
<u>セットアップ</u>   t	<u>2キュリティ</u>   保	守   登録								
保守 ソフトウェアのアップロード   ソフトウェアの新陸   クローンファイルの広告   クローンファイルのインストール   インボート   エクスボート   ファイル希陸   LDA クライア・ハンフトウェアを本体にアップロードすることができます。一般ユーサオ、インストールソフトウェアのリンクからクライアントソフ ドクインストールぞ行うことができます。 アップロードソフトウェア Other Files ・ OK アップロード / Other Files ・ OK アップロード										
•		III				Þ				
InstallClient1.exe		:\Users\User001\Deskt	op\Sample.(参照…	)						

#### 注意

それぞれのボックスの左側には、ファイル名が表示されます。各ボックスには、必ず同じファイルを指定して ください。

#### 補足

アップロード用のファイルはクライアントソフトウェアごとに以下のように提供されます。

- ドライバファイル:入手については、サービスエンジニアにご連絡ください。
- **Macintosh PPDファイル**: Client Utilities CD-ROMの「Client¥MacPPD¥OSX¥10_2-10_3」および「Client ¥MacPPD¥OSX¥10_4-」フォルダにあります。
- **UNIXフィルタ**: Client Utilities CD-ROMの「Admin」フォルダ内のワークステーションごとのフォルダにあ ります。
- Point And Print:入手については、サービスエンジニアにご連絡ください。
- 7 [アップロード] をクリックします。

選択したファイルがアップロードされます。

[管理者]

ダゾ

## ■ クライアントソフトウェアを削除する

管理者は、転送したソフトウェアを削除し、ユーザがTopAccessからダウンロードすることを禁止することができます。

#### 注 意

本機能ではアップロードされたポイントアンドプリント用プリンタドライバファイルを削除することはできません。 ただし、新しいバージョンのプリンタドライバファイルをアップロードして、古いバージョンのプリンタドライバ ファイルを上書きすることができます。

TopAccessからソフトウェアを削除する

**1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🕮 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [保守] メニューをクリックし、[ソフトウェアの削除] サブメニューをクリックします。

TopAccess	;						ファイリング	<u>ボックス</u> ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
セットアップ	セキュリティ	保	F Ι	<u>登録</u>				
保守 ソフトウェアのアッ クライアントンフトウ ドのインストールを行 アップロードソフトウ アップロード	<b>ブロード   ソフトウェアの</b> エアを本体にアップロード うことができます。 Dar 7 Driver Files Dar 7を選択後、必要なファ	剤膝   2□-ンファイル へことができます。- 娘ュ く く ・ ○ レ の 場別を指定して下さ	<b>1</b> (抵   <u>クローンファイル</u> ーザは、インストールソフ	<u> カインストール</u>   <u>インボー </u> トウェアのリンクからクライン	<u>ト   エクスポート</u>   <u>ファイ</u> アントソフ	ル利感   LDAPサービス	、  <u>レポート通知</u>   宣顕設定   シ	/ <del>2747</del> 9

- ソフトウェアの削除サブメニューページが表示されます。
- ▲ 削除するソフトウェアのチェックボックスをオンにし、[削除] をクリックします。

Top/	Access												<u>ファイリング;</u> ログ	<u>ドックス</u> ブアウト
装	置	ジョ <b>ブ</b>		ログ	登録	力	ロンタ	ユーザ管理		管理者				
tzył	・アップ	セキュリ	Σ≺	保	守	登録								
保守 2251	F 5±707yJ	<u>ユード</u>   ソフトウェ)	アの削除	クローンファイル	作成   クローンフ	ァイルのインストール	<u>レ   インポート</u>	.   <u>エクスポート</u>	<u>ファイル剤除</u>	LDAPサービス	レポート通知	言語設定	システムアップデー	上 再起動
V -	ファイル		紙サイズ											
	Driver Files		0 (KB)											
	Jnix Filters		0 (KB)											
	Macintosh PPD	Files	0 (KB)											
	√1—													

選択したソフトウェアが本機から削除されます。

#### ■ 共有フォルダからデータを削除する

管理者は[共有フォルダへ保管]操作で本機の共有フォルダ(「FILE_SHARE」フォルダ)に保存されたスキャンデータ や送信データ、受信データなどの保存データを削除することができます。この操作を定期的に行い、ハードディスクの空 き容量を確保することをお勧めします。

#### データを削除する



ファイルの削除サブメニューページが表示されます。

## ▲ 削除したいデータのチェックボックスをオンにし、[ファイル削除] をクリックします。

TopAcce	SS						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト				
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者					
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	登録								
保守 ソフトウェアのアップロード   ソフトウェアの削除   クローンファイル作成   クローンファイルのインストール   インボート   エクスボート   ファイル削除   LDAPサービス   レボート連知   言語設定   シスラ ファイル削除											
20-0	2										
1来1子データ	テータ形式	テータサイ.	ス (備考								
スキャン		/ 0 (KB)									
送信	図 ト有ファイ)	/ 0 (KB)									
受信	マー キ有ファイノ	/ 0 (KB)									

このページでは、以下の設定を行うことができます: □ P.292 「ファイル削除」 データが削除されます。 [管理者] タブ

## ■ LDAPサービスを登録する

管理者はTopAccessを使ってLDAP(Lightweight Directory Access Protocol) サーバーのディレクトリサービスに 関するプロパティを登録することができます。新しいディレクトリサービスを追加すると、ユーザはLDAPサーバーを 使って宛先を検索することができます。

### ディレクトリサービスをセットアップする

- **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。
  - 🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **3** [保守] メニューをクリックし、[LDAPサービス] サブメニューをクリックします。

ΤορΛα	5						-	ファイリングボックス ログイン
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保	守	<u>登録</u>				
保守 ソフトウェアのアッ クライアントソフトウ トのインストールを行 アップロードソフトウ アップロードソフトウ アップロード	<b>ブロード   ソフトウェアの)</b> 127を本(本):アップロードす わことができます。 フェア Driver Files ウェアを選択後、必要なファイ	削除   <u>クローンファイル</u> ることができます。一般コ ● OK (ハルの場所を指定して下さ	<b>後日</b> 作成   <u>クローンファイル</u> ル にー切よ インストールンフ れ い。	<u> シインストール   インボー</u> トウェアのリンクからクライ?	<u>+   エクスポート</u>   ファイ アントソフ		2(レ <u>ボート通知</u> ) 宣 <b>2</b>	<u>講談定</u>   <u>システム7</u>

LDAPサービスサブメニューページが表示されます。

**4** [新規] をクリックし、新しいディレクトリサービスを追加します。既存のディレクトリ サービスを編集する場合は、ディレクトリサービス名リンクをクリックします。

Τορλα	ess						<u>ファイリングボックス</u>
							ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	1	 登録			
(D.c.)							
保守							
<u>ソフトウェア(</u>	<u> のアップロード   ソフトウェアの削</u>	除   <u>クローンファイル作成</u>	2ローンファイルの	<u>&gt;インストール   インボート</u>	<u>エクスポート</u>   <u>ファ1</u>	<u> 川祖隊</u>   LDAPサービス	レポート通知   言語設定   システムアップデート   再起動
筆行主日							
< NZ				III			4
デフォルトサ	ーバー  LDAPサーバー名	サーバーアドレス	サーチベース				
۲	MFPローカル	localhost	DC=toshiba-addre	ssbook,DC=com			
0	LDAP server01	192.168.1.1					
0	LDAP se	192.168.10.1					
0	LDAP server03	192.168.100.1					
<u>ニのページの</u>	<u>)先頭へ</u>						

LDAPプロパティページが表示されます。

## 5 必要に応じて、以下の項目を入力します。

TopAccess						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ	セキュリティー	保守	<u>登録</u>			
LDAP情報	登録LDAP一覧					
OK リセット 削	耶余					
*必須入力 *LDAPサーバー名	LDAP se	erver01		ו		
*サーバーアドレス	192.168.	1.1				
*ボート番号	389					
121F	自動	•				
サーチベース						
ユーザ名						
バスワード						
サーチ時間	1 -					
SSL使用	無効		•			
SSLポート番号	636			$\mathbf{k}$		

このページでは、以下の設定を行うことができます:

#### 注 意

- FQDNを使用してLDAPサーバーを指定する場合は、DNSサーバーを設置しDNSの設定を有効にする必要が あります。
- ユーザ管理設定を有効にして、Windows Serverに対してロールベースアクセスを行う場合には、設定する ユーザ名は、Windows ServerでDomain AdminsかAccount Operatorに属しているユーザを使用してください。

#### 補足

- [リセット] をクリックすると、入力した値が消去されます。
- 既存のディレクトリサービスを編集している場合は、[削除]をクリックして登録したディレクトリサービスを削除することができます。

#### 6 [OK] をクリックします。

登録したディレクトリサービスが、ディレクトリサービス一覧に追加されます。

## 7 標準のLDAPサーバーとして使用するLDAPディレクトリサービスのラジオボタンを選択します。

κ	/00	<b>Access</b>	;						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト		
	装	置	¥∋7		IJ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
	<u>tzył 7</u>	್ರಿಸೆ ।	<u> セキュリティ</u>	保守	1	<u>登録</u>					
	保守 ソフトウェアのアップロード   ソフトウェアの削除   クローンファイル作成   クローンファイルのインストール   インボート   エクスボート   ファイル削除   LDAPサービス   レ 新規										
•					III				Þ		
	デフォ	ルトサーバー	LDAPサーバー名	サーノ	ドーアドレス	サーチベース					
- 1	0		MFPローカル	localh	ost	DC=toshiba-address	book,DC=com				
	۲		LDAP server01	192.16	58.1.1						
	$\odot$		LDAP server02	192.16	68.10.1						
	0		LDAP server03	192.16	68.100.1						

補 足

標準のLDAPサーバーとして選択したディレクトリサービスは、操作パネルでLDAP検索するときに初期値とし て選択されるディレクトリサービスになります。本機を標準のLDAPサーバーとして選択した場合は、標準の ディレクトリサービスが設定されていない状態になります。 8

#### ■ レポート通知を設定する

管理者はレポート通知を設定し、エラーが発生した場合やジョブを完了したときにEメール(携帯の端末も可)による通 知を受けることができます。

注意

通知機能を有効にする場合は、[セットアップ]メニューの [Eメール] サブメニューでEメール設定を行う必要があります。

□ P.232 「Eメール設定をセットアップする」

#### 通知イベントを設定する

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [保守] メニューをクリックし、[レポート通知] サブメニューをクリックします。

TopAccess	5					2	<u>ァイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	登録				
<b>保守</b> ソフトウェアのアッコ	ガ <u>ロード</u>   <u>ソフトウェアの消</u>	レンファイル作 1911-20アイル作	E成   クローンファイルのイ	<u>()2)-ル   インボート</u>	<u>エクスポート</u>   <del>ファイル</del>	<u>削除</u>   <u>LDAPサービス</u>	レポート通知   <u>言</u> i

レポート通知サブメニューページが表示されます。

**4** Eメール設定では、通知機能を有効にするために[管理者Eメールアドレス1~3] チェック ボックスをオンにし、通知を送信する管理者のEメールアドレスを入力します。

TopAcces	5					2	<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	2 登録				
保守 ソフトウェアのアッ: 保存	ブ <u>ロード</u>   <u>ソフトウェアの削</u>	除   <u>クローンファイル作</u> 日	<u>歳   クローンファイルのイ</u>	<u> </u>	<u>エクスポート</u>   ファイル	<u>剤除</u>   <u>LDAPサービス</u>	レポート通知   <u>言</u> ]
通知設定 「」」ル設定 ▽ 管理者Eメーノ = 管理者Eメーノ = 管理者Eメーノ = 管理者Eメーノ	レアドレス1 レアドレス2 レアドレス3		or@example.com				

**5**「システム通知情報イベント」または「ジョブ通知情報イベント」で、通知を受けたいイベントのチェックボックスをオンにします。

opracess						2	ァイリングボッ ログア
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
<u>セットアップ</u>	セキュリティ	保守	登録				
保守							
ソフトウェアのアップ	コード   ソフトウェアの削除	クローンファイル作用	成   クローンファイルのイ	シストール   インボート	<u>エクスポート</u> ファイル	レ削除   LDAPサービス	レポート通知
[2方]							
1717							
			m				
警告							
情報	수 나라 친구했다						
ファックスペンター	イットファックス文信						
一吉吉							
スキャン							
警告							
────     青幸辰							
ファイリングボックス	ζ						
(音楽版							
ミラョーデ油和快超イム	e uk	_					
スキャン							
🔲 エラーメッセ	ージを送信する						
🔲 ジョブ完了メ	ッセージを送信する						
ファックスインター	ネットファックス受信						
□ エラーメッセ	ージを送信する						
<ul> <li>ジョブ完了メ</li> <li>ファクス受信転送</li> </ul>	ッセージを送信する						
ニ エラーメッヤ	ージを送信する						
□ ジョブ完てメ	ッセージを送信する						
インターネットファク	7ス受信転送						
	ージを送信する						
□ エラーメッセ	P GEOGRAP &						

各イベントの詳細については、以下を参照してください。 □ P.296 「システム通知情報イベント」 □ P.297 「ジョブ通知情報イベント」



#### ■ インポートまたはエクスポートする

アドレス帳/Fコード/テンプレート/複合(テンプレート+アドレス帳+Fコード)をインポートまたはエクスポートす ることができます。

ここでは、アドレス帳データのインポートとエクスポートについて説明します。Fコード、テンプレート、複合(テンプ レート+アドレス帳+Fコード)についても、エクスポートデータのファイル形式の指定以外は同じ手順でインポート/ エクスポートできます。

□ P.310 「アドレス帳データをインポートする」
 □ P.312 「アドレス帳データをエクスポートする」

## □ アドレス帳データをインポートする

他の機器のアドレス帳や、異なるアドレス帳プログラムからCSV形式またはXML形式でエクスポートされたアドレス情報をインポートすることができます。

アドレス帳のインポート方法は、本機に登録済みのアドレス帳にインポートしたアドレス帳の情報を追加する方法と、登録済みのアドレス帳をすべて削除してインポートしたアドレス帳の情報に書き換える方法があります。 アドレス帳データを作成する場合は、CSV形式/XML形式でアドレス帳をエクスポートしてから編集することをお勧めし

アドレス帳データを作成する場合は、CSV形式/XML形式でアドレス帳をエクスポートしてから編集することをお勧めします。

#### 注 意

各項目の指定されている文字数を超える場合は、アドレス帳はインポートできません。 使用できない文字を入力しているときは「!」で置き換えられます。

- 姓:全角で32文字
- 名:全角で32文字
- フリガナ:全角カタカナで64文字
- Eメールアドレス:半角英数字で192文字
- 電話番号:半角数字で128文字
- 電話番号2:半角数字で128文字
- 会社名:全角で64文字
- 部署名:全角で64文字

補足

インポートしたアドレス帳のデータには、グループデータは含まれません。

#### CSV/XML形式のアドレス帳データをインポートする

#### 注意

アドレス帳データをインポートする前に、現在処理中のジョブや、プライベート印刷ジョブ、予約印刷ジョブ、お試 し印刷ジョブがないことを確認してください。これらのジョブがある場合、アドレス帳データをインポートすること ができません。それでもアドレス帳データのインポートに時間がかかる場合は、本機がスリープモードに入ってから データのインポートを行ってください。



**1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

2 [管理者] タブをクリックします。

TopAccess	5					2	<u>ァイリングボックス</u> ログマウト
							<u>H27 31</u>
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	登録				
保守		3					
<u>ソフトウェアのアッコ</u>	<u>ブロード   ソフトウェアの肖</u>	<u> 除   クローンファイル作</u>	成   クローンファイルのイ	<u>(ンストール  </u> インポート N	<u>エクスポート</u>   <u>ファイ</u> ノ	<u> I利除   LDAPサービス</u>	<u>レポート通知</u>   言
					2		

インポートサブメニューページが表示されます。

▲ アドレス帳エリアのインポート方式を選択します。

TopAccess	;					2	<u>ァイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	登録				
保守 <u>ソフトウェアのアップ</u>	ロード   <u>ソフトウェアの削</u>	験   クローンファイル作用	<u>成   クローンファイルのイ</u>	<u>`\\Z}-\\   <b>1\\#-</b>F</u>	<u>エクスポート</u>   ファイル	<u> 利除   LDAPサービス</u>	<u>レポート通知</u>   <u>言</u> ] 
<			m		<u>更新</u>		4
アドレス帳 インボート方式: ファイル名	◎ 追加 ◎ 上書き		参照 インポート				

<u>追加</u>:本機に登録済みのアドレス帳に、インポートするアドレス帳の情報を追加します。 **上書き**:本機に登録済みのアドレス帳をすべて削除し、インポートするアドレス帳の情報に書き換えます。

インポート方式ページが閉じます。

## 5 アドレス帳エリアの [参照] をクリックします。

Το	<i>DAccess</i>							<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
	装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
tz	<u> マットアップ</u>	セキュリティ	保守	登録			-	
<b>伤</b> 2	<b>禄守</b> ワトウェアのアップロ	<u>ユード</u>   <u>ソフトウェアの削</u>	<u>除   クローンファイル作</u>	惑   クローンファイルの・	<u>1)21-11   <b>1)#-1</b></u>	<u>エクスポート</u>   <del>ファイ</del> ,	U剤除   LDAPサービス	<u>지   レポート通知   言</u> ]
٠ [				III				4
						更新		
7	アドレス帳							
1	(ンポート方式:	◎ 追加 ○ 上書き						
7	7ァイル名			参照インボート	]			
F	「コード			42				
-	ファイル名			を照 インボート				

[ファイルの選択] ダイアログボックスが表示されます。

6 目的のアドレス帳のデータを含むCSV/XMLファイルを選択し、[開く] をクリックします。

» ଣ 🗸 🔾	ドキュメン	21 . Do	ocuments	<b>- 4</b> → 1	余乘	م
▲ 整理 ▼ Ⅲ 2	赤 •	・ 新しい	フォルダ			0
お気に入りリンク		名前 ^	更新日時	種類	サイズ	>
■ ドキュメント		ADDR	_CSV081122.csv			
ミュージック						
E ピクチャ						
パブリック						
3 最近の変更						
検索						
🔄 最近表示した場	所					
詳細 >>						
詳細 >> フォルダ	^					
詳細 >> フォルダ	へ ファイル:	원( <u>N</u> ): ADI	DR_CSV081122.csv	▼ ] ₫/	«ፕወን _ፖ ብル (**)	•

[管理者] タブ

7 【インポート】をクリックします。

δpAccess	:				77	・イリングボックス ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	i i
<u>セットアップ   セ</u>	<u>2キュリティ</u>   ()	守   登録				
保守 <u>ソフトウェアのアッヺ</u>	<u>ロード</u>   <u>ソフトウェアの</u>	<u> 削除</u>   <u>クローンファイル作品</u>	<u>歳   クローンファイルのイ</u>	<u>ンストール   インポート</u>	<u>エクスポート</u>	<u>ファイル削除</u>   <u>L</u>
		m				
					重新	
アドレス帳						
インポート方式:	◎ 追加 ⑨ 上書	き				
ファイル名	C:\Users\User0	01\Desktop\ADDR_110				
Fコード						
			0			

データが本機のアドレス帳にインポートされます。

## □ アドレス帳データをエクスポートする

管理者は、アドレス情報をエクスポートすることができます。

#### 補足

エクスポートしたアドレス帳のデータには、グループデータは含まれません。

#### CSV/XML形式のアドレス帳データをエクスポートする

- 1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [保守] メニューをクリックし、[エクスポート] サブメニューをクリックします。

TopAccess	s						<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティ	保守	登録				
保守		2	1				
ソフトウェアのアップ	<u>ブロード   ソフトウェアの肖</u>	■除   クローンファイル作用	<u>或   クローンファイルのイ</u>	ンストール インポート	エクスポート   <u>ファイ)</u> ト	レ削除   LDAPサービス	<u>レポート通知</u>   <u>言語設定</u>   <u>システムアッ</u>
CSVファイルまた!	まXMLファイルを作成する為	りこは(新規作成)ボタンを押	して下さい		<b>ک</b> ر ا		

エクスポートサブメニューページが表示されます。

## 4 アドレス帳のファイル形式を選択します。

**CSV**: CSV形式でファイルを作成します。

XML:XML形式でファイルを作成します。

5 アドレス帳エリアの [新規作成] をクリックします。

TopAccess							77-79	ングボックス ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
セットアップ	セキュリティ	保守	登録			_		
復空								
体寸								
<u>ソフトウェアのアップロ</u>	<u>ード   ソフトウェアの削</u>	除   クローンファイル作用	式 クローンファイルの1	シストール インボート	エクスポート   フ	ァイル削除   LDAPサービス	レポート通知   言語設定	三 システムア
CSVファイルまたはXI	ルファイルを作成する為	こは断規作成1ボタンを押	して下さい					
00157 1178/210/0	100 CTP047 800	ectorement express criti	00100					
			r	II				Þ
					ß			
					<u>30 mi</u>			
アドレス帳								
ファイル名	ADI	DR 110118.csv						
ファイルサイズ	157	5						
作成日時	TUI	EJAN 18 18:43:14 2011						
エクスポートデータの	ファイル形式 💿	CSV 🔘 XML						
				ſ	新規作成			
Em K				6	2			
F _ F					P11			
ファイル名	ファ	イルを作成していません			0			
ファイル名 ファイルサイズ	ファ	イルを作成していません			0			
ファイル・名 ファイルサイズ 作成日時	77	イルを作成していません			U			

エクスポートファイル情報が表示されます。

#### 補足

以前にアドレス帳データをエクスポートした場合は、エクスポートしたファイルのリンクと情報がアドレス帳 エリアに表示されます。リンクをクリックすると、以前にエクスポートしたファイルを保存することができま す。

## 6 [ファイル名] リンクを右クリックし、[対象をファイルに保存] を選択します。

TopAccess					23	<u>ァイリングボックス</u> ログアウト
装置ジ	=7 P:	ブ 登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ   セキュ		守   登録				
<b>保守</b> ソフトウェアのアップロード   ソ	<u>フトウェアの削除   クロー)</u>	ッファイル作成   クローンファイルの	<u>1775-17   174-F</u>	│ <b>エクスポート</b> │ <u>ファイル</u> 構	<u> IDAPサービス</u>	<u>レポート通知</u>   <u>1</u>
CSVファイルまたはXMLファイル	∕を作成する為には断規作6	対ボタンを押して下さい				
				<b>日</b> 更新		
アドレス帳						
ファイル名 ファイルサイズ	ADDR 110118.0 1575	間<(0)				
作成日時 エクスポートデータのファイル形	TUE JAN 18 18 式 ⊚ CSV © XML	新しいタブで聞く(W) 新しいウィンドウで聞く(N)				
		対象をファイルに保存(A)		新規作成		
<b>Fコード</b> ファイル名 ファイルサイズ	ファイルを作成し1	>>>(P)	₩2			
作成日時		⊐ピ−(C)				

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

## 7 ファイルの保存先を選択し、[ファイルの種類] ボックスで [すべてのファイル] を選択し ます。

	RAK V					C.
お気に入りリンク		名前	史新日時	種類	サイス	3
12 最近表示した場	刷所		検索条件(	こ一致する項目	はありません。	
🔳 デスクトップ						
📕 コンピュータ						
■ ドキュメント						
■ ピクチャ						
詳細 >>						
フォルダ	^					
ファイル名( <u>N</u>	): ADD	R_CSV0811	22			
	and Inclusion					

## 8 [保存] をクリックします。

アドレス帳データを含むCSV/XMLファイルが選択した場所に保存されます。

#### ■ 再起動する

管理者は本機を再起動することができます。

#### 本機を再起動する



再起動サブメニューページが表示されます。

#### ▲ [再起動] をクリックします。

TopAcces	S									ファイリングボック ログア	<u>ን</u> ኃኑ
装置		ಳೆ∎ <b>ಶ</b>	ログ		登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者			
セットアップ	1	セキュリティ	1	保守	I.	<u>登録</u>					
保守 <u>ソフトウェアのアッ</u> マシンを再起動す	<u>ブロード</u> 「る!こよ「再	<u>ソフトウェアの利助</u> 記動Jボタンを押し	途   <u>クローンフ</u> てください。	アイル作成	<u>20-27711001</u>	<u>221-12   72#-1</u>	<u>エクスポート</u>   <del>ファイル</del>	<u> 利助</u>   LDAPサービス	レボート通知   言語設定	<u>システムアップデート</u>	再
•											
再起動											

再起動の確認ダイアログボックスが表示されます。

#### **5** [OK] をクリックします。



本機の再起動を開始します。

#### 注 意

本機の再起動中は、ネットワークが無効になり、TopAccessでは「2~3分ほど待ってからつなぎ直してください。」が表示されます。また、本機のタッチパネルに「NIC初期化中」が表示されます。「NIC初期化中」のメッセージが消えたら、TopAccessが再び使用できるようになります。

## [登録]([管理者] タブ)項目説明一覧

補足

[登録] メニューは [管理者] タブから、アクセスポリシーモードで管理権限が設定されているユーザがアクセスできます。 アクセス方法は、以下を参照してください。

- 🕮 P.23 「アクセスポリシーモード」
- □ P.315 「共有テンプレート」
- 🚇 P.317 「共有メニュー」
- □ P.320 「ファクス受信転送およびインターネットファクス受信転送」
- □ P.329 「拡張フィールド定義」
- □ P.333 「XMLフォーマットファイル」

#### ■ 共有テンプレート

[登録]メニューの[共有テンプレート]サブメニューのページから、パネル設定、宛先設定などを編集することができます。 セットアップ手順は、プライベートテンプレートの登録と同じです。

#### 補足

[共有テンプレート]サブメニューは、[管理者]タブの[登録]メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[登録]メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.315 「[登録]([管理者] タブ)項目説明一覧」

🕮 P.315	「パネル設定(共有テンプレート)」	🕮 P.316 「共有フォルダに保管設定(共有テンプレート)」
🕮 P.315	「宛先設定(共有テンプレート)」	🚇 P.316 「ボックス設定(共有テンプレート)」
🕮 P.315	「インターネットファクス設定(共有テンプレート)」	🚇 P.316 「USB保存設定(共有テンプレート)」
🕮 P.316	「ファクス設定(共有テンプレート)」	🚇 P.316 「スキャン設定(共有テンプレート)」
🕮 P.316	「Eメール設定(共有テンプレート)」	□ P.316 「拡張フィールド設定」

### □ パネル設定(共有テンプレート)

パネル設定のページでは、タッチパネル画面にテンプレートアイコンをどのように表示するかを設定します。また、テン プレートの通知機能を設定することができます。 □ P.57 「パネル設定(プライベートテンプレート)」

## □ 宛先設定(共有テンプレート)

宛先リストのページでは、ファクスやインターネットファクス、Eメール文書を送信する宛先を指定します。 Eメール送信エージェントの宛先を指定するときは、Eメールアドレスのみを使用することができます。 ファクス/インターネットファクスエージェントの宛先を指定するときは、ファクス番号およびEメールアドレスの両方 を使用することができます。

#### 注意

宛先にファクス番号を指定するには、オプションのFAXユニットが本機に装着されている必要があります。

宛先を指定するには、相手先のEメールアドレスやファクス番号を手動で入力したり、アドレス帳から個人やグループを 選択します。また、LDAPサービスを使って検索することもできます。 □□ P.58 「宛先設定(プライベートテンプレート)」

#### □ インターネットファクス設定(共有テンプレート)

インターネットファクス設定ページでは、送信されるインターネットファクスのプロパティを設定します。 □ P.64 「インターネットファクス設定(プライベートテンプレート)」 ダレ

## □ ファクス設定(共有テンプレート)

ファクス設定に関するエージェント設定のページでは、ファクス/インターネットファクスエージェントを使ってファク スをどのように送信するか設定します。 □ P.64 「ファクス設定(プライベートテンプレート)」

## □ Eメール設定(共有テンプレート)

Eメール設定ページでは、送信されるEメール文書のプロパティを設定します。
□ P.66 「Eメール設定(プライベートテンプレート)」

## □ 共有フォルダに保管設定(共有テンプレート)

共有フォルダに保管設定ページでは、スキャンファイルの保存方法および保存先を設定します。 □ P.68 「共有フォルダに保管設定(プライベートテンプレート)」

## □ ボックス設定(共有テンプレート)

ボックス設定のページでは、ファイリングボックスにスキャンイメージをどのように保存するかを設定します。
□ P.71 「ボックス設定(プライベートテンプレート)」

## □ USB保存設定(共有テンプレート)

USB保管設定のページでは、USBメディアに保存する方法を設定します。

## □ スキャン設定(共有テンプレート)

スキャン設定ページでは、スキャンエージェントを選択した場合に、どのように原稿をスキャンするかを設定します。 □ P.74 「スキャン設定(プライベートテンプレート)」

## □ 拡張フィールド設定

□ P.76 「拡張フィールド設定」

## ■ 共有メニュー

共有メニューは、操作パネルの [メニュー] ボタンを押すと表示されるメニュー画面の設定を行います。 よく使うテンプレートまたはテンプレートグループや外部連携オプションのショートカットを登録することができます。

#### 補足

[共有メニュー]サブメニューは、[管理者]タブの[登録]メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[登録]メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.315 「[登録]([管理者] タブ)項目説明一覧」

□ P.318 [[メニュータイプ選択] 画面」
 □ P.318 [[テンプレートグループ選択] 画面」

- □ P.319 「[テンプレートの選択] 画面」
- □ P.319 [URL選択] 画面」

1 2 2 1 1 1 3 4	キャンセル 利除 ブブ ズ 33 49 番号  名称 タイブ 1001 法 認識
3	●番号  名称 タイブ
5	002     法定第       004     法定第       005     法定第       006     未定第       007     未定第       008     未定第       009     未定第
	000         法正第           010         法正第           011         法定第           012         法定第           013         法定第           014         法正第           015         法正第           016         法正第

	項目名	機能説明				
1	[キャンセル] ボタン	操作を中止します。				
2	[削除] ボタン	選択している共有メニューを削除します。				
3	番号	共有メニューの番号が表示されます。				
	補足					
	共有メニューは、64種類登録することができます。					
4	名称	共有メニューに登録されているテンプレートまたは外部連携オプションの登録名称が表示 されます。 すでに登録済みの名称をクリックすると、登録されている共有メニューを確認・編集する				
		ロロン (1939) ロ P.318 [[テンプレートグループ選択] 画面] ロ P.319 [[UR] 選択] 画面				
		□ F.010 「しんとよい」 当回」 [未定義]をクリックすると、共有メニューを登録することができます。 □ P.318 「[メニュータイプ選択]画面」				
5	タイプ	共有メニューのタイプが表示されます。				

[管理者] タブ

## □ 【メニュータイプ選択】 画面

共有メニューに追加するメニュータイプを選択します。

メニュータイプ選択	
メニュータイプを選択してください	
1 テンプレート   拡張機能 2	

	項目名	機能説明
1	[テンプレート] ボタン	共有メニューにテンプレートを追加します。 □ P.318 「[テンプレートグループ選択]画面」
2	[拡張機能]ボタン	共有メニューに外部連携オプションのURLを追加します。 □ P.319 「[URL選択] 画面」

## □ [テンプレートグループ選択] 画面

共有メニューで選択できるテンプレートグループの一覧を表示します。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	選択したテンプレートグループを登録します。
2	[キャンセル] ボタン	テンプレートグループの登録を中止します。
3	番号	選択できるテンプレートグループの番号が表示されます。
4	名称	テンプレートグループの名称が表示されます。 名称をクリックすると、テンプレートの選択画面が表示されます。テンプレートを選択で きる場合は、選択できるテンプレートに一覧が表示されます。 □ P.319 [[テンプレートの選択] 画面]
5	ユーザ名	テンプレートグループのユーザ名が表示されます。

## □ [テンプレートの選択] 画面

[テンプレートグループ選択] 画面でテンプレートグループの名前をクリックすると、使用するテンプレートを選択できます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	選択したテンプレートを登録します。
2	[キャンセル] ボタン	テンプレートの登録を中止します。
3	テンプレート一覧	選択できるテンプレートの一覧が表示されます。 使用するテンプレートを選択します。

## □ [URL選択] 画面

[メニュー画面URL一覧] で登録したURLを選択します。 □ P.214 「メニュー画面URL一覧」

	URL選択		
1 —	保存」キャンセル		
-	名称	URL	
3 —	example01	h x//192.168.1.1	
4 —	avamala00	L. x://192.168.10.1	
	example03	http://192.168.100.1	
	このページの先頭へ		

	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	選択したURLを登録します。
2	[キャンセル] ボタン	URLの登録を中止します。
3	名称	登録されているURL名が表示されます。
4	URL	登録されているURLが表示されます。

## ■ ファクス受信転送およびインターネットファクス受信転送

#### 補足

[ファクス受信転送] / [インターネットファクス受信転送] サブメニューは、[管理者] タブの [登録] メニューから アクセスできます。 アクセス方法、[登録] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.315 「[登録] ([管理者] タブ) 項目説明一覧」

#### 注意

[ファクス受信転送]は、オプションのFAXユニットが本機に装着されているときにのみ有効です。

□ P.320 「原稿印刷(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
 □ P.321 「宛先設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
 □ P.322 「インターネットファクス設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
 □ P.323 「共有フォルダに保管設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
 □ P.326 「Eメール設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
 □ P.328 「ボックス設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」

## □ 原稿印刷(ファクス/インターネットファクス受信転送)

転送する受信原稿の印刷を設定します。

	1 原稿印刷 エラー時のみ€印刷 ▼		
	項目名	機能説明	
1	原稿印刷	• 常時印刷:転送する受信原稿を常に印刷します。	
		<ul> <li>エラー時のみ印刷:すべての転送箇所がエラーになったとき受信原稿を印刷します。(た とえば、共有フォルダ保管とEメール送信設定でEメール送信エラーだけが発生した場 合は印刷しません。)</li> </ul>	

## □ 宛先設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)

受信したファクスやインターネットファクスを転送する宛先を指定します。宛先には、Eメールアドレスのみ設定することができます。

宛先設定は、転送のエージェントとして[インターネットファクス]を選択した場合に設定できます。

#### 宛先リスト



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	宛先の設定内容を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	設定を中止します。
3	[新規] ボタン	宛先としてEメールアドレスを登録する画面を表示します。 □ P.78 「[宛先情報]画面」
4	[アドレス帳] ボタン	アドレス帳から宛先を選択します。
5	[アドレスグループ一覧] ボタン	アドレス帳のグループを宛先として選択します。
6	[検索] ボタン	アドレス帳から連絡先を検索します。 □ P.80 「[宛先検索]画面」
7	[削除] ボタン	選択されている宛先を削除します。
8	名称	アドレス帳に登録されている名称を表示します。
9	宛先	Eメールアドレスを表示します。

#### [宛先情報] 画面

宛先としてEメールアドレスを設定します。



	項目名	機能説明
1	宛先	Eメールアドレスを入力します。
2	[OK] ボタン	宛先を保存します。
3	[キャンセル] ボタン	設定を中止します。
4	[リセット] ボタン	入力されているEメールアドレスを消去します。

[管理者] タブ

## □ インターネットファクス設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)

インターネットファクス設定ページでは、送信されるインターネットファクスのプロパティを設定します。 宛先設定は、転送のエージェントとして[インターネットファクス]を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	件名	インターネットファクスに適用する件名を設定します。デフォルト設定の[(マシン名称) からのスキャン[(テンプレート名称)](日付)(時間)]を選択するか、目的の件名をボッ クスに入力します。手動で件名を入力した場合は、自動的に(日付)が付与され、[(件名) (日付)]になります。
2	送信者アドレス	送信者のEメールアドレスとして適用するEメールアドレスを入力します。テンプレートを 使って本機が送信した文書に対して相手先が返信する場合は、ここで設定するEメールアド レスに返信されます。
3	送信者名	インターネットファクス送信に適用する送信者の名前を入力します。
4	本文	インターネットファクスに適用する本文を入力します。スペースを含み1000文字まで入力 できます。
5	ファイル形式	スキャンイメージのファイル形式を選択します。[TIFF-S](TIFF-FX(Profile S))のみ選 択することができます。
6	分割ページサイズ	メッセージの分割サイズを選択します。
# □ 共有フォルダに保管設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)

共有フォルダに保管設定のページでは、受信した文書の保存方法および保存先を設定します。 宛先設定は、転送のエージェントとして[インターネットファクス]を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	ファイル形式	<ul> <li>スキャンファイルの保存形式を選択します。</li> <li><u>TIFF(マルチ)</u>:スキャンイメージを複数ページのTIFFファイルとして保存します。</li> <li>TIFF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存します。</li> <li>PDF(マルチ):スキャンイメージを複数ページのPDFファイルとして保存します。</li> <li>PDF(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存します。</li> <li>XPS(マルチ):スキャンイメージを、複数ページのXPSファイルとして保存します。</li> <li>XPS(シングル):スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存します。</li> </ul>
	<ul> <li>補足</li> <li>・強制暗号化機能が有効に設定されている場合、選択できるファイル形式はPDF(マルチ)とPDF(シングル)のみとなります。強制暗号化機能については、設定管理ガイドを参照してください。</li> <li>・XPSファイルで保存したデータは、お使いのコンピュータがWindows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 SP1、またはWindows XP SP2/Windows Server 2003 SP1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することができます。</li> </ul>	

[管理者] タブ

	項目名	機能説明
2	暗号化	ファイル形式でPDF(マルチ)またはPDF(シングル)を選択したとき、PDFを暗号化します。
		暗号化
		PDFを暗号化する場合にオンにします。
		PDFの暗号化設定を変更するためのパスワードを入力します。
		暗号化レベル
		暗号化レベルを選択します。
		<ul> <li>40-bit RC4: Acrobat 3.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。</li> </ul>
		<ul> <li>128-bit RC4: Acrobat 5.0, PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。</li> </ul>
		<ul> <li>128-bit AES: Acrobat 7.0, PDF V1.6に互換性のある暗号化レベルを設定します。</li> </ul>
		権限
		暗号化PDFの権限を設定する項目をオンにします。
		<ul> <li>         ・ 又書の変更を計可する         ・ 作成される暗号化PDFノアイルの又書の変更を計可します。         ・         ・         ・</li></ul>
		• 内谷のコビーと抽出を計りする、作成される暗号化PDFファイルのコピーと抽出を計り
		しまり。
		・ ノノビノニシノ1を有効にする、ノクビノニノノイを有効にします。
	補足	
	• 暗号化PDF 強制モードが有く	かに設定されていろ堪会 「陪号化] チェックボックスをオフにすろことけできすせん 強制
		2 <b>答理ガイド</b> を参照してください。
	<ul> <li>         ・工場出荷時の状態では、ユー         ・     </li> </ul>	-ザパスワードとマスタパスワードは設定されていません。
	<ul> <li>半角の英数字で、1文字以上</li> </ul>	32文字まで入力できます。
	<ul> <li>ユーザパスワードとマスタノ</li> </ul>	ペスワードは、同じパスワードを設定することはできません。
	各パスワードはユーザが変更す	ることを許可されている場合のみ入力できます。マスタパスワードの変更が許可されていな
	い場合は、暗号化レベルおよび	権限の設定を変更することはできません。暗号化の詳細設定については <b>設定管理ガイド</b> を参
	照してください。ユーザパスワ	ードおよびマスタパスワードの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。
3	宛先/ローカルフォルダを使用	受信原稿を本機の共有フォルダ(「FILE_SHARE」フォルダ)に保存します。

	項目名	機能説明
4	宛先/リモート1	受信原稿をネットワークフォルダに保存する場合にオンにします。[セットアップ]メ ニューの[共有フォルダに保管]サブメニューで、リモート1をどのようにセットアップし たかによって設定方法は異なります。 [次のネットワークフォルダに保存する]を選択した場合は、[アドミン設定を使用]のみ 選択可能です。その場合、保存に使用するプロトコルおよび保存先のネットワークパスが
		表示されます。 [ユーザがネットワークフォルダを指定することを認める]を選択した場合は、[ユーザ設 定を使用]を選択し、以下の項目を入力してファイルを保存する宛先を設定します。 プロトコル
		受信原稿をネットワークフォルダに転送するときに使用するプロトコルを選択します。 <ul> <li>SMB:SMBプロトコルを使用して受信原稿をネットワークフォルダに転送します。</li> <li>FTP:受信原稿をFTPサーバーに転送します。</li> </ul>
		<ul> <li>FTPS:スキャンファイルをFTP over SSLでFTPサーバーに転送します。</li> <li>NetWare IPX/SPX:スキャンファイルをIPX/SPXプロトコルを介してNetWareサー パーに転送します。</li> </ul>
		<ul> <li>NetWare TCP/IP:スキャンファイルをTCP/IPプロトコルを介してNetWareサーバー に転送します。</li> </ul>
		サーハー名称 プロトコルでFTPを選択した場合は、受信原稿を転送するFTPサーバー名またはIPアドレス を入力します。たとえば、受信原稿をFTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」 というFTPフォルダに転送する場合は、このボックスに「192.168.1.1」と入力します。 プロトコルでNetWare IPX/SPXを選択した場合は、スキャンファイルを転送する NetWareサーバー名または、Tree/Context (NDSが使用可能な環境の場合)を入力します。 プロトコルでNetWare TCP/IPを選択した場合は、スキャンファイルを転送するNetWare サーバーのIPアドレスを入力します。 コマンドポート
		プロトコルでFTPを選択した場合に、コマンド実行に使用するポート番号を入力します。通常は、初期状態で入力された「-」のままにします。「-」にした場合は、ネットワークの設定ページの[FTPクライアント]で設定したポート番号(初期値)が適用されます。初期設定のポート番号とは別のポート番号を指定したい場合のみこの値を変更します。 ネットワークバス
		プロトコルにSMBを選択した場合は、ネットワークフォルダへのネットワークパスを入力 します。たとえば、SMB サーバー名が「Client01」というコンピュータの「users ¥ scanned」というフォルダを指定する場合は、「¥ ¥ Client01 ¥ users ¥ scanned」と入力 します。
		プロトコルにFTPを選択した場合は、指定したFTPサーバーのディレクトリを入力します。 たとえば、FTPサーバーの「ftp://192.168.1.1/user/scanned」というフォルダを指定す る場合は、「user/scanned」と入力します。
		プロトコルにNetWare IPX/SPXまたはNetWare TCP/IPを選択した場合は、指定した NetWareサーバーのディレクトリを入力します。たとえば、NetWareサーバーの「sys¥ scan」というフォルダを指定する場合は、「¥sys¥scan」と入力します。
		必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするためのログインユーザ名を入力します。プロトコルにFTPを選択した場合、このボックスを 空欄にすると、匿名でのログインと判断されます。 パスワード
		必要に応じて、SMBサーバー、FTPサーバー、またはNetWareサーバーにアクセスするた めのパスワードを入力します。 パスワードの確認 確認のためにパスワードを再入力します。
5	宛先/リモート2	受信原稿をネットワークフォルダに保存する場合にオンにします。[セットアップ] メ ニューの[共有フォルダに保管] サブメニューで、リモート2をどのようにセットアップし たかによって設定方法は異なります。リモート2が管理者により指定されたネットワーク フォルダを使用するように設定されている場合は、[アドミン設定を使用]のみ選択可能で す。その場合、保存に使用するプロトコルおよび保存先のネットワークパスが表示されま す。ネットワークフォルダを自由に指定することが許可されている場合は、[ユーザ設定を 使用]を選択し、ファイルを保存する宛先を設定します。設定する項目はリモート1と同様 です。

8

	項目名	機能説明
6	ファイル名	「(送信元) -NNN」がファイル名になります。ファイル名を変更することはできません。
	補 足 ファクス受信転送またはインター	ーネットファクス受信転送を設定する場合のファイル名の表示は、設定条件によって以下の
	ように美なります。 • アドレス帳に登録された番号	らと、相手番号が同じ場合はアドレス帳の登録名。
	• アドレス帳に登録がなく、相	目手先が自局番号を登録している場合は相手の自局番号。
	• アドレス帳に登録がなく、林	目手先の自局番号も登録されていない場合には、DOC+日付。

### 注意

同一の送信者により送信された最大999個のファイルを同じ保存先に保管することができます。999を超えると、本機 はファイルを保管する代わりに、受信文書を印刷します。

# □ Eメール設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)

Eメール設定ページでは、転送されるEメール文書のプロパティを設定します。 宛先設定は、転送のエージェントとして[インターネットファクス]を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	件名	Eメール文書に適用する件名を設定します。デフォルト設定の[(マシン名称)からのスキャン [(テンプレート名称)](日付)(時間)]を選択するか、目的の件名をボックスに入力します。手動で件名を入力した場合は、自動的に(日付)が付与され、[(件名)(日付)]になります。
2	送信者アドレス	送信者のEメールアドレスとして適用するEメールアドレスを入力します。テンプレートを 使って本機が送信した文書に対して相手先が返信する場合は、ここで設定するEメールアド レスに返信されます。
3	送信者名	Eメール文書に適用する送信者の名前を入力します。
4	本文	Eメール文書に初期設定として適用する本文を入力します。スペースを含み1000文字まで 入力できます。

	項目名	機能説明
5	ファイル形式	ファイル形式を選択します。
		• TIFF (マルチ):スキャンイメージを、複数ページのTIFFファイルとして保存します。
		• <b>TIFF (シングル)</b> :スキャンイメージを、1ページ1ファイルのTIFFファイルとして保存
		しまり。 • PDF (フルチ)・スキャンイメージを 複数ページのPDFファイルとして保存します
		• <b>PDF (シングル)</b> : スキャンイメージを、1ページ1ファイルのPDFファイルとして保存
		します。
		• <b>XPS(マルチ)</b> :スキャンイメージを、複数ページのXPSファイルとして保存します。
		• <b>XPS (シングル)</b> :スキャンイメージを、1ページ1ファイルのXPSファイルとして保存
		します。
	補足	
	• 強制暗号化機能が有効に設定	Eされている場合、選択できるファイル形式はPDF(マルチ)とPDF(シングル)のみとなり
	ます。強制暗号化機能につい	ヽては、 <b>設定管理ガイド</b> を参照してください。
	• XPSファイルで保存したデ-	- タは、お使いのコンピュータがWindows Vista/Windows 7/Windows Server 2008 SP1、また
	はWindows XP SP2/Window	/s Server 2003 SP1以上に.NET Framework 3.0がインストールされた環境で使用することが
6	できまり。	ファイルボイズのDE(フルエ)またけDNE(シハングル)を溜担したとき DDEを座日ルします
0		ンデイル形式(FDF(マルテ)よたはFDF(シングル)を迭折したとさ、FDFを唱号化しより。 暗号化
		PDFを暗号化する場合にオンにします。
		暗号化PDFを開くためのバスリードを人力します。 マスタパスワード
		PDFの暗号化設定を変更するためのパスワードを入力します。
		暗号化レベル
		暗号化レベルを選択します。
		<ul> <li>40-bit RC4 · ACFODAT 3.0, PDF V1.1に互換性ののる暗号化レベルを設定します。</li> <li>429 bit PC4 · Acrobat 5.0, PDF V1.1に互換性のある暗号化レベルを設定します。</li> </ul>
		<ul> <li>128-bit ACS: Acrobat 7.0. PDF V1.4に互換性のある暗号化レベルを設定します。</li> </ul>
		<b>権限</b>
		暗号化PDFの権限を設定する項目をオンにします。
		• 印刷を許可する:作成される暗号化PDFファイルの印刷を許可します。
		<ul> <li>         ・  又書の変更を計可する: 作成される暗号化PDFノアイルの又書の変更を計可します。     </li> <li>         ・  肉ののコピーと抽出を許可する: 作成される暗号化PDFファイルのフピーと抽出を許可     </li> </ul>
		<ul> <li>アクセシビリティを有効にする:アクセシビリティを有効にします。</li> </ul>
	補足	
	• 強制暗号化機能が有効に設定	Eされている場合、[暗号化]チェックボックスをオフにすることはできません。強制暗号化 「ノビキキ呀」スノギキン
	<ul> <li>         ・ T場出荷時の状態では、ユー     </li> </ul>	J1 F を参照してくたさい。 - ザパスワードとマスタパスワードは設定されていません。
	<ul> <li>・</li> <li>半角の英数字で、1文字以上</li> </ul>	32文字まで入力できます。
	• ユーザパスワードとマスタノ	パスワードは、同じパスワードを設定することはできません。
	注音	
	各パスワードはユーザが変更す	ることを許可されている場合のみ入力できます。マスタパスワードの変更が許可されていな 佐畑の恐宕を亦更することはできません。 腔口化の詳細恐宕については <b>恐宕な明</b> ばくいきな
	い場合は、暗号化レベルおよび 照してください。ユーザパスワ・	唯阪の設定を変更することはでさません。暗亏化の計細設定についくは <b>設正官理力イド</b> を参 - ドおよびマスタパスワードの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。
7	ファイル名	「(送信元)-NNN」がファイル名になります。ファイル名を変更することはできません。
		「(送信元)」は、送信元番号またはアドレス帳に登録されている場合は設定されている姓名
-		
8	分割送信サイズ	メッセージの分割サイスを選択します。

8

# □ ボックス設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)

ボックス設定のページでは、ファイリングボックスに受信した文書をどのように保存するかを設定します。 宛先設定は、転送のエージェントとして[インターネットファクス]を選択した場合に設定できます。



	項目名	機能説明
1	宛先	受信原稿を保存するファイリングボックスを指定します。 ボックス番号 受信原稿を保存するボックス番号を選択します。 パスワード 指定したボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力します。 パスワードの確認 確認のためにパスワードを再入力します。
2	フォルダ名	受信原稿をファイリングボックス内のフォルダに保存したい場合は、保存するフォルダ名 を入力します。
3	文書名	「(送信元)-NNN」が文書名になります。文書名を変更することはできません。

### ■ 拡張フィールド定義

メタスキャン機能を利用して、スキャンした画像に添付されるメタデータの設定を行います。 拡張フィールド定義は、100件まで登録できます。

### 補足

[拡張フィールド定義] サブメニューは、[管理者] タブの [登録] メニューからアクセスできます。 アクセス方法、[登録] メニューについては、以下を参照してください。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」 □ P.315 「[登録] ([管理者] タブ)項目説明一覧」

### 注意

メタスキャン機能を使用するには、メタスキャンオプション(GS-1010)が必要です。詳細については、販売店また はサービスエンジニアにお問い合わせください。

□ P.330 「[拡張フィールド] 画面」

- □ P.330 「拡張フィールド定義情報」
- □ P.330 「拡張フィールド設定」
- □ P.331 [[拡張フィールド属性] 画面]
- □ P.332 [[拡張フィールド定義のプロパティ] 画面]



	項目名	機能説明
1	番号	拡張フィールド定義の番号が表示されます。
2	名称	拡張フィールド定義の名称が表示されます。 すでに登録済みの名称をクリックすると、登録されている拡張フィールド定義を確認・編 集することができます。 □ P.330 [[拡張フィールド] 画面」 [未定義] をクリックすると、拡張フィールド定義を登録することができます。 □ P.332 [[拡張フィールド定義のプロパティ] 画面」

# □ [拡張フィールド] 画面

メタスキャンを実行するときに、操作パネルで入力する情報を設定します。 □ P.362 「拡張フィールド定義の登録」

# □ 拡張フィールド定義情報



	項目名	機能説明
1	[編集] ボタン	拡張フィールド定義を編集します。 □ P.332 「[拡張フィールド定義のプロパティ] 画面」
2	[リセット] ボタン	拡張フィールド定義を削除します。
3	番号	拡張フィールド定義の番号が表示されます。
4	名称	拡張フィールド定義の名称が表示されます。

# □ 拡張フィールド設定



	項目名	機能説明
1	[新規] ボタン	拡張フィールド属性を編集します。 □ P.331 「[拡張フィールド属性] 画面」
2	フィールド番号	拡張フィールド属性の番号が表示されます。
3	フィールド名	拡張フィールド属性の名称が表示されます。
4	表示名	操作パネルに表示される拡張フィールド属性の表示名が表示されます。
5	必須入力	情報を必ず入力しなければならない拡張フィールド属性かどうか表示されます。
6	隠し属性	操作パネルに表示しない拡張フィールド属性かどうか表示されます。
7	入力方法	拡張フィールド属性の種類が表示されます。
8	最小値	拡張フィールド属性の最小値が表示されます。
9	最大値	拡張フィールド属性の最大値が表示されます。
10	初期値	拡張フィールド属性にあらかじめ設定される値が表示されます。
11	日付	拡張フィールド属性にあらかじめ設定される日付が表示されます。

# □ [拡張フィールド属性] 画面

最小値

9

拡張フィールド属性は、25件まで登録できます。 □ P.365 「メタスキャン用のテンプレート登録」



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力した内容で拡張フィールド属性を作成します。
2	[キャンセル] ボタン	設定を中止します。
3	フィールド名	拡張フィールドの名称を設定します。
4	表示	拡張フィールドを操作パネル上に表示する際の表示のしかたを設定します。 名称:操作パネル上に表示する拡張フィールドの名称を設定します。最大256文字まで入力 できます。 必須入力:情報を必ず入力しなければならない拡張フィールドを作成する場合、チェック ボックスをオンにします。 隠し属性:操作パネル上に表示しない拡張フィールドを作成する場合、チェックボックス をオンにします。
5	入力方法*	<ul> <li>拡張フィールドの種類を選択します。</li> <li>数値:整数を入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>少数:小数を入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>文字:文字列を入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>リスト:リストから値を選択する拡張フィールドを作成します。</li> <li>アドレス:アドレスを入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>パスワード:パスワードを入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>日付:日付を入力する拡張フィールドを作成します。</li> </ul>
6	選択項目 注意 ・項目の登録制限は、選択項目 ります。 ・名称や値にセミコロンを使用	リストの拡張フィールドで選択する項目を設定します。選択項目のフィールドには、登録 した選択項目が表示されます。フィールドに項目を登録する場合は、[名称] と[値] を入 カして[追加] をクリックします。項目を選択して[上に移動] をクリックすると項目が 上に移動し、[下に移動] をクリックすると項目が下に移動します。また、フィールドから 不要な項目を削除する場合は、項目を選択して[削除] をクリックします。 名称:項目の名称を入力します。 値:その項目を選択した場合に適用する値(数値や文字列などの情報)を入力します。
7	最小文字列長	拡張フィールドに文字列を入力する場合の、最小の文字数を設定します。
8		

拡張フィールドに数値を入力する場合の、最小の数値を設定します。

[管理者] タブ

	項目名	機能説明
10	最大値	拡張フィールドに数値を入力する場合の、最大の数値を設定します。
11	初期値	拡張フィールドにあらかじめ設定される値を設定します。
12	パスワード	パスワードの拡張フィールドにあらかじめ設定される値を設定します。
13	日付	拡張フィールドにあらかじめ設定される日付を設定します。

* [入力方法] で選択した拡張フィールドの種類と、設定項目の関係は下表のとおりです。なお、必ず設定しなければならない項目には「*」 が表示されます。

入力方法 (拡張フィールドの種類)	必須の設定項目	任意の設定項目
数値	[最大値]、[最小値] 各値は、-999,999,999,999~999,999,999,999の範囲で設定できます。	[初期値]
小数	[最大値]、[最小値] 各値は、-999,999,999,999,9999990~999,999,999,999,	[初期値]
テキスト	[最大文字列長]、[最小文字列長] 各値は、0~256文字の範囲で設定できます。	[初期値]
リスト	[選択項目] [選択項目] は、最大256個まで登録できます。	[初期値] 登録した選択項目の 中から選択します。
	[名称] は、1~126文字まで設定できます。 [値] は、1~126文字まで設定できます。	
アドレス	たたし、「名称」と「値」の合計した文子数が2~127文子までとなります。 なし、	「初期値〕
パスワード	- ^ なし パスワードは、0~256文字の範囲で設定できます。	[初期值]
日付	なし	[初期値]

# □ 【拡張フィールド定義のプロパティ】 画面



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	入力した内容で拡張フィールド定義を作成します。
2	[キャンセル] ボタン	新規追加を中止します。
3	番号	拡張フィールド定義の番号が表示されます。
4	名称	拡張フィールド定義の名称を設定します。
5	XMLフォーマットファイル	メタデータ用のXMLフォーマットファイルを選択します。 印 P.333 「XMLフォーマットファイル」

### ■ XMLフォーマットファイル

メタスキャン機能を利用して、スキャンした画像に添付されるメタデータは「XMLフォーマットファイル」で定義されています。

ここでは、ワークフローサーバーなどで処理するためカスタマイズされた「XMLフォーマットファイル」を登録できます。

### 補足

[XMLフォーマットファイル]サブメニューは、[管理者]タブの[登録]メニューからアクセスできます。
 アクセス方法、[登録]メニューについては、以下を参照してください。
 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
 □ P.315 「[登録]([管理者]タブ)項目説明一覧」

□ P.333 「XMLフォーマットファイルのインポート」
 □ P.333 「XMLフォーマットファイルの削除」

### □ XMLフォーマットファイルのインポート

 XMLフォーマットファイルのインボート
 ファイル名

	成月日武功	
<b>1</b> ファイル名	インポートするXMLフォーマットファイルを選択します。 <b>[参照]ボタン</b> :XMLフォーマットファイルを選択します。 <b>[インポート]ボタン</b> :選択したXMLフォーマットファイルをインポートします。	I Ĥ I

# □ XMLフォーマットファイルの削除

削除			
ファイル名	ファイルサイズ	日付	

	項目名	機能説明
1	ファイル名	削除するXMLフォーマットファイルを選択します。
2	ファイルサイズ	XMLフォーマットファイルのファイルサイズを表示します。
3	日付	XMLフォーマットファイルのインポートした日付を表示します。

# [登録]([管理者] タブ)設定/操作方法

TopAccessのアクセスポリシーモードの[登録]メニューでは、共有テンプレートの登録や受信ファクス、インターネットファクスの中継送信を登録することができます。

- 共有テンプレート
   管理者は共有テンプレートグループに登録する共有テンプレートを作成します。このテンプレートグループには、 ネットワーク内のすべてのユーザがアクセスすることができます。
   P.334 「共有テンプレートを登録する」
- ファクス受信転送、インターネットファクス受信転送
   管理者はすべての受信ファクスやインターネットファクスを指定の宛先に転送する、エージェントを登録することができます。これにより、管理者は本機が受信するすべてのファクスを確認することができます。
   P.341 「ファクス受信転送およびインターネットファクス受信転送を登録する」

### 注意

ファクス転送機能は、オプションのFAXユニットが本機に装着されているときにのみ有効です。

- 拡張フィールド定義
   P.329「拡張フィールド定義」
- XMLフォーマットファイル
   □ P.357 「XMLフォーマットファイルの編集」
   □ P.361 「XMLフォーマットファイルの登録」

### ■ 共有テンプレートを登録する

管理者は共有テンプレートの作成や保守を行い、また共有テンプレートグループを管理します。ユーザは共有テンプレートを表示したり、使用することはできますが、テンプレートを変更することはできません。 共有グループには、最大60個の共有テンプレートを格納することができます。通常、共有テンプレートは汎用のテンプ レートであり、すべてのユーザが使用することができます。 TopAccessのアクセスポリシーモードから、共有テンプレートの管理に関する以下の操作を行うことができます。 P.334 「共有テンプレートを作成または編集する」 P.338 「共有テンプレートをリセットする」

# □ 共有テンプレートを作成または編集する

テンプレートのページを使ってテンプレートの作成や編集を行います。

### 共有テンプレートを作成または編集する

- **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [登録] メニューをクリックし、[共有テンプレート] サブメニューをクリックします。



共有テンプレートサブメニューページが表示されます。

4 パネルビューを表示します。未定義の空白のアイコンをクリックし、新規テンプレートを作成します。既存のテンプレートを編集する場合は、定義済みの画像が表示されたアイコンを クリックします。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト		
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
<u>セットアップ</u>	セキュリティー	保守	登録					
登録								
共有テンプレート	<u>共有メニュー</u>   <u>ファク</u>	ス受信転送 インターネ	ットファクス受信転送	<u>拡張フィールド定義</u>   <u>XM</u>	レフォーマットファイル			
リセット       番号       共有       パネル表示   リン       デンゴレートの画像:       ジャンゴ       1-6 7-12 13-18	リセット     番号     2名称     ユーザ名       無有     共有デンブレートグループ        パネル表示     リスト表示       デンブレートの画像をクリックすることで編集を行えます       ジャンプ       18、5-12、13-18、19-24、25-20、31-26、37-42、42-45、55-60							
テンプレート 1・	6							
ſ	共有FOLDER			FOLDER				
40	こ保管			管 15.85				
	:メール 251番		L	177				
	共有FOLDER		人共有	FOLDER				
	に保管		USB					
	2		5					

- テンプレートリストがリスト表示で表示されている場合は、[未定義] テンプレート名をクリックし、新規テンプレートを登録します。既存のテンプレートを編集する場合は、定義済みのテンプレート名をクリックします。
- 未定義のアイコンをクリックした場合は、エージェントの選択ページが表示されます。手順6に進みます。
- 定義済みのアイコンをクリックした場合は、テンプレート情報ページが表示されます。次の手順に進みます。

### 補足

- [パネル表示] または [リスト表示] のどちらかをクリックすると、テンプレートリストの表示を切り替え ることができます。
- ・ 定義または編集するプライベートテンプレートが事前に分かっている場合は、[ジャンプ]リンクをクリックします。

# 5 定義済みのテンプレートアイコンを選択した場合は、テンプレート情報が表示されます。 [編集] をクリックします。

TopAcces.	S					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト	
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
セットアップ	セキュリティー	保守	登録				
テンプレー	ト情報 共有テン	<u> ブレート</u> ト					
グループ情報       番号     名称       ユーザ名       共有     共有デンプレートグループ       テンプレート情報       福年     バスワード変更       デンプレート情報       福年     バスワード変更       アンプレート情報       福年     シーザ名       05     共有FOLDER JC(保管							
パネル     共有FOLDER       レポート通知							
スキャナ	DFF, Single, $A \rightarrow A$ Black, 200dpi, Text, Auto, Aut	) :0, 0, 0, 0, 0, (0,0,0), OFF, C	)FF				

エージェントの選択ページが表示されます。

8

6 組み合わせるエージェントを選択し、[エージェント設定]をクリックします。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト		
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
セットアップ	<u>セキュリティ</u>	保守	登録					
テンプレー	~情報 <u>共有テン</u>	<u> プレート</u> ト						
保存 キャンセ	<b>保存)</b> キャンセル							
エージェンル設定 コピー コアウスノインター3、ファウス								
☑ スキャン □ メタスキャン				リングボックスに保管 レメディアを使用	7			

以下のテンプレートの中から1つ選択します:

่⊐ピ–	コピーエージェントを作成します。このエージェントは、原稿のコピーを実行するこ とができます。通常、原稿をほかの宛先に送信するのと同時にコピーを印刷したいと きに、このエージェントを選択します。共有フォルダに保管エージェントまたはファ イリングボックスに保管エージェントのどちらかと組み合わせてセットアップする ことができます。
ファクス/インターネットファクス	ファクスやインターネットファクス送信用のテンプレートを作成します。共有フォル ダに保管エージェントと組み合わせてセットアップすることができます。
スキャン	Eメール送信エージェント、共有フォルダに保管エージェント、ファイリングボック スに保管エージェントまたはUSBメディアを使用エージェントを組み合わせて、ス キャン用のテンプレートを作成します。選択した場合は[Eメール送信]、[共有フォ ルダに保管]、[ファイリングボックスに保管]または[USBメディアを使用]のいず れかを選択する必要があります。最大2つのエージェントを組み合わせることができ ます。
メタスキャン	メタスキャンオプションのテンプレートを作成します。 詳細についてはメタスキャンオプション対応のアプリケーションのベンダーから提 供されるドキュメントを参照してください。

7 ページに表示されるボタンをクリックし、テンプレートのプロパティを設定または編集しま す。

[パネル設定]	テンプレートのアイコン設定を指定します。 田 P.315 「パネル設定(共有テンプレート)」
[宛先設定]	送信する宛先を指定します。ファクス/インターネットファクスエージェントまたはE メール送信エージェントを作成するときに設定します。 □ P.315 「宛先設定(共有テンプレート)」
[インターネットファクス設定]	インターネットファクスをどのように送信するかを設定します。ファクス/インター ネットファクスエージェントを作成するときに設定します。 □ P.315 「インターネットファクス設定(共有テンプレート)」
[ファクス設定]	ファクスとして文書をどのように送信するかを設定します。ファクス/インターネット ファクスエージェントを作成するときに設定します。 □ P.316 「ファクス設定(共有テンプレート)」
[Eメール設定]	Eメールメッセージとして文書をどのように送信するかを設定します。Eメール送信エー ジェントを作成するときに設定します。 □ P.316 「Eメール設定(共有テンプレート)」
[共有フォルダに保管設定]	ローカルのハードディスク、USBメディアまたはネットワークフォルダに文書をどのように保存するかを設定します。共有フォルダに保管エージェントを作成するときに設定します。 ロ P.316 「共有フォルダに保管設定(共有テンプレート)」
[ボックス設定]	ファイリングボックスに文書をどのように保存するかを設定します。ファイリングボッ クスに保管エージェントを作成するときに設定します。 P.316 「ボックス設定(共有テンプレート)」
[USBメディアを使用]	USBメディアに文書をどのように保存するか設定します。 P.316 「USB保存設定(共有テンプレート)」
[スキャン設定]	文書をどのようにスキャンするかを設定します。共有フォルダに保管エージェント、E メール送信エージェントおよびファイリングボックスに保管エージェントを作成すると きに設定します。 □ P.316 「スキャン設定(共有テンプレート)」
[拡張フィールド設定]	拡張フィールド定義情報と拡張フィールド設定を設定します。 □ P.316 「拡張フィールド設定」
[パスワード設定]	

# **8** プロパティの設定を完了したら、[保存]をクリックします。

テンプレートのプロパティが登録されます。

### □ 共有テンプレートをリセットする

定義済みのテンプレートをリセットし、未定義の状態に戻します。 選択したテンプレートのみをリセットするか、または共有テンプレートグループに登録されたすべてのテンプレートをリ セットすることができます。 □ P.338 「選択した共有テンプレートをリセットする」 □ P.340 「すべての共有テンプレートをリセットする」

### 選択した共有テンプレートをリセットする

必要のない共有テンプレートのみをリセットしたい場合は、以下の操作でテンプレートをリセットします。

**1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- **2** [登録] メニューをクリックし、[共有テンプレート] サブメニューをクリックします。

TopAcces	is and the second s					<u>774</u>	<u>レングボックス</u> ログアウト	
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者		
セットアップ	保守	1 登録	25	<u>・セージログ</u>				
登録		L'	<b>گ</b> ا					^
共有テンプレー	►   <u>#ax=</u>   ] <b>2_</b>	7ァクス受信転送   1	ンターネットファクス	<u> R受信転送</u>   <u>拡張フィー</u> )	<u>ルド定義   XMLフォーマ</u>	<u>゚ットファイル</u>		=

共有テンプレートサブメニューページが表示されます。

**4** [パネル表示] リンクをクリックしてパネルビューを表示し、リセットしたい定義済みのテンプレートアイコンをクリックします。

登録	
共有テンプレート   共有メニュー   ファクス受信転送   インター	- ネットファクス受信転送   拡張フィールド定義   XMLフォーマットファイノ
Uter	
- 番号 名称 ユーザ名	
共有 共有テンプレートグルーブ	
パネル表示   <u>リスト表示</u>	
テンプレートの画像をクリックすることで編集を行えます	
ジャンプ	
<u>1-6 7-12 13-18 19-24 25-30 31-36 37-42 43-48 49-54 55</u>	<u>5-60</u>
テンプレート 1.6	
・ 本有EQLDER	- 小司 単有FOLDER
- <u></u> EX-ル送信	77(9)/5
Ex−ル	****ウスコン(保管
人 共有FOLDER	人 共有FOLDER
	USB
P11	

- ジャンプリンクを使用すると、ページをスクロールしりセットしたいテンプレート番号を表示することができます。
- テンプレート情報ページが表示されます。

補足

- [パネル表示] または [リスト表示] のどちらかをクリックすると、テンプレートリストの表示を切り替え ることができます。
- 定義または編集するプライベートテンプレートが事前に分かっている場合は、[ジャンプ] リンクをクリックします。

5	[テンプレー	トリセット]	をクリック	します。
---	--------	--------	-------	------

テンプレー	一ト情報	共有テンプレート▶					
グループ情報	Ē.						
番号 名	称	ユーザ名					
共有	有テンプレート	グループ					
テンプレート	唐湖						
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	אד ניו						
[編集]   パス	ワード変更	- テンプレートリセット					
<b>番号</b> 名	称	<b> (</b> ] ユーザ名 ()					
005 共	有FOLDER_IC	<b>操管</b>					
13711		共有FOLDER					
71-1-10	4 🍋 🛛	그 유 합					
レポート通知							
自動実行	自動実行無効						
エージェント	共有フォルダ	に保管					
スキャナ	OFF, Single,	$A \to A$					
Black, 200dpi, Text, Auto, Auto, 0, 0, 0, 0, 0, 00, 00, 0FF, OFF							

リセットの確認メッセージが表示されます。

# **6** [OK] をクリックします。

We	ハページからのメッセージ 🛛 💌
	🥐 リセットしますか?
	r (

テンプレート設定がリセットされ未定義のテンプレートに戻ります。

### すべての共有テンプレートをリセットする

すべての共有テンプレートをリセットしたい場合は、以下の操作でテンプレートをリセットします。

- **1 TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します**。 □ P.23 「アクセスポリシーモード」
- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [登録] メニューをクリックし、[共有テンプレート] サブメニューをクリックします。



共有テンプレートサブメニューページが表示されます。

**4** [リセット] をクリックします。

登録				
共有テンプレー	-ト   <u>共有メニュー</u>   <u>ファクス受信転送</u>   <u>イン</u> タ	ネータ	ットファクスき	受信転送   拡張フィールド定義   XMLフォーマットファイル
リセット 番号 共有	名称         ユーザ名           共有テンプレートグループ			
パネル表示	<u>リスト表示</u>			
テンプレートの画	画像をクリックすることで編集を行えます			
ジャンプ				
<u>1-6</u> <u>7-12</u> <u>13-</u>	<u>18 19-24 25-30 31-36 37-42 43-48 49-54</u>	<u>55-6</u>	0	
テンプレート	1-6			
, <b>, , (</b> )	共有FOLDER	2	, million	共有FOLDER
· • 📂	に保管		ч <u>)</u>	に保管
3	Eメール送信	4	<b>_r</b> 🖲	ファイリング
- <b>L</b>	Eメール		ч 🗍	ホックス」こ「保管
5	共有FOLDER	6	<u>ک</u>	共有FOLDER
	に保管	ľ	4 <i>0</i>	USB
<u>このページの先</u>				

リセットの確認ダイアログボックスが表示されます。

# 5 [OK] をクリックします。



すべての共有テンプレートがリセットされます。

### ■ ファクス受信転送およびインターネットファクス受信転送を登録する

ファクス受信転送およびインターネットファクス受信転送では、受信ファクスやインターネットファクスを特定の宛先に 転送することができます。この機能を使用すれば、本機が受信したすべてのファクスやインターネットファクスを確認す ることができます。

□ P.341 「ファクス転送やインターネットファクス転送を登録する」

□ P.343 「宛先設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」

### 注意

Fコード通信機能を持つファクスどうしで通信する場合は、本機のFコード通信機能を使用して転送することができます。事前に箱(メールボックス)を開設しておく必要があります。また相手先のファクス番号をボックス番号にして、箱(メールボックス)ごとに指定した保存先へ原稿を転送するTSI(送信者情報)転送機能を利用することもできます。

🚇 P.102 「メールボックスを管理する」

- ファクス受信転送は、オプションのFAXユニットを装着している場合にのみ登録することができます。
- オプションのFAXユニットに回線増設ユニットが装着されている場合は、回線1と回線2どちらで受信しても、設定した転送先に受信ファクスを転送します。

受信ファクスやインターネットファクスを以下の宛先に転送することができます。

- ほかのインターネットファクス装置
- 本機の共有フォルダまたはネットワークフォルダ
- Eメールアドレス
- 本機内のファイリングボックス

### □ ファクス転送やインターネットファクス転送を登録する

補足

ファクス受信転送とインターネットファクス受信転送の登録手順は、ほぼ同じです。ここでは、それぞれの登録のし かたをまとめて説明しています。

**1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🕮 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [登録] メニューをクリックします。ファクス受信転送を登録する場合は [ファクス受信転送] サブメニューを、インターネットファクス受信転送を登録する場合は [インターネットファクス受信転送] サブメニューをクリックします。

TopAccess					77-	<u>イリングボックス</u> ログアウト	
装置	ジョブ	D7	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者	
<u>セットアップ</u>	保守	登録	<u>メッセージログ</u>				
登録		43	1				^
共有テンプレート	共有メニュー	ファクス受信転送   イン	ー マーネットファクス受信転送	拡張フィールド定義	XMLフォーマットファイル		
		37					

- [ファクス受信転送] サブメニューをクリックした場合は、ファクス受信転送サブメニューページが表示され ます。
- 〔インターネットファクス受信転送〕サブメニューをクリックした場合は、インターネットファクス受信転送 サブメニューページが表示されます。

[管理者]

ダレ

# **4** [転送] チェックボックスをオンにし、エージェントを選択して [エージェント設定] をク リックします。

### 補足

ファクス受信転送またはインターネットファクス受信転送を無効にしたい場合は、[転送] チェックボックス をオフにし、[保存] をクリックします。

TopAccess	5					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ	セキュリティ	保守	登錄			
	<u>共有メニュー</u>   ファクス3 で <b>う</b>	そ信転送   <u>インターネット</u>	<u>ファクス受信録送</u>  拡張   小2   小2   共有   Eメ-   ファ・	2ィールド定義   XMLフォ ターネットファクス フォルタミに保管 -ル (リングボックス)に保管		

インターネットファクス	受信ファクスまたはインターネットファクスを別のインターネットファクス装置に 転送します。このエージェントは、共有フォルダに保管エージェントまたはファイリ ングボックスに保管エージェントと組み合わせてセットアップすることができます。
共有フォルダに保管	受信ファクスまたはインターネットファクスを本機の共有フォルダまたはネット ワークフォルダに転送します。このエージェントは、ほかのエージェントの1つと組 み合わせてセットアップすることができます。
Eメール送信	受信ファクスをEメールアドレスに転送します。このエージェントは、共有フォルダ に保管エージェントまたはファイリングボックスに保管エージェントと組み合わせ てセットアップすることができます。
ファイリングボックスに保管	受信ファクスを本機内のファイリングボックスに転送します。このエージェントは、 ほかのエージェントの1つと組み合わせてセットアップすることができます。

### 注意

共有フォルダに保管、Eメール送信、ファイリングボックスに保管で保管された受信文書を印刷した場合、画 像処理が通常のファクスと異なるため、画質が異なります。

# 5 転送する受信原稿を印刷するかどうかを [原稿印刷] ボックスで選択します。

opΛcces	5					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	ログ	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
セットアップ ト	セキュリティ	保守	登錄			
登録						
共有テンプレート	共有メニュー   ファクス	受信転送   インターネッ	トファクス受信転送   拡張	フィールド定義   XMLフォ	<u>-マットファイル</u>	
保存						
エージェント設	定					
☑ 転送			☑ 1.	ンターネットファクス		
			☑ 共初	有フォルダに保管		
				・ール >イリングボックスに保管		
原稿印刷	エラー眼	のみ印刷 🔻				
	常時印刷	1				
宛先設定	エラー時	0)-4-E1/61				
她先		-N2				

常時印刷	転送する受信原稿を常に印刷します。			
エラー時のみ印刷	すべての転送箇所がエラーになったとき受信原稿を印刷します。(たとえば、共有フォ ルダ保管とEメール送信設定でEメール送信エラーだけが発生した場合は印刷しません。)			

6 ページに表示されるボタンをクリックし、ファクス受信転送またはインターネットファクス 受信転送のプロパティを設定または編集します。

【宛先設定】 [TO: 宛先設定] [CC: 宛先設定] [BCC: 宛先設定]	送信する宛先を指定します。インターネットファクスエージェントまたはEメール送信 エージェントを作成するときに設定します。 □ P.343 「宛先設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
[インターネットファクス設定]	インターネットファクスをどのように送信するかを設定します。インターネットファク スエージェントを作成するときに設定します。 □ P.322 「インターネットファクス設定(ファクス/インターネットファクス受信転 送)」
[Eメール設定]	Eメールメッセージとして文書をどのように送信するかを設定します。Eメール送信エー ジェントを作成するときに設定します。 □ P.326 「Eメール設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
[共有フォルダに保管設定]	本機の共有フォルダまたはネットワークフォルダに文書をどのように保存するかを設定 します。共有フォルダに保管エージェントを作成するときに設定します。 P.323 「共有フォルダに保管設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」
[ボックス設定]	ファイリングボックスに文書をどのように保存するかを設定します。ファイリングボックスに保管エージェントを作成するときに設定します。 ロ P.328 「ボックス設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)」

### 7 メールボックスのプロパティ設定を完了したら、[保存]をクリックします。

メールボックスのプロパティが登録されます。

# □ 宛先設定(ファクス/インターネットファクス受信転送)

連絡先リストのページでは、受信したファクスやインターネットファクスを転送する宛先を指定します。宛先には、E メールアドレスのみ設定することができます。

宛先を指定するには、相手先のEメールアドレスを手動で入力したり、アドレス帳から個人やグループを選択します。また、LDAPサービスを使って検索することもできます。

□ P.343 「宛先を手動で入力する」

- □ P.344 「宛先をアドレス帳から選択する」
- □ P.345 「グループをアドレス帳から選択する」
- □ P.346 「LDAPサーバーを使って宛先を検索する」

□ P.347 「宛先リストから宛先を削除する」

### 宛先を手動で入力する

宛先を手動で入力し、宛先リストに追加します。

- **1** [宛先設定] をクリックし、宛先リストページを開きます。
- ? [新規] をクリックします。

宛先リスト	
保存 キャンセル 新規 アドレス帳	アドレスグループ一覧 検索 削除
✓ <u>宛先名</u> <u>宛先</u>	

宛先情報ページが表示されます。

**3** [宛先] ボックスに宛先のEメールアドレスを入力します。

宛先情報		
OK キャンセル	リセット	
*必須入力		
987t UserU1@	example.com	

8

# **4** [OK] をクリックします。

入力した宛先が宛先リストページに追加されます。

5 複数の宛先を指定する場合は、手順2~4を繰り返します。

### 補足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □□ P.347 「宛先リストから宛先を削除する」

### 6 [保存] をクリックします。

宛先リスト	
保存 キャンセル	「規」 アドレス帳 │ アドレスグループ一覧 │検索 │ 削除
☑ 10元先名	宛先
	User01@example.com

宛先設定が保存されます。

### 宛先をアドレス帳から選択する

本機のアドレス帳から宛先を選択します。

**1** [宛先設定] をクリックし、宛先リストページを開きます。

### 9 [アドレス帳] をクリックします。

宛先リスト		
保存 キャンセル 新規	アドレス帳 アドレスグループー覧 検索 削除	
✓ <u>東京先名</u>	<u>宛先</u> 5	

アドレス帳のページが表示されます。

# 3 宛先に追加するチェックボックスをオンにします。

アドレフ	ス帳	
グループ 追加 :	全てのグループ ・ キャンセル	
Eメール	▼ <u>宛先名</u>	<u> Eメールアドレス</u>
	FirstName10 LastName10	User10@example.com
	FirstName09 LastName09	User09@example.com
	FirstName08 LastName08	User08@example.com
	FirstName07 LastName07	User07@example.com
	FirstName06 LastName06	User06@example.com
	FirstName05 LastName05	User05@example.com
	FirstName04 LastName04	User04@example.com
	FirstName03 LastName03	User03@example.com
	FirstName02 LastName02	User02@example.com
	FirstName01 LastName01	User01@example.com

### 補足

特定のグループの宛先のみを表示する場合は、[グループ] ボックスから目的のグループを選択します。

### ▲ [追加] をクリックします。

選択した宛先が宛先リストページに追加されます。

補足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □ P.347 「宛先リストから宛先を削除する」

包グ	もリスト	
保存	字 キャンセル 新規	アドレスダループ一覧 検索 削除
~	10元名	<u>宛先</u>
	FirstName10 LastName10	User10@example.com
	FirstName09 LastName09	User09@example.com
F	FirstName08 LastName08	User08@example.com
	FirstName07 LastName07	User07@example.com
	FirstName06 LastName06	User06@example.com

宛先設定が保存されます。

### グループをアドレス帳から選択する

本機のアドレス帳からグループを選択します。

- 1 [宛先設定]をクリックし、宛先リストページを開きます。
- 2 [アドレスグループ一覧] をクリックします。

宛先リスト				
保存 キャンセル 新規	アドレス帳 ア	ドレスグループー覧 検	素削除	
✓ <u>東充先名</u>	宛先	7		

アドレスグループ一覧のページが開きます。

**3** 目的の宛先が所属するグループのチェックボックスをオンにします。

アドレスグループ一覧	
道加 キャンセル	
- <u></u>	
グ ル → <u>ジルーブ名</u> 称	
roupName05	
pName04	
roupName03	
roupName02	
voupName01	

# 4 [追加] をクリックします。

選択したグループのすべての宛先が、宛先リストページに追加されます。

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □ P.347 「宛先リストから宛先を削除する」

# 5 [保存] をクリックします。

保存 キャンセル	新規「アト	アドレス帳 アドレスグループ一覧 検索 削除
-N		
✓  ◆  ②	刻	<u>宛先</u>

宛先設定が保存されます。

[管理者] タブ

補足

### LDAPサーバーを使って宛先を検索する

登録したLDAPサーバーを使って宛先を検索します。本機のアドレス帳から宛先を検索することもできます。

- ┫ [宛先設定]をクリックし、宛先リストページを開きます。
- 2 [検索] をクリックします。



連絡先検索のページが表示されます。

3 [LDAPサーバー名] ボックスで検索するディレクトリサービス名を選択し、検索したい項目 欄に検索文字を入力します。

宛先検索		
検索 キャンセ	<i>IL</i>	
名前及びEメールア	ドレス、電話番号で検索できます。	
LDAPサーバー:	LDAP server01 👻	
*名	FirstName10	
姓		
Eメールアドレス		
電話番号		
会社名		
部署名		

### 注意

LDAPサーバーを使って宛先を検索するには、[Eメールアドレス]または[電話番号]欄に検索文字を入力してください。その他の欄に検索文字を入力しても、正しく検索できません。

### 補足

- [LDAP サーバー名] ボックスから本機モデル名を選択すると、本機のアドレス帳を検索することができます。
- 各項目に入力した文字列を含む宛先が検索されます。
- ボックスを空欄にすると、ワイルドカード検索を行うことができます。ただし、最低1つのボックスには情報を入力する必要があります。

### ▲ [検索] をクリックします。

LDAPサーバーを使った宛先の検索を開始します。検索を終了すると、検索結果が検索結果リストページに表示されます。

# 5 宛先に追加する連絡先の [Eメール] チェックボックスをオンにします。

検索結果リスト	
追加 キャンセル	
□ 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	<u> ビメールアドレス</u>
FirstName10 LastName10	User10@example.com

### 注意

[company (会社名)] [department (部門名)]の値は管理者の設定に依存します。

# 6 [追加] をクリックします。

選択した宛先が宛先リストページに追加されます。

### 補足

宛先設定を保存する前に、宛先リストに追加した宛先を削除することができます。 □□ P.347 「宛先リストから宛先を削除する」

7 [保存] をクリックします。

「先リスト	
保存 キャンセル 新規	アドレス帳 アドレスグループ一覧 検索 削除
	<u>宛先</u>
FirstName10 LastName10	User10@example.com

宛先設定が保存されます。

### 宛先リストから宛先を削除する

**1** 宛先リストから削除したい宛先のチェックボックスをオンにし、[削除] をクリックします。

宛先リスト		(
保存(キャンセル)新規)	アドレス様 アドレスグループ一覧 検索 削除	
▼ <u>√</u> <u>宛先名</u>	宛先	
FirstName10 LastName10	User10@example.com	
₩ <b>₹</b> 1		

選択された宛先が宛先リストから削除されます。

2 [保存] をクリックします。

[管理者] タブ



# [アカウント] タブ

アクセスしているユーザのアカウント情報を表示します。

[アカウント]	タブの概要説明	. 350
[アカウント]	項目説明一覧	350

# [アカウント] タブの概要説明

[アカウント] タブは、[管理者] タブの [セキュリティ] - [認証] - [ユーザー認証設定] の [ユーザ認証] を有効にし ている場合に表示されます。 アクセスしているユーザのアカウント情報を表示します。また、操作パネルの表示言語やキーボードのレイアウトを変更 することができます。 □ P.350 「[アカウント] 項目説明一覧」

# ■ [アカウント] 項目説明一覧

- □ P.351 「[パスワード変更] 画面」
   □ P.352 「[メニュー設定] 画面」
   □ P.352 「[メニュータイプ選択] 画面」
   □ P.353 「[テンプレートグループ選択] 画面」
   □ P.353 「[テンプレートの選択] 画面」
   □ P.354 「[URL選択] 画面」
- □ P.354 「[権限情報表示] 画面」



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	アカウントの内容を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3	[パスワード変更] ボタン	アクセスしているユーザのパスワードを変更します。 🏨 P.351 「[パスワード変更] 画面」
4	[メニュー] ボタン	操作パネルの [メニュー] ボタンを押して表示されるメニュー画面の設定を行います。[ア カウント] タブでは、TopAccessにアクセスしているユーザのメニュー画面を設定します。 P.352 「[メニュー設定] 画面」
5	ユーザ名	アクセスしているユーザ名を表示します。
6	ドメイン名	アクセスしているユーザのドメイン名を表示します。
7	ロール割り当て	アクセスしているユーザに割り当てられているロールを表示します。 [権限情報表示] ボタンをクリックすると、[権限情報表示] 画面が表示され、ロール情報 の詳細を確認することができます。 □ P.354 「[権限情報表示] 画面」

	項目名	機能説明
8	グループ割り当て	アクセスしているユーザに割り当てられているグループを表示します。
9	部門番号	アクセスしているユーザで登録されている部門番号を表示します。
10	パネル表示言語	操作パネルの表示言語を選択します。
11 パネルキーボードのレイアウト 操作パネルのキーボード配列を選択します。		操作パネルのキーボード配列を選択します。
12	カラー割当設定	アクセスしているユーザのカラー出力制限の設定状況を表示します。
	カラー割当	カラー割当設定がONの場合、カラー出力できる残数を表示します。
	カラー割当初期値	カラー割当設定がONの場合、割り当てられている初期値を表示します。
13	ブラック割当設定	アクセスしているユーザのモノクロ出力制限の設定状況を表示します。
	ブラック割当	ブラック割当設定がONの場合、モノクロ出力できる残数を表示します。
	プラック割当初期値	ブラック割当設定がONの場合、割り当てられている初期値を表示します。
14	トータルカウンタ	アクセスしているユーザのトータルカウンタを表示します

# □ 【パスワード変更】 画面

TopAccessにアクセスしているユーザのパスワードを変更します。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	パスワード変更を保存します。
2	[キャンセル] ボタン	操作を中止します。
3	旧パスワード	現在使用しているパスワードを入力します。
4	新しいパスワード	変更するパスワードを入力します。
5	パスワードの確認	確認のためにパスワードを再入力します。

# □ 【メニュー設定】 画面

アクセスしているユーザのメニュー画面を設定できます。 メニュー画面は、操作パネルの [メニュー] ボタンを押すと表示され、よく使うテンプレートまたはテンプレートグルー プや外部連携オプションのショートカットを登録することができます。

1 —	メニュー設定       閉じる
2 —	ジャンプ
	1 17 33 49
3 —	#号  名称   タイブ
4 —	<u> 同 Inny Tr</u> <u>volete001</u> テ プレートグループ
5 —	□ 002 未定義
5	003 未定義
	004         未定義
	005 <u>未定義</u>
	006 未定義
	007 法定義
	008 未定義
	009 未定義
	010 未定義
	011 未定義
	012 未定義
	013 法定義
	014 法定董
	015 法定義
	016 未定義

	項目名	機能説明
1	[閉じる]ボタン	[メニュー設定]画面を閉じます。
2	[削除] ボタン	選択しているメニュー設定を削除します。
3	番号	メニュー設定の番号が表示されます。
	補足	
	メニュー設定は、64種類登録す	ることができます。
4	名称	メニュー設定に登録されているテンプレートまたは外部連携オプションの登録名称が表示 されます。 すでに登録済みの名称をクリックすると、登録されているメニュー設定を確認・編集する ことができます。 田 P.353 「「テンプレートグループ選択」画面」 田 P.354 「[URL選択] 画面」 [未定義] をクリックすると、メニュー設定を登録することができます。 田 P.352 「「メニュータイプ選択」画面」
5	タイプ	メニュー設定のタイプが表示されます。

# □ 【メニュータイプ選択】 画面

メニュー画面に追加するメニュータイプを選択します。



	項目名	機能説明
1	[テンプレート] ボタン	メニューにテンプレートを追加します。 🚇 P.353 「[テンプレートグループ選択]画面」
2	[拡張機能]ボタン	メニューに外部連携オプションのURLを追加します。 🚇 P.354 「[URL選択] 画面」

# □ [テンプレートグループ選択] 画面

[メニュー設定] 画面で選択できるテンプレートグループの一覧を表示します。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	選択したテンプレートグループを登録します。
2	[キャンセル] ボタン	テンプレートグループの登録を中止します。
3	番号	選択できるテンプレートグループの番号が表示されます。
4	名称	テンプレートグループの名称が表示されます。 名称をクリックすると、[テンプレートの選択] 画面が表示されます。テンプレートを選択 できる場合は、選択できるテンプレートに一覧が表示されます。 印 P.353 [[テンプレートの選択] 画面」
5	ユーザ名	テンプレートグループのユーザ名が表示されます。

# □ [テンプレートの選択] 画面

[テンプレートグループ選択]画面でテンプレートグループの名前をクリックすると、使用するテンプレートを選択できます。



	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	選択したテンプレートを登録します。
2	[キャンセル] ボタン	テンプレートの登録を中止します。
3	テンプレート一覧	選択できるテンプレートの一覧が表示されます。 使用するテンプレートを選択します。

# □ [URL選択] 画面

[メニュー画面URL一覧] で登録したURLを選択します。 □ P.214 「メニュー画面URL一覧」

	URL選択		
1 <u> </u>	保存」キャンセル		
3 —		URL	
4	example01	h p://192.168.1.1	
4 —	example02	http://192.168.10.1	
	example03	http://192.168.100.1	
	このページの先頭へ	·	

	項目名	機能説明
1	[保存] ボタン	選択したURLを登録します。
2	[キャンセル] ボタン	URLの登録を中止します。
3	名称	登録されているURL名が表示されます。
4	URL	登録されているURLが表示されます。

# 🗌 [権限情報表示] 画面

アクセスしているユーザの権限情報を表示します。



	項目名	機能説明
1	[OK] ボタン	[権限情報表示]画面を閉じます。
2	ロール情報	アクセスしているユーザに割り当てられているロール情報が表示されます。

# 10

# 目的別設定方法

このセクションには、以下の内容が記載されています。

メタスキャンの設定	
メタスキャンの操作の流れ	
メタスキャンオプションの確認	
XMLフォーマットファイルの編集	
XMLフォーマットファイルの登録	
拡張フィールド定義の登録	
メタスキャン用のテンプレート登録	
メタスキャン	
メタスキャンのログ確認	

# メタスキャンの設定

メタスキャンとは、スキャンした画像にデバイス内で生成された情報(メタデータ)を添付する機能です。添付されたメ タデータをワークフローサーバーなどで処理してスキャンした画像を活用することができます。 メタスキャンを利用するには、テンプレートにメタスキャンの[Eメール]、[共有フォルダに保管]、[USBメディアを使 用] エージェントを選択して登録します。

メタデータは、情報を格納するためのスキーマを定義したXMLフォーマットファイルで管理します。 ここでは、初期設定で登録されているデフォルトXMLフォーマットファイル<defaultForm3.xml>を例にデータ構造に ついて紹介します。 デフォルトXMLフォーマットファイルは、「基本データエリア」と「拡張データエリア」の2つのデータエリアで構成さ れています。 「基本データエリア」は、デバイス情報、スキャンパラメータやユーザ情報を記録するエリアで、「拡張データエリア」は、 メタスキャンを実行するときに、ユーザが操作パネルから入力する情報(最大25個)を記録するエリアです。 「拡張データエリア」の内容は、「拡張フィールド定義」の[拡張フィールド属性] 画面でユーザが操作パネルから入力す る情報のフィールドを作成することができます。

メタスキャン連携するアプリケーションを利用する場合、XMLフォーマットファイルと拡張フィールドの設定は、アプリケーションベンダからの指示に従ってください。

□ P.356 「メタスキャンの操作の流れ」

- □ P.357 「メタスキャンオプションの確認」
- □ P.357 「XMLフォーマットファイルの編集」
- □ P.361 「XMLフォーマットファイルの登録」
- □ P.362 「拡張フィールド定義の登録」
- □ P.365 「メタスキャン用のテンプレート登録」
- □ P.368 「メタスキャン」
- □ P.368 「メタスキャンのログ確認」

# ■ メタスキャンの操作の流れ

設定

	操作	説明	参照先
1	メタスキャンオプションの確認	お使いの機器でメタスキャンが使用 できるか確認します。	□ P.357 「メタスキャンオプションの確認」
2	XMLフォーマットファイルの編集	必要に応じてメタデータ用のXML フォーマットファイルを編集します。	□ P.357 「XMLフォーマットファイルの編集」
3	XMLフォーマットファイルの登録	メタデータ用のXMLフォーマット ファイルを登録します。	□ P.361 「XMLフォーマットファイルの登録」
4	拡張フィールド定義の登録	必要に応じて拡張フィールド定義を 登録します。	□ P.362 「拡張フィールド定義の登録」
5	メタスキャン用のテンプレート登録	メタスキャン用のテンプレートを登 録します。	□ P.365 「メタスキャン用のテンプレート登録」

### 操作

	操作	説明	参照先
1	メタスキャン	メタスキャン用のテンプレートを使 用してメタスキャンします。	□ スキャンガイド「スキャンテンプレートを使 う」
2	メタスキャンのログ確認	メタデータが正しく作成されたかは、 スキャンログで確認します。	<ul> <li>□ P.368 「メタスキャンのログ確認」</li> <li>□ スキャンガイド「スキャンの実行状況および 履歴を確認する」</li> </ul>

### ■ メタスキャンオプションの確認

メタスキャン機能を使用するには、メタスキャンオプション(GS-1010)が必要です。詳細については、販売店または サービスエンジニアにお問い合わせください。

お使いの機器にメタスキャンオプションが設定されているかは、以下の手順で確認できます。 [管理者設定] - [機器設定] - [ライセンス管理] に「Meta scan enabler」が登録されていればメタスキャン機能を利用できます。

### ■ XMLフォーマットファイルの編集

「XMLフォーマットファイル」はメタスキャン連携するアプリケーションに合わせて編集します。XMLフォーマットファ イル内には変数を定義でき、定義された変数はメタスキャン時に対応する情報(メタデータ)に置き換えられます。

補足

変数を「XMLフォーマットファイル」に記述する場合は、\${変数名}の形で記述してください。

### □ XMLフォーマットファイルの変数

XMLフォーマットファイルに定義できる変数は下表のとおりです。

### 補足

変数は、Eメールの件名、メタスキャンの画像ファイルのファイル名、メタデータのファイル名に使用することができます。

変数(\${変数名})	格納される情報	值
\${MANUFACT}	メーカー名	TOSHIBA
\${MODEL}	モデル名	string
\${FWVER}	ファームウェアバージョン	string
\${SERIAL}	シリアル番号	string
\${LOCATION}	ロケーション	string
\${CONTACT}	連絡先の情報	string
\${CONTACTTEL}	連絡先の電話番号	string
\${IP}	IPアドレス	string
\${IPV6}	IPv6アドレス	string
\${NETBIOSNAME}	NetBIOS名	string
\${FQDN}	FQDN(Fully Qualified Domain Name)	string
\${RESOLUTION}	解像度	HHHxVVVdpi
\${FILEFORMAT}	ファイルのフォーマット	MultipleTIFF singleTIFF MultiplePDF singlePDF MultipleSLIMPDF singleSLIMPDF MultipleXPS singleXPS JPEG
\${COLORMODE}	カラーモード	BLACK GRAY SCALE FULL COLOR AUTO COLOR
\${NUMFILE}	画像ファイル数	string
\${PAGES}	スキャンしたページ数	string
\${PATH} *1 *2	画像ファイルの保存先	string
\${FILE} *2	 画像ファイル名	string
\${MYEMAIL}	送信者のEメールアドレス	string

変数(\${変数名})	格納される情報	值
\${DATE}	年月日	YYYY-MM-DD
\${YEAR}	年	ҮҮҮҮ
\${MONTH}	月	MM
\${DAY}	8	DD
\${TIME}	時間	HH:MM:DD.mmmTZD *3
\${USER}	ログインユーザ名	string
\${DOMAIN}	ドメイン名	string
\${DEPTCODE}	部門コード	string
\${DEPTNAME}	部門名	string
\${TEMPGROUPNO}	テンプレートグループ番号	string
\${TEMPGROUPNAME}	テンプレートグループ名	string
\${TEMPGROUPUSER}	テンプレートグループのユーザ名	string
\${TEMPNO}	テンプレート番号	string
\${TEMPNAME}	テンプレート名	string
\${TEMPUSER}	テンプレートのユーザ名	string
\${FIELDNAMEn} *4	拡張フィールド名n	string
\${VALUEn} *4	拡張フィールドn	string

*1 Eメールの件名には、使用できません。
*2 画像ファイルのファイル名、メタデータのファイル名には、使用できません。
*3 TZDはタイムゾーンです。

*4 「n」部分には、フィールド番号(1~25の範囲)を入力します。
# デフォルトXMLフォーマットファイル

本機に初期設定で登録されているXMLフォーマットファイル<defaultForm3.xml>の内容は以下のとおりです。XML フォーマットファイルはUTF-8のXML形式です。メタスキャン時、XMLフォーマットファイルに記述された各フィール ドの変数に該当する情報を格納し、XML形式ファイルのメタデータとして添付します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!-- metadata version 3.1 -->
<mfp metadata>
  <metadata_version>
     <major>3</major>
     <minor>1</minor>
  </metadata_version>
  <device info>
     <ip address>${IP}</ip address>
     <ipv6_address>${IPV6}</ipv6_address>
     <fqdn>${FQDN}</fqdn>
     <netbios_name>${NETBIOSNAME}</netbios_name>
     <location>${LOCATION}</location>
     <contact>${CONTACT}</contact>
     <contact tel>${CONTACTTEL}</contact tel>
     <FW_version>${FWVER}</FW_version>
     <manufacture>${MANUFACT}</manufacture>
     <model>${MODEL}</model>
     <serial>${SERIAL}</serial>
     <!-- deprecated tag start -->
     <host_name>${NETBIOSNAME}</host_name>
     <tempt_file_ver>1.0</tempt_file_ver>
     <!-- deprecated tag end -->
  </device info>
  <scan info>
     <template >
        <template_group_no>${TEMPGROUPNO}</template_group_no>
        <template_group_name>${TEMPGROUPNAME}</template_group_name>
        <template_group_user>${TEMPGROUPUSER}</template_group_user>
        <template no>${TEMPNO}</template no>
        <template_name>${TEMPNAME}</template_name>
        <template_user>${TEMPUSER}</template_user>
     </template >
     <scanned_date>${YEAR}-${MONTH}-${DAY}</scanned_date>
     <scanned_time>${DATE}T${TIME}</scanned_time>
     <color mode>${COLORMODE}</color mode>
     <resolution>${RESOLUTION}</resolution>
     <file_format>${FILEFORMAT}</file_format>
     <no_of_files>${NUMFILE}</no_of_files>
     <no_of_pages>${PAGES}</no_of_pages>
     <file_path>${PATH}</file_path>
     <file_name>${FILE}</file_name>
     <sender_email>${MYEMAIL}</sender_email>
     <!-- deprecated tag start -->
     <workflow>${TEMPGROUPNAME} ${TEMPNAME}</workflow>
     <!-- deprecated tag end -->
  </scan_info>
  <user_info>
     <user_id>${USER}</user_id>
     <user_domain>${DOMAIN}</user_domain>
```

```
<dept_code>${DEPTCODE}</dept_code>
  <dept_name>${DEPTNAME}</dept_name>
  <!-- deprecated tag start -->
  <user_email>${MYEMAIL}</user_email>
  <!-- deprecated tag end -->
</user_info>
<user input>
  <field1 name="${FIELDNAME1}">${VALUE1}</field1>
  <field2 name="${FIELDNAME2}">${VALUE2}</field2>
  <field3 name="${FIELDNAME3}">${VALUE3}</field3>
  <field4 name="${FIELDNAME4}">${VALUE4}</field4>
  <field5 name="${FIELDNAME5}">${VALUE5}</field5>
  <field6 name="${FIELDNAME6}">${VALUE6}</field6>
  <field7 name="${FIELDNAME7}">${VALUE7}</field7>
  <field8 name="${FIELDNAME8}">${VALUE8}</field8>
  <field9 name="${FIELDNAME9}">${VALUE9}</field9>
  <field10 name="${FIELDNAME10}">${VALUE10}</field10>
  <field11 name="${FIELDNAME11}">${VALUE11}</field11>
  <field12 name="${FIELDNAME12}">${VALUE12}</field12>
  <field13 name="${FIELDNAME13}">${VALUE13}</field13>
  <field14 name="${FIELDNAME14}">${VALUE14}</field14>
  <field15 name="${FIELDNAME15}">${VALUE15}</field15>
  <field16 name="${FIELDNAME16}">${VALUE16}</field16>
  <field17 name="${FIELDNAME17}">${VALUE17}</field17>
  <field18 name="${FIELDNAME18}">${VALUE18}</field18>
  <field19 name="${FIELDNAME19}">${VALUE19}</field19>
  <field20 name="${FIELDNAME20}">${VALUE20}</field20>
  <field21 name="${FIELDNAME21}">${VALUE21}</field21>
  <field22 name="${FIELDNAME22}">${VALUE22}</field22>
  <field23 name="${FIELDNAME23}">${VALUE23}</field23>
  <field24 name="${FIELDNAME24}">${VALUE24}</field24>
  <field25 name="${FIELDNAME25}">${VALUE25}</field25>
</user_input>
```

</mfp_metadata>

# □ メタデータの保存設定

次に示す要素をXMLフォーマットファイルに追加することで、メタデータの保存先やファイル名を指定できます。

#### メタデータの保存先を設定する場合

プロトコル	フォーマット
SMB	<metadata_file_path>file://server name/path/</metadata_file_path>
FTP	<metadata_file_path>ftp://server name/path/</metadata_file_path>
FTPS	<metadata_file_path>ftps://server name/path/</metadata_file_path>
NetWare(Binary mode)	<metadata_file_path>server name/path/</metadata_file_path>
NetWare(NDS mode)	<metadata_file_path>Tree/Context/file_share/</metadata_file_path>

入力例:

etadata_file_path>
í

#### 注 意

プロトコルは、メタスキャンの画像ファイルを保存するプロトコルと合わせてください。 メタスキャンの画像ファイルを保存するプロトコルは、テンプレートで設定されている共有フォルダに保管設定の [宛先] で確認できます。

#### メタデータのファイル名を指定する場合

<metadata_file_name>file name.xml</metadata_file_name>

#### 入力例:

ファイル名: Sample_MetaData.xml

フォーマット: <metadata_file_name>Sample_MetaData.xml </metadata_file_name>

補足

メタデータのファイル名には、XMLフォーマットファイルの変数を使用することができます。 日付の変数 (\${DATE}) を利用した入力例: <metadata_file_name>Sample_MetaData_\${DATE}.xml </metadata_file_name>

変数については、以下を参照してください。 □□ P.357 「XMLフォーマットファイルの変数」

#### ■ XMLフォーマットファイルの登録

XMLフォーマットファイルの登録方法を説明します。

メタスキャン連携するアプリケーションを利用する場合、XMLフォーマットファイルと拡張フィールドの設定は、アプリケーションベンダからの指示に従ってください。

#### 補足

「XMLフォーマットファイル」は、99個まで登録することができます。

**1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

- 2 [管理者] タブをクリックします。
- 3 [登録] メニューをクリックし、[XMLフォーマットファイル] サブメニューをクリックします。



**4** XMLフォーマットファイルのインポートの [参照] ボタンをクリックします。

表示されるダイアログで、登録するXMLフォーマットファイルを選択します。

#### **5** 【インポート】 ボタンをクリックして登録します。

以上で、XMLフォーマットファイルの登録は終了です。

#### 補足

登録したXMLファイルを削除する場合は、削除するXMLファイルを選択して、[Delete]ボタンで削除できます。

#### ■拡張フィールド定義の登録

「拡張フィールド定義」は100件まで登録でき、それぞれ「XMLフォーマットファイル」の選択と必要に応じて「拡張 フィールド属性」を設定します。

メタスキャン連携するアプリケーションを利用する場合、XMLフォーマットファイルと拡張フィールドの設定は、アプリケーションベンダからの指示に従ってください。

#### **1** TopAccessのアクセスポリシーモードを起動します。

🚇 P.23 「アクセスポリシーモード」

# 2 [管理者] タブをクリックします。

#### 3 [登録] メニューをクリックし、[拡張フィールド定義] サブメニューをクリックします。



▲ 拡張フィールド定義を登録するため、[未定義] をクリックします。

登録	
共有テンプレ	<u>ッート   共有メニュー</u>   <u>インターネットファクス受信転送</u>   <b>拡張フィールド定義</b>   XMLフォーマットファイル
番号	名称
001	testinit
002	未定義
003	未定義
004	未定義
005	未定義
006	未定義
007	<u>未定義</u>
800	未定義
009	大定義
010	<u>未定義</u>
011	未定義
012	未定義
013	<u>未定義</u>
014	未定義
015	
016	

登録済みの拡張フィールド名をクリックした場合は、拡張フィールドの編集画面が表示されます。 手順6に進みます。

# **5** フィールド名を入力してから、XMLフォーマットファイルを選択し、[保存] ボタンをクリックします。

カスタマイズしたXMLフォーマットファイルを用いる場合は、XMLフォーマットファイルで登録したXMLフォーマットファイルを選択します。カスタマイズしたXMLフォーマットファイルがない場合は、「defaultForm3.xml」 を選択します。

拡張フィールド定義のプロバ	দৈশ
拡張フィールド定義情報	
番号 名称	
002	
保存 キャンセル	
	000
#5V <b>3</b>	002
*名称	aaaaa
XMLフォーマットファイル	defaul vin .xml
	1/2

# 6 拡張フィールド属性を設定する場合は、拡張フィールド設定の [新規] ボタンをクリックします。

拡張フィールド属性を設定しない場合は、画面上の〔拡張フィールド定義〕をクリックします。

拡張フィー	ールド <u>拡張</u>	フィールド設定 ▶			
拡張フィール	ド定義情報				
編集 リセッ	•				
番号	名称				
002	test002				
拡張フィールド	設定				
フィンド番号 :	フィールド名 表示	名  必須入力	隠し属性	入力方法 最小値 最大値 初期値 日付	
このべりジの先見	<u> </u>				

# 7 拡張フィールド属性を設定します。

保存 キャンセル	
24 = 101-46	
表示	名称
	□必須入力 □隠し属性
<b>人力方法</b>	● 数値 ◎ 小数 ◎ 文字 ◎ リスト ◎ アドレス ◎ パスワード ◎ 日付
璧択項目	上に移動     下に移動     削除       名称
最小文字列長	
最大文字列長	
最小値	
最大値	
切期値	育旧除余
イスワード	

フィールド名	拡張フィールドの名称を設定します。
表示	拡張フィールドを操作パネル上に表示する際の表示のしかたを設定します。 名称:操作パネル上に表示する拡張フィールドの名称を設定します。最大256文字ま で入力できます。 必須入力:情報を必ず入力しなければならない拡張フィールドを作成する場合、 チェックボックスをオンにします。 隠し属性:操作パネル上に表示しない拡張フィールドを作成する場合、チェックボッ クスをオンにします。
入力方法*	<ul> <li>拡張フィールドの種類を選択します。</li> <li>数値:整数を入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>少数:小数を入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>文字:文字列を入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>リスト:リストから値を選択する拡張フィールドを作成します。</li> <li>アドレス:アドレスを入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>パスワード:パスワードを入力する拡張フィールドを作成します。</li> <li>日付:日付を入力する拡張フィールドを作成します。</li> </ul>
選択項目	リストの拡張フィールドで選択する項目を設定します。選択項目のフィールドには、 登録した選択項目が表示されます。フィールドに項目を登録する場合は、[名称] と [値] を入力して [追加] をクリックします。項目を選択して [上に移動] をクリッ クすると項目が上に移動し、[下に移動] をクリックすると項目が下に移動します。ま た、フィールドから不要な項目を削除する場合は、項目を選択して [削除] をクリッ クします。 <b>名称</b> :項目の名称を入力します。 <b>値</b> :その項目を選択した場合に適用する値(数値や文字列などの情報)を入力します。

注意

• 項目の登録制限は、選択項目のフィールドに表示される文字数の合計が、半角/全角文字にかかわらず127文字までとなります。

• 名称や値にセミコロンを使用することはできません。

最小文字列長	拡張フィールドに文字列を入力する場合の、最小の文字数を設定します。
最大文字列長	拡張フィールドに文字列を入力する場合の、最大の文字数を設定します。
最小値	拡張フィールドに数値を入力する場合の、最小の数値を設定します。
最大值	拡張フィールドに数値を入力する場合の、最大の数値を設定します。
初期値	拡張フィールドにあらかじめ設定される値を設定します。
パスワード	パスワードの拡張フィールドにあらかじめ設定される値を設定します。
日付	拡張フィールドにあらかじめ設定される日付を設定します。

* [入力方法] で選択した拡張フィールドの種類と、設定項目の関係は下表のとおりです。なお、必ず設定しなければならない項目に は「*」が表示されます。

入力方法 (拡張フィールドの種類)	必須の設定項目	任意の設定項目
数値	[最大値]、[最小値] 各値は、-999,999,999,999~999,999,999,999の範囲で設定できます。	[初期値]
小数	[最大値]、[最小値] 各値は、-999,999,999,999,9999990~999,999,999,999,	〔初期値〕
テキスト	[最大文字列長]、[最小文字列長] 各値は、0~256文字の範囲で設定できます。	[初期値]
リスト	[選択項目] [選択項目] は、最大256個まで登録できます。	[初期値] 登録した選択項目 の中から選択しま
	[名称] は、1~126文字まで設定できます。 [値] は、1~126文字まで設定できます。 ただし、[名称] と [値] の合計した文字数が2~127文字までとなります。	す。
アドレス	なし	[初期値]
パスワード	なし パスワードは、0~256文字の範囲で設定できます。	[初期値]
日付	なし	[初期値]

# 8 【保存】ボタンをクリックして、拡張フィールド属性を登録します。

拡張フィールド属性は、25個まで登録することができます。

以上で、拡張フィールドの登録は終了です。

# ■ メタスキャン用のテンプレート登録

メタスキャン機能を利用するには、メタスキャン用のテンプレートを登録する必要があります。 テンプレートは、管理者が登録する[共有テンプレート]と、管理者とユーザが登録する[プライベートテンプレート] があります。

どちらのテンプレートも、メタスキャン用のテンプレートを登録することができます。

以下の手順は、[プライベートテンプレート]の登録手順です。

# ▲ 【登録】 タブをクリックし、 [テンプレート] メニューをクリックします。

TopAccess	;					<u>ファイリングボックス</u> ログアウト
装置	ジョブ	D9	登録	カウンタ	ユーザ管理	管理者
テンプレート	<u>アドレス帳</u>		No.			
テンポー	〜グループ		•			
テンプレートジノ	レーブまたはテンプ	ノートボタンを作成/	編集するには下のテ	ンブレートグルーフ	を選択して下さい.	
共有テンプレー	トグループ					
番号	名称	ユーザ名				
共有	共有テンプレートグルーフ	2				

# 2 [未定義] グループリンクをクリックします。

テンプし テンプレー	<mark>ィートグループ</mark> -トグループまたはテン	ブレートボタンを作成/編集するには下のテンプレートグループを選択して下さい.
共有テン 番号	プレートグループ	2ーザ名
共有	共有テノフレートクル	
ジャンプ 001_011_0	121 031 041 051 061 07	1 DR1 D91 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191
ジャンブ 001 011 ( 番号	121 031 041 051 061 07	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191
ジャンブ 001 011 0 番号 001	21 031 041 051 061 07 26称 Templete001	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191 ユーザ名 UserName001
ジャンプ 001 011 0 番号 001 002	21         031         041         051         061         07           26ħ         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         <	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191 ユーザ名 UserName001 UserName002
ジャンプ 001 011 0 番号 001 002 003	21 031 041 051 061 07 21 031 041 051 061 07 正確の目また001 工程の目また002 工程の目また003	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191 ユーザ名 UserName001 UserName002 UserName003
ジャンプ <u>001 011 0</u> 番号 001 002 003 004	21         0.31         0.41         0.51         0.61         0.7           121         0.31         0.41         0.51         0.61         0.7           121         0.31         0.41         0.51         0.61         0.7           1         Templete001         Templete002         Templete003         Templete004         1	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191 ユーザ名 UserName001 UserName002 UserName003
ジャンプ <u>001 011 0</u> 番号 001 002 003 004 005	21         0.31         0.41         0.51         0.61         0.7           22.1         0.31         0.41         0.51         0.61         0.7           Templete001         Templete002         Templete002         Templete003         Templete004	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191 ユーザ名 UserName001 UserName002 UserName002
ジャンプ <u>001 011 0</u>	21 031 041 051 061 07     21 031 041 051 061 07     【Emplete001     Templete002     Templete003     Templete003     Templete004     また変直	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191 ユーザ名 UserName001 UserName002 UserName003 未定義
ジャンプ <u>001</u> 0110	名称           Image: Im	1 081 091 101 111 121 131 141 151 161 171 181 191 ユーザ名 UserName001 UserName002 UserName003 ま定義 未定義

# **3** グループ名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。

番号 名科	下 コーザ名
306	
保存 キャン	
NT T	
	006
	<u> </u>
ユーザ名	×1
ユーザ名	このEメールアドレスは、テンプレートの受取人とって使用されます。
ユーザ名 レポート通知	した 1 この Eメールアドレスは、テンプレートの受取人として使用されます。 Eメールアドレス
ユーザ名 レポート通知 パスワード	このEメールアドレスは、デンブレートの受取入として使用されます。 Eメールアドレス

**4** テンプレートリストから [未定義] アイコンをクリックします。

ルーフ	•	
<u>9-54</u>	55-60	
2		未定義           未定義
4		未定義           未定義
6	3	未定義 未定義
	- 2 - 4 - 6	<u>9-54</u> <u>55-60</u> 2 4 6

5 [メタスキャン] のチェックボックスをオンにしてからエージェントを選択し、[エージェント設定] をクリックします。

テンプレート情報	テンプレートグループ ▶ プライベートテンプレート▶
保存 キャンセル	
エージェント設定 - ポー - ファクスノインターネット - スキャン マメタスキャン	マ. マ. マ. マ. マ. マ. マ. マ. マ. マ.

#### 注 意

[メタスキャン] を選択するには、オプションのメタスキャンオプション(GS-1010)が利用できるようにセットアップされている必要があります。

利用できない場合は、[メタスキャン]を選択できません。

[メタスキャン] では、[Eメール] / [共有フォルダに保管] / [USBメディアを使用] のいずれか1つしか選択で きません。

Eメール	Eメールに添付して送付します。
	補足
	<ul> <li>[メタスキャン]を選択している場合、件名に変数を使用することができます。</li> <li>[送信者アドレス]で指定したアドレスが、メタデータに記述されます。</li> <li>[メタスキャン]を選択している場合、[ファイル名]の[ファイル名に日時を付加する]を選択すると、メタデータのファイル名にも適用されます。</li> <li>□ P.66 [Eメール設定 (プライベートテンプレート)]</li> </ul>
共有フォルダに保管	共有フォルダに保存します。
	注意
	• [メタスキャン] を選択している場合、宛先は1つしか指定できません。
	<ul> <li>宛先で指定したプロトコルとネットワークパスが、メタデータに記述されます。</li> <li>例:</li> </ul>
	プロトコル: SMB
	ネットワークパス: ¥ ¥ 192.168.1.1 ¥ ImageFolder
	<file_path>file : //192.168.1.1/ImageFolder/</file_path>
	• [メタスキャン] を選択している場合、[ファイル名] の [ファイル名に日時を付加
	する]を選択すると、メタデータのファイル名にも適用されます。 踊 P.68 「共有フォルダに保管設定(プライベートテンプレート)」
ファイリングボックスに保管	ファイリングボックスに保存します。

#### 6 エージェントを設定します。

設定方法は、通常のテンプレートと同じです。 □ P.88 「プライベートテンプレートグループを登録・編集する」

以降の手順は、[拡張フィールド設定]の設定方法です。

7 [拡張フィールド設定] ボタンをクリックして、拡張フィールドを設定します。

	J//-(B)0
日紙ページ隊去	OFF
原稿外消去	OFF
拡張フィールド設定 拡張フィールド定義番号 パネルに表示される項目1	001
バスワード設定 パスワード	パスワード未設定

8 [拡張フィールド定義番号] で登録済みの拡張フィールド定義を選択します。

拡張フィールド設定	Ē		
保存 キャンセル	]		
拡張フィールド定義番号	001 : ExtendedName01 💌		
	001 : ExtendedName01 002 : ExtendedName02		
	N N		
DisplayName001			
DisplayName002			
DisplayName003			
DisplayName004	User001@example.com	Address	
DisplayName005		(M-DD)	

#### **9** [拡張フィールド属性] のデフォルト値を入力します。

選択した拡張フィールド定義で、[拡張フィールド属性] が設定されている場合に表示されます。 ここで設定した値が、メタスキャン実行時に操作パネルに表示される[拡張フィールド属性]のデフォルト値に なります。

[拡張フィールド属性]の名称の前に、アスタリスク(*)が表示されている項目は、必ず入力する必要があります。

拡張フィールド設分	Ê						
保存 キャンセル							
拡張フィールド定義番号	;	01 : ExtendedNa	meO1 💌				
DisplayName001	123456				ר		
DisplayName001 DisplayName002	123456 123456				ן	 	
DisplayName001 DisplayName002 DisplayName003	123456 123456 123456						
DisplayName001 DisplayName002 DisplayName003 DisplayName004	123456 123456 123456 User001@	example.com		Address			

# 10 【保存】ボタンをクリックして、テンプレートを登録します。

以上で、メタスキャン用のテンプレート登録は終了です。

#### ■ メタスキャン

メタスキャン用のテンプレートを使用してメタスキャンします。 操作方法については、スキャンガイドを参照してください。

#### 補足

メタスキャン用テンプレートの [拡張フィールド設定] で設定されていた [拡張フィールド定義] が削除された場合、 デフォルトXMLフォーマットファイル<defaultForm3.xml>を使用します。

# ■ メタスキャンのログ確認

メタデータが正しく作成されたかは、スキャンログで確認することができます。

確認するスキャンログの内容は下記のとおりです。

確認項目	確認内容
モード	メタスキャンを示す"MSxxxx"(xxxxはコードフォーマット)と表示されます。
結果	エラー内容が表示されていなければ、正しくメタデータが作成されています。

スキャンログの詳細については、以下を参照してください。 □ P.41 「スキャンログ」

# 11

付録

このセクションには、以下の内容が記載されています。

# クライアントコンピュータに証明書をインストールする



このスナップインで管理する証明書:	
○ サービス アカウント(S)	
ヘコンピュータ アカウント(0)	
*	
	(豆ろ(B) (たん(M)) (キャンオ2川)
	Network Network

[コンピュータの選択] ダイアログボックスが表示されます。

**5** [ローカル コンピュータ(このコンソールを実行しているコンピュータ)]を選択し、[完了]をクリックします。



[コンピュータの選択] ダイアログボックスが閉じます。

6 [コンソール ルート] フォルダの下に [証明書(ローカル コンピュータ)] が追加されてい ることを確認し、[OK] をクリックします。

ステックインのショルで削除 コンピュータで利用できるスナックイ どの抗感性を対応するかを構成で 利用できるスナックイン(2): スナックイン クタスク スケジューラ ディスカの管理 ディスカの管理 フォルダ コーカル ユーザーどガーブ 満日時の管理 乳 共有フォルダ 調 転空スネージャ 一 証明書 一 証明書 一 値接触性とパンターマンス モー 「管難性とパンターマンス モー	ンパトレールに対 メンダ Microsoft Corpor Microsoft Corpor	:用するスナップインを述 「通知(A)>」	はれしたり、選択したスナップインを構成した 選択されたスナップイン(E): ■コンソール ルート G 証明書 (ローカル コンピュータ)	とりできます。抗3長可能なスナップインでは、       抗3長可編集(2)_       川市(形)       上へ有多動(D)       下へ有多動(D)
説明 記明書スナップインを使うとユーザ	ー、サービス、またはコンバ	▲」	の内容を表示できます。	

#### 7 設定を保存します。

<ul> <li></li></ul>	り(0) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)	
📔 コンソール ルート	名前	
<ul> <li>□ 証明書(ローカルコンピュータ)</li> <li>□ 個人</li> <li>□ 信頼されたルート証明機関</li> <li>□ 二 中間証明機関</li> <li>□ 中間証明機関</li> <li>□ 信頼されただら、</li> <li>□ 信頼されていない証明書</li> <li>□ ゴードパーティルート証明機関</li> <li>□ 信頼されたエーザー</li> <li>□ スマートカードの信頼されたルート</li> </ul>	□ 証明書 (ローカル コンピュータ)	

#### クライアントコンピュータに証明書をインポートする

ここでは、Windows Vistaにインポートする例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

#### 注意

- Windows Vistaの場合、Administrators(管理者)所属のユーザでログインする必要があります。
- Windows Vistaの場合、[ユーザーアカウント制御] が無効になっていることを確認してください。[コントロールパネル] > [ユーザーアカウント] > [ユーザーアカウント制御の有効化または無効化] と進み、[ユーザーアカウント制御(UAC)を使ってコンピュータの保護に役立たせる] チェックボックスをオフにします。



1 Microsoft管理コンソール(MMC)で、証明書を格納するフォルダを選択・右クリックし、 [すべてのタスク] > [インポート]を選択します。



証明書の種類に応じて、適切なフォルダを選択してください。

- 自己証明書 (.crt): コンソールルート > 証明書 (ローカルコンピュータ) > 信頼されたルート証明書
- クライアント証明書 (.pfx): コンソールルート > 証明書 (ローカルコンピュータ) > 個人

• CA証明書 (.cert): コンソールルート > 証明書 (ローカルコンピュータ) > 信頼されたルート証明書 [証明書のインポート ウィザード] が表示されます。

2 [証明書のインポート ウィザード] で、[次へ] をクリックします。

証明書のインポート ウィザード	×
	証明書のインポート ウィザードの開始
	このウィザードでは、証明書、証明書信頼リスト、および証明書失効リ ストをディスクから証明書ストアにコピーします。
	証明機関によって発行された証明書は、ユーザー ID を確認し、データ を保護したり、またはセキュリティで保護されたネットワー対接待を提供 するための情報を含んでいます。証明書ストアは、証明書が保留され ネシュテト・Dの講訳です。
	続行するには、「次へ」をクリックしてください。
	< 戻る(B) 次へ(N) > 入 キャンセル

クライアント証明書をインポートする場合は、次の手順に進みます。それ以外の場合は、手順5へ進んでください。

3 [参照] をクリックしてインストールする証明書を選択し、[次へ] をクリックします。



4 秘密キーのパスワードを入力し、[次へ]をクリックします。



5 [次へ] をクリックします。

証明書のインポート ウィザード	×		
延明書ストア 証明書ストアは、証明書が保留されるシステム上の領域です。			
Windows (証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。			
○ 証明書の種業類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)			
◎ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)			
証明書ストア			
個人 参照(R)			
証明歳ストアの詳細を表示します			
< 戻る(B) 次へ(N) > 、 キャンセ	ŀ		

#### 注意

[参照] ボタンから証明書ストアを変更しないでください。



#### 補足

セキュリティ夢告

以下のセキュリティ警告メッセージが表示された場合は、[はい]をクリックします。

<u> </u>	発行者が次であると主張する証明機関 (CA) から証明書をインストー ルしようとしています:
	172.16.102.20
	証明書が実際に"172.16.102.20"からのものであるかどうかを検証で きません。"172.16.102.20"に連絡して発行者を確認する必要があり ます。 次の番号はこの過程で役立ちます:
	拇印 (sha1): BECCCAD9 230C67BF DA9EF5C2 0EC41410 6090653A
	警告: このルート証明書をインストールすると、このCAによって発行され た証明書は自動的に信頼されます。確認されていない時印付きの証明 書をインストールすることは、セキュリティ上、危険です。[はい] る クリックすると、この危険を認識したことになります。
	この証明書をインストールしますか?

**7** [OK] をクリックして、インポートを完了します。



Windows Vistaコンピュータにクライアント証明書(.pfx)をインストールする場合は、次の手順に進みます。 それ以外の場合は、インストールは完了です。

他に証明書をインストールする必要がある場合は、手順をはじめから繰り返してください。

#### 8 インポートしたクライアント証明書をダブルクリックします。



[証明書]ウィンドウが表示されます。

**9** [詳細] タブをクリックし、[拇印] を選択して40桁の拇印を確認します。



# 10 コマンド プロンプトを開き、「netsh」コマンドを以下にならって実行します。

補足

Windows VistaでAdministrators (管理者) 所属のユーザ以外で利用している場合は、コマンドプロンプトのア イコンを右クリックして表示されるメニューから [管理者として実行] を選択する方法で一時的に Administrators (管理者) 権限でコマンドを実行することができます。



- 手順9で確認した拇印を使用して、次のコマンドを入力します。 netsh http add sslcert ipport=0.0.0.0:5358 certhash=(ここに40桁の拇印を入力)appid={00112233-4455-6677-8899-AABBCCDDEEFF}
- 拇印はスペースを省いて入力します。

#### 注意

インポートしたクライアント証明書が「Certificate Revocation List (CRL)」を用いて作成されたものである場合、FQDNによるCAサーバーへのアクセスが可能であるかを確認する必要があります(下図を参照)。

表示(S): 〈すべて〉	•	
フィールド	値	-
CRL 配布ボイント     微切情報アクセス     微切情報アクセス     ゆ     がお見キー使用法     アウリケーション ポリシー     担印アルゴリズム     担印	[1]CRL Distribution Point Dis [1]Authority Info Access: Acc ↓ → √ → ZERE (13.81557.31) [1]Application Certificate Poli sha1 be cc ca d9 23 0c 67 bf da 9	
[1]CRL Distribution Point Distribution Point Name Full Name: URL=Idap:///Ci CoServices.CN=Services.Ch certificateRevocationList% URL=http://che	。 ビージ 3 Co.C.NC.D.P.C.N.= Public3/2016 EConfiguration, D.C.= 24:800 main, D.C.= Configuration, D.C.= 24:800 main, D.C.= Configuration, C.C.E.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C.C	»y%

FQDNによる接続が確立されていない場合は、以下のいずれかの対処を行うよう、管理者へ問い合わせてくだ さい。

- 以下のフォルダパスからアクセスできる「hosts」ファイルに、IPアドレスとホスト名を追加します。 C:\WINNT\system32\drivers\etc
- 適切な名前解決処理が行われるように、DNSサーバーを設定します。

包置

# 索引

Α	
AppleTalkの設定	.154
В	
Bonjourの設定	.154
C	
	.263
CA証明書をインストールする	.282
CNTRノースノロノアイルの設定 CSV/XML形式の	.210
アドレス帳データをインポートする	.310
CSV/XML形式の	
アドレス帳データをエクスポートする	.312
D	
DDNSの設定	.156
DNSの設定	.155
E	
Eメールアドレス設定	.258
Eメール印刷の設定	209
Eメール設定	198
Eメール設定(共有ナノノレート)	.316
(ファクス/インターネットファクス受信転送)	.326
Eメール設定 (メールボックス)	87
Eメール設定のセットアップ手順	.232
Eメール設定をセットアップする	.232
Eメール認証	.256
F	
FTP印刷の設定	208
トIPクライアントの設定	.166
FTFリーハーの改走 Fコード	. 107 289
Fコード	.290
Fコード設定	84
Fコード設定(メールボックス)	85
トコード/ファクス受信転送(振分け)	83
「 コート/ ノアクス文指転达 (拡分り) 項日説明一覧	83
н	

HTTPの設定16	6	j	1	
-----------	---	---	---	--

#### I

ICCプロファイル設定をセットアップする	241
ICCプロファイル設定をセットアップする手順	241
ICCプロファイルの設定	210
IKEの追加/IKEの修正	180
IPsec用証明書をインストールする	267, 268
IPsec用証明書を自動取得する	270
IPv6の設定	152
IPX/SPXの設定	153
IPセキュリティの設定	

#### L

LDAPサーバーから新規連絡先を追加する	99
LDAPサーバーを使って宛先を検索する	.62, 346
LDAPサーバーを使って新規連絡先を追加する	99
LDAPサービス	293
LDAPサービスを登録する	306
LDAP情報	293
LDAP認証	256
LDAPの設定	154
LLTDの設定	173
IPP印刷の設定	207

LPD印刷の設定	206
LPRキューを削除する	238
LPRキューを追加または変更する	237
N N/Wファクスの設定 N/Wファクスの保管先の設定 NetWare印刷の設定 NetWareの設定	196 196 208 160
<ul> <li>Off Device Customization Architecture設定</li> <li>Off Device Customization Architecture設定を</li></ul>	215
セットアップする <li>Off Device Customization Architecture設定を</li>	250
セットアップする手順	250
P POP3の設定	165

#### R

Raw TCP印刷の設定	206
Raw印刷ジョブ印刷初期値設定	203
RAW印刷ジョブ設定	204
Raw印刷ジョブ設定	237
RGBソースプロファイルの設定	210

#### S

SLPの設定	168
SMBの設定	158
SMTPクライアントの設定	162
SMTPサーバーの設定	164
SNMP V3ユーザ情報の作成	171
SNMP V3ユーザ情報をエクスポートする	
SNMP V3ユーザ情報を削除する	
SNMP V3ユーザ情報を登録・編集する	
SNMP V3を設定する	
SNMPの設定	169
SNTP設定	146

### т

TCP/IPの設定	148
TopAccessから最新バージョンの	
クライアントソフトウェアをアップロードする	302
TopAccessからソフトウェアを削除する	304
TopAccessの画面説明	22
TopAccessの機能	8
TopAccessの条件	9
TopAccessを起動する	10

#### U

URL選択	
URLの新規追加	
USB保存設定	72
USB保存設定(共有テンプレート)	

#### W

Web Service設定	
WEB設定	
Windowsドメイン認証	

#### Х

XMLフォーマットファイル	. 333
XMLフォーマットファイルのインポート	. 333
XMLフォーマットファイルの削除	. 333
XMLフォーマットファイルの登録	. 361
XMLフォーマットファイルの編集	. 357
XMLフォーマットファイルの変数	. 357

#### あ

アカウント 項目説明一覧	
アカウント タブの概要説明	
アクセスポリシーモード	8, 23
宛先検索	80
宛先情報	78
宛先設定	58
宛先設定(共有テンプレート)	315
宛先設定	
(ファクス/インターネットファクス受信転送)	321, 343
宛先設定(メールボックス)	86
宛先の設定	
宛先リストから宛先を削除する	63
宛先をアドレス帳から選択する	60, 344
宛先を手動で入力する	59, 343
アドレス帳77,	288, 290
アドレス帳 項目説明一覧	77
アドレス帳データをインポートする	310
アドレス帳データをエクスポートする	
アドレス帳のグループを管理する	
アドレス帳の連絡先を管理する	96
アドレス帳を管理する	96
アドレスを入力して起動する	10

เง	
一般設定142, 202	
一般設定のセットアップ手順217	
一般設定をセットアップする217	
印刷再開条件	
印刷再開条件を確認する	
印刷ジョブ 項目説明一覧	
印刷ジョブを実行する	
印刷ログ	
インターネットファクス設定64,200	
インターネットファクス設定(共有テンプレート)315	
インターネットファクス設定	
(ファクス/インターネットファクス受信転送)322	
インターネットファクス設定(メールボックス)86	
インターネットファクス設定をセットアップする233	
インターネットファクス設定をセットアップする手順.233	
インポート	
インポートまたはエクスポートする	
_	

#### え

エクスポート/インポート	項目説明一覧	138
エクスポート		

#### か

カウンタ 項目説明一覧	
設定/操作方法	
カウンタ タブの概要説明	
カウンタを表示する	
拡張フィールド	
拡張フィールド設定	76. 316. 330
拡張フィールド属性	
拡張フィールド定義	
拡張フィールド定義情報	
拡張フィールド定義のプロパティ	
拡張フィールド定義の登録	
カテゴリ設定	
環境設定	
管理者によるアドレス帳操作制限	
管理者、監査者パスワードポリシー	

# き

期間の設定	191 143
	143
機能設定	
共有フォルダ保存設定のセットアップ手順	230
共有テンプレート	315
共有テンプレートグループ	51
共有テンプレートを作成または編集する	334
共有テンプレートを登録する	334
共有テンプレートを表示する	
共有テンプレートをリセットする	338
共有フォルダからデータを削除する	305
共有フォルダに保管設定	.68, 191
共有フォルダに保管設定(共有テンプレート)	316
共有フォルダに保管設定	
(ファクス/インターネットファクス受信転送)	323
共有フォルダに保管設定(メールボックス)	
共有フォルダに保管設定をセットアップする	230
共有メニュー	317

#### <

•	
クライアント証明書	
クライアント証明書作成	
クライアント証明書の作成/エクスポート	
クライアントソフトウェアをアップロードする	302
クライアントソフトウェアを削除する	
グループ	78
グループ管理 項目説明一覧	127
グループ情報	. 53, 81, 128
グループ情報作成	127
グループパスワードの変更	
グループ割り当て	126
グループをアドレス帳から選択する	61, 345
クローンファイル	
クローンファイル作成	
クローンファイル情報	
クローンファイルに含まれているデータの情報	
クローンファイルのインストール	

#### け

権限情報表示	354
原稿印刷	320
言語設定	
言語パックのインストール	
現在の言語パックリスト	
現在のソフトウェア一覧	300
検索間隔の設定	194
検索結果リスト	81

#### Ζ

コピージョブ強制続行設定	
コピー設定	
コピー設定をセットアップする	

# **さ**サ

サーバーを削除する	
サーバーを登録する	
サーバ登録設定	
再起動	
再記動する	314
サポートブラウザ	9
サマータイム設定	

## し

識別されていないネットワークの場合	
自己証明書作成	
自己証明書を作成する/エクスポートする	272

システムアップデート	
システム通知情報イベント	
自動取得したIPsec用証明書を削除する	271
自動取得したデバイス証明書を削除する	279
受信管理記録	40
手動で連絡先を追加・編集・削除する	96
証明書管理	
証明書設定	
証明書ファイル	
初期設定	
初期登録ロールと権限	129
ジョブスキップ設定	144
ジョブ 設定/操作方法	
ジョブ タブの概要説明	
ジョブ通知情報イベント	297
ジョブを削除する	35
ジョブを表示する	
新規LPRキューの追加/編集	204
シングルサインオン設定	258
シングルページファイルの構成の設定	194
シングルページファイルの保存場所の設定	193

#### す

スーパースリープモードからの復帰設定	
スキャンカウンタ	
スキャンジョブ 項目説明一覧	
スキャン設定	74
スキャン設定(共有テンプレート)	
スキャンログ	41
すべての共有テンプレートをリセットする	340

#### せ

セキュリティ 項目説明一覧	252
セキュリティ 設定/操作方法	
節電モード設定	145
セットアップ 項目説明一覧	142
セットアップ 設定/操作方法	217
選択した共有テンプレートをリセットする	

# そ

送信管理記録	
装置 項目説明一覧	
装置情報の設定	
ソースプロファイルの設定	242
ソフトウェアのアップロード	
ソフトウェアパックのインストール	
ソフトウェアの削除	

# 5

中継孫局送信(メールボックス)	86
-----------------	----

# ζ

~	
ディレクトリサービスをセットアップする	
データを削除する	
デバイス証明書	
デバイス証明書をインストールする	
デバイス証明書を自動取得する	
デフォルトXMLフォーマットファイル	
テンプレート	
テンプレートグループ	
テンプレートグループ選択	
テンプレート 項目説明一覧	
テンプレート情報	
テンプレートの選択	
テンプレートリスト	54
テンプレートを管理する	
テンプレートを登録・編集する	91

#### ٤

登録 項目説明一覧 登録したCA証明書を削除する	
登録したIPsec用証明書を削除する	
登録したデバイス証明書を削除する	
登録 設定/操作方法	88, 334
登録 タブの概要説明	50
トータルカウンタ	106
トータルカウンタを表示する	114

# な

内蔵ブラウザ機能を設定する	
内蔵ブラウザ設定	

#### に

日付と時間14	16
認証	52

# ね

ネットワーク	
ネットワーク設定	
ネットワーク設定のセットアップ手順	
ネットワーク設定をセットアップする	219
ネットワークマップのアイコンから起動する	
ネットワークマップのアイコンから起動	

#### は

バージョン	
バージョン情報を表示する	
バージョン情報を表示する手順	
パスワード設定	76
パスワード入力	123
パスワード変更	
パスワードポリシー	264, 266
パネル言語の初期設定	
パネル設定	
パネル設定(共有テンプレート)	

# Q

2017 1 コンの武力	表示アイコンの説明	
--------------	-----------	--

#### 31

ファイリングボックス通知情報イベント	144
ファイル削除	
ファイルのアップロード	
ファイル保存時のユーザ名とパスワード表示設定	定 194
ファクス受信転送および	
インターネットファクス受信転送	320
ファクス受信転送および	
インターネットファクス受信転送を登録する	
ファクス設定	. 64, 79, 188
ファクス設定(共有テンプレート)	
ファクス設定のセットアップ手順	
ファクス設定をセットアップする	
ファクス転送や	
インターネットファクス転送を登録する	341
ファクス/インターネットファクスジョブ	
項目説明一覧	
フィルタの追加/フィルタの修正	176
フィルタリングの設定	150
フォルダ名の設定	192
複合(テンブレート+アドレス帳+Fコード)	289, 291
部門カウンタを表示する	115
部門管埋カウンタ	
部門管埋 項目説明一覧	134
部門管埋情報1(	09, 112, 135
部門管埋情報 (登録)	

部門管理情報 (編集)	136
部門管理設定	253
部門管理を設定する	116
部門を削除する	117
部門を新規作成・修正・変更	116
プライベート印刷ジョブと	
ホールド印刷ジョブを削除する	35
プライベートテンプレート	54
プライベートテンプレートグループ	
プライベートテンプレートグループを登録・編集する	88
プライベートテンプレートの詳細設定	
プリンタ/ファイリングボックスジョブの強制続行設定	〒 201
プリンタ/ファイリングボックス設定	201
プリンタ/ファイリングボックス設定	
ヤットアップする	235
プリンク/ファイリングボックス設定を	
ヤットアップする手順	235
プリン々設定	202
プリン々設定をセットアップする	236
プリン々設定をセットアップする手順	236
プリンタプロファイルの設定	211
プリントカウンタ	107
プリントサービス設定	206
プリントサービス設定をセットアップする	239
プリントサービス設定をセットアップする手順	239
プリントデータコンバータ設定	212
プリントデータコンバータ設定をセットアップする	247
プリントデータコンバーク設定を	
クリントリー メコンハース改定で ヤットアップする手順	247
グループ情報	
プロキシ設定	213
ノニーノ (A)	182

#### ほ

ホームディレクトリ設定	
ホームページ設定	
保守 項目説明一覧	
保守機能について	
保守 設定/操作方法	
ボックス設定	71
ボックス設定(共有テンプレート)	
ボックス設定	
(ファクス/インターネットファクス受信転送)	328
ボックス設定(メールボックス)	87
ポリシーの追加/ポリシーの修正	
本機を再起動する	

#### ま

#### め

メールボックスを管理する	
メールボックスをセットアップする	
メタスキャン	
メタスキャンオプションの確認	357
メタスキャンの設定	
メタスキャンの操作の流れ	
メタスキャンのログ確認	
メタスキャン用のテンプレート登録	
メタデータの保存設定	
メッセージログ	43
メニュー画面URL一覧	214
メニュータイプ選択	318, 352

#### ø

ユーザアカウント検索	
ユーザアカウント 項目説明一覧	

ユーザー認証設定	
ユーザ管理 タブの概要説明	
ユーザ情報	
ユーザ情報作成	
ユーザパスワードポリシー	
ユーザモード	8

#### b

リモート	1とリモー	ト2の設定	
------	-------	-------	--

# n

レポート通知	
レポート通知を設定する	

#### 3

-	
ロール管理 項目説明一覧	129
ロールの新規作成	131
ロール編集	133
ロール割り当て	126
ログ閲覧 項目説明一覧	
ログサイズ	45
ログ設定 項目説明一覧	45
ログ 設定/操作方法	46
ログ タブの概要説明	
ログ認証	45
ログのエクスポート 項目説明一覧	44
ログをエクスポートする	47
ログを表示する	46

FC-5540C/6540C/6550C FC-2540C/3540C/4540C OMJ10005900 東芝デジタル複合機 <u>TopAccessガイド</u>



東芝テック株式会社

R100520J0700-TTEC 2011-03

© 2011 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved